

(受生学 8 - 1)

宇治市生涯学習センター中規模改修建築工事

	図面名称		図面名称		図面名称		図面名称		図面名称
A-01	建築改修工事 特記仕様書 - 1	A-17	現況図 1階平面図	A-33	現況図 屋外階段詳細図 - 2	A-49	改修図 第1ホール 特殊天井平面図	A-65	外壁劣化状況図 - 10
A-02	特記仕様書 - 2	A-18	2階平面図	A-34	改修図 東 立面図	A-50	第1ホール 特殊天井矩計図		
A-03	特記仕様書 - 3	A-19	3階平面図	A-35	北 立面図	A-51	第1ホール 特殊天井詳細図	K-1	仮設図 1階平面図 (参考図)
A-04	特記仕様書 - 4	A-20	4階平面図	A-36	西 立面図	A-52	E L V前天井改修図	K-2	2階平面図 (参考図)
A-05	特記仕様書 - 5	A-21	屋上平面図・PH平面図	A-37	南 立面図	A-53	現況図 建具図 - 1	K-3	3階平面図 (参考図)
A-06	特記仕様書 - 6	A-22	東・北立面図	A-38	現況図 部分詳細図 - 1 (玄関庇等)	A-54	建具図 - 2	K-4	4階平面図 (参考図)
A-07	特記仕様書 - 7	A-23	西・南立面図	A-39	部分詳細図 - 2 (リブ等)	A-55	建具図 - 3	K-5	1階平面図 (参考図)
A-08	特記仕様書 - 8	A-24	断面図	A-40	部分詳細図 - 3 (砂場)	A-56	外壁劣化状況図 - 1	K-6	立面図 - 1 (参考図)
A-09	特記仕様書 - 9	A-25	1階天井伏図	A-41	改修図 部分詳細図 - 4 (砂場)	A-57	外壁劣化状況図 - 2	K-7	立面図 - 2 (参考図)
A-10	特記仕様書 - 10	A-26	2階天井伏図	A-42	現況図 第1ホール 1、2階平面図	A-58	外壁劣化状況図 - 3		
A-11	特記仕様書 - 11	A-27	3階天井伏図	A-43	改修図 第1ホール 1、2階平面図	A-59	外壁劣化状況図 - 4		
A-12	特記仕様書 - 12	A-28	4階天井伏図	A-44	現況図 第1ホール 映写調光室	A-60	外壁劣化状況図 - 5		
A-13	工事区分表	A-29	矩計図 - 1	A-45	第1ホール 天井裏平面図	A-61	外壁劣化状況図 - 6		
A-14	配置図・付近見取図	A-30	矩計図 - 2	A-46	第1ホール 矩計図	A-62	外壁劣化状況図 - 7		
A-15	仕上表 - 1	A-31	矩計図 - 3 (玄関庇)	A-47	第1ホール 展開図	A-63	外壁劣化状況図 - 8		
A-16	仕上表 - 2	A-32	現況図 屋外階段詳細図 - 1	A-48	第1ホール 詳細図	A-64	外壁劣化状況図 - 9		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
2	工事用水	構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)	2	10 構造体強度補正值 (6.3.2)	気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)	3	防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	接着工法の場合で、PCコンクリート部材下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及びび可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 ｶｰ _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____㎡) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、スルス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの
	工事用電力	構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)		11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する						
8	仮囲い等	図示による _____	2	12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)	常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじみ位置 図示による _____	3	防水改修工事	塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)
	設計GL	図示による 設計GL = 現状GL		13 寒中コンクリート (6.11.1)	予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第1節 (寒中コンクリート) による。						
2	1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他 (材料 _____ 工法 _____) 建設発生土 (盛土材) の外部からの受入土量 (_____ ㎡/ _____)	2	14 暑中コンクリート (6.12.2)	暑中における構造体強度補正值 (S)	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	9 施工標識
				2 建設発生土の処理 (3.2.5)	下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所 (一財) 城陽山砂利採取地整備公社 土壌調査 行う (受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 構内指示の場所に敷き均し 構外指示の場所にたい積						
3	鉄筋の種類 (5.2.1)	種類 異形鉄筋	3	3 防水改修工事	3 防水改修工事	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	シースリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)
4	溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm	3	3 防水改修工事	3 防水改修工事	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	9 施工標識
5	コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート	3	3 防水改修工事	3 防水改修工事	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	9 施工標識
6	コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (Fc) 打設部位 Fc(N/mm2) スランプ(cm) 備考	3	3 防水改修工事	3 防水改修工事	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	9 施工標識
7	セメントの類別 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 (適用箇所 _____) シリカセメント フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____)	3	3 防水改修工事	3 防水改修工事	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	9 施工標識
8	骨材 (6.3.1)	粗骨材 砂利 (JIS A5308), 砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 再生骨材H 電気炉酸化スラグ 細骨材 砂 (JIS A5308), 砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 再生骨材H 電気炉酸化スラグ フェロシリカスラグ	3	3 防水改修工事	3 防水改修工事	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	9 施工標識
9	混和材料 (6.3.1)	AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、種若しくは種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	3	3 防水改修工事	3 防水改修工事	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	9 施工標識
備考											

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3 防水改修工事	<p>内とい(V.P管は使用しない)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 SGP</td> <td>径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修標仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>防露巻き</td> <td>改修標仕表3.8.3による F</td> </tr> </table> <p>掃除口を設ける(開放性のある自転車置き場のといを除く) 養生鉄管を設ける(径 _____ 厚さ _____ 長さ _____) 既存といの撤去及び養生 (_____) 鋼管製の防露巻 (改修標仕表3.8.4による _____) たてとい受金物 (_____)</p> <p>(表3.9.1)(表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表 面 処 理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種 AB-2種</td> <td>隅角部及び突当たり部</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種 AC-2種</td> <td>等の役物は本体製造</td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種 BA-2種</td> <td>の仕様による。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>BB-1種 BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>BC-1種 BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲げ材</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オープン形式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シールド形式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既存空木等の撤去 行う (範囲 図示) 行わない</p> <p>下地補修の工法 図示</p> <p>板材折曲げ形の空木取付方法 図示</p> <p>建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による</p>	材 質	そ の 他	たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm	とい受け金物、足金物	改修標仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下	防露巻き	改修標仕表3.8.3による F	種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考	250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部	300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種	等の役物は本体製造	350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種	の仕様による。				BB-1種 BB-2種					BC-1種 BC-2種		曲げ材		2.0	C種		オープン形式					シールド形式					4 外壁改修工事	<p>(4.1.4) (4.3.5) ~ (4.3.8)</p> <p>モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コーア抜き検査 行う 行わない 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き部の補修方法 図示</p> <p>リカットシール材充填方法</p> <p>シーリング材</p> <p>充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法</p> <p>パテ状エポキシ樹脂</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p> <p>○ タイル張り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>ひび割れ部の注入状況の確認</p> <p>コーア抜き検査 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>タイル撤去後の補修</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ タイル部分張替え工法</td> <td>○ ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート打放し仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td>図示による</td> </tr> </table> <p>○ モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ 充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>モルタル塗替え工法</td> <td>改修標仕表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td>張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂	図示による	タイル張替え工法			工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル	図示による	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ 充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル	図示による	モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)	図示による	タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		4 外壁改修工事	<p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書表4.4.2による</p> <p>タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜き部の補修方法 図示</p> <p>○ セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○</p> <p>タイル張りの工法</p> <p>外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り</p> <p>有機系接着剤によるタイル張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○</p> <p>シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アーカービ (本/m²) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/m²) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料</p> <p>ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり 速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水性 (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.65 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料</p> <p>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法用材料</p> <p>既製目地材 使用する (形状 _____) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アーカービ (本/m²) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/m²) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td>25</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	アーカービ (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25			アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20				注入口付アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25			注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25		注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				広がり 速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	アーカービ (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25			アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20				アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20				注入口付アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25			注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25		注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50		注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法			25	25		4 外壁改修工事	<p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>工 法</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>箇所の面積 (m²)</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>0.25未満</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td>張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書表4.5.1による</p> <p>タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜き部の補修方法 図示</p> <p>セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○</p> <p>タイル張りの工法</p> <p>外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り</p> <p>有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>5 目地改修工法 タイル張り仕上げ (4.1.4) 目地ひび割れ部改修工法 (4.4.5) 伸縮調整目地改修工法 (4.4.16) 位置 改修標準仕様書表4.4.2による 図示による 寸法 (幅×深さ) コウト打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上</p> <p>6 樹脂注入工法 建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形 (4.2.4) ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 (4.2.5) 注入口の間隔 (mm) 2.0程度 3.0程度 3.0程度 注入量 (CC/mm)</p> <p>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認</p> <p>コーア抜き検査 (抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) (抜き部の補修方法 _____)</p> <p>7 Uカットシール材充填工法 (4.2.6) シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う</p> <p>8 アーカービ[※]注入工法 (4.3.5) アンカーピンの材質 ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>9 注入口付アーカービ[※]注入工法 (4.3.5) 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径外径6mm程度</p> <p>10 モルタル塗替え工法 (4.3.5) モルタル 現場調合材料 既調合材料 (_____) 既製目地材 使用する (形状 _____)</p>	工 法	箇所の面積 (m ²)	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)	
材 質	そ の 他																																																																																																																																																																																																																																																																																																
たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																
とい受け金物、足金物	改修標仕 表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																
防露巻き	改修標仕表3.8.3による F																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																													
250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部																																																																																																																																																																																																																																																																																													
300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種	等の役物は本体製造																																																																																																																																																																																																																																																																																													
350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種	の仕様による。																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			BB-1種 BB-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			BC-1種 BC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																														
曲げ材		2.0	C種																																																																																																																																																																																																																																																																																														
オープン形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
シールド形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																														
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																														
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																														
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																														
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ タイル部分張替え工法	○ ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																															
タイル張替え工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																															
モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																															
タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
工 法	アーカービ (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
広がり 速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工 法	アーカービ (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法			25	25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
工 法	箇所の面積 (m ²)	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																														
タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																															
タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																															
4 外壁改修工事	<p>施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲</p> <p>調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築仕上診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コーア抜き検査 行う 行わない (注入状況確認方法 _____) 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法</p> <p>シーリング材</p> <p>充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法</p> <p>パテ状エポキシ樹脂</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	4 外壁改修工事	<p>欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>コンクリート打放し仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td>図示による</td> </tr> </table> <p>○ モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ 充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>モルタル塗替え工法</td> <td>改修標仕表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td>張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル	図示による	工 法	材 料	施 工 箇 所	○ 充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル	図示による	モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)	図示による	タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		4 外壁改修工事	<p>浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) ~ (4.3.16)</p> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アーカービ (本/m²) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/m²) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料</p> <p>ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり 速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水性 (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.65 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料</p> <p>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法用材料</p> <p>既製目地材 使用する (形状 _____) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アーカービ (本/m²) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/m²) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アーカービ[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td>25</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	アーカービ (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25			アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20				注入口付アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25			注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25		注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				広がり 速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	アーカービ (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25			アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20				アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50		アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20				注入口付アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25			注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25		注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50		注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法			25	25		4 外壁改修工事																																																																																															
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																														
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																														
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																															
モルタル塗替え工法	改修標仕表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																															
タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調合材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
工 法	アーカービ (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
広がり 速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工 法	アーカービ (本/m ²) 一般部 指定部	注入口 (箇所/m ²) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アーカービ [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法			25	25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

建築改修工事 特記仕様書 - 3

縮尺

年月日 2025.03

図面 No

A - 03

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																			
4	<p>11 タイル部分張替え工法及びひび割れ張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) (4.4.8)</p> <p>12 窓下人研面台の補修</p> <p>仕上塗材 (4.1.5)</p> <p>(4.5.2) (4.5.6)</p> <p>厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <p>厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <p>仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <p>可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)</p> <p>防火材料の指定 なし</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う (参考工法: _____ 製造所: _____) 行わない</p> <p>仕上塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p> <p>既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)</p> <p>既存塗膜の除去方法 試験施工実施</p> <p>サンダー工法</p> <p>○ 高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 ○ 30Mpa _____)</p> <p>塗膜はく離剤工法 (製造所: _____)</p> <p>水洗い工法 (_____ 高圧ホップ 10-15pa)</p> <p>既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の (_____ %) 別図に示す範囲</p>	4	<p>15 マスチック塗材塗り (4.1.5)</p> <p>16 部分改修工法 (4.5.7)</p> <p>17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)</p>	5	<p>1 性能</p> <p>「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。</p> <p>2 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>行う (建具金物 ガラス ガラス止め材 _____) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。行わない</p> <p>3 改修工法 (5.1.3)</p> <p>既存建具を新規建具に改修する場合</p> <p>かぶせ工法 (カバー工法 持出し工法 ノンシール工法)</p> <p>撤去工法 (はつり工法 引き抜き工法)</p> <p>新規に建具を設置する場合</p> <p>新規建具を設ける壁の開口方法 図示による</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による</p> <p>4 防火戸 (5.1.4)</p> <p>図示による</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 連動させる (建具表による _____)</p> <p>連動させない</p> <p>5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)</p> <p>建具見本の製作 行う (建具番号 _____)</p> <p>特殊な建具の仮組 行う (建具番号 _____)</p> <p>ブラインドボックス等の再使用 (_____)</p> <p>6 防犯建物部品 (5.1.7)</p> <p>開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドア 適用箇所 (_____) ・ サッシ 適用箇所 (_____) ・ シャッター 適用箇所 (_____) <p>7 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.5)</p> <p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S-4</td> <td>S-5</td> <td>S-6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>A-3</td> <td>A-4</td> <td>A-4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W-4</td> <td>W-5</td> <td>W-5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td>図示</td> <td>70</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>表面処理 (表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>色</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>B/B-1種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>B/B-2種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 図示による ○ _____</p> <p>水切り、ぜん板等 図示による ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S-4	S-5	S-6	気密性	A-3	A-4	A-4	水密性	W-4	W-5	W-5	特見込み(mm)	図示	70	100	種 別	色	施 工 箇 所	B/B-1種	標準 特注	図示による	B/B-2種	標準 特注	図示による		標準 特注			標準 特注			標準 特注		5	<p>8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)</p> <p>防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製</p> <p>ステンレス製 (SUS316)</p> <p>外部可動式 固定式</p> <p>形式 _____</p> <p>線径、網目 0.25mm以上、16-18メッシュ _____</p> <p>防鳥網 設置する</p> <p>9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)</p> <p>外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S-4</td> <td>S-5</td> <td>S-6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A-4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W-4</td> <td colspan="2">W-5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 T-1 T-2 _____</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 H-4 H-5 H-6 H-7 H-8 _____</p> <p>ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス _____</p> <p>表面色 標準色 特注色 _____</p> <p>水切り、ぜん板等 図示による ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p> <p>10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○ _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修標準による)</p> <p>製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>鋼板類の厚さ 表5.4.2(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)</p> <p>_____ mm</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による</p> <p>11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) (5.5.4)</p> <p>簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A-3) 適用しない</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p> <p>鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板</p> <p>カラー鋼板</p> <p>鋼板類の厚さ 表5.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)</p> <p>_____ mm</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p> <p>標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 建具表による</p> <p>12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○ _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3 _____)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3 _____)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2 _____)</p> <p>ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 _____</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>表面仕上げ HL 鏡面仕上げ _____</p> <p>曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ _____</p>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S-4	S-5	S-6	気密性	A-4			水密性	W-4	W-5		特見込み(mm)	図示			5	<p>13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)</p> <p>マスターキーの製作 作成する (_____ グループ、各グループ _____ 個) 作成しない</p> <p>在来マスターキーに合わせる</p> <p>鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) _____</p> <p>鍵箱 無 有</p> <p>開き戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンダー錠</td> <td>握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金, (ステンレス, 黄銅)</td> <td>取付位置 (_____) 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>本締り錠</td> <td>シリンダー・カー: ステンレス</td> <td>実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金, (ステンレス, 黄銅)</td> <td>取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>レバー・ハンドル: 亜鉛合金 (ステンレス)</td> <td>取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度 (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>ステンレス, (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>カー・部: ステンレス (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口輪形ヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>カー・部: ステンレス (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・カー・部 (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・カー・部 (レバー型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: アルミニウム合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td>ステンレス, (鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)</td> <td>取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>上げ落とし (フランソ落し)</td> <td>亜鉛合金程度 (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アームストパー</td> <td>鋼 (加めめっき), (ステンレス)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度 (ステンレス, 黄銅)</td> <td>あおり止め付き</td> </tr> </table> <p>引戸 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>引戸用錠</td> <td></td> <td>木製建具の場合: シリンダー・カー等はステンレス 取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>クレセント</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td>取付位置 (_____)</td> </tr> <tr> <td>引手類</td> <td></td> <td>木製建具の場合: ステンレス (黄銅)</td> </tr> <tr> <td>戸車 (上吊りの場合を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>レール (上吊りの場合を除く)</td> <td>ステンレス, (アルミニウム合金 黄銅)</td> <td>黄銅は木製建具用のみ</td> </tr> </table> <p>窓 (表5.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>クレセント・調整器・ヒンジ等</td> <td>建具製作所の仕様による。</td> <td></td> </tr> </table> <p>金属製建具用丁番 表 5.8.2による _____</p> <p>樹脂製建具用丁番 表 5.8.3による _____</p> <p>14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) (5.9.3)</p> <p>駆動装置及び検出装置の性能</p> <p>引き戸用駆動装置性能値</p> <p>改修標準 表5.9.1による (SSSL-1 SSSL-2 DSLD-1 DSLD-2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類・開閉方式</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置性能値</p> <p>改修標準 表5.9.2による</p> <table border="1"> <tr> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンダー錠	握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 (_____) 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード	本締り錠	シリンダー・カー: ステンレス	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード	空錠	握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 (_____)	グレモン錠	レバー・ハンドル: 亜鉛合金 (ステンレス)	取付位置 (_____)	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度 (ステンレス)		丁番	ステンレス, (黄銅)		ピボットヒンジ	カー・部: ステンレス (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口輪形ヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	カー・部: ステンレス (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ・カー・部 (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き	ヒンジ・カー・部 (レバー型)	鋼 (焼付け塗装)		ドアクローザー	本体: アルミニウム合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器	ステンレス, (鋼)		押棒・押板	(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)	取付位置 (_____)	上げ落とし (フランソ落し)	亜鉛合金程度 (ステンレス)		アームストパー	鋼 (加めめっき), (ステンレス)		戸当り	亜鉛合金程度 (ステンレス, 黄銅)	あおり止め付き	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	引戸用錠		木製建具の場合: シリンダー・カー等はステンレス 取付位置 (_____)	クレセント	建具製作所の仕様による。	取付位置 (_____)	引手類		木製建具の場合: ステンレス (黄銅)	戸車 (上吊りの場合を除く)			レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス, (アルミニウム合金 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	クレセント・調整器・ヒンジ等	建具製作所の仕様による。		種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源							耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源					
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																																																																							
耐風圧性	S-4	S-5	S-6																																																																																																																																																																							
気密性	A-3	A-4	A-4																																																																																																																																																																							
水密性	W-4	W-5	W-5																																																																																																																																																																							
特見込み(mm)	図示	70	100																																																																																																																																																																							
種 別	色	施 工 箇 所																																																																																																																																																																								
B/B-1種	標準 特注	図示による																																																																																																																																																																								
B/B-2種	標準 特注	図示による																																																																																																																																																																								
	標準 特注																																																																																																																																																																									
	標準 特注																																																																																																																																																																									
	標準 特注																																																																																																																																																																									
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																																																																							
耐風圧性	S-4	S-5	S-6																																																																																																																																																																							
気密性	A-4																																																																																																																																																																									
水密性	W-4	W-5																																																																																																																																																																								
特見込み(mm)	図示																																																																																																																																																																									
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																								
シリンダー錠	握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 (_____) 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																																																																																								
本締り錠	シリンダー・カー: ステンレス	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																																																																																								
空錠	握り玉: ステンレス レバー・ハンドル: アルミニウム合金, (ステンレス, 黄銅)	取付位置 (_____)																																																																																																																																																																								
グレモン錠	レバー・ハンドル: 亜鉛合金 (ステンレス)	取付位置 (_____)																																																																																																																																																																								
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																																																																									
点検口錠	亜鉛合金程度 (ステンレス)																																																																																																																																																																									
丁番	ステンレス, (黄銅)																																																																																																																																																																									
ピボットヒンジ	カー・部: ステンレス (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																																																																								
点検口輪形ヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																																																																																																								
フロアヒンジ	カー・部: ステンレス (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																																																																								
ヒンジ・カー・部 (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き																																																																																																																																																																								
ヒンジ・カー・部 (レバー型)	鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																																																																									
ドアクローザー	本体: アルミニウム合金 アーム部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																																																																									
閉鎖順位調整器	ステンレス, (鋼)																																																																																																																																																																									
押棒・押板	(ステンレス, 黄銅, 合成樹脂)	取付位置 (_____)																																																																																																																																																																								
上げ落とし (フランソ落し)	亜鉛合金程度 (ステンレス)																																																																																																																																																																									
アームストパー	鋼 (加めめっき), (ステンレス)																																																																																																																																																																									
戸当り	亜鉛合金程度 (ステンレス, 黄銅)	あおり止め付き																																																																																																																																																																								
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																								
引戸用錠		木製建具の場合: シリンダー・カー等はステンレス 取付位置 (_____)																																																																																																																																																																								
クレセント	建具製作所の仕様による。	取付位置 (_____)																																																																																																																																																																								
引手類		木製建具の場合: ステンレス (黄銅)																																																																																																																																																																								
戸車 (上吊りの場合を除く)																																																																																																																																																																										
レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス, (アルミニウム合金 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ																																																																																																																																																																								
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																								
クレセント・調整器・ヒンジ等	建具製作所の仕様による。																																																																																																																																																																									
種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																																																																																					
耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																																																																																						
備考																																																																																																																																																																										



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

建築改修工事 特記仕様書 - 4

縮尺

年月日 2025.03

図面 No

A-04

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
5 建具 改修 工事	<p>引き戸用検出装置性能値 改修標仕 表5.9.3による</p> <table border="1"> <tr> <td>放射無線周波数 電磁界耐性</td> <td>耐電圧</td> <td>防 錆</td> <td>防 滴</td> <td>電 源</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>戸の開閉方式 建具表による</p> <p>引き戸検出装置の種類 表 5.9.4 () による 建具表による</p> <p>タッチスイッチの種類 無線式タッチスイッチ 光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便房 大形押しボタンスイッチ 非接触スイッチ</p> <p>凍結防止措置 行う</p> <p>性能値等の区分 (表5.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>適用戸の総質量(kg)</td> <td>40以下</td> <td>40を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>手動開き力(N)</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> <tr> <td>手動閉じ力(N)</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> </table> <p>性能等</p> <p>品質・規格</p> <p>15 自閉式上吊り 引戸装置 (5.10.3)</p> <p>16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)</p> <p>種類 管理用シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 外壁用防火シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 屋内用防火シャッター (シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター (シャッターケース 設ける)</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa</p> <p>開閉方式 電動式(手動併用) 手動式</p> <p>電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3302</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> </table> <p>17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)</p> <p>開閉方式 電動式(手動併用) 手動式</p> <p>電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による</p> <p>耐風圧強度 Pa</p> <p>スラット</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> <td>形 状</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z06又はF06を満足するもの</td> <td rowspan="2">インターロッキング形 オーバーラッピング形</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3322</td> <td>AZ90を満足するもの</td> </tr> </table> <p>18 オーバーヘッド ドア (5.13.2) ~ (5.13.4)</p> <p>セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ アルミ-ガラスタイプ</p> <p>耐風圧性能 Pa</p> <p>開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式</p> <p>電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による</p> <p>収納形式 スタンダード形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形</p> <p>ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板</p> <p>19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種類等</th> <th>種 別</th> <th>種類等</th> </tr> <tr> <td>フロートガラス</td> <td></td> <td>強化ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>浮板ガラス</td> <td></td> <td>熱線吸収ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網入板ガラス</td> <td></td> <td>複層ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線入板ガラス</td> <td></td> <td>熱線反射ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合わせガラス</td> <td></td> <td>倍強度ガラス</td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラス溝の大きさ (図5.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>面クリアランス</th> <th>エッジクリアランス</th> <th>掛り代</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム建具</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	放射無線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源						適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの	手動開き力(N)	15以下	20以下	手動閉じ力(N)	15以下	20以下	材 質	めっきの付着量	JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの	JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの	材 質	めっきの付着量	形 状	JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバーラッピング形	JIS G 3322	AZ90を満足するもの	種 別	種類等	種 別	種類等	フロートガラス		強化ガラス		浮板ガラス		熱線吸収ガラス		網入板ガラス		複層ガラス		線入板ガラス		熱線反射ガラス		合わせガラス		倍強度ガラス		種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	鋼製建具				ステンレス建具				<p>20 ガラス留め材 (5.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>建 具 の 種 類</th> <th>材 質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>シーリング材(SR-1) グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>鋼製・鋼製軽量・ステンレス製</td> <td>シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>パテ(木製用)</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。</p> <table border="1"> <tr> <th>寸 法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色 調</th> <th>パ タ ー ン</th> <th>防 火 認 定</th> </tr> <tr> <td>x</td> <td>図示</td> <td>クリア 乳白</td> <td>か() 熱線反射</td> <td>なし あり</td> </tr> </table> <p>品質規格はJIS A5212 による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>21 ガラスブロック (5.14.5)</p> <p>壁用金属枠及び補強材</p> <p>力骨 材質 SUS304</p> <p>寸法・形状 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋</p> <p>シーリング 表3.7.1による SR-1 PS-1</p> <p>化粧目地モルタルの色 白 グレー</p> <p>金属製化粧カバー 材質 SUS304</p> <p>寸法・形状 図示による</p> <p>目地幅の寸法</p> <p>平積みの場合 8mm以上、15mm以下</p> <p>曲面積みの場合 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径はガラスブロックの幅寸法の10倍以上)</p> <p>伸縮調整目地の位置 6m以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。</p> <p>22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率の種別 A種 B種</p> <p>代用樹種の適用 可 不可</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>フラッシュ戸</p> <p>表面材のホルムアルデヒド放散量等 改修標仕5.7.2(イ)(a)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規 格 等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>普通合板</td> <td>表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MDF</td> <td>接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ 図示による (表5.7.6)</p> <p>引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する</p> <p>かまち戸</p> <p>かまち樹種 () 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 36mm</p> <p>ふすま</p> <p>張りの種別 型 型</p> <p>上張り(押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度</p> <p>見込み寸法 19.5mm</p> <p>戸ぶすま</p> <p>表面板の仕上 図示による</p> <p>見込み寸法 30mm</p> <p>紙張り障子</p> <p>見込み寸法 30mm</p> <p>23 ポリカーボネイト 樹脂板</p> <p>種類</p> <p>厚さ mm</p>	建 具 の 種 類	材 質	アルミニウム製	シーリング材(SR-1) グレイジングチャンネル	樹脂製	グレイジングチャンネル	鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種	木製	パテ(木製用)	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定	x	図示	クリア 乳白	か() 熱線反射	なし あり	合板の種類	規 格 等	備 考	普通合板	表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)		天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)		特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板		MDF	接着の程度 (1種 2種)		<p>6 内装 改修 工事</p> <p>揮発性有機化合物 対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2)(6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)</p> <p>2 他部分との 取り合い等 (6.1.3)</p> <p>3 既存床の撤去等 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>工 法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>ビニル床シート等</td> <td>下地材の除去</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂塗床材</td> <td>機械的除去工法 目荒し工法</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>フローリング張り床材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床組</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。</p> <p>4 既存壁の撤去等 (6.3.2)</p> <p>間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修標仕4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)</p> <p>5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下)</p> <p>以下に規定されているものは、その規定による。</p> <p>JAS 1083(製材)に基づく製材</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含 水 率</th> <th>保 存 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2級</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含 水 率</th> <th>保 存 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無節</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>上小節</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>小節</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>並</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含 水 率</th> <th>保 存 処 理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>特等</td> <td>10%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 1083(製材)以外の製材 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含 水 率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A種 B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>6 内装 改修 工事</p> <p>使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマイルズ®C02京都の木認証書(京都府産木材証明書及びウッドマイルズ®C02計算書)(注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都府産木材(KTS)材を使用する場合は、京都府産木材(KTS)材証明書(発行機関: (一社) 京都府木材組合連合会)を提出すること。</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>見付材面数</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> <p>化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>寸法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面数</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧材</td> <td>芯材</td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含 水 率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table> <p>化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧樹種名</th> <th>芯材樹種名</th> <th>寸法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含 水 率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table> <p>JAS 0701(単板積層材)に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>寸 法</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> </table> <p>JAS 0701(単板積層材)以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>寸 法</th> <th>表面の品質</th> <th>含 水 率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工</td> <td>14%以下</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> </table> <p>JAS 3079(直交集成材)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>曲げ性能 (強度等級)</th> <th>種 別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板等</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>押入れ、 物入れ</td> <td></td> <td>5.5mm</td> <td></td> <td>1類 2類</td> <td>広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上</td> <td>防虫処理 難燃処理 防炎処理</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>等級</th> <th>厚 さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>豊床下 地材、70- リッパ張 り下地材</td> <td></td> <td>2級 以上</td> <td>12mm</td> <td></td> <td>1類 特類</td> <td>C-D 以上</td> <td></td> <td>防虫処理 強度等級</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 特類</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧板に使用する 単板の樹種名</th> <th>厚 さ</th> <th>接着程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 2類</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 目</th> <th>厚 さ</th> <th>接着程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工 の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	工 法	施 工 箇 所	ビニル床シート等	下地材の除去	図示による	合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による	フローリング張り床材			床タイル			床組			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含 水 率	保 存 処 理				1級						2級			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含 水 率	保 存 処 理				無節						上小節						小節						並			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含 水 率	保 存 処 理				特等	10%以下					1等						2等			使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含 水 率				A種 B種			使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質						1等 2等	使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質			化粧材	芯材			1等 2等	使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含 水 率					15%以下	使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含 水 率							15%以下	使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防虫処理				表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない	使用箇所	寸 法	表面の品質	含 水 率	防虫処理			表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない	施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸 法 (mm)								使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理	押入れ、 物入れ		5.5mm		1類 2類	広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上	防虫処理 難燃処理 防炎処理	使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	豊床下 地材、70- リッパ張 り下地材		2級 以上	12mm		1類 特類	C-D 以上		防虫処理 強度等級	使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理						1類 特類	使用箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚 さ	接着程度	防虫処理					1類 2類	使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工 の方法	防虫処理								<p>備 考</p> <p>中村</p> <p>NEO</p> <p>一般建築士事務所 株式会社 NEO設計 一般建築士登録 第187781号 中村剛正</p> <p>工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事</p> <p>図面名称 建築改修工事 特記仕様書 - 5</p> <p>縮尺 年月日 2025.03</p> <p>図面 No A-05</p>
放射無線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
手動開き力(N)	15以下	20以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
手動閉じ力(N)	15以下	20以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材 質	めっきの付着量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
材 質	めっきの付着量	形 状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバーラッピング形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
JIS G 3322	AZ90を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 別	種類等	種 別	種類等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
フロートガラス		強化ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
浮板ガラス		熱線吸収ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
網入板ガラス		複層ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
線入板ガラス		熱線反射ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
合わせガラス		倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鋼製建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ステンレス建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
建 具 の 種 類	材 質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アルミニウム製	シーリング材(SR-1) グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
樹脂製	グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
木製	パテ(木製用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
x	図示	クリア 乳白	か() 熱線反射	なし あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
合板の種類	規 格 等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
普通合板	表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
MDF	接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 別	工 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ビニル床シート等	下地材の除去	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
フローリング張り床材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
床タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
床組																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含 水 率	保 存 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			1級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			2級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含 水 率	保 存 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			無節																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			上小節																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			小節																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			並																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含 水 率	保 存 処 理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			特等	10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			1等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含 水 率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					1等 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		化粧材	芯材			1等 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含 水 率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含 水 率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
						15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
使用箇所	寸 法	表面の品質	含 水 率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
押入れ、 物入れ		5.5mm		1類 2類	広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上	防虫処理 難燃処理 防炎処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
豊床下 地材、70- リッパ張 り下地材		2級 以上	12mm		1類 特類	C-D 以上		防虫処理 強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					1類 特類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚 さ	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				1類 2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工 の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																													
6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>13Pタイプ又は13Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>M.D.F</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つばし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1【鉄鋼の垂鉛めっきの種類】のF種程度の垂鉛めっきを施したもの</p> <p>防蟻・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理</th> </tr> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>K2 K3 K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K2 K3 K4</td> </tr> </table> <p>薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>薬剤の製造所の仕様による</td> <td>JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位 _____ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲:ラワン材等 「製材の日本森林規格」による保存処理 K1) 行わない</p> <p>軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)</p> <p>野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1) 屋外 19型 25型</p> <p>野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm 周辺部の端からの寸法 _____ mm 野縁の間隔 _____ mm</p> <p>はずれ留め補強 有り 無し 既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 行う(___箇所以上、___箇所) 行わない</p> <p>開口補強 つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____ 天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) 改修標仕6.6.4(8)による _____ (3mを超える) 図示による _____</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 _____ スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p> <p>8 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル 張り (6.8.2)</p> <p>ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>工 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td>T S</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">無地</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>F S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td>H S</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">マーブル柄物</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>K S</td> </tr> </table>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理		適用部材	保存処理性能区分		K2 K3 K4		K2 K3 K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所	発泡無	単層ビニル床シート	T S	2.5	無地	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	F S	発泡有	発泡複層ビニル床シート	H S	2.0	マーブル柄物			クッションフロア	K S	6 内装改修工事	<p>カーベット敷き (6.9.2) ~ (6.9.3)</p> <p>タフテッドカーベット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グリッド-工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーベット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループバイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td>映写調光室</td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーベットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p> <p>10 合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3)</p> <p>厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 平滑仕上げ 防汚仕上げ つや消し仕上げ 塗厚(mm) _____ エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのべ工法 (平滑 防汚) 厚膜流しのべ工法 (平滑 防汚) 樹脂モルタル工法 (平滑 防汚)</p> <p>薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F _____</p>	バイル形状	バイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所			グリッド-工法 全面接着工法	適用		種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所	一種	ループバイル	500×500	6.5	映写調光室	二種					6 内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大 小</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">フローリング A種1等</td> <td rowspan="3">なら</td> <td>15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>表6.11.5</td> <td>直張り工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">フローリング B種1等</td> <td rowspan="2">なら</td> <td>8</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td rowspan="2">防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td>接着工法</td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">1×6タイプ フローリング ボードタイプ</td> <td rowspan="2">なら</td> <td>8</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="2">A種 B種 C種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直張り工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形)B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>畳敷き 種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) 衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2) _____</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか F _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか F _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード(GB-R)</td> <td>12.5(不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード(GB-D)</td> <td>杉板模様</td> <td>12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不燃積層せっこうボード(GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様</td> <td rowspan="2">9.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>模様なし</td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード(GB-S)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード(GB-F)</td> <td>21(不燃)</td> <td>15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸音あなあきせっこうボード(GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td rowspan="3">内部用</td> <td>フラット</td> <td>12(不燃)</td> <td>9(不燃)</td> </tr> <tr> <td>立体模様</td> <td>15(不燃)</td> <td>12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>軒天用</td> <td>フラット</td> <td>12(不燃)</td> <td>9(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>立体模様</td> <td>15(不燃)</td> <td>12(不燃)</td> </tr> </table> <p>けい酸カルシウム板(0.8FK) タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0 メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による 1.2 難燃木毛セメント板 30 25 20 15 断熱木毛セメント板 30 25 20 15 火山性ガラス質被覆層 研磨品 (3 6 9 9.5 ____) 無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)</p> <p>普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種 板面の品質 防虫処理 行う</p> <p>天然木化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う</p> <p>特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う</p> <p>その他下張り用合板 _____</p> <p>合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 せっこうボードの目地処理 (表6.13.5) 縦目処理 突付け 目透かし 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5) ペベルエッジ スクエアエッジ</p>	種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考	フローリング A種1等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法		12	表6.11.3	根太張り工法	8	表6.11.5	直張り工法	フローリング B種1等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	15		接着工法	種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考	1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種		15	根太張り工法				直張り工法						接着工法			種 類	規 格	厚 さ (mm) 等	せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)	化粧せっこうボード(GB-D)	杉板模様	12.5(不燃)	不燃積層せっこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様	9.5(不燃)	模様なし	シーリングせっこうボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)	25		グラスウール吸音ボード(GW-B)	25		吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)		ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット	12(不燃)	9(不燃)	立体模様	15(不燃)	12(不燃)	軒天用	フラット	12(不燃)	9(不燃)			立体模様	15(不燃)	12(不燃)	6 内装改修工事	<p>壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施 行 箇 所</th> <th>防火性能</th> <th>品 質 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td>不燃</td> <td>ビニル貼付</td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5) せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>天井廻り縁</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調査材料 既調査材料(_____) 既製目地材 設ける (形状 _____) 床目地 設ける 設けない 目地の種類 押目地 _____ 目地割り 2m程度 _____ 最大目地間隔 3m程度 _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____ 壁面 図示による _____ タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類 施工箇所・形状・タイルの種類 寸法(mm) 生地 釉薬 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 工法 その他</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せっ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せっ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せっ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 既調査モルタル _____ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 _____</p> <p>18 セルフレベリング 材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚(mm) 10 15 _____</p>	施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格		不燃	ビニル貼付			磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し	有り 無し	標準 特注			磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し	有り 無し	標準 特注			磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し	有り 無し	標準 特注	7 塗装改修工事	<p>7 塗装改修工事</p> <p>7.1.3 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____</p> <p>7.2.1 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗装で下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1)~(表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">不透明塗料塗りの場合はR B種 R C種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">R B種 R C種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">亜鉛めっき鋼面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">R B種 R C種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">モルタル及び せっこうラスク面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">R B種 R C種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート面及び A L Cパネル面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">R B種 R C種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート面及び 押出成形物面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">R B種 R C種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">せっこうボード及び その他ボード面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">R B種 R C種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> </table>	素 地	種 別	備 考	木部	R A種	不透明塗料塗りの場合はR B種 R C種	R C種	R B種	鉄鋼面	R A種	R B種 R C種	R C種	R B種	亜鉛めっき鋼面	R A種	R B種 R C種	R C種	R B種	モルタル及び せっこうラスク面	R A種	R B種 R C種	R C種	R B種	コンクリート面及び A L Cパネル面	R A種	R B種 R C種	R C種	R B種	コンクリート面及び 押出成形物面	R A種	R B種 R C種	R C種	R B種	せっこうボード及び その他ボード面	R A種	R B種 R C種	R C種	R B種
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																	
	15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																		
使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																		
使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																															
薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																			
	K2 K3 K4																																																																																																																																																																																																																																																																			
	K2 K3 K4																																																																																																																																																																																																																																																																			
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																		
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																														
発泡無	単層ビニル床シート	T S	2.5	無地	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																																																																																														
	複層ビニル床シート	F S																																																																																																																																																																																																																																																																		
発泡有	発泡複層ビニル床シート	H S	2.0	マーブル柄物																																																																																																																																																																																																																																																																
	クッションフロア	K S																																																																																																																																																																																																																																																																		
バイル形状	バイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																
		グリッド-工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																
一種	ループバイル	500×500	6.5	映写調光室																																																																																																																																																																																																																																																																
二種																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																															
フローリング A種1等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法																																																																																																																																																																																																																																																																
		12	表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																
		8	表6.11.5	直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																
フローリング B種1等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																															
		15		接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																
種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																															
1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																
		15	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																	
			直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																	
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	規 格	厚 さ (mm) 等																																																																																																																																																																																																																																																																		
せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																		
化粧せっこうボード(GB-D)	杉板模様	12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																		
不燃積層せっこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様	9.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																		
	模様なし																																																																																																																																																																																																																																																																			
シーリングせっこうボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																		
強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																		
ロックウール吸音ボード(RW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																			
グラスウール吸音ボード(GW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																			
吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																			
ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット	12(不燃)	9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																
		立体模様	15(不燃)	12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																
		軒天用	フラット	12(不燃)	9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																															
		立体模様	15(不燃)	12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																
施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格																																																																																																																																																																																																																																																																		
	不燃	ビニル貼付																																																																																																																																																																																																																																																																		
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し	有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																														
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し	有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																														
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し	有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																														
素 地	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																		
木部	R A種	不透明塗料塗りの場合はR B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																		
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																			
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																			
鉄鋼面	R A種	R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																		
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																			
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																			
亜鉛めっき鋼面	R A種	R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																		
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																			
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																			
モルタル及び せっこうラスク面	R A種	R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																		
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																			
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																			
コンクリート面及び A L Cパネル面	R A種	R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																		
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																			
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																			
コンクリート面及び 押出成形物面	R A種	R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																		
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																			
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																			
せっこうボード及び その他ボード面	R A種	R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																		
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																			
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																			
備考																																																																																																																																																																																																																																																																				



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

建築改修工事 特記仕様書 - 6

縮尺

年月日 2025.03

図面 No

A -06

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																					
8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	<p>摩擦面の処理 ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上) りん酸塩処理 図示による() すべり耐力等の確認方法 試験方法等 図示による () (対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する)</p>	8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	15 耐火被覆 (8.18.2)~(8.18.9)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">種別</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入ケイ酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5mm厚の珪藻土塗り</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p>	種別			種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール		耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板		耐火材巻付け	高断熱ロックウール		5mm厚の珪藻土塗り	-		耐火塗料			8-6 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)	1 補強工法	<p>新設耐震壁 増打ち耐震壁 開口部閉鎖壁 新設袖壁 製造所及び専門業者 ()</p>	8-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)	3 既存部分の処理 (8.22.3)	<p>目荒しの程度 図示による 本特記仕様書8-6-3による。</p>
	種別																															
	種類	材料・工法		適用箇所(部位・部分)																												
	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール																														
	耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板																														
	耐火材巻付け	高断熱ロックウール																														
	5mm厚の珪藻土塗り	-																														
	耐火塗料																															
	6 溶接材料 (8.2.10)	<p>溶接材料 改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による 図示による ()</p>		16 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	2 既存部分の撤去 (8.21.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p>	4 既存構造体との取合い (8.22.7)	<p>割裂補強筋 以下のスバイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による</p>																								
	7 スタッド (8.2.11)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類等			呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			17 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	3 既存部分の処理 (8.21.3)	<p>目荒しの程度 既存柱・梁 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による</p> <p>壁(増打ち壁増設の場合) 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による</p>	5 仕上げ (8.22.9)	<p>図示による ()</p>									
	種類等																															
	呼び名	呼び長さ(mm)		適用箇所																												
	・16																															
	・19																															
・22																																
8 工作図 (8.13.2)	<p>高力ボルト、普通ボルト及びアカボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)</p>	18 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)	<p>割裂補強筋 「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 M10鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による</p> <p>開口付増設壁の開口端部鉄筋及び増設そで壁の端部横筋 ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き 図示による</p>	1 補強工法	<p>溶接金網巻き工法 鋼板巻き工法 連続繊維補強工法</p> <p>溶接閉鎖フープ巻き工法 帯板巻き付け工法</p>																										
9 ボルト孔 (8.13.8)	<p>母屋又は鋼縁の取付けに使用する普通ボルトの孔型 ねじの呼び径 +1.0 mm ()</p>	19 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)	<p>流込み工法 圧入工法</p> <p>8.19.9の方法による他、以下に注意する 開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚い場合) 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) 図示による</p>	2 既存部分の撤去 (8.23.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 図示による</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p>																										
10 仮組	<p>実施する 部位() 実施しない</p>	20 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	6 既存構造体との取合い (8.21.9)	<p>図示による ()</p>	3 既存部分の処理 (8.23.3)(8.24.3)	<p>目荒し程度 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による</p> <p>柱及び梁の成型(連続繊維補強工法) 支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(30R) 図示による</p>																										
11 技能資格者	<p>溶接作業者の技量付加試験 行わない 行う 試験の要領 図示による ()</p>	21 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	7 仕上げ(8.21.10)	<p>図示による ()</p>	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)	<p>柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ _____ mm 打込みの工法 流込み工法 圧入工法</p>																										
12 溶接接合 (8.15.4)(8.15.7)	<p>開先の形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による () 鋼製エンドタブの切断 有 無 切断する箇所及び切断範囲 図示による () 切断面の仕上げ グラインダーにより、粗さ 100μm Rz 程度以下及びノッチ深さ 1mm 程度以下に仕上げる</p> <p>スカラップの形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 改良型スカラップ</p>	22 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	1 補強工法	<p>内側補強工法 枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース 枠付き鉄骨類杖付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース 枠付き開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル 製造所及び専門業者 ()</p> <p>外側補強工法 枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法 製造所及び専門業者 ()</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の珪藻土剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm</p>																										
13 溶接部の試験 (8.15.12)	<p>H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強」(独立行政法人建築研究所)3.5.2による受入検査 抜き取り検査 抜き取り検査</p> <p>JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深層試験の試験箇所と同一とする。 外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>浸透探傷試験(JIS Z 2343-1) 磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1) 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数 検査水準 第6水準 第__水準 現場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数</p>	23 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	2 既存部分の撤去 (8.22.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p>																												
14 錆止め塗料 (7.4.2)(8.17.2)(8.17.4)	<p>塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 表7.4.1による A種 B種 C種 O種 D種 E種</p> <p>亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表7.4.2による A種 B種 C種</p> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表7.4.1による A種 B種 C種 O種 D種 E種</p> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外への塗装 行わない 行う (塗装範囲 図示による ())</p>	24 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	1 補強工法	<p>内側補強工法 枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース 枠付き鉄骨類杖付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース 枠付き開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル 製造所及び専門業者 ()</p> <p>外側補強工法 枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法 製造所及び専門業者 ()</p>																												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
8-8	耐震補強工事(柱補強工事)	6 連続繊維補強工法 (8.2.13) (8.24.6)	工法 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法	8-10	耐震補強工事(免震改修)	4 仕上げ (8.26.13)	図示による	8-12	耐震補強工事(基礎工事)	1 既存部分の処理等 (8.28.2)	既存杭の撤去等 撤去範囲及び方法 図示による () 杭頭部の処理 図示による () 既存杭の補強 図示による () 既存杭の健全性を確認する試験 図示による ()	9	ユニット及びその他の工事	3 可動間仕切 (20.2.3)	種 類 構造形式 構成基材 表面仕上 遮音性 寸法・形状 パネル式 スタッド式 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F
		7 仕上げ (8.23.7) (8.24.7)	図示による			2 埋戻し及び盛土 (8.28.3)	埋戻し及び盛土の種類 改修標準仕様書8.28.1による A種適用箇所 () B種適用箇所 () C種適用箇所 ()土質 ()受渡場所 () D種 (細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所 () その他 (材料 工法) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための鋼矢板等の抜き筋の処理 図示による 山留め壁等の存置箇所 (図示)			4 移動間仕切 (20.2.4)	パネル操作方法による種類/パネル表面材・仕上/パネル圧接装置の操作方法/遮音性能				
8-9	耐震補強工事(耐震スリット)	1 耐震スリット新設工事 (8.25.2)	方 向 垂直方向 完全(全貫通型)スリット 水平方向 せん断型部分スリット 耐火性能 耐火型 防水性能 有り 無し	8-11	耐震補強工事(制振改修)	1 既存部分の撤去 (8.27.2)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	9	ユニット及びその他の工事	3 杭地業 (8.2.15) (8.28.4)	支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施行方法等 図示による () 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施行方法 図示による () 杭の継手の箇所数、材料、工法等 図示による () 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による () 溶接部の確認 図示による () 杭頭の処理 処理する 処理しない 処理方法(切断ともなう補強方法含む) 図示による () 杭頭の中詰め材料 基礎のコンクリートと同調のもの	5 トイレブース (20.2.5)	表面材 メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 輪木型 足金物型 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F ドアエッジの材質 トイレブース製造所の仕様による		
		既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄筋の処理 是つり出し 切断 存置(部分スリット) 耐震スリットの幅及び深さ 図示による 耐震スリットの充填材 耐火材の使用 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による 遮音材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による 既存部分の撤去の補修 図示による	2 既存部分の撤去 (8.27.2)			既存部分が鉄骨造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の撤去 範囲 図示による 方法 図示による 既存鉄骨の処置方法	4 砂利地業等 (8.2.15)			材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利厚さ 60mm 砂地業 山砂 川砂 砕砂	6 手すり (20.2.6)	SUS304(表面処理 HL程度) 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (表14.2.2)による種別()種) アルミニウム 表面処理 (表14.2.1)による種別()種) 種別 ()種 ()種 色合等 標準色() 特注色()			
8-10	耐震補強工事(免震改修)	1 既存部分の撤去 (8.26.5)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	8-11	耐震補強工事(制振改修)	2 既存部分の処理 (8.27.3)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。	9	ユニット及びその他の工事	5 捨コンクリート地業 (8.28.4)	捨コンクリートの厚さ 50mm	9	ユニット及びその他の工事	1 家具、エント等の揮発性有機化合物対策	収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及びH・ナイロ®等 [※] 等のホルムアルデヒド等の放散量 F 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤ホルムアルデヒド等の放散量 F 含まれる可塑剤 フタル酸 [※] 等含有しない、難揮発性のもの
		2 既存部分の処理 (8.26.6)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。			3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 スリット筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に 縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチ の1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による			1 家具、エント等の揮発性有機化合物対策	建設技術評価制度「耐震型アークアートの開発」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止 漏えい抵抗 映写調光室 500角 120 30000/m ²			7 階段滑り止め (20.2.7)	材種 ステンレス製(SUS304) 幅 約35mm 形状 ビニルタイヤ入り 両端フック付あり(ビニル SUS304) 取付工法 接着工法 埋込み工法
8-10	耐震補強工事(免震改修)	3 支承材・減衰材 (8.26.7) (8.26.10)	支承材 材質 諸元 減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 スリット筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による	8-11	耐震補強工事(制振改修)	4 仕上げ (8.27.8)	図示による	9	ユニット及びその他の工事	フリートアクセスフロア (20.2.2)	スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 図示による コンセント等の取付け 製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事) 対応品又は工場加工品(施工箇所は図示) 空調用吹き出しパネル あり(固定式 可変式 施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕19章内装工事による。 フリートアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 耐衝撃性能 ローリングロード性能 耐燃焼性能	8 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	黒板 焼付け 鋼製黒板 緑 曲面 ホワイトボード ほうろう黒板 黒 スクリーン付引分け ほうろう白板 白 曲面 スクリーン付引分け 額縁金属 アルミ製(表面処理の種別 B-2 B-1) 品質・規格		
		4 仕上げ (8.27.8)	図示による			5 検査 (8.27.9)	項目 数量			9 鏡 (20.2.10)	厚さ(mm) 5				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																				
9	ユニット及びその他の工事	10 表示・標識 (20.2.11)	衝突防止表示 図示による(市販品 ステンレス製 径 30 mm _____) なし 法令に基づく表示 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。	9	ユニット及びその他の工事	20 掲示板	<table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>材</th> <th>質</th> <th>表面の材質</th> <th>照器具</th> <th>施錠</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>アルミ製 (B-2)</td> <td>スチール製 (SUS304)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>アルミ製 (B-2)</td> <td>スチール製 (SUS304)</td> <td></td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td></td> </tr> </table>	種	材	質	表面の材質	照器具	施錠	品質・規格	屋内	アルミ製 (B-2)	スチール製 (SUS304)		—	—		屋外	アルミ製 (B-2)	スチール製 (SUS304)		あり	あり		9	舗装工事	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)	<table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>部 位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>加熱系アスファルト混合物</td> <td>添加材 着色骨材 自然石</td> <td>車路</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>結合材 アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)</td> <td>歩行者用通路</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>アスファルト混合物等の抽出試験 適用する 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の厚さ _____ mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系ニート工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系塗布工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種	類	部 位	配合その他	加熱系アスファルト混合物	添加材 着色骨材 自然石	車路			結合材 アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)	歩行者用通路			アスファルト混合物等の抽出試験 適用する 適用しない			舗装の厚さ _____ mm				常温系ニート工法				常温系塗布工法						
		種	材			質	表面の材質	照器具	施錠	品質・規格																																																					
		屋内	アルミ製 (B-2)			スチール製 (SUS304)		—	—																																																						
		屋外	アルミ製 (B-2)			スチール製 (SUS304)		あり	あり																																																						
		種	類			部 位	配合その他																																																								
		加熱系アスファルト混合物	添加材 着色骨材 自然石			車路																																																									
			結合材 アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)			歩行者用通路																																																									
			アスファルト混合物等の抽出試験 適用する 適用しない																																																												
		舗装の厚さ _____ mm																																																													
		常温系ニート工法																																																													
		常温系塗布工法																																																													
		11 タラップ (20.2.12)	材質及び仕上げ ○ SUS304 (スリッパ止め加工 あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (表14.2.2)による種別(C種 ___種)			21 カウンター	品質・規格 _____	11	舗装工事	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	<table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目 地</th> </tr> <tr> <td>普通平板(N)</td> <td>カラー平板(C)</td> <td>300角</td> <td>60</td> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>洗出平板(W)</td> <td>擬石(S)</td> <td></td> <td></td> <td>モルタル</td> </tr> </table>	種	類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地	普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂	洗出平板(W)	擬石(S)			モルタル																																					
		種	類			寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地																																																							
		普通平板(N)	カラー平板(C)			300角	60	砂																																																							
		洗出平板(W)	擬石(S)					モルタル																																																							
		12 ブラインド (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種 類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>バックレールの材質</th> </tr> <tr> <td>横形</td> <td>ギヤ式</td> <td>アルミ合金</td> <td>25</td> <td>鋼製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コード式</td> <td></td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <th>縦形</th> <th>種 類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>バックレールの材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td>2本操作コード式</td> <td>アルミ製</td> <td>80</td> <td>アルミ合金製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1本操作コード式</td> <td>アルミ製</td> <td>100</td> <td>アルミ合金製</td> </tr> </table>			形式	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	バックレールの材質	横形	ギヤ式	アルミ合金	25	鋼製		コード式		35		縦形	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	バックレールの材質		2本操作コード式	アルミ製			80	アルミ合金製		1本操作コード式	アルミ製	100	アルミ合金製	22 洗面カウンター	材 種 メラミン樹脂化粧板張り (芯材: 集成材) 人工大理石 (品質 図示) 奥行き (mm) 約450 約600	7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目 地</th> </tr> <tr> <td>普通平板(N)</td> <td>カラー平板(C)</td> <td>300角</td> <td>60</td> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>洗出平板(W)</td> <td>擬石(S)</td> <td></td> <td></td> <td>モルタル</td> </tr> </table>	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地	普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂	洗出平板(W)	擬石(S)			モルタル								
		形式	種 類			スラットの材質	スラット幅 (mm)	バックレールの材質																																																							
		横形	ギヤ式			アルミ合金	25	鋼製																																																							
			コード式				35																																																								
縦形	種 類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	バックレールの材質																																																											
	2本操作コード式	アルミ製	80	アルミ合金製																																																											
	1本操作コード式	アルミ製	100	アルミ合金製																																																											
種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目 地																																																												
普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂																																																											
洗出平板(W)	擬石(S)			モルタル																																																											
13 ロールスクリーン (20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>スプリング式</td> <td>ガラス繊維製</td> <td>製造所の仕様</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コード式</td> <td>合成・天然繊維製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電動式</td> <td>木製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等	スプリング式	ガラス繊維製	製造所の仕様	図示による		コード式	合成・天然繊維製				電動式	木製				23 流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部品寸法 (mm)</th> <th>規 格</th> <th>仕 様</th> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>トラップ付き</td> </tr> <tr> <td>コンロ台</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>バックガード有り</td> </tr> <tr> <td>吊戸棚</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>高さ 約500 mm</td> </tr> <tr> <td>水切り棚</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>ステンレス製 1段式</td> </tr> </table>	種 類	部品寸法 (mm)	規 格	仕 様	流し台		優良住宅部品	トラップ付き	コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り	吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500 mm	水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製 1段式	8 砂利敷き (22.9.2)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>基 層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>花崗岩</td> <td></td> <td>80~100</td> <td>うるご張り</td> <td>コンクリート版</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>アスファルト混合物</td> <td>50</td> </tr> </table>	種 類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	工 法	基 層	基層の厚さ (mm)	花崗岩		80~100	うるご張り	コンクリート版	70					アスファルト混合物	50
操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等																																																											
スプリング式	ガラス繊維製	製造所の仕様	図示による																																																												
コード式	合成・天然繊維製																																																														
電動式	木製																																																														
種 類	部品寸法 (mm)	規 格	仕 様																																																												
流し台		優良住宅部品	トラップ付き																																																												
コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り																																																												
吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500 mm																																																												
水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製 1段式																																																												
種 類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	工 法	基 層	基層の厚さ (mm)																																																										
花崗岩		80~100	うるご張り	コンクリート版	70																																																										
				アスファルト混合物	50																																																										
14 カーテン (20.2.16)	<table border="1"> <tr> <th>取付箇所</th> <th>形 式</th> <th>開閉操作方法</th> <th>カーテン用きれ地の</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>シングル引分</td> <td>電動</td> <td>つまみ</td> <td>フリット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダブル引分</td> <td>電動</td> <td>つまみ</td> <td>フリット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シングル引分</td> <td>電動</td> <td>つまみ</td> <td>フリット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダブル引分</td> <td>電動</td> <td>つまみ</td> <td>フリット</td> </tr> </table>	取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の	ひだの種類		シングル引分	電動	つまみ	フリット		ダブル引分	電動	つまみ	フリット		シングル引分	電動	つまみ	フリット		ダブル引分	電動	つまみ	フリット	24 非常用救助袋等	垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格 _____	9 白線引き	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>溶融式</th> <th>ペイント式</th> <th>幅 (cm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> </table>	種 類	溶融式	ペイント式	幅 (cm)				15																									
取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の	ひだの種類																																																											
	シングル引分	電動	つまみ	フリット																																																											
	ダブル引分	電動	つまみ	フリット																																																											
	シングル引分	電動	つまみ	フリット																																																											
	ダブル引分	電動	つまみ	フリット																																																											
種 類	溶融式	ペイント式	幅 (cm)																																																												
			15																																																												
15 カーテンレール (20.2.16)	材料 アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ステンレス 形式 片引き 引分け (暗幕用は300 mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 C型 D型 角型 強さによる区分 10-90 仕上げ アルマイト	25 鍵箱	市販品 形式 約下式 差込式 (30 60 120 _____) 組用(_____) 個	10	排水工事	1 一般事項 (9.1.1)	石綿含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 () 石綿含有保温材除去工事 石綿含有成形板等除去工事 石綿含有仕上塗材除去工事																																																								
16 ブラインドボックス カーテンボックス	図示による 市販品 (アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ (mm) 90×150 150×80 120×80 表面処理 C-1 (無着色) C-2 (着色)	26 車止め	<table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>材 質</th> <th>柱径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>上下鉄線内蔵型 (スリッパ付き)</td> <td>スチール製 (SUS304)</td> <td>76.3 t=2.0 114.3 t=2.5</td> <td>GL+700 GL+850</td> </tr> </table>	形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	上下鉄線内蔵型 (スリッパ付き)	スチール製 (SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850	11	舗装工事	2 仕上げ工事 (9.1.1)	石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示による																																																
形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																												
上下鉄線内蔵型 (スリッパ付き)	スチール製 (SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850																																																												
17 くつふきマット	材質 塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製 (SUS304) 受枠) 硬質アルミニウム合金 (受枠とも) ゴム製 (ステンレス製 (SUS304) 受枠)	27 フェンス	<table border="1"> <tr> <th>表 面 仕 上 等</th> <th>種 類</th> <th>門扉の仕様</th> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき</td> <td>樹脂塗装</td> <td>ツツコフス</td> </tr> <tr> <td>ビニル被覆</td> <td>ツツコフス</td> <td>ツツコフス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>片開き</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>両開き</td> </tr> </table>	表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様	亜鉛めっき	樹脂塗装	ツツコフス	ビニル被覆	ツツコフス	ツツコフス			片開き			両開き	11	舗装工事	1 一般事項 (9.1.1)	石綿含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 () 石綿含有保温材除去工事 石綿含有成形板等除去工事 石綿含有仕上塗材除去工事																																									
表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様																																																													
亜鉛めっき	樹脂塗装	ツツコフス																																																													
ビニル被覆	ツツコフス	ツツコフス																																																													
		片開き																																																													
		両開き																																																													
18 鋼製書架及び棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規 格 等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>鋼製書架</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>1種 2種 3種</td> </tr> <tr> <td>鋼製物品棚</td> <td>法務省型</td> <td>4種 5種 6種</td> </tr> </table>	種類	規 格 等	JISによる種類	鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	1種 2種 3種	鋼製物品棚	法務省型	4種 5種 6種	28 防煙垂れ壁	<table border="1"> <tr> <th>固定式</th> <th>材 質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>網入り磨き板ガラス</td> <td>6.8</td> <td>500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>線入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>可動式</th> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>不燃布 (不燃認定品)</td> <td>500 800</td> <td>ガイドレール 固定式 (壁押込型) 可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>回転降下式</td> <td>鋼板制又はアルミ製</td> <td>500 800</td> <td>表面仕上げ 天井材張り</td> </tr> </table>	固定式	材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考		網入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き		線入り磨き板ガラス				可動式	種 類	材 質	高さ (mm)	備 考		垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式 (壁押込型) 可動式 (天井収納型)		回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り	10	排水工事	2 仕上げ工事 (9.1.1)	石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示による																	
種類	規 格 等	JISによる種類																																																													
鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	1種 2種 3種																																																													
鋼製物品棚	法務省型	4種 5種 6種																																																													
固定式	材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考																																																											
	網入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き																																																											
	線入り磨き板ガラス																																																														
可動式	種 類	材 質	高さ (mm)	備 考																																																											
	垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式 (壁押込型) 可動式 (天井収納型)																																																											
	回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り																																																											
19 収納家具(木製)	材質、形状、寸法 図示による 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____	10 排水工事	<p>本章の項目及び特記事項の()内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(令和4年版)の該当項目、該当図又は該当表を示す。</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種 (表21.2.1)</th> <th>管 の 種 類</th> <th>呼び径</th> <th>基床の厚さ</th> </tr> <tr> <td>遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>V P V U R S - V U</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質ポリ塩化ビニル継手</td> <td>D V V U継手</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>凍上抑制層に用いる材料 砂 (砂の粒度試験) _____</p> <p>側塊の形状および寸法 図示による _____ 排水柵の種類 図示による _____</p> <p>鋼鉄製マンホールふたの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> <th>適 用 荷 重 (安全荷重)</th> </tr> <tr> <td>水封形 密閉形(フタハッチ式)</td> <td>T-2用(5KN) T-6用(115KN)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中蓋付密閉形 簡易密閉形(フタハッチ式)</td> <td>T-20用(50KN)</td> <td></td> </tr> </table>	材 種 (表21.2.1)	管 の 種 類	呼び径	基床の厚さ	遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)			硬質ポリ塩化ビニル管	V P V U R S - V U			硬質ポリ塩化ビニル継手	D V V U継手			種 類	種 類	適 用 荷 重 (安全荷重)	水封形 密閉形(フタハッチ式)	T-2用(5KN) T-6用(115KN)		中蓋付密閉形 簡易密閉形(フタハッチ式)	T-20用(50KN)		10	排水工事	1 一般事項 (9.1.1)	石綿含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 () 石綿含有保温材除去工事 石綿含有成形板等除去工事 石綿含有仕上塗材除去工事																															
材 種 (表21.2.1)	管 の 種 類	呼び径	基床の厚さ																																																												
遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)																																																														
硬質ポリ塩化ビニル管	V P V U R S - V U																																																														
硬質ポリ塩化ビニル継手	D V V U継手																																																														
種 類	種 類	適 用 荷 重 (安全荷重)																																																													
水封形 密閉形(フタハッチ式)	T-2用(5KN) T-6用(115KN)																																																														
中蓋付密閉形 簡易密閉形(フタハッチ式)	T-20用(50KN)																																																														
備 考																																																															



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称 宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称 建築改修工事 特記仕様書 - 10
縮尺 年月日 2025.03
図面 No A-10

章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																				
12 環境配慮改修工事	<p>3 石綿粉じん濃度測定(9.1.1)</p> <p>行う</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th colspan="3">測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>除去作業中</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>集じん・排気装置の出口吹出し風速1m/秒以下の位置</td> <td>各</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>除去作業室外</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td>シート養生中</td> </tr> <tr> <td>除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td>1週間以降</td> </tr> </table> <p>周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 <table border="1"> <tr> <th>測定場所</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>集じん・排気装置の排出口</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、H-TEK1000カッター</td> </tr> <tr> <td>除去作業室外</td> <td>繊維状粒子自動測定器(リアルタイム・モニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> JIS K 3850-1に基づいた測定 <table border="1"> <tr> <th>測定場所</th> <th>サンプル径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> <tr> <td>集じん・排気装置の排出口(除去作業室外)</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </table> <p>測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 3部 部</p> <p>施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出すること。 「吹付石綿粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築セメントの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>除去を行う範囲 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室</p> <p>除去工法 改修標準9.1.3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 石綿等の保管場所であることの表示を行う。</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p>	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備考	除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点		調査対象室外部付近	1点	2点	点		除去作業中	除去作業室内	1点	2点	3点	点		集じん・排気装置の排出口	1点	2点	3点	点		集じん・排気装置の出口吹出し風速1m/秒以下の位置	各	1点	2点	3点		除去作業室外	1点	2点	3点	点	除去作業後	除去作業室内	1点	2点	点	シート養生中	除去作業後	除去作業室内	1点	2点	3点	点		調査対象室外部付近	1点	2点	点	1週間以降	測定場所	測定方法	集じん・排気装置の排出口	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、H-TEK1000カッター	除去作業室外	繊維状粒子自動測定器(リアルタイム・モニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定場所	サンプル径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	集じん・排気装置の排出口(除去作業室外)	25	5	30		47	10	120		47	10	240	<p>12 環境配慮改修工事</p> <p>6 石綿含有成形板等の除去(9.1.5)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕</p> <p>隔離養生(負圧不要)方法 ○ 図示による ○</p> <p>足場 ○ 図示による ○</p> <p>除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の撤去 除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去した石綿含有成形板等の処分 石綿含有せっこうボード 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板等(下地調整材)の撤去 除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法</p> <p>養生の方法</p> <p>除去した石綿含有仕上塗材の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p> <p>除去を行う石綿成形板等の仕様</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>化粧石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td>石綿ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> <td>石綿スレート(外装・内装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿保温材</td> <td></td> <td>押出成形セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けいそう土保温材</td> <td></td> <td>化粧石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> <td></td> <td>石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム保温材</td> <td></td> <td>化粧石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>親水性パーライト保温材</td> <td></td> <td>吸音穴あき石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7 断熱アスファルト防水改修工事 改修特記仕様書第3章による 工法の種類 P1BI M3DI P2AI M4DI P0DI</p> <p>8 外断熱改修工事 断熱材 種類 厚さ(mm) 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 不陸等の下地調整 外装材製造所の仕様による 外装材 取付ける(種類 防火性能) 外装材の施工 断熱材製造所の仕様による 既存外壁 仕上げ材の撤去() 下地の清掃() 下地の欠損部の改修(4.1.4[外壁改修工法の種類]による)</p> <p>施工 断熱材製造所の仕様による 通気層 有(厚さ mm) 無 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法</p> <p>9 断熱・防露改修工事(9.3.2)(9.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="3">材 料 (種 類)</th> <th rowspan="2">そ の 他</th> </tr> <tr> <td>ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材又は断熱材</td> <td>押出型ポリスチレンフォーム保温材又は断熱材</td> <td>硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材</td> <td>断熱材厚さ mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打込み工法</td> <td>フォームフォーム保温材又は断熱材</td> <td>(F)</td> <td></td> <td>接着剤の吐出量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材現場発泡工法</td> <td>A種1 A種1H B種1</td> <td></td> <td>JIS A 9526</td> <td>吹付け厚さ mm</td> </tr> </table> <p>接着剤の吐出量は6-1揮発性有機化合物に記載のとおりとする 特定フロンを使用とする。</p>	種 類	厚さ(mm)	種 類	厚さ(mm)	化粧石膏ボード	9.5	石綿ロックウール		ビニル床タイル	2.0	石綿スレート(外装・内装)		石綿保温材		押出成形セメント板		けいそう土保温材		化粧石綿セメント板		塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿セメントけい酸カルシウム板		けい酸カルシウム保温材		化粧石綿セメントけい酸カルシウム板		親水性パーライト保温材		吸音穴あき石綿セメント板		繊維混入けい酸カルシウム板				断熱材	材 料 (種 類)			そ の 他	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材又は断熱材	押出型ポリスチレンフォーム保温材又は断熱材	硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材	断熱材厚さ mm	打込み工法	フォームフォーム保温材又は断熱材	(F)		接着剤の吐出量					断熱材現場発泡工法	A種1 A種1H B種1		JIS A 9526	吹付け厚さ mm	<p>10 屋上緑化(9.4.2)(9.4.4)</p> <p>樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>芝・地被類の種類 図示による コウライシバ(目地張り) ノシバ(目地張り) セダム類(カット ふるい プラグ苗)</p> <p>材料 見切材 舗装材 排水孔 材料</p> <p>かん水装置 設置する(種類) 設置しない</p> <p>支柱材 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太</p> <p>幹巻用材料 幹巻用テープ わら及びこも</p> <p>既存保護層の撤去 行う(工法は3.2.3[既存保護層等の撤去]による) 行わない</p> <p>新植芝及び地被類の枯補償 引渡しの日から1年 引渡しの日から年</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 図示による</p> <p>11 透水性アスファルト舗装改修工事(9.5.2)(9.5.5)(9.5.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th colspan="3">材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">盛土</td> <td>A種</td> <td>B種</td> <td>C種</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>D種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凍上抑制層</td> <td>再生クラッシャーランG</td> <td>クラッシャーラン</td> <td></td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>切込み砂利</td> <td>砂</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>砂</td> <td></td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない</p> <p>路床安定処理 適用する 適用しない 路床安定処理の方法 置き換え工法 安定処理工法</p> <p>・路床安定処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 生石灰(特号 1号) 消石灰(特号 1号) 添加量 kg (目標CBR 3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験 ジオテキスタイル 60g/m²以上 単位面積重量 0.5~1.0 厚さ(mm) 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 引張強さ 1.5×10cm/sec以上 透水係数</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 行う 行わない</p>	種 類	寸 法	数 量	備 考					種別	材 料			厚さ(mm)	盛土	A種	B種	C種	図示	D種				凍上抑制層	再生クラッシャーランG	クラッシャーラン		図示	切込み砂利	砂			フィルター層	砂			図示	<p>路盤 路盤の厚さ 図示</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">路盤材料</th> <th>種類別</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">砕石</td> <td rowspan="2">再生材</td> <td>クラッシャーラン</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>再生クラッシャーラン</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>再生粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>クラッシャーラン鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> </table> <p>舗装の構成 図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない</p> <p>舗装の平たん性 著しい不陸がないもの</p>	路盤材料		種類別	砕石	再生材	クラッシャーラン	粒度調整砕石			再生クラッシャーラン			再生粒度調整砕石			クラッシャーラン鉄鋼スラグ			粒度調整鉄鋼スラグ			水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備考																																																																																																																																																																																																					
除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																																						
	調査対象室外部付近	1点	2点	点																																																																																																																																																																																																							
除去作業中	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																																						
	集じん・排気装置の排出口	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																																						
	集じん・排気装置の出口吹出し風速1m/秒以下の位置	各	1点	2点	3点																																																																																																																																																																																																						
	除去作業室外	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																																						
除去作業後	除去作業室内	1点	2点	点	シート養生中																																																																																																																																																																																																						
除去作業後	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																																						
	調査対象室外部付近	1点	2点	点	1週間以降																																																																																																																																																																																																						
測定場所	測定方法																																																																																																																																																																																																										
集じん・排気装置の排出口	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、H-TEK1000カッター																																																																																																																																																																																																										
除去作業室外	繊維状粒子自動測定器(リアルタイム・モニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																																										
測定場所	サンプル径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																																																																																																								
集じん・排気装置の排出口(除去作業室外)	25	5	30																																																																																																																																																																																																								
	47	10	120																																																																																																																																																																																																								
	47	10	240																																																																																																																																																																																																								
種 類	厚さ(mm)	種 類	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																								
化粧石膏ボード	9.5	石綿ロックウール																																																																																																																																																																																																									
ビニル床タイル	2.0	石綿スレート(外装・内装)																																																																																																																																																																																																									
石綿保温材		押出成形セメント板																																																																																																																																																																																																									
けいそう土保温材		化粧石綿セメント板																																																																																																																																																																																																									
塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿セメントけい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																																									
けい酸カルシウム保温材		化粧石綿セメントけい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																																									
親水性パーライト保温材		吸音穴あき石綿セメント板																																																																																																																																																																																																									
繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																																											
断熱材	材 料 (種 類)			そ の 他																																																																																																																																																																																																							
	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材又は断熱材	押出型ポリスチレンフォーム保温材又は断熱材	硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材		断熱材厚さ mm																																																																																																																																																																																																						
打込み工法	フォームフォーム保温材又は断熱材	(F)		接着剤の吐出量																																																																																																																																																																																																							
断熱材現場発泡工法	A種1 A種1H B種1		JIS A 9526	吹付け厚さ mm																																																																																																																																																																																																							
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																																																								
種別	材 料			厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																							
盛土	A種	B種	C種	図示																																																																																																																																																																																																							
	D種																																																																																																																																																																																																										
凍上抑制層	再生クラッシャーランG	クラッシャーラン		図示																																																																																																																																																																																																							
	切込み砂利	砂																																																																																																																																																																																																									
フィルター層	砂			図示																																																																																																																																																																																																							
路盤材料		種類別																																																																																																																																																																																																									
砕石	再生材	クラッシャーラン																																																																																																																																																																																																									
		粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																									
		再生クラッシャーラン																																																																																																																																																																																																									
		再生粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																									
		クラッシャーラン鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																																									
		粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																																									
		水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																																									
備考																																																																																																																																																																																																											



アスベスト対策工事仕様書

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																														
13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>①適用範囲 (9.1.1)</p> <p>アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。</p> <p>アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 ()</p> <p>アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板除去工事</p> <p>②法令等の遵守</p> <p>施工にあたっては、「大気汚染防止法(昭和43年法律97号)」「労働安全衛生法(昭和47年法律57号)」「石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令21号)」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」「建築基準法(昭和25年法律201号)」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(平成12年法律104号)」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例(平成17年京都府条例45号)」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び適用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。</p> <p>③石綿含有建材の調査 (1.5.1)</p> <p>事前調査 ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。</p> <p>事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。</p> <p>調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法</p> <p>アスベスト含有分析 行う(分析結果を監督職員に提出する)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない</p> <p>既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし</p> <p>④アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 行う</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th colspan="3">測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業中</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>負圧粉じん装置の 排出吹き出し口</td> <td colspan="3">吹出し風速1m/秒以下の位置 各 1点 2点 3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>除去作業室外</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td>シート養生中</td> </tr> <tr> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1週間以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない</p> <p>測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 3部 部</p>	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備 考	除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点	調査対象室外部付近	1点	2点	点		除去作業中	除去作業室内	1点	2点	3点	点	負圧粉じん装置の 排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 1点 2点 3点				除去作業室外	1点	2点	3点	点	除去作業後	除去作業室内	1点	2点	点	シート養生中	除去作業室内	1点	2点	3点	点	調査対象室外部付近				1週間以降	13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>5 仕上げ工事 (9.1.1)</p> <p>⑥石綿作業主任者 (9.1.2)</p> <p>石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。</p> <p>7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。</p> <p>8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)</p> <p>施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>除去を行う範囲 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室</p> <p>除去工法 改修標仕9.1.3(b)(1)による</p> <p>除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付け石綿</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けひる石</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けパーライト</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。</p>	種 類	種 類	吹付け石綿		石綿含有吹付けロックウール		石綿含有吹付けひる石		石綿含有吹付けパーライト		13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする)</p> <p>除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石綿保温材</td> <td>石綿含有耐火被膜材</td> </tr> <tr> <td>石綿含有けいそう土保温材</td> <td>石綿含有けい酸カルシウム板第二種</td> </tr> <tr> <td>石綿含有パーライト保温材</td> <td>屋根用折版裏断熱材</td> </tr> <tr> <td>石綿含有けい酸カルシウム保温材</td> <td>煙突用断熱材</td> </tr> <tr> <td>石綿含有水練り保温材</td> <td>塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> </tr> </tbody> </table> <p>除去物の処理方法 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。</p>	種 類	種 類	石綿保温材	石綿含有耐火被膜材	石綿含有けいそう土保温材	石綿含有けい酸カルシウム板第二種	石綿含有パーライト保温材	屋根用折版裏断熱材	石綿含有けい酸カルシウム保温材	煙突用断熱材	石綿含有水練り保温材	塩基性炭酸マグネシウム保温材	13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>⑩アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする) 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕</p> <p>除去を行うアスベスト含有成形板の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石綿含有スレート</td> <td></td> <td>石綿含有ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>石綿含有けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td>石綿セメントけい酸加シム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有押出成形セメント板</td> <td></td> <td>化粧石綿セメントけい酸加シム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有岩綿吸音天井板</td> <td></td> <td>外壁下地調整材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 アスベスト含有石膏ボード(管理型最終処分場における埋立処分)を除くアスベスト含有成形板 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((財)宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。</p>	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	石綿含有スレート		石綿含有ビニル床タイル	2.0	石綿含有けい酸カルシウム板		石綿セメントけい酸加シム板		石綿含有押出成形セメント板		化粧石綿セメントけい酸加シム板		石綿含有岩綿吸音天井板		外壁下地調整材		石綿含有石膏ボード	9.5		
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																																																																																																			
()	()	()																																																																																																																			
()	()	()																																																																																																																			
()	()	()																																																																																																																			
()	()	()																																																																																																																			
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備 考																																																																																																																
除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																
	調査対象室外部付近	1点	2点	点																																																																																																																	
除去作業中	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																
	負圧粉じん装置の 排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 1点 2点 3点																																																																																																																			
	除去作業室外	1点	2点	3点	点																																																																																																																
除去作業後	除去作業室内	1点	2点	点	シート養生中																																																																																																																
	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																
	調査対象室外部付近				1週間以降																																																																																																																
種 類	種 類																																																																																																																				
吹付け石綿																																																																																																																					
石綿含有吹付けロックウール																																																																																																																					
石綿含有吹付けひる石																																																																																																																					
石綿含有吹付けパーライト																																																																																																																					
種 類	種 類																																																																																																																				
石綿保温材	石綿含有耐火被膜材																																																																																																																				
石綿含有けいそう土保温材	石綿含有けい酸カルシウム板第二種																																																																																																																				
石綿含有パーライト保温材	屋根用折版裏断熱材																																																																																																																				
石綿含有けい酸カルシウム保温材	煙突用断熱材																																																																																																																				
石綿含有水練り保温材	塩基性炭酸マグネシウム保温材																																																																																																																				
種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																																																																																																		
石綿含有スレート		石綿含有ビニル床タイル	2.0																																																																																																																		
石綿含有けい酸カルシウム板		石綿セメントけい酸加シム板																																																																																																																			
石綿含有押出成形セメント板		化粧石綿セメントけい酸加シム板																																																																																																																			
石綿含有岩綿吸音天井板		外壁下地調整材																																																																																																																			
石綿含有石膏ボード	9.5																																																																																																																				

項目	区分	建築	電気		別途	備考
一般事項						
仮囲い・足場・桟橋等の架組み、維持、補修						
仮設間仕切り（内部）						
監督職員・監理員事務所の架組み、備品、維持、補修						
工事現場保安要員、交通整理員（大型機器搬入）						電気はスポット
工用電力設備の保安責任者						
その他の仮設建物及び機械器具等						
総合施工図の作成（設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図）						
工事表示板						
躯体貫通						
防火区画・防火壁を貫通するダクト・配管等の防火処置						
配管改修に必要なはつり・貫通・補修						
はつり・貫通・補修後仕上げ						
その他の貫通・補強						
天井付各種設備器具の穴開け・補強						
各種設備器具の位置出し						
設備機器・器具・配管・配線・ダクト用つりボルト及びアンカー						
設備機器（ダクト・配管等）下の天井下地の吊りボルト支持及び補強						
各種配管の躯体貫通部のシーリング						
点検口						
床、壁、天井点検口（下地補強共）						
同上 位置出し						
換気扇						
換気扇への電源配線						
換気扇取付枠及び躯体への取付						
ウエザーカバー、ベントキャップ						
エア-搬送ファン脱着						
改修工事						
軽量鉄骨簡易間仕切壁の貫通及び補強						
同上 位置出し、位置の指示						
同上 ボックス・機器取付け、配管・配線及び接続						
補強を要するボードの切り込み及び下地の補強						
補強を要しないボードの切り込み						
開口部の曇出し						
通気用ベントキャップ及び取付						
排水目皿、床排水金具						
出窓流し排水金物						
器具取付用補強						

項目	区分	建築	電気		別途	備考
空調機器						
空調機器の動作確認						
空調機器のリモコン調整						
空調機器吹き出し口の脱着						
誘導灯・プロジェクター						
誘導灯の撤去・新設						
誘導灯の撤去後ボード張替え						
プロジェクターの撤去						
プロジェクターの撤去後ボード張替え						
特定天井ネット						
各種設備器具用の穴開け・補強						
各種電気設備機器の位置出し						
エア-搬送ファンの位置出し						
その他						
既設盤類、ボックス類撤去後の壁面、床面補修						E/K/詰め、シ-#処理等
既設電線管撤去後の壁面の補修（タッチアップ程度）						
給水排水設備撤去後の壁面、床面の補修						E/K/詰め、シ-#処理等

改修項目概要

防水改修工事	外壁改修工事	第1ホール改修工事	その他改修工事
<p>○ 4 F 珪藻土 外断熱AS防水 コンクリート押 ○ 3 F 珪藻土 外断熱AS防水 コンクリート押 ○ 2 F 玄関庇 シート防水 コンクリート下地 ○ R F 避難ハルコ-屋上 AS防水 コンクリート押 ○ 4 F ハルコ- 塗膜防水 珪藻土下地</p> <p>シート防水仕様：S4S工法、S-M2 塗膜 防水仕様：L4X工法、X-2</p> <p>シート防水改修 72.0 シート防水改修 72.0 シート防水改修 71.5 シート防水改修71.5 塗膜防水改修</p>	<p>○ 4 F 階段通路 防水珪藻土下地 ○ 3 F 階段通路 防水珪藻土下地 ○ 3 F ハルコ- 塗膜防水 珪藻土下地 ○ 2 F 階段通路 防水珪藻土下地 ○ 外部階段 防水珪藻土下地</p> <p>塗膜防水改修 塗膜防水改修 塗膜防水改修 塗膜防水改修 塗膜防水改修 塗膜防水改修</p>	<p>○ 外壁劣化補修 珪藻土浮き補修 珪藻土亀裂補修 珪藻土欠損補修 コンクリート亀裂補修 コンクリート爆裂補修 樹脂被膜剥落防止工法 複層塗材可とう形 RE 珪藻土等 フッ樹脂塗装 外-コング・DP塗装(SD建具) ○ 建具改修 外-コング・DP塗装 ○ 壁補修(GP)改修 DP塗装</p> <p>天井 撤去改修 保護ネット取付け ○ 各天井等 改修 1 F 控室 撤去改修 1 F 倉庫 撤去改修 2 F ハルコ-廊下 撤去改修 ○ 映写調光室 床改修 OA床 撤去改修</p>	<p>○ ELV前 天井改修 各階 ELV防煙垂壁撤去 各階 天井及び壁改修 外壁仕上材廻り ○ 7Aハルコ-撤去 フェンス 撤去 ○ 4階 砂場改修 シート防水 改修 ○ 旧浄化槽突VP 150 撤去西南角外部</p>

外部仕上表 (既存)

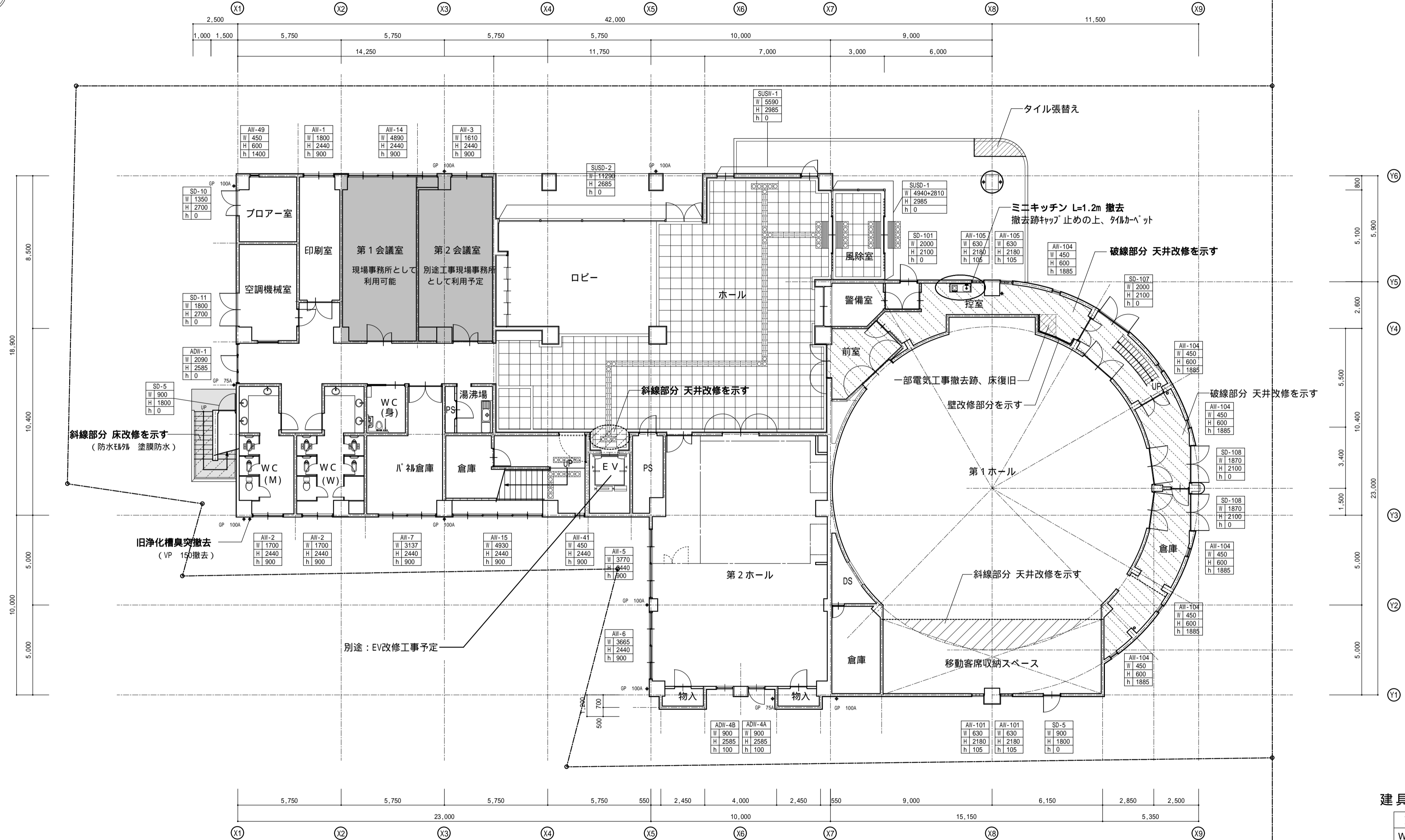
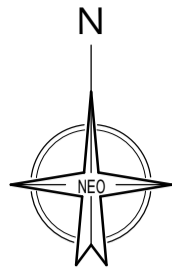
外壁	屋根	庇	ポーチ	屋外階段	バルコニー	屋上テラス, その他	備考
<p>外壁珪藻土張 (50 2丁掛) (うち: 外壁珪藻土 珪藻土張) 一部 吹付珪藻土張 (合板型枠コンクリート打放し下地) (両側壁面 4F・RF壁廻り, ELV機械室廻り)</p>	<p>ELV機械室屋根: シート防水層 71.2 (コンクリート直工押え) 4F屋根 多目的珪藻土廻り: 外断熱アスファルト防水 押えコンクリート 750 (下地: コンクリート直工押え) 3F, 4F屋上: 外断熱アスファルト防水 押えコンクリート 790の上 人工芝生張 (下地: コンクリート直工押え) 多目的珪藻土屋根: 銅板 70.1 横一文字葺 (下地: ラジ-シート珪藻土 740直工押え)</p>	<p>玄関庇 屋根: シート防水層 71.2 (下地: 7丁掛ア-レットの上コンクリート 750 直工押え) 内樋: 見付: 珪藻土板 72.0加工 天井: 珪藻土板 71.0 ELV機械室庇 防水珪藻土 珪藻土押え 見付庇裏: 吹付珪藻土 (合板型枠コンクリート素地)</p>	<p>床: 花崗岩 本磨き及びシ-ットハ-ナ-仕上げ 壁: 外装珪藻土張 (50 2丁掛) 天井: 珪藻土板 71.0</p>	<p>床: 防水珪藻土塗珪藻土押え 巾木: 防水珪藻土塗珪藻土押え H=100 (サラ) 腰壁: 吹付珪藻土 (合板型枠コンクリート素地) 笠木: 吹付珪藻土 (コンクリート直工押え) 段裏: 吹付珪藻土 (合板型枠コンクリート素地)</p>	<p>床: 防水珪藻土塗の上 塗膜防水層 巾木: 防水珪藻土塗の上 塗膜防水層 H=90 腰壁: 吹付珪藻土 (合板型枠コンクリート素地) 笠木: 珪藻土板 72.0加工または吹付珪藻土 天井: 珪藻土板 71.0</p>	<p>屋上テラス 床: アスファルト防水の上 人口芝生張 テラス屋根: 網入ガラス 76.8 砂場 花壇 別図参照</p>	<p>壁補: GP100A, 75A OP塗 一部ステンレス管HL 鉄製製レ-ドレイン: 100 , 75</p>

内部仕上表 (既存)

階	室名	床		巾木		壁		天井			その他の 木鉄部塗装	備考 (改修項目等)
		下地	防水 仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	塗装 廻 縁 天井高		
1F	風除室		石張 (花崗岩) (本磨き仕上げ, シ-ットハ-ナ-仕上げ)				外壁珪藻土張	LGS	珪藻土板 71.0			ELV前天井改修: 天井撤去張替え(下地共)、防煙垂壁撤去壁改修
	ホール・ロビー	珪藻土塗珪藻土押え	ホール 石張 (花崗岩) (本磨き仕上げ, シ-ットハ-ナ-仕上げ) ロビー 珪藻土板 (A)	石張 (大理石)	100	珪藻土塗珪藻土押え	石張 (大理石)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 715 立体模様 および加張	珪藻土 製	2700 3000	OP 一部天井撤去張替え
	第2ホール	珪藻土塗珪藻土押え	珪藻土板 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (A)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79	珪藻土 製	2700	OP 一部天井撤去張替え
	会議室 (1), (2)	珪藻土塗珪藻土押え	長尺珪藻土 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79	珪藻土 製	2600	OP
	印刷室	珪藻土塗珪藻土押え	長尺珪藻土 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	AEP	LGS	珪藻土板 75	VE 珪藻土 製	2600	OP
	機械室 (7A-ホ-ル室 ホ-ル室 空調機械室)	珪藻土塗珪藻土押え	防塵塗装	珪藻土塗珪藻土押え 防塵塗装	100	合板型枠コンクリート素地	グラスウ-ル 750 の上 グラスウ-ル張	合板型枠コンクリート素地	グラスウ-ル 750 の上 グラスウ-ル張		直天	OP
2F	ホール・ロビー	珪藻土塗珪藻土押え	長尺珪藻土 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (A)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79 一部加張	珪藻土 製	2700 3000	OP ELV前天井改修: 天井撤去張替え(下地共)、防煙垂壁撤去壁改修
	一般研修室	OA床 H=150	珪藻土板 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79	珪藻土 製	2700	OP
	スポーツ協会事務所	OA床 H=150	珪藻土板 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79	珪藻土 製	2700	OP
	視聴編集室	OA床 H=150	珪藻土板 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79	珪藻土 製	2700	OP
	第3ホール	OA床 H=150	珪藻土板 (B)	木製巾木CL塗 (化粧張作用集材)	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (A)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79 一部加張	珪藻土 製	2700 3000	CL
	視聴覚研修室	OA床 H=150	珪藻土板 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79	珪藻土 製	2700	OP
	準備室	OA床 H=150	珪藻土板 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (B)	LGS PB 79.0	加張	珪藻土 製	2700	OP
	事務室	OA床 H=150	珪藻土板 (B)	ビニ-ル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニ-ル珪藻土張 (B)	LGS	岩綿吸音板 79	珪藻土 製	2500 2700	OP

内部仕上表(既存)

階	室名	床			巾木		壁		天井				その他の 木鉄部塗装	備考(改修項目等)	
		下地	防水	仕上	仕上	H	下地	仕上	材種	仕上	塗装	廻縁			天井高
3F	ロビー	珪藻土		長尺塩ビシート(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2600	OP	ELV天井改修:天井撤去張替え(下地共)、防煙垂壁撤去壁改修
	資料室	珪藻土		タイルカーペット(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2600	CL	
	書庫	珪藻土		長尺塩ビシート張(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2600	CL	
	調理実習室	珪藻土		長尺塩ビシート張(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2600	OP	
	創作室	珪藻土		70-リソグボード直張(塗装品)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	AEP塗(B)	LGS PB 79.0	ノアスベスト板 75	VE	塩ビ製	2700	OP	
	準備室	珪藻土		防塵塗装	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	AEP塗(B)	LGS PB 79.0	ノアスベスト板 75		塩ビ製	2700	OP	
4F	ホール	珪藻土		長尺塩ビシート張(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2400	OP	ELV天井改修:天井撤去張替え(下地共)、防煙垂壁撤去壁改修
	遊戯室	木質床組		70-リソグボード直張(塗装品) (長尺塩ビシート張)	木製巾木OP塗	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	壁:ビニル珪藻土張(B) 腰:ビニル珪藻土-フロン張 H=985	LGS PB 79.0	ビニル珪藻土張		塩ビ製	2400	OP	
	観察室	珪藻土		長尺塩ビシート張(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS	化粧P.B 79		塩ビ製	2400	OP	
	家庭・児童相談室	木質床組		70-リソグボード直張(塗装品) (長尺塩ビシート張)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS	化粧P.B 79		塩ビ製	2400	OP	
	電話相談室	珪藻土		タイルカーペット(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2400	OP	
	相談室(1),(2)	珪藻土		タイルカーペット(B)	木製巾木CL塗 (化粧張造作用集成材)	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2400	OP	
	相談室・会議室	珪藻土		タイルカーペット(B)	木製巾木CL塗 (化粧張造作用集成材)	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2400	OP	
	前室	珪藻土		長尺塩ビシート張(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2400	OP	
	検査室	OA床 H=130		タイルカーペット(B)	ビニル巾木	60	木下地ロック-40mm充填 寒冷紗裏張	吸音穴あきP.B 712 AEP	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 712		塩ビ製	2300	OP	
診断室	珪藻土		タイルカーペット(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS	化粧P.B 79		塩ビ製	2400	OP		
1F~4F	階段室	珪藻土		長尺塩ビシート(B)	ビニル巾木(ササラ)	60	珪藻土	吹付タイル	LGS	一般階 吹付タイル (合板型枠コンクリート素地下地) 最上階 吹付タイル (ノアスベスト 75.0下地)			1~3F:直天 4F:2400	OP	
	廊下	珪藻土		長尺塩ビシート(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	1F:2700 2F:2600 3F:2500 4F:2400	OP	
	WC(M,W)	1F:防水珪藻土 2~4F:アスファルト防水の上 軽量コンクリート		磁器質タイル張			珪藻土	半磁器質タイル張	LGS	ノアスベスト板 75	VE	塩ビ製	1~3F:2525 4F:2425	OP	
	WC(身)	防水珪藻土		長尺塩ビシート張(B)			珪藻土	半磁器質タイル張	LGS	ノアスベスト板 75	VE	塩ビ製	1~3F:2500 4F:2400	OP	
	倉庫	珪藻土		防塵塗装	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	AEP	LGS	化粧P.B 79		塩ビ製		OP	
	湯沸室	珪藻土		長尺塩ビシート張(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B) 半磁器質100角タイル張	LGS	ノアスベスト板 75	VE	塩ビ製	1~3F:2500 4F:2400	OP	
	ELV機械室	軽量コンクリート直		防塵塗装				ガラス-750の上 ガラス張		ガラス-750の上 ガラス張			直天	OP	
	P.S.			コンクリート直				合板型枠コンクリート素地仕上		合板型枠コンクリート素地仕上			直天	OP	
第1ホール	第1ホール	珪藻土		タイルカーペット(A)	木製巾木CL塗 (化粧張造作用集成材)	60	LGS P.B 79.0 ロック-740充填	腰 H=2140:タイル張(A)P.B 712 壁:岩綿吸音板 719(塗装品)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 719(塗装品)		塩ビ製	6200	OP	特定天井の撤去張替え、及び落下防止設備取付け 712廻縁、712見切曲げ板、下地鋼材は存置、712M-1は脱着 点検口1箇所新設(席収納部)
	前室・倉庫	珪藻土		タイルカーペット(A)	木製巾木CL塗 (化粧張造作用集成材)	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	タイル張(A)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 712		塩ビ製	2500	OP	天井撤去張替、点検口4箇所新設
	控室	珪藻土		タイルカーペット(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2500	OP	天井撤去張替、点検口1箇所新設 壁一部撤去張替(盤取替工事に伴う) ミツバチ 撤去、跡補修
	SV廊下	珪藻土		長尺塩ビシート張(B)	ビニル巾木	60	合板型枠コンクリート素地	2F AEP塗 1F ビニル珪藻土張(B)	LGS	2F 化粧P.B 79 1F ビニル珪藻土張(B)		塩ビ製	1F:2500 2F:2300	OP	天井撤去張替、点検口6箇所新設
	空調機械室	珪藻土		防塵塗装	珪藻土 防塵塗装	100	合板型枠コンクリート素地	ガラス-750の上 ガラス張	合板型枠コンクリート素地	ガラス-750の上 ガラス張			直天	OP	
	映写調光室	OA床		タイルカーペット	ビニル巾木	60	PB 712.0	ビニル珪藻土張(B)	LGS	化粧P.B 79		塩ビ製	2300	OP	床 OA707 撤去改修(新設OA707 耐荷重3000N/m ²) 既存OA707撤去及び新OA707仕上げ材は建築工事
	警備室	珪藻土		長尺塩ビシート張(B)	ビニル巾木	60	PB 712.0 軽量鉄骨壁間仕切	ビニル珪藻土張(B)	LGS PB 79.0	岩綿吸音板 79		塩ビ製	2500	OP	



建具凡例

建具符号	
W	幅
H	高さ
h	腰高さ

備考



一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

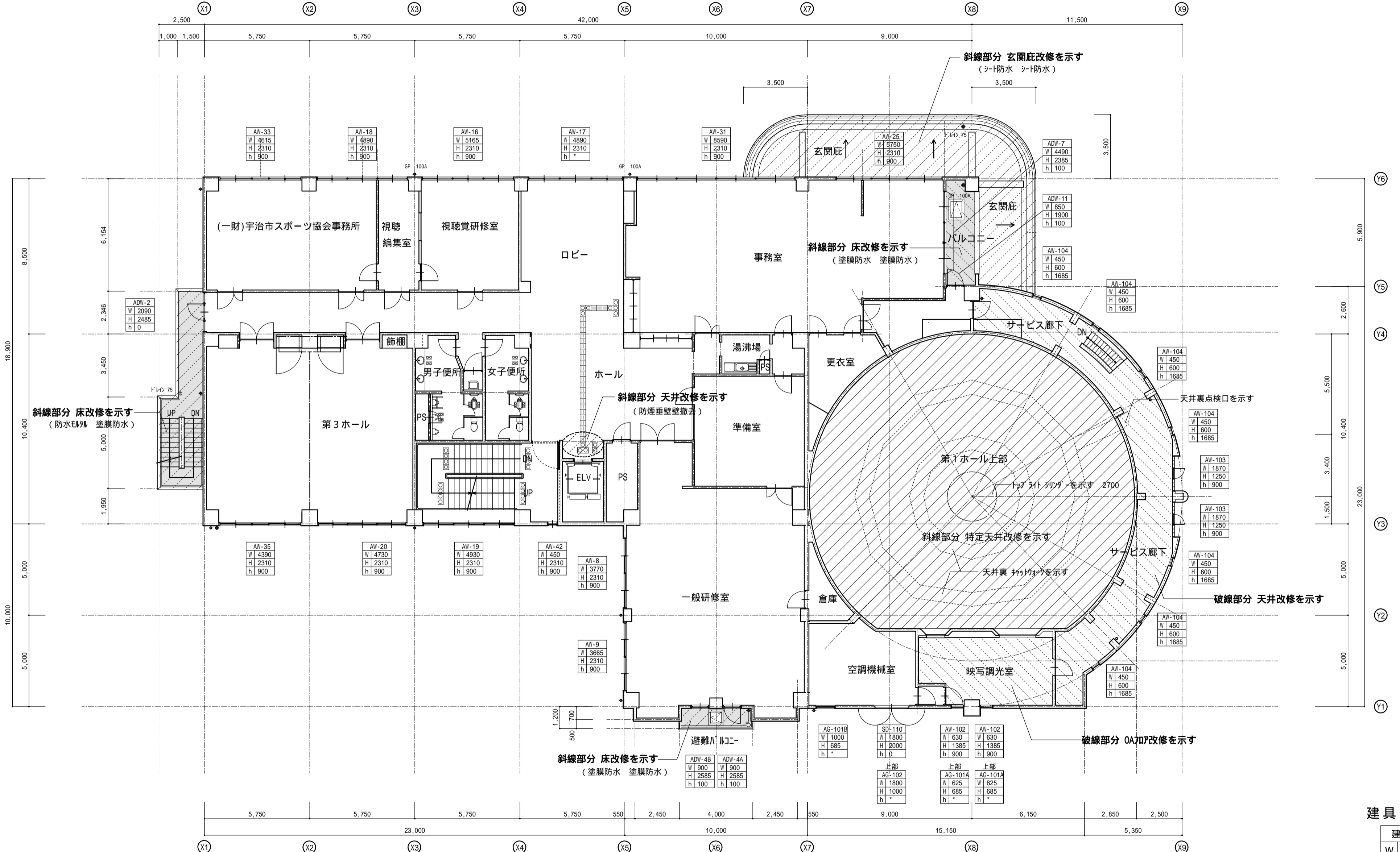
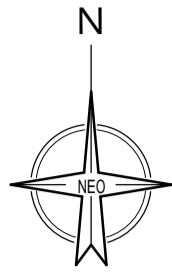
現況図
1階 平面図

縮尺 1/150

年月日 2025.03

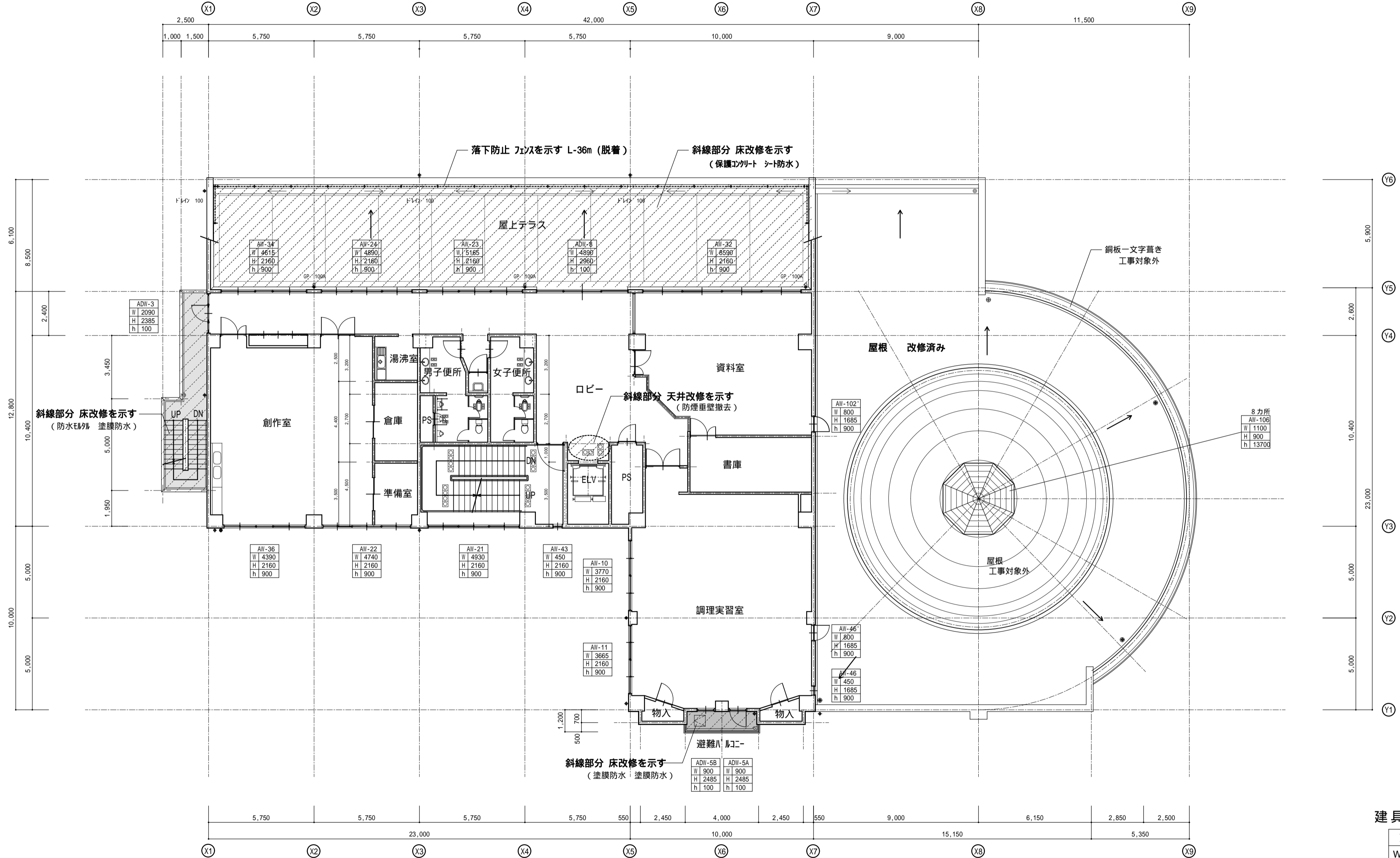
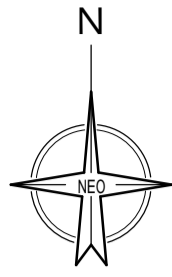
図面 No

A - 17



建具凡例

建具符号	
W	幅
H	高さ
h	腰高さ



建具凡例

建具符号	
W	幅
H	高さ
h	腰高さ

備考



一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

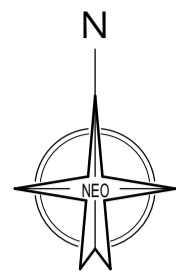
現況図
3階 平面図

縮尺 1/150

年月日 2025.03

図面 No

A-19



建具凡例

建具符号	
W	幅
H	高さ
h	腰高さ

備考



一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

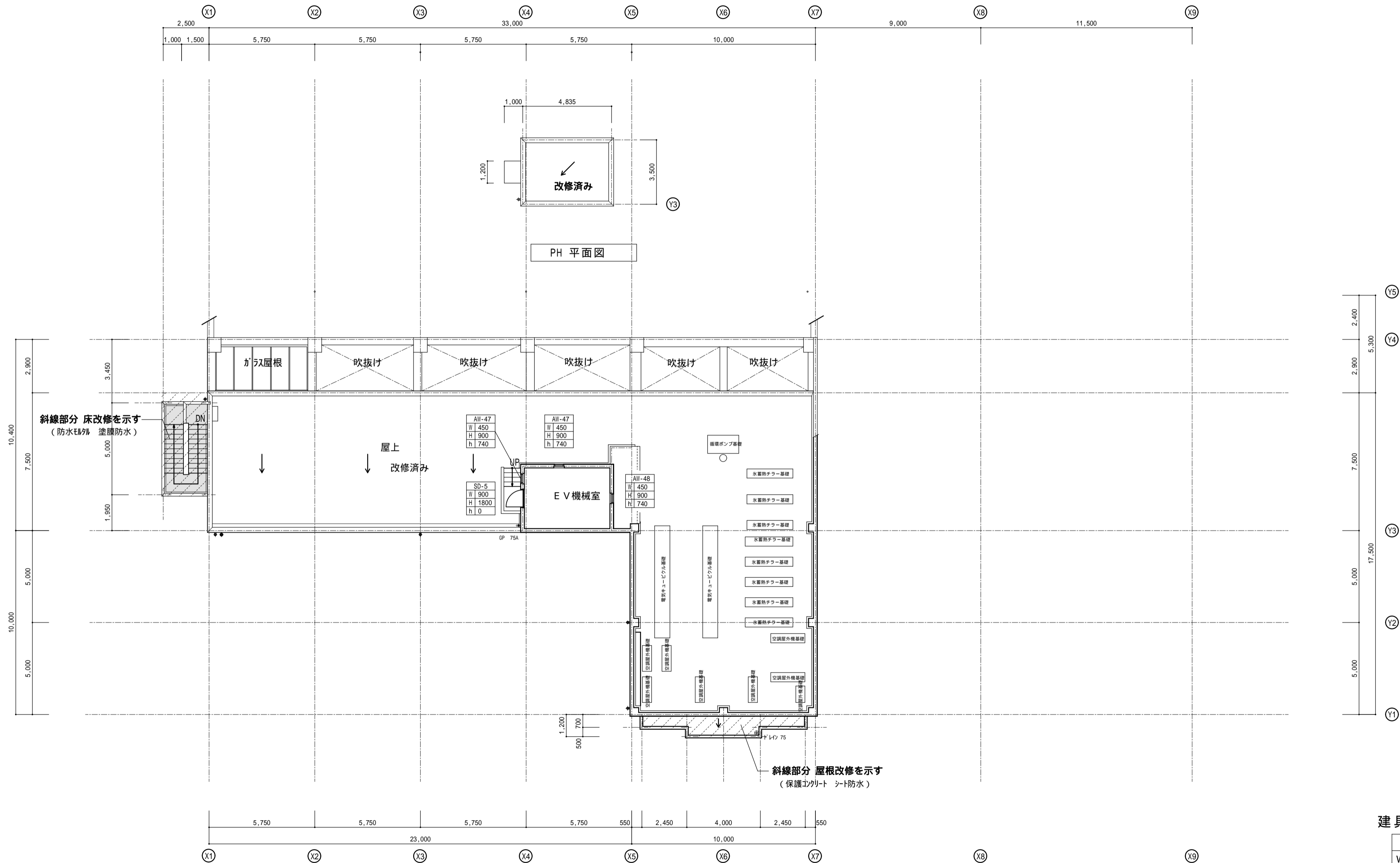
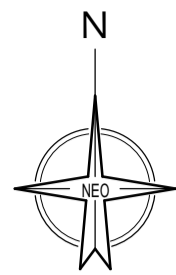
現況図
4階 平面図

縮尺 1/150

年月日 2025.03

図面 No

A - 20



建具凡例

建具符号	
W	幅
H	高さ
h	腰高さ

備考



一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

現況図
屋上平面図・PH平面図

縮尺 1/150

年月日 2025.03

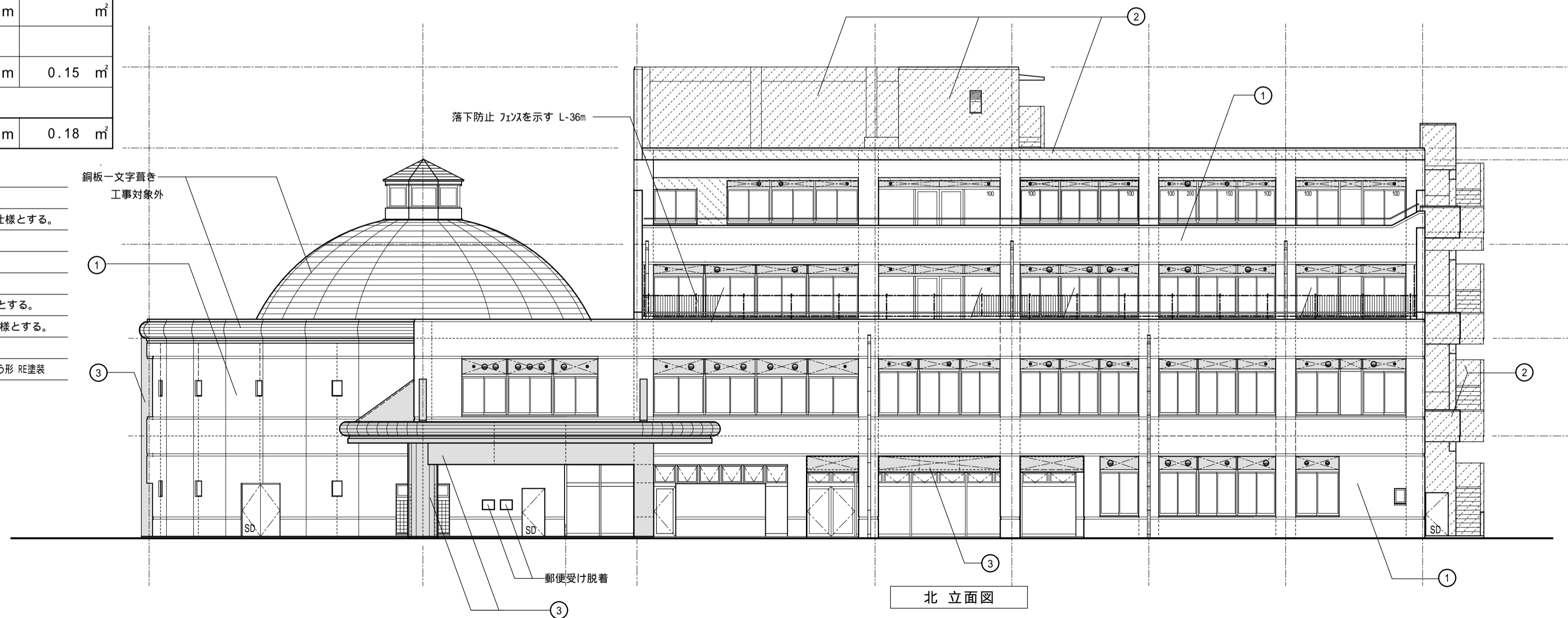
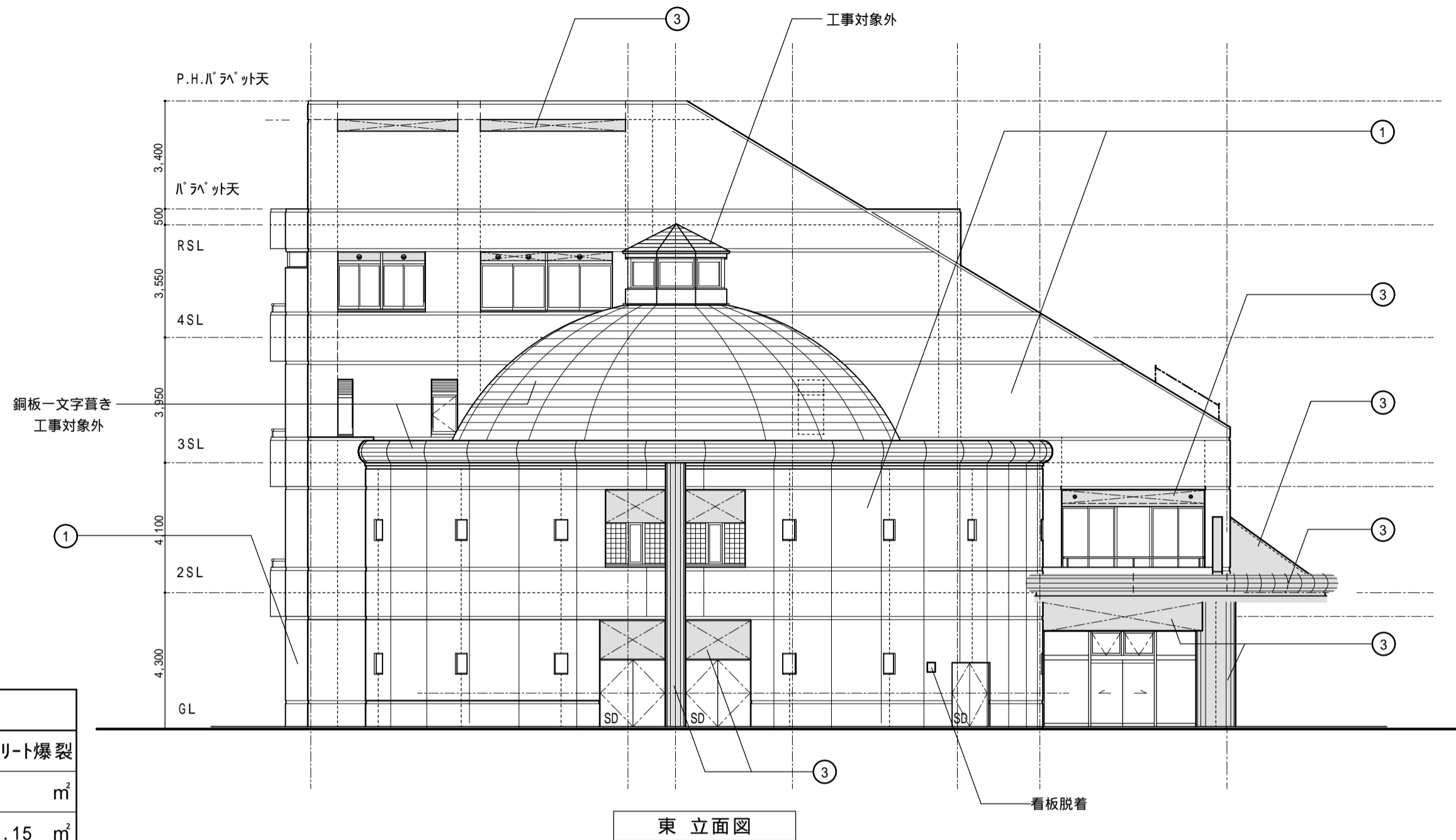
図面 No

A-21

外部仕上 凡例		
①	現況	磁器質タイル張45X95角
	改修	樹脂被膜剥落防止工法
②	現況	吹付タイル(斜線部分 アカビノ含有) 下地コンクリート打放し
	改修	複層塗材かとう型RE (亀裂部分アカビノ除去、他 下地調整後塗替え)
③	現況	タイル 補修電解発色仕上
	改修	既存タイル 目荒し フッ樹脂塗装
④	現況	塗膜防水 下地防水EPL外
	改修	塗膜防水 下地調整
⑤	現況	保護コンクリート 玄関底シート防水及びバルコニ-防水等
	改修	シート防水 下地調整
その他		
・工事際し、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。		
・タイル浮き面積 下記数量表による 下地EPL外 リフォーム前面補修、タイル張替は同類色とする。		
・目地：W=20 E=25(変性シリコン系シーリング)全て打ち替え、建具等及び異種材回りシーリング 打ち替え10X10		
・建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、タイル建具 洗浄清掃		
・電気配管：下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装		
・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗		
・壁付 丸型ガリ、壁樋 DP塗装 タイル建具幕板丸型付きガリは別途		
・()内項目は改修工事内容を示す		

外壁劣化による種別及び数量表					
	タイル浮き	タイル亀裂	タイル欠損	コンクリート亀裂	コンクリート爆裂
東面	46.52 m ²	148 枚		m	m ²
北面	48.03 m ²	174 枚		73.75 m	0.15 m ²
西面	20.35 m ²	35 枚		35.15 m	m ²
南面	69.77 m ²	290 枚	4 枚	m	m ²
計	184.67 m ²	647 枚	4 枚	108.90 m	0.15 m ²
改修予想数量 (調査時数量の1.2倍増し)					
合計	221.60 m ²	776 枚	5 枚	130.68 m	0.18 m ²

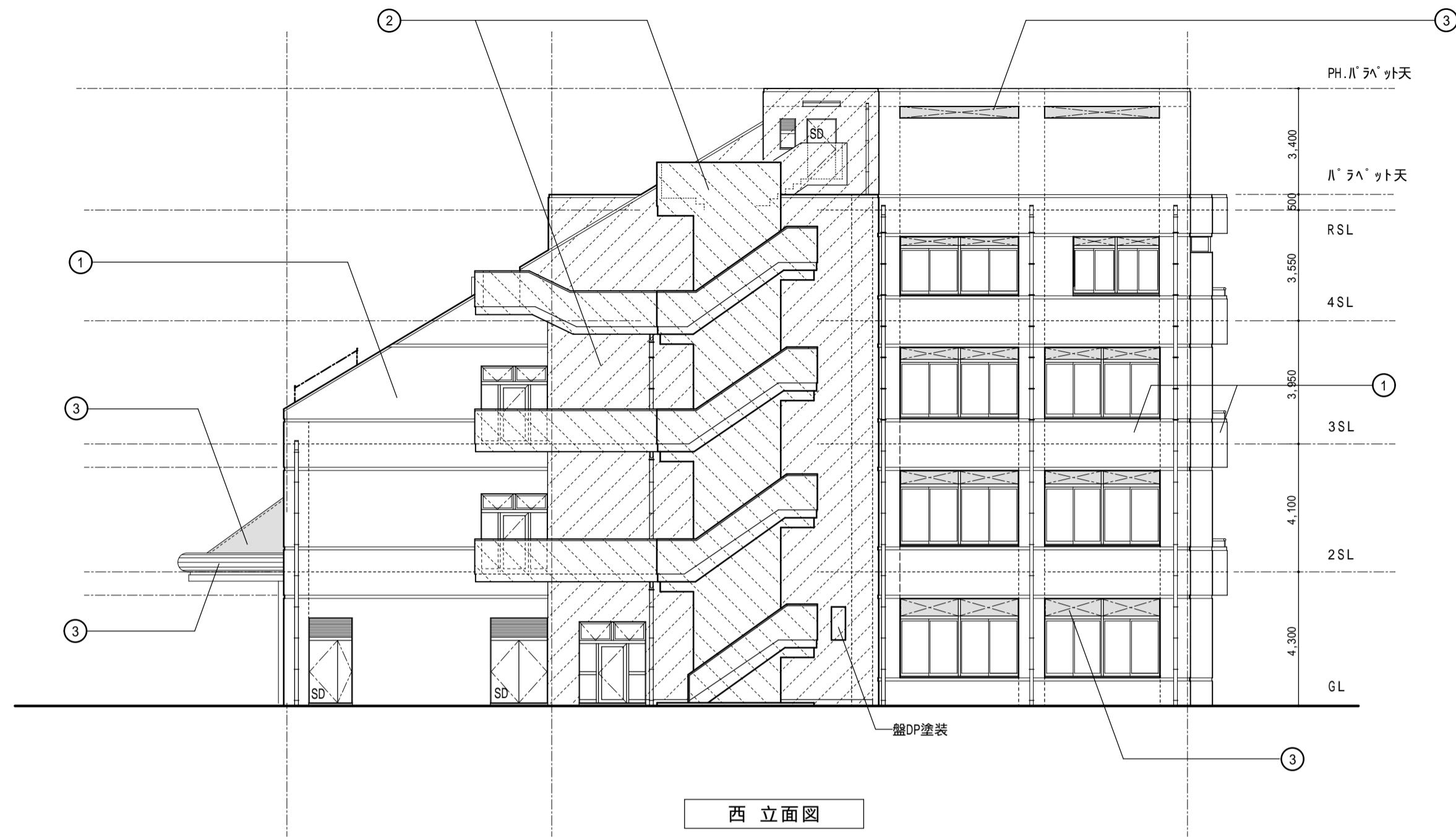
外壁改修工法	
・損傷タイル	タイル浮き面積0.5m ² 以上アカビノ含有樹脂EPL工法。又はメカ仕様とする。 既存タイル面は全て薬品洗浄とし、洗浄後再度高圧洗浄とする。又はメカ仕様とする。
・タイル亀裂	撤去：タイル撤去後アカビノ充填タイル張 同類色タイル張替えとする。 躯体に亀裂がある場合：特記仕様書による。又はメカ仕様とする。
・欠損タイル	タイルの張替えは同類仕様及び類似タイルとする。又はメカ仕様とする。
・タイル落下防止	タイル面全て(表面処理) 塗膜強度材 補強2層+トップコート2層。又はメカ仕様とする。
・アカビノ打込	16本/m ² を基本とする、梁下垂れ壁等は特記仕様書による。又はメカ仕様とする。
・外壁亀裂(吹付け)	亀裂 0.2mm以上 工法 樹脂注入(自動式樹脂注入工法) Uカット シール打ち ヒビ割れ処理：アカビノ除去(湿式ハイパースティック工法)後、下地調整 複層塗材かとう型 RE塗装

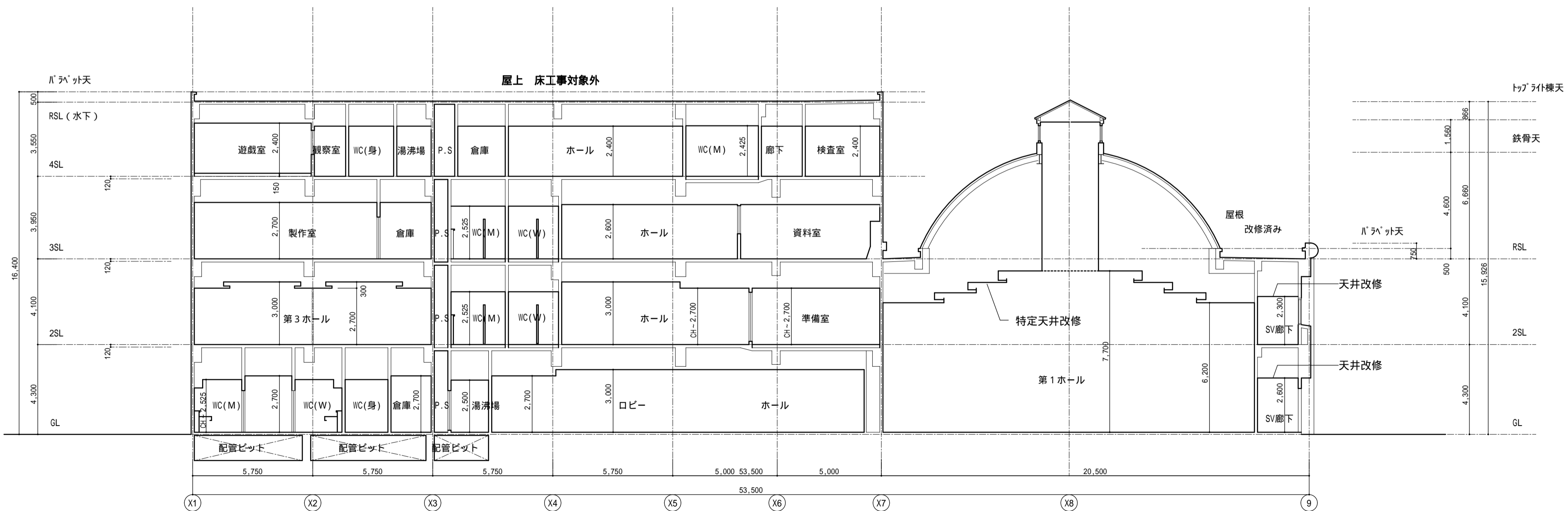
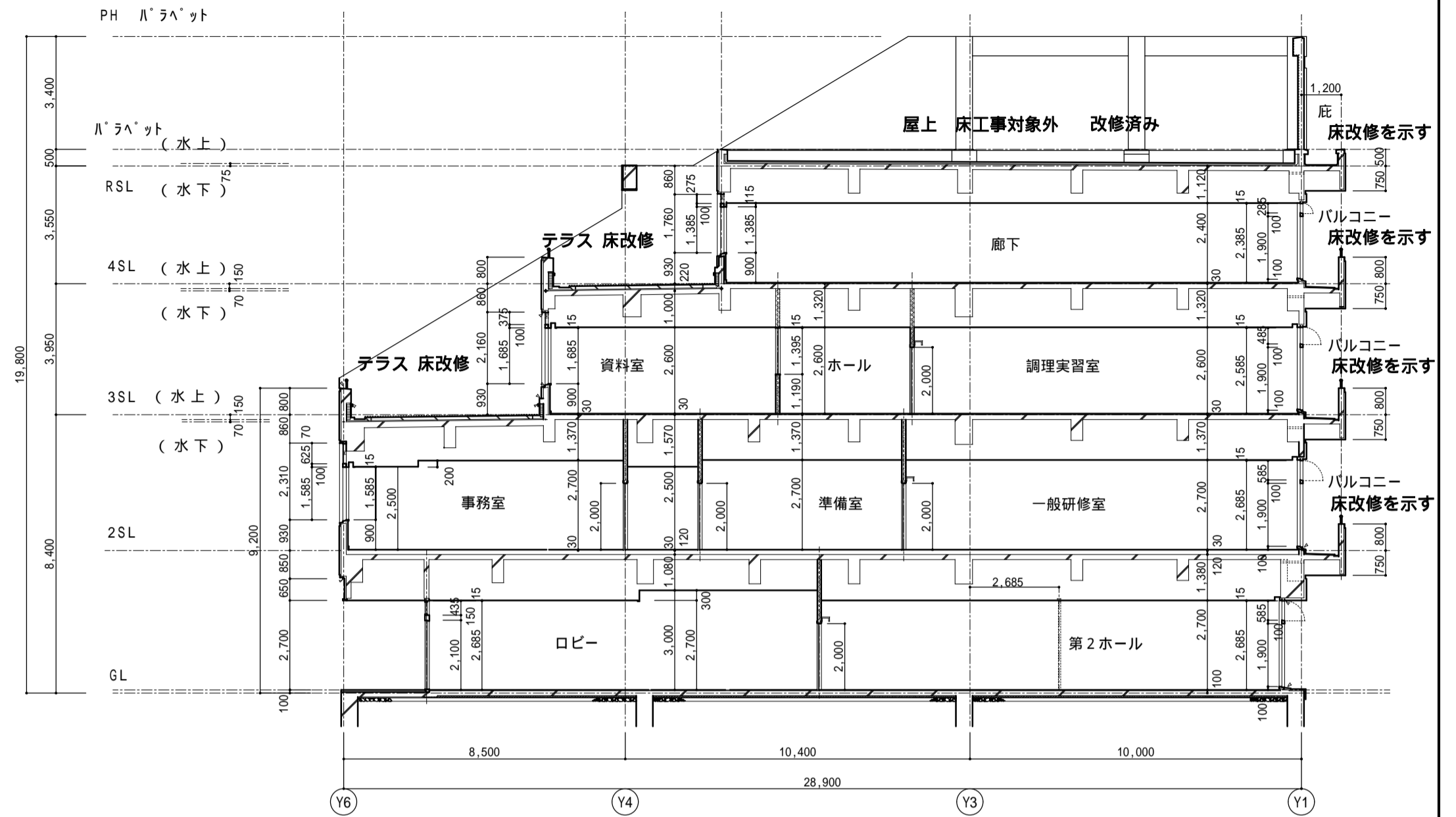
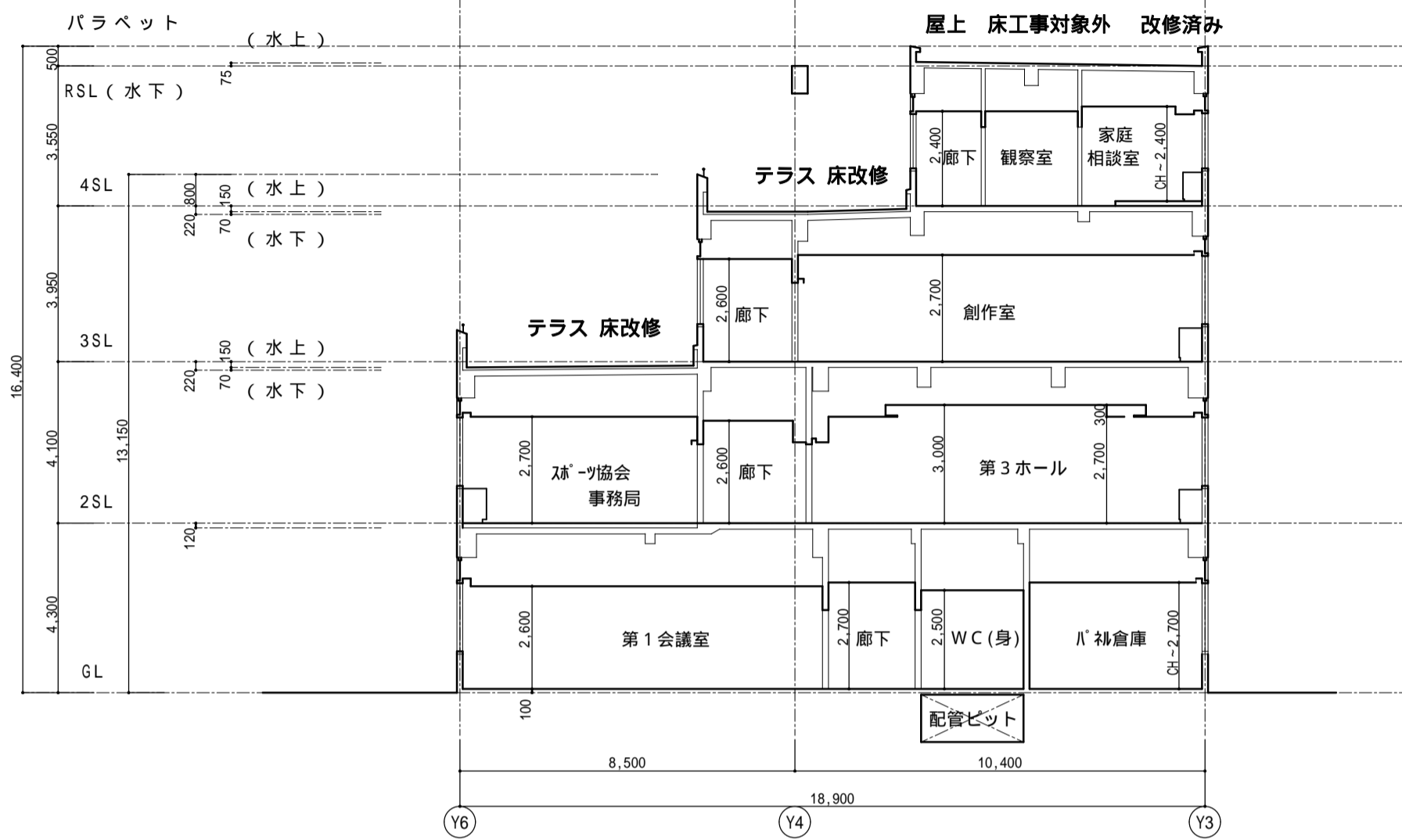


外部仕上 凡例		
①	現況	磁器質タイル張45X95角
	改修	樹脂被膜剥落防止工法
②	現況	吹付タイル(斜線部分 7x11スト含有) 下地コンクリート打放し
	改修	複層塗材かとう型RE (亀裂部分7x11スト除去、他 下地調整後塗替え)
③	現況	7x11タイル電解発色仕上
	改修	既存7x11タイル目荒し フッ樹脂塗装
④	現況	塗膜防水 下地防水タイル
	改修	塗膜防水 下地調整
⑤	現況	保護コンクリート 玄関底シロ防水及びバルコニー防水等
	改修	シート防水 下地調整
その他		
・工事際し、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。		
・タイル浮き面積 下記数量表による 下地タイル リフォーム前面補修、タイル張替は同類色とする。		
・目地：好 W=20 33 W=25(変性シリコン系シーリング) 全て打ち替え、建具等及び異種材回りシーリング 打ち替え10X10		
・建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、7x11建具 洗浄清掃		
・電気配管：下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装		
・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗		
・壁付 丸型ガラリ、壁樋 DP塗装 7x11建具幕板丸型付きガラリは別途		
・() 内項目は改修工事内容を示す		

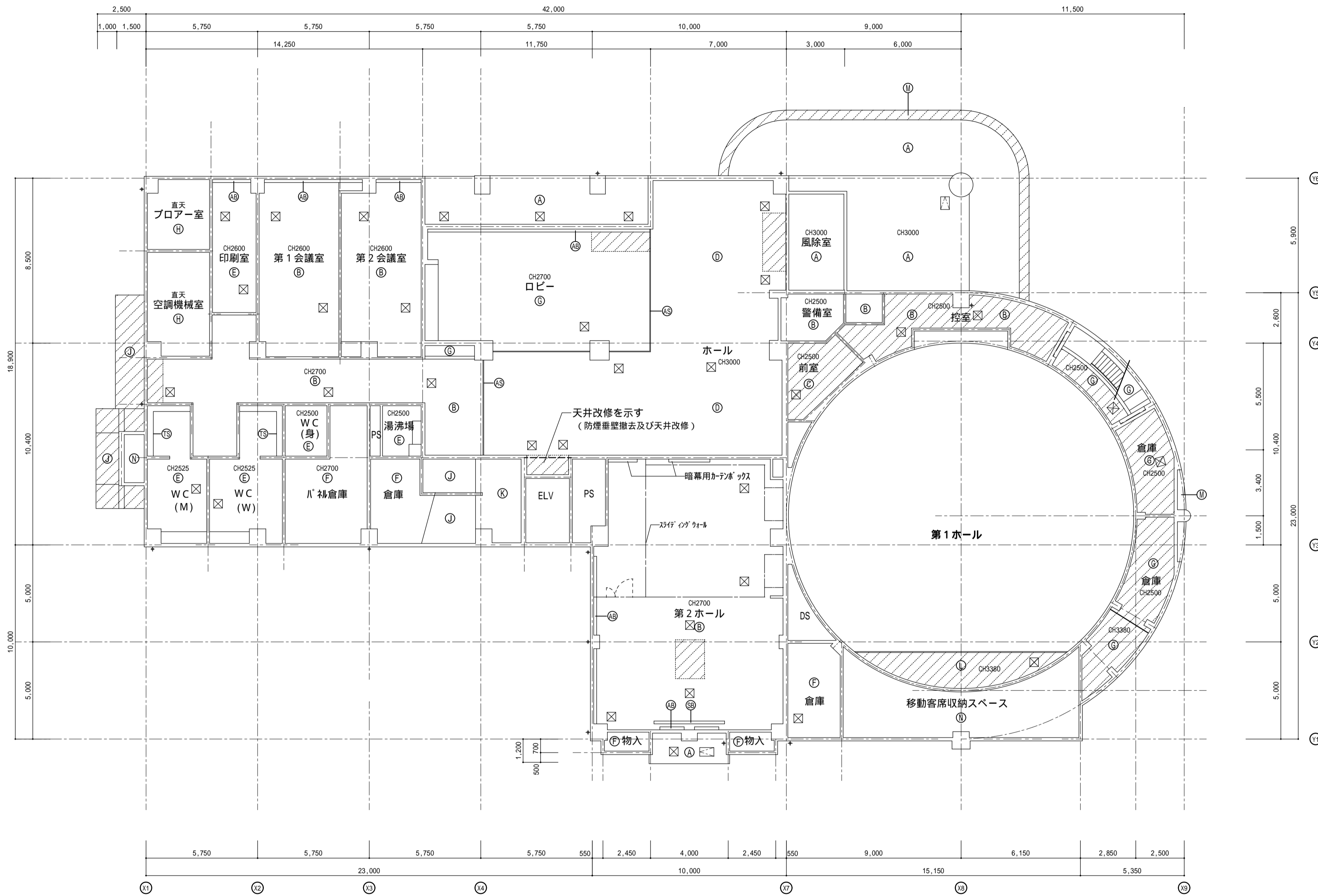
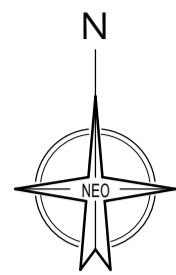
外壁劣化による種別及び数量表					
	タイル浮き	タイル亀裂	タイル欠損	コンクリート亀裂	コンクリート爆裂
東面	46.52 m ²	148 枚		m	m ²
北面	48.03 m ²	174 枚		73.75 m	0.15 m ²
西面	20.35 m ²	35 枚		35.15 m	m ²
南面	69.77 m ²	290 枚	4 枚	m	m ²
計	184.67 m ²	647 枚	4 枚	108.90 m	0.15 m ²
改修予想数量 (調査時数量の1.2倍増し)					
合計	221.60 m ²	776 枚	5 枚	130.68 m	0.18 m ²

外壁改修工法	
・損傷タイル	タイル浮き面積0.5m ² 以上アーカービソニック樹脂タイル工法。又はメカ仕様とする。 既存タイル面は全て薬品洗浄とし、洗浄後再度高圧洗浄とする。又はメカ仕様とする。
・タイル亀裂	撤去：タイル撤去後アーカービソニック樹脂タイル張 同類色タイル張替えとする。 躯体に亀裂がある場合：特記仕様書による。又はメカ仕様とする。
・欠損タイル	タイルの張替えは同類仕様及び類似タイルとする。又はメカ仕様とする。
・タイル落下防止	タイル面全て(表面処理) 塗膜強度材 補強2層+トップコート2層。又はメカ仕様とする。
・アーカービソニック打込	16本/m ² を基本とする、梁下垂れ壁等は特記仕様書による。又はメカ仕様とする。
・外壁亀裂(吹付け)	亀裂 0.2mm以上 100% 杉注入(自動式樹脂注入工法) Uカト シール打ち ヒビ割れ処理：7x11スト除去(湿式ブラスター工法)後、下地調整 複層塗材かとう型 RE塗装





備考	一般建築士事務所 株式会社 NEO設計 一般建築士登録 第187781号 中村剛正	工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事	図面名称 現況図	縮尺 1/150	図面No A-24
			断面図	年月日 2025.03	



仕上表 凡例

(A)	カーアルミパネル 71.0mm貼(LGS下地)
(B)	岩綿吸音板 79mm(PB 79mm LGS下地)
(C)	岩綿吸音板 712mm(PB 79mm LGS下地)
(D)	岩綿吸音板 715mm立体模様(PB 79mm LGS下地)
(E)	ノアスベスト板 75.0mm VE塗装(LGS下地)
(F)	化粧PB 79.0mm(LGS下地)
(G)	クロス貼(PB 79.0mm LGS下地)
(H)	ガラスケール 750mmの上、ガラスクロス貼
(J)	吹付タイル(合板型枠コンクリート素地)
(K)	ノアスベスト板 75.0mmの上、吹付タイル(LGS下地)
(L)	岩綿吸音板 719mm(塗装品)
(M)	カーアルミ板
(N)	コンクリート打放し
(O)	化粧PB 79.0mm(杉証模様)(LGS下地)
(P)	ペーパー 72.5貼
(AB)	アルミ製カーテンボックスを示す
(AS)	カーアルミ製幕板を示す
(SB)	映写用スクリーンボックスを示す
(TS)	天井照明ボックスを示す

☒ 一天井点検口を示す 斜線(点線)部分 改修部分を示す

備考



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

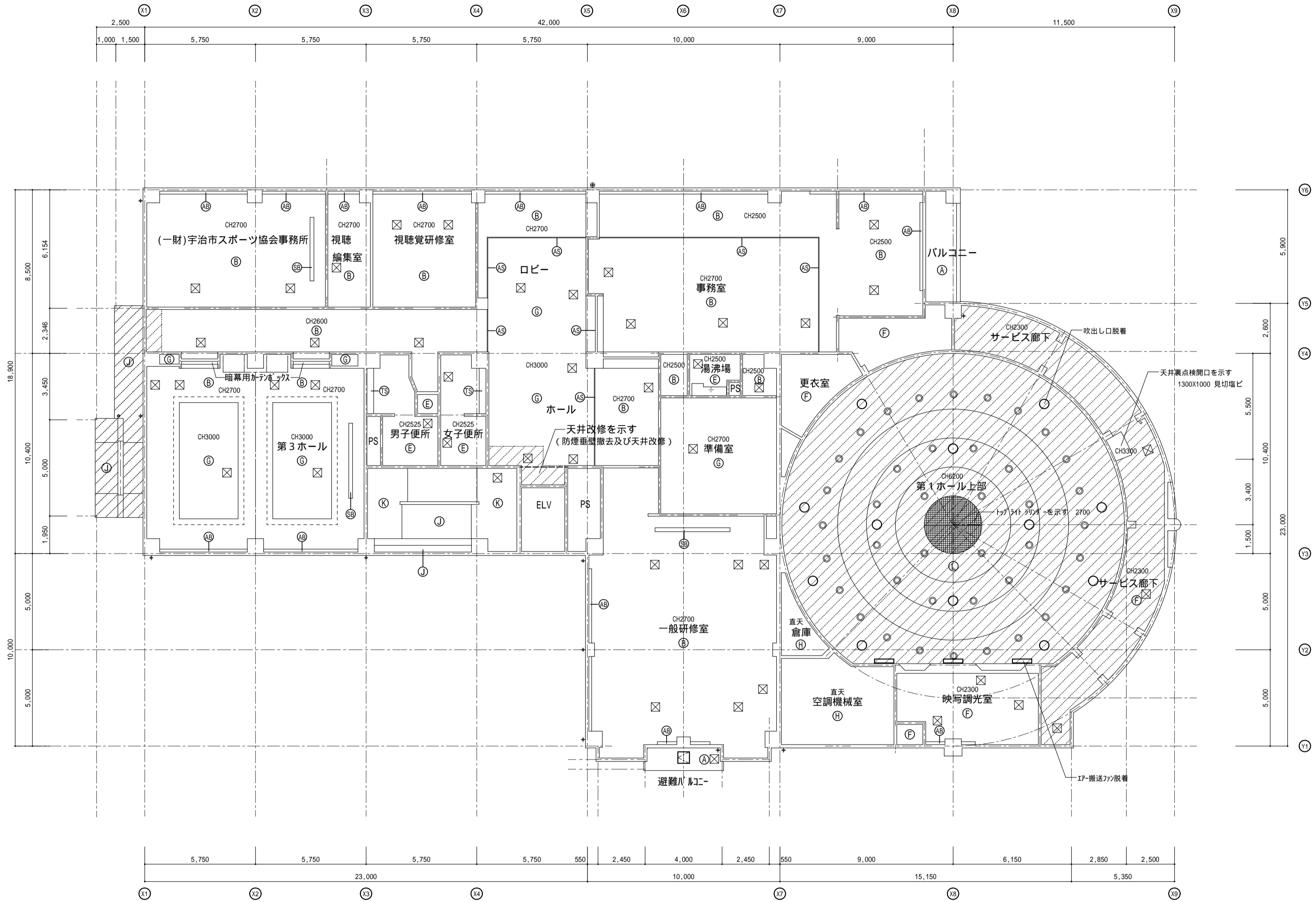
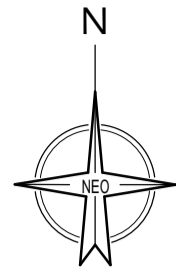
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

現況図
1階天井伏図

縮尺 1/150
年月日 2025.03

図面 No
A -25



仕上表 凡例

A	カーアルミパネル 71.0mm貼(LGS下地)
B	岩綿吸音板 79mm(PB 79mm LGS下地)
C	岩綿吸音板 712mm(PB 79mm LGS下地)
D	岩綿吸音板 715mm立体模様(PB 79mm LGS下地)
E	ノアスベスト板 75.0mm VE塗装(LGS下地)
F	化粧PB 79.0mm(LGS下地)
G	クロス貼(PB 79.0mm LGS下地)
H	ガラス塊 750mmの上、ガラスクロス貼
J	吹付タイル(合板型枠コンクリート素地)
K	ノアスベスト板 75.0mmの上、吹付タイル(LGS下地)
L	岩綿吸音板 719mm(塗装品)
M	カーアルミ板
N	コンクリート打放し
O	化粧PB 79.0mm(杉証模様)(LGS下地)
P	ペニヤ 72.5貼
AB	アルミ製カーテンボックスを示す
AS	カーアルミ製幕板を示す
SB	映写用スクリーンボックスを示す
TS	天井照明ボックスを示す

☒ 一天井点検口を示す 斜線(点線)部分 改修部分を示す

備考



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

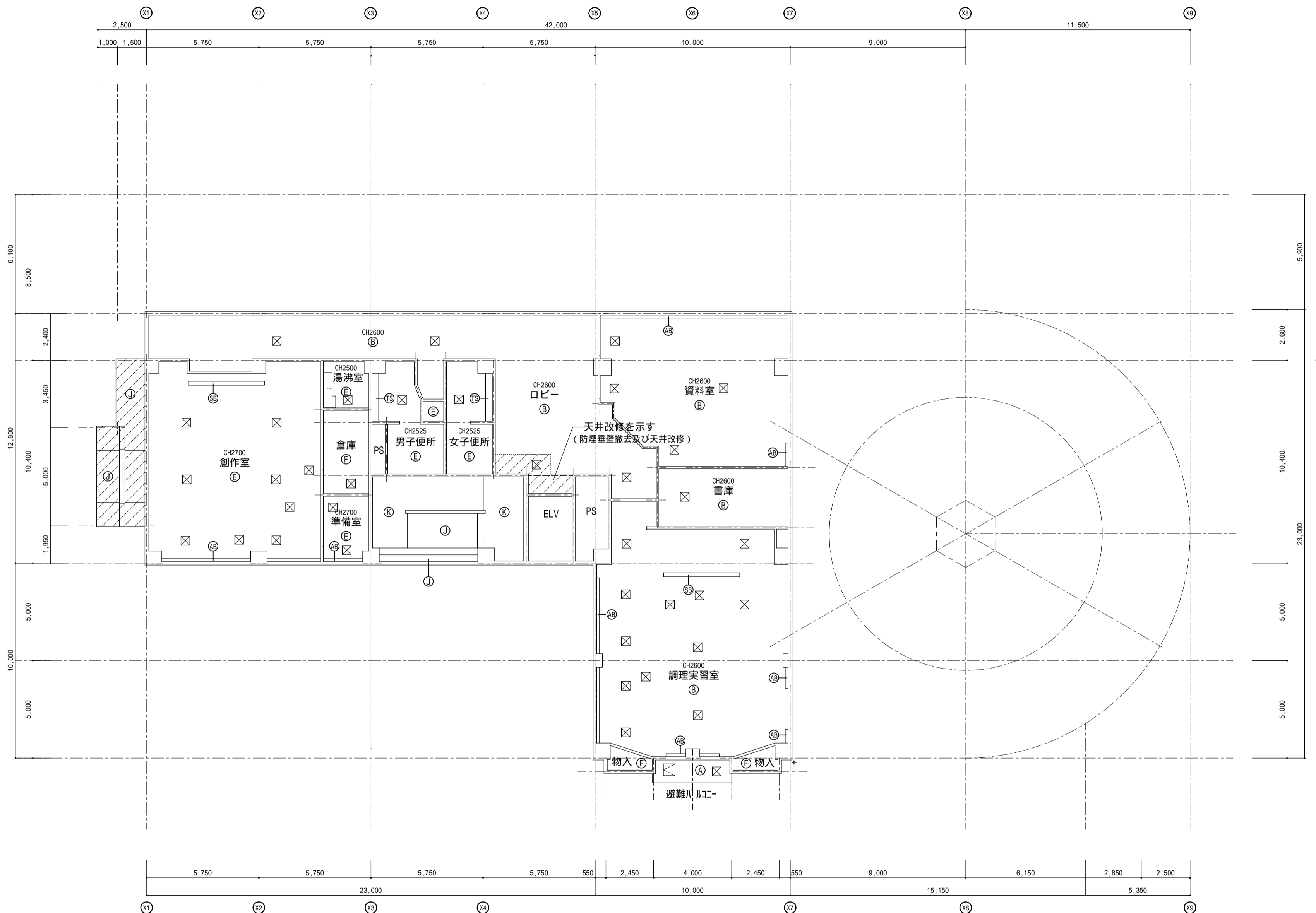
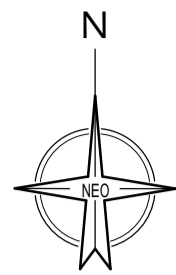
現況図
2階天井伏図

縮尺 1/150

年月日 2025.03

図面 No

A-26



仕上表 凡例

(A)	カーアルミパネル 71.0mm貼(LGS下地)
(B)	岩綿吸音板 79mm(PB 79mm LGS下地)
(C)	岩綿吸音板 712mm(PB 79mm LGS下地)
(D)	岩綿吸音板 715mm立体模様(PB 79mm LGS下地)
(E)	ノアスベスト板 75.0mm VE塗装(LGS下地)
(F)	化粧PB 79.0mm(LGS下地)
(G)	クロス貼(PB 79.0mm LGS下地)
(H)	ガラスパネル 750mmの上、ガラスクロス貼
(J)	吹付タイル(合板型枠コンクリート素地)
(K)	ノアスベスト板 75.0mmの上、吹付タイル(LGS下地)
(L)	岩綿吸音板 719mm(塗装品)
(M)	カーアルミ板
(N)	コンクリート打放し
(O)	化粧PB 79.0mm(杉証模様)(LGS下地)
(P)	ペニャ 72.5貼
(AB)	アルミ製カーテンボックスを示す
(AS)	カーアルミ製幕板を示す
(SB)	映写用スクリーンボックスを示す
(TS)	天井照明ボックスを示す

☒ 一天井点検口を示す 斜線(点線)部分 改修部分を示す

備考



一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称

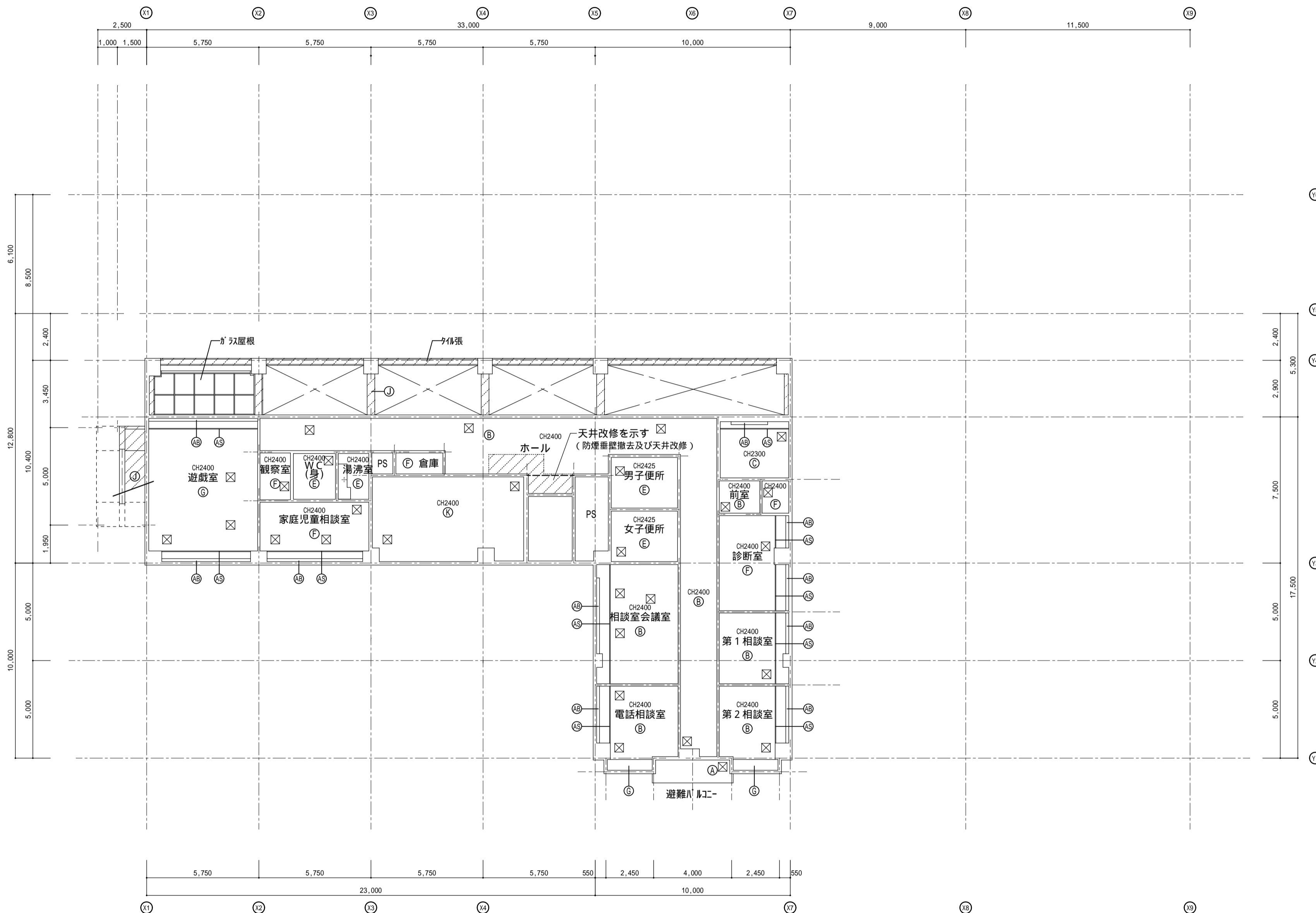
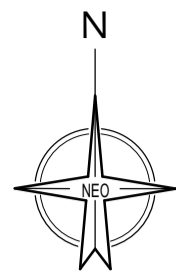
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

現況図
3階天井伏図

縮尺 1/150
年月日 2025.03

図面 No
A - 27



仕上表 凡例

Ⓐ	カーアルミパントール 71.0mm貼(LGS下地)
Ⓑ	岩綿吸音板 79mm(PB 79mm LGS下地)
Ⓒ	岩綿吸音板 712mm(PB 79mm LGS下地)
Ⓓ	岩綿吸音板 715mm立体模様(PB 79mm LGS下地)
Ⓔ	ノアスベスト板 75.0mm VE塗装(LGS下地)
Ⓕ	化粧PB 79.0mm(LGS下地)
Ⓖ	クロス貼(PB 79.0mm LGS下地)
Ⓗ	ガラスクロス 750mmの上、ガラスクロス貼
Ⓙ	吹付タイル(合板型枠コンクリート素地)
Ⓚ	ノアスベスト板 75.0mmの上、吹付タイル(LGS下地)
Ⓛ	岩綿吸音板 719mm(塗装品)
Ⓜ	カーアルミ板
Ⓝ	コンクリート打放し
Ⓞ	化粧PB 79.0mm(杉証模様)(LGS下地)
Ⓟ	ペーパー 72.5貼
ⒶB	アルミ製カーテンボックスを示す
ⒶS	カーアルミ製幕板を示す
ⒶB	映写用スクリーンボックスを示す
ⒶS	天井照明ボックスを示す

☒ 一天井点検口を示す 斜線(点線)部分
改修部分を示す

備考



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

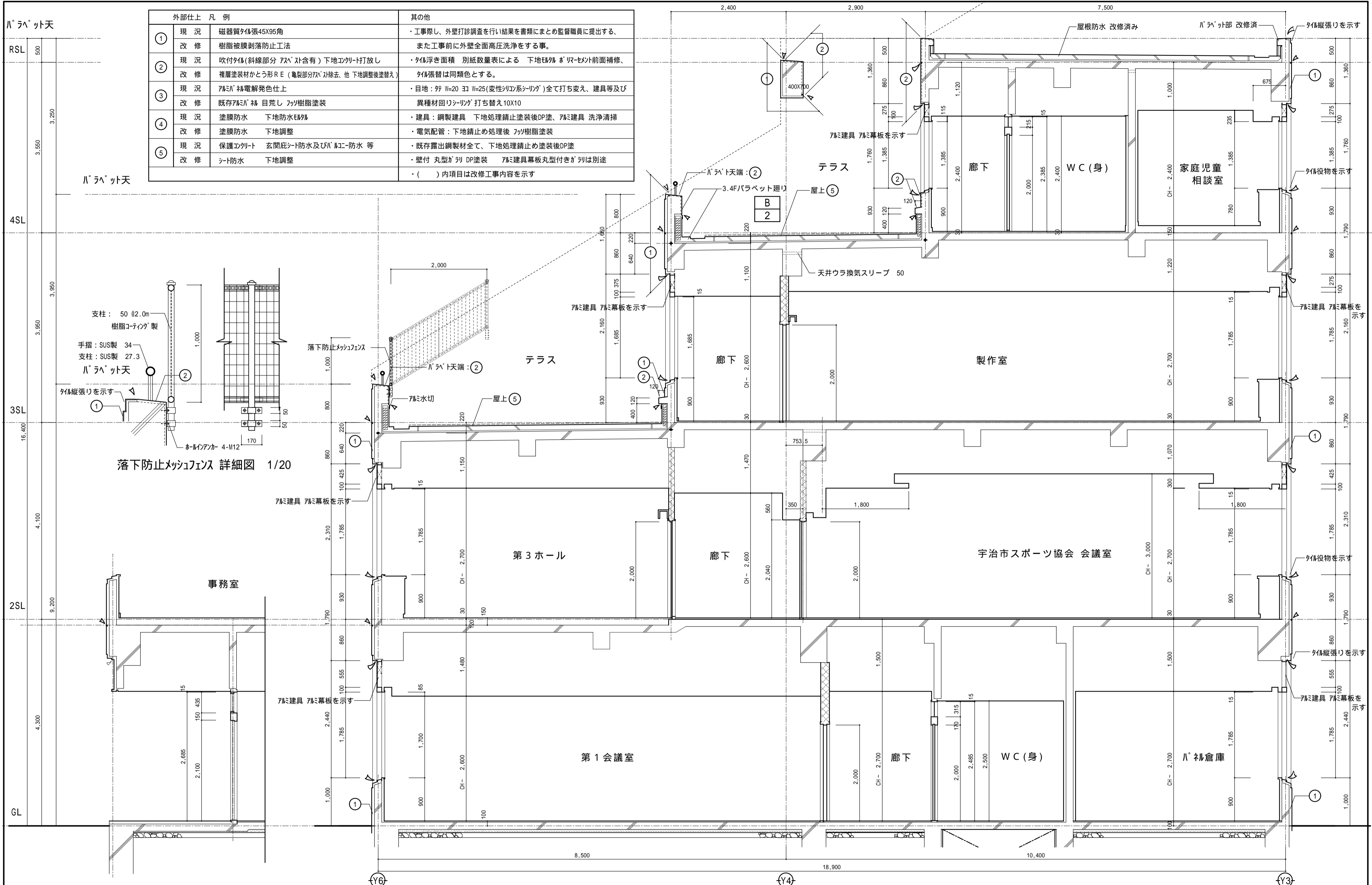
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

現況図
4階天井伏図

縮尺 1/150
年月日 2025.03

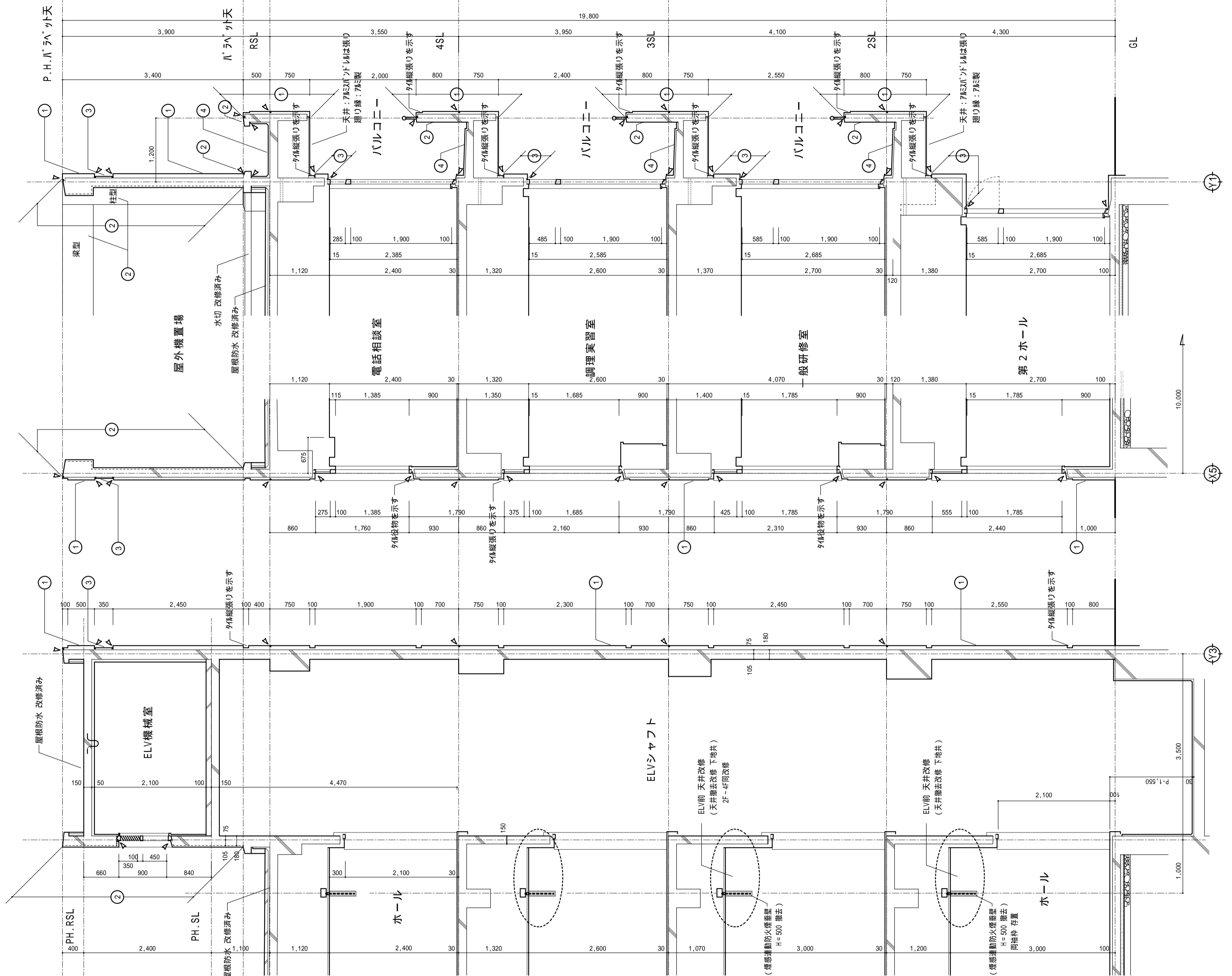
図面 No
A-28



外部仕上 凡例		その他
①	現況 磁器質タイル張45X95角	・工事際、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、 また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。
改修	樹脂被膜剥落防止工法	
②	現況 吹付タイル(斜線部分 アスベスト含有) 下地コンクリート打放し	・タイル浮き面積 別紙数量表による 下地タイルボンドモルタル前面補修、 タイル張替は同類色とする。
改修	複層塗装材かとう形RE(亀裂部分アスベスト除去、他 下地調整後塗替え)	
③	現況 アルミ補電解発色仕上	・目地：タ W=20 E W=25(変性シリコン系シリカ)全て打ち変え、建具等及び 異種材回りシリカ打替え10X10
改修	既存アルミ補 目荒し フッ樹脂塗装	
④	現況 塗膜防水 下地防水モルタル	・建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、アルミ建具 洗浄清掃 ・電気配管：下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装
改修	塗膜防水 下地調整	
⑤	現況 保護コンクリート 玄関底シート防水及びバルコニー防水等	・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗 ・壁付 丸型シリカDP塗装 アルミ建具幕板丸型付きシリカは別途 ・() 内項目は改修工事内容を示す
改修	シート防水 下地調整	

落下防止メッシュ 詳細図 1/20

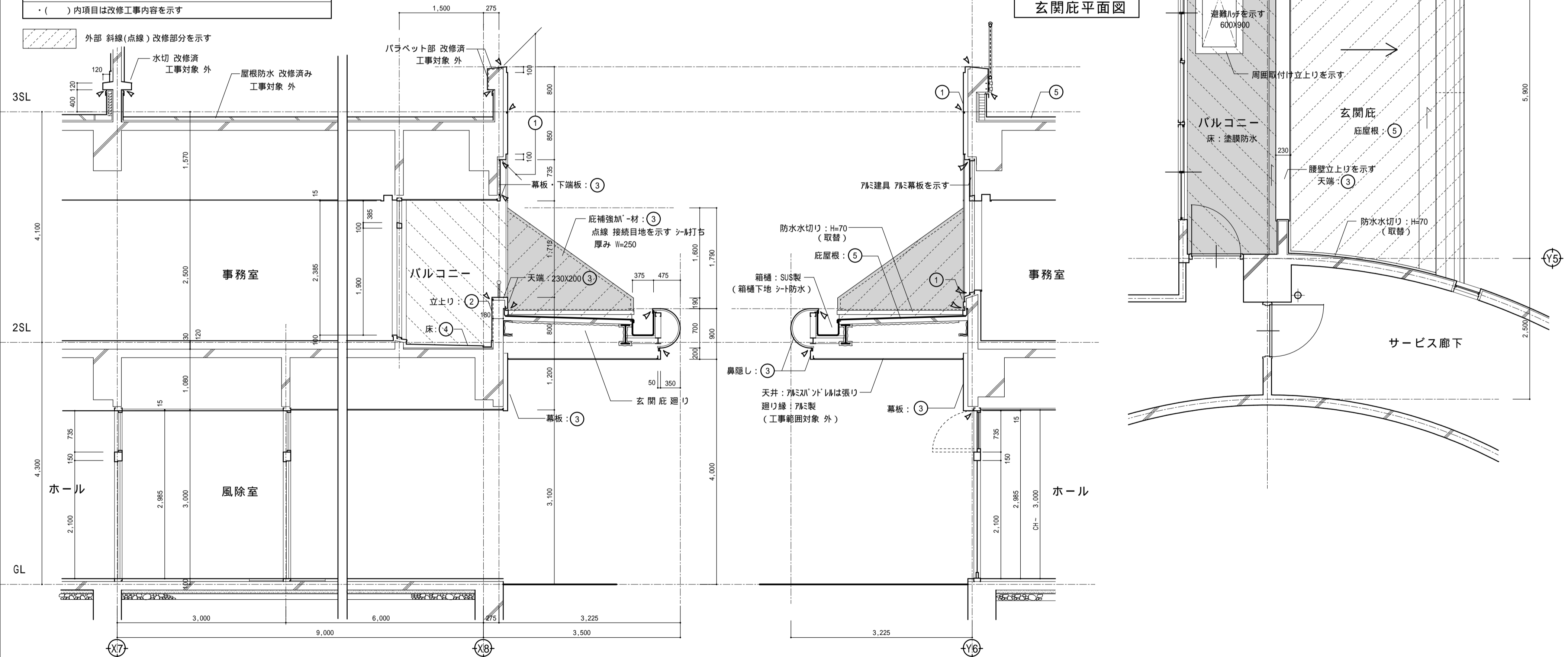
外部仕上 凡例		その他
①	磁器質タイル張45°95°角	・工事際し、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する。 また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。
②	樹脂被膜剥離防止工法	・タイル浮き面積 別紙数量表による 下地材(タイル)の除去は外前面補修、 タイル張替は同顔色とする。
③	吹付タイル(斜線部分)タイルスト含有)下地コーティング打放し	・目地：好 W=20 E=25(変性ウレタン系)タイル)全て打ち替え、建具等及び 異種材(タイル)目地目黒し、タイル樹脂塗装
④	補修塗材(タイル)目黒し、タイル樹脂塗装	・建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、7MS建具 洗浄清掃
⑤	既存タイル目黒し、タイル樹脂塗装	・電気配管：下地錆止め処理後、7MS樹脂塗装
⑥	塗膜防水 下地防水種別	・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗
⑦	塗膜防水 下地調整	・壁付 丸型ガリ DP塗装 7MS建具 鋼板丸型付きガリは別途
⑧	保護コーティング 玄関庇(タイル)防水及びバルコニー防水等	・()内項目は改修工事内容を示す
⑨	シート防水 下地調整	



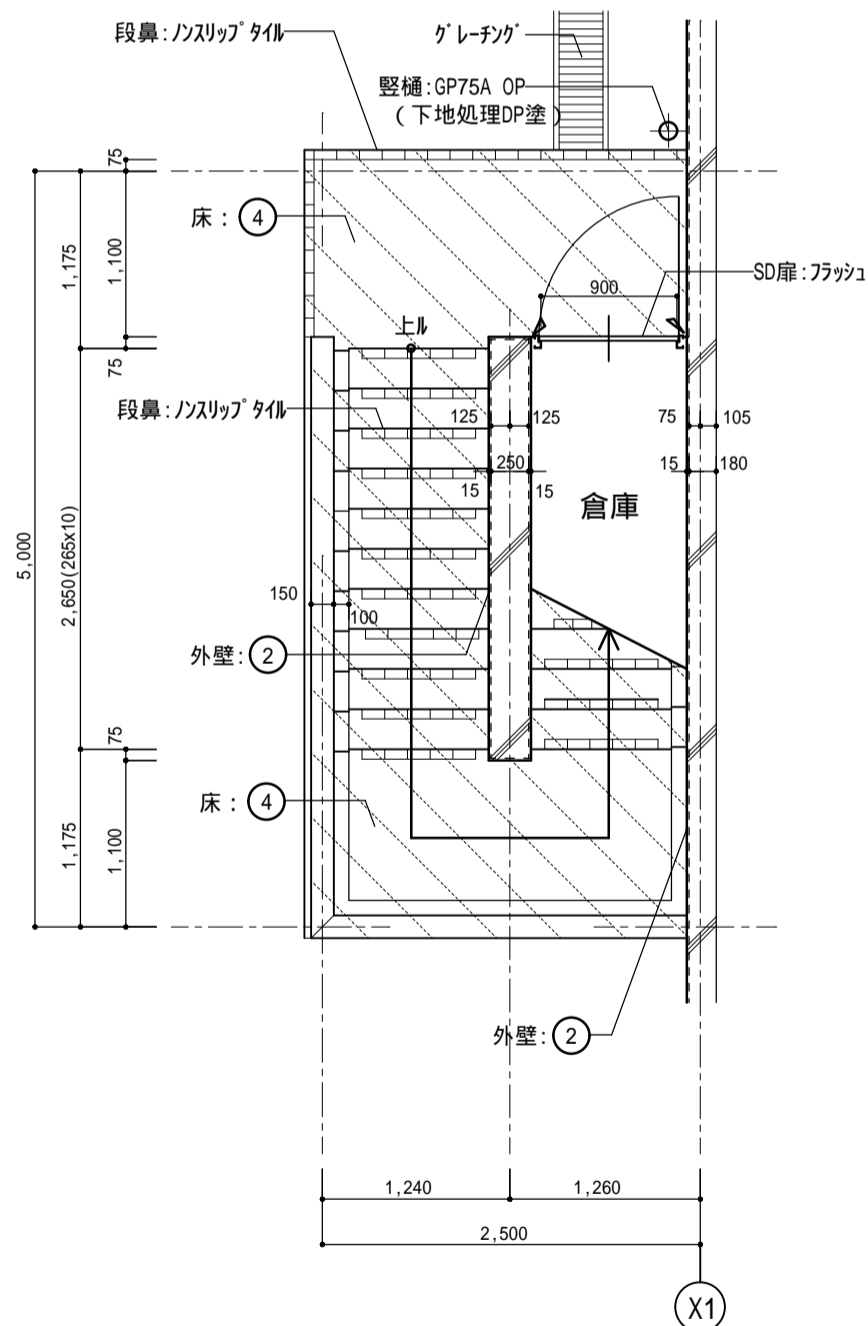
外部仕上 凡例		
①	現況	磁器質タイル張45X95角
	改修	樹脂被膜剥落防止工法
②	現況	吹付タイル(斜線部分 アスベスト含有) 下地コンクリート打放し
	改修	複層塗装材かとう形RE (亀裂部分アスベスト除去、他 下地調整後塗装)
③	現況	アミノ樹脂電解発色仕上
	改修	既存アミノ樹脂目荒し フッ樹脂塗装
④	現況	塗膜防水 下地防水EM外
	改修	塗膜防水 下地調整
⑤	現況	保護コンクリート 玄関庇シート防水及びバルコニー防水等
	改修	シート防水 下地調整

- その他
- ・工事際し、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。
 - ・タイル浮き面積 別紙数量表による 下地EM外 リフォーム前面補修、タイル張替は同類色とする。
 - ・目地：タ W=20 30 W=25(変性シリコン系シーリング) 全て打ち変え、建具等及び異種材回りシーリング 打ち替え10X10
 - ・建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、アミノ建具 洗浄清掃
 - ・電気配管：下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装
 - ・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗
 - ・壁付 丸型ガリ DP塗装 アミノ建具幕板丸型付きガリは別途
 - ・() 内項目は改修工事内容を示す

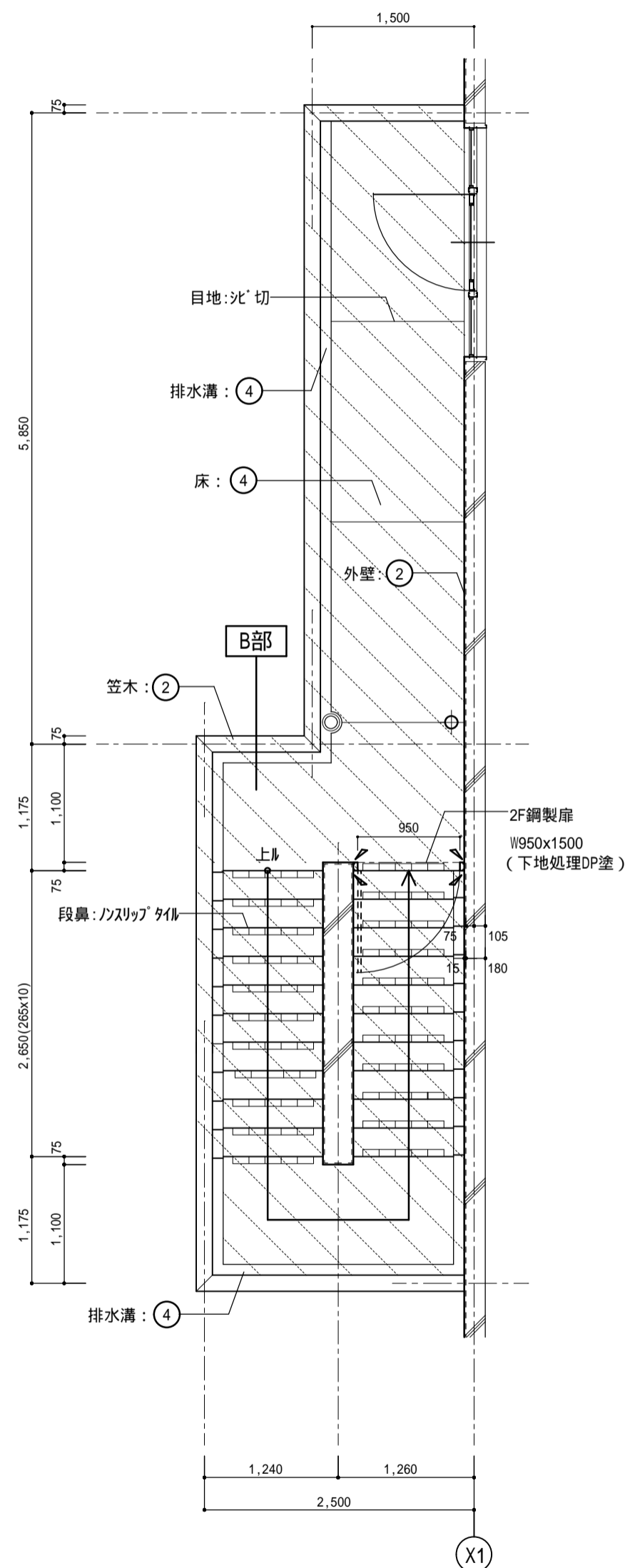
外部 斜線(点線) 改修部分を示す



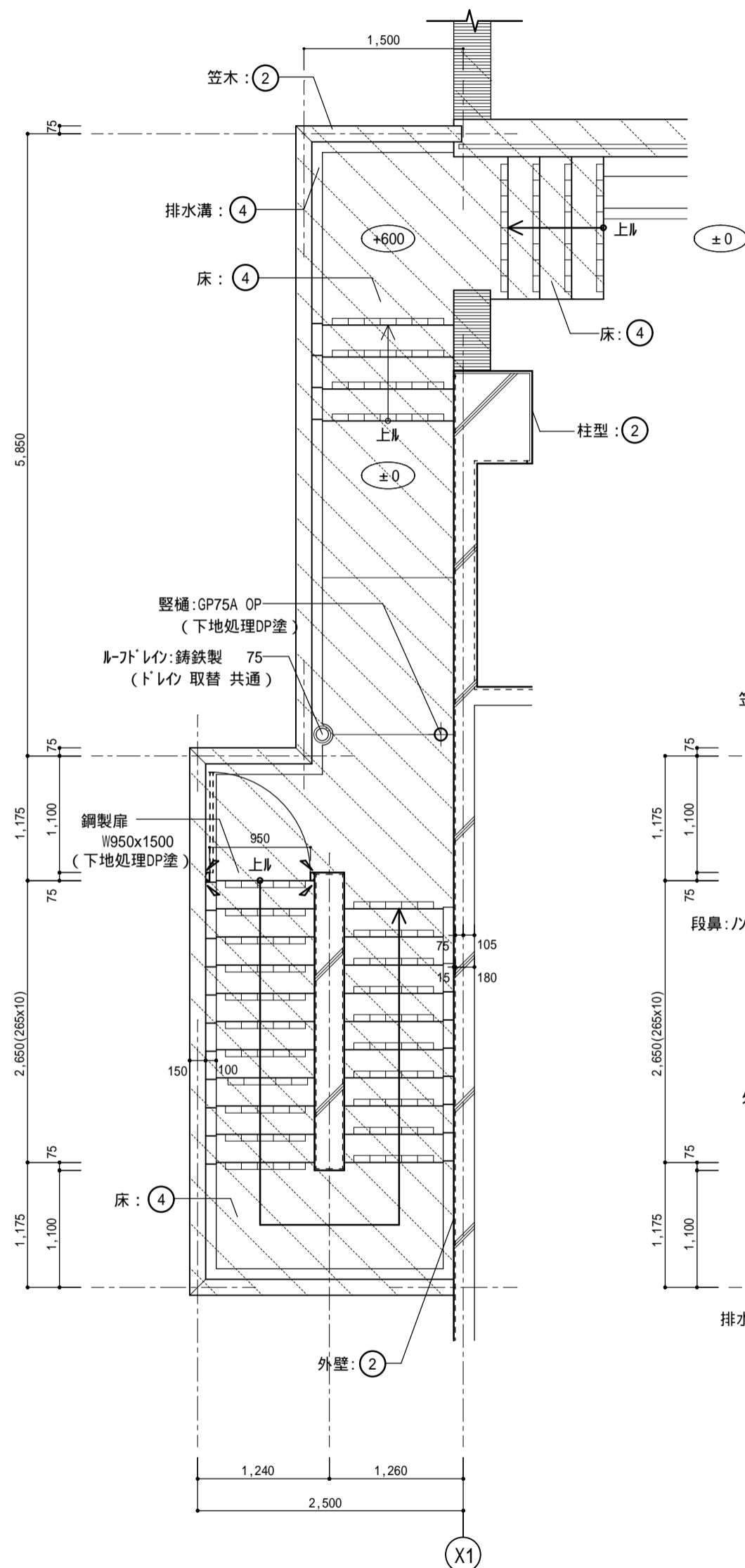
外部仕上 凡例		
①	現況	磁器質タイル張45X95角
	改修	樹脂被膜剥落防止工法
②	現況	吹付タイル(斜線部分 アスベスト含有) 下地コンクリート打放し
	改修	複層塗材かとう形RE (亀裂部分アスベスト除去、他 下地調整後塗替え)
③	現況	アルミ補電解発色仕上
	改修	既存アルミ補 目荒し フッ樹脂塗装
④	現況	塗膜防水 下地防水EIL外
	改修	塗膜防水 下地調整
⑤	現況	保護コンクリート 玄関底シート防水
	改修	シート防水 下地調整
その他 ・工事終了後、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、 また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。 ・タイル浮き面積 別紙数量表による 下地EIL外 必要部分前面補修、 タイル張替は同類色とする。 ・目地：タ W=20 コ W=25(変性シリコン系シーリング) 全て打ち替え、建具等及び 異種材回りシーリング 打ち替え10X10 ・建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、アルミ建具 洗浄清掃 ・電気配管：下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装 ・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗 ・壁付 丸型ガリ DP塗装 アルミ建具幕板丸型付きガリは別途 ・() 内項目は改修工事内容を示す		



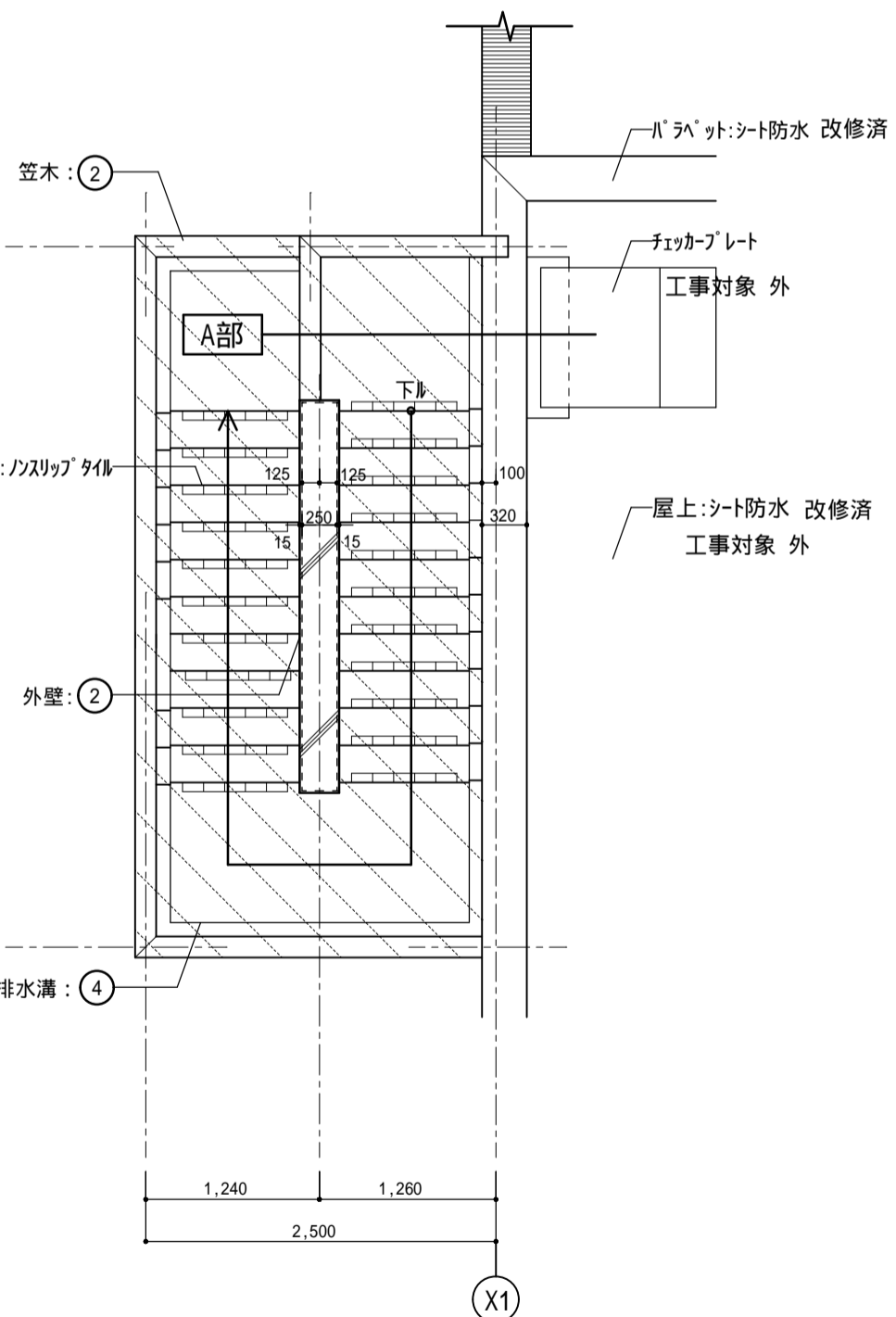
1階平面図



2・3階平面図



4階平面図



R階平面図

備考	
----	--



一般建築士事務所
 株式会社 NEO設計
 一般建築士登録 第187781号 中村剛正

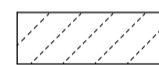
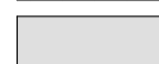
工事名称
 宇治市生涯学習センター
 中規模改修建築工事

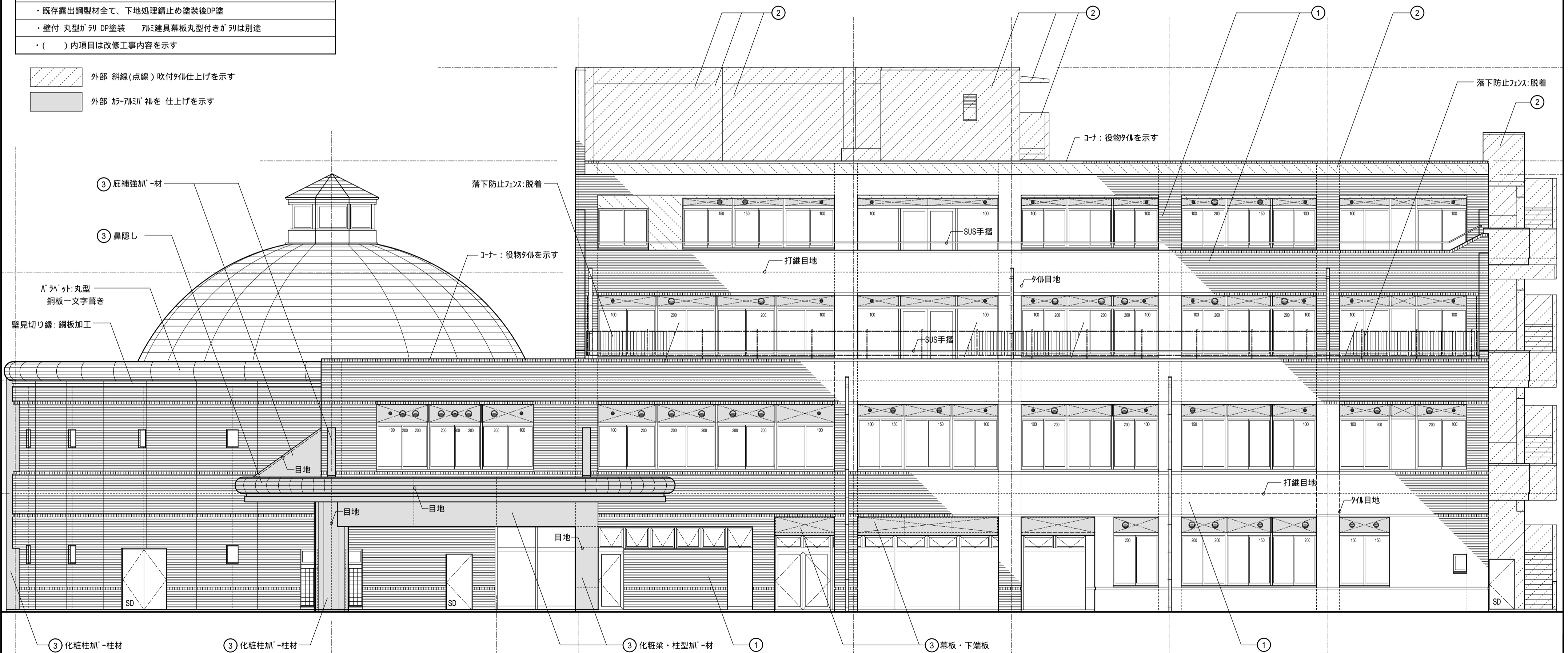
図面名称
 現況図
 屋外階段詳細図 - 1

縮尺 1/50
 年月日 2025.03

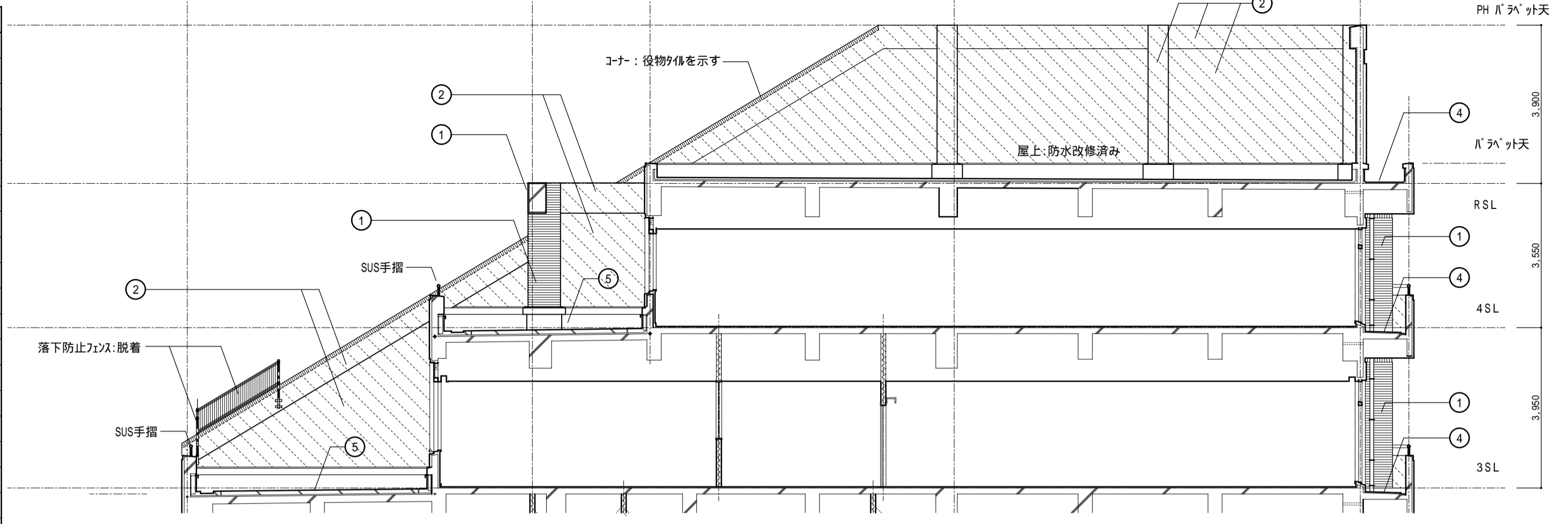
図面 No
 A - 32

外部仕上 凡 例		
①	現 況	磁器質タイル張45X95角
	改 修	樹脂被膜剥落防止工法
②	現 況	吹付タイル(斜線部分 アスベスト含有) 下地コンクリート打放し
	改 修	複層塗材 可とう形 R E (亀裂部分アスベスト除去、他 下地調整後塗替え)
③	現 況	アルミ 補電解発色仕上
	改 修	既存アルミ 補 目荒し フッ樹脂塗装
④	現 況	塗膜防水 下地防水EILタイル
	改 修	塗膜防水
⑤	現 況	保護コンクリート 玄関底シート防水
	改 修	シート防水
その他		
・ 工事際し、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。		
・ タイル浮き面積 別紙数量表による 下地EILタイル 剥離・セメント前面補修、タイル張替は同類色とする。		
・ 目地：タ W=20 コ W=25(変性シリコン系シーリング) 全て打ち替え、建具等及び異種材回りシーリング 打ち替え10X10		
・ 建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、アルミ建具 洗浄清掃		
・ 電気配管：下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装		
・ 既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗		
・ 壁付 丸型タイル DP塗装 アルミ建具幕板丸型付きタイルは別途		
・ () 内項目は改修工事内容を示す		

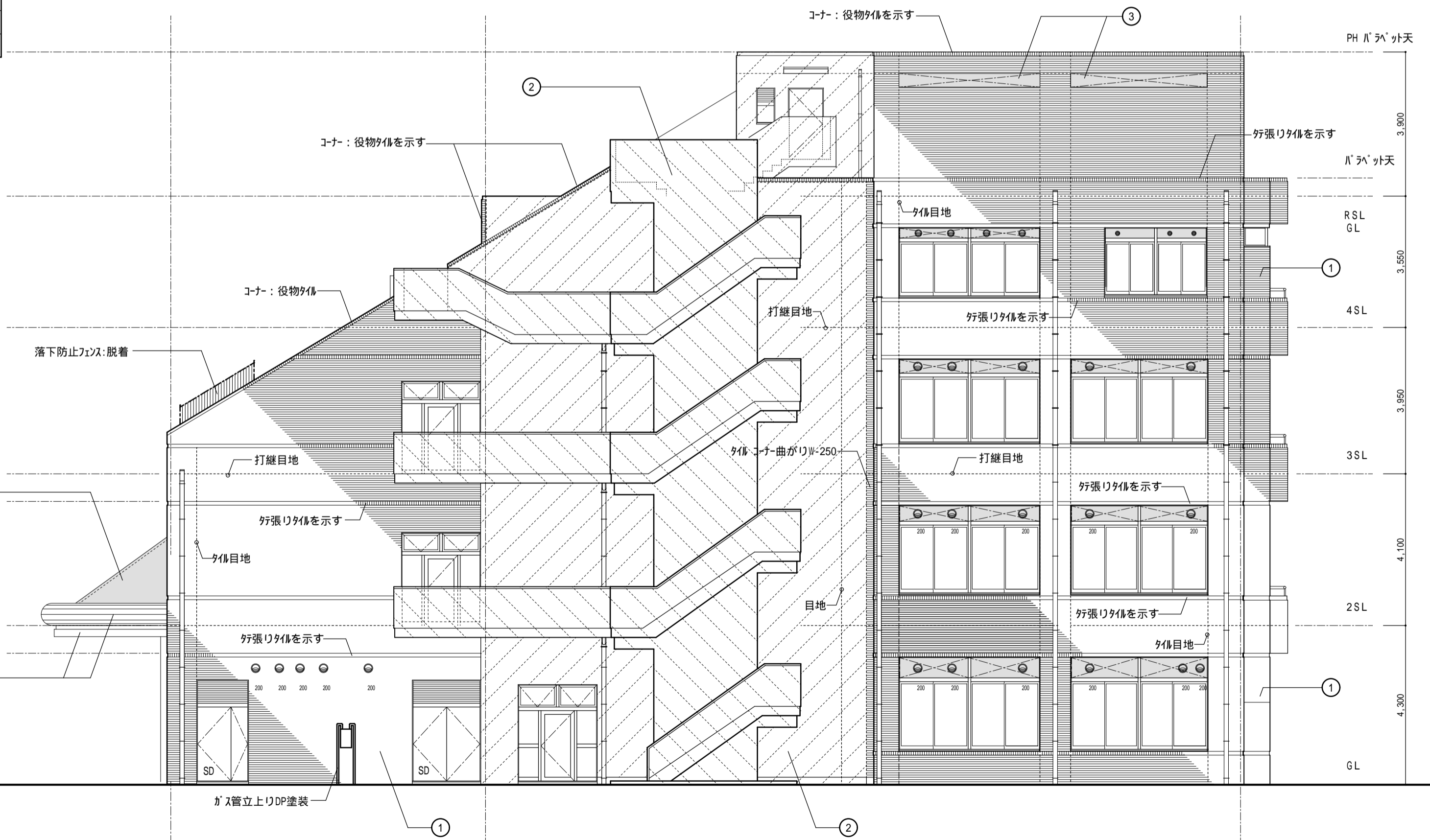
 外部 斜線(点線) 吹付タイル仕上げを示す
 外部 カラ-アルミ 補を 仕上げを示す



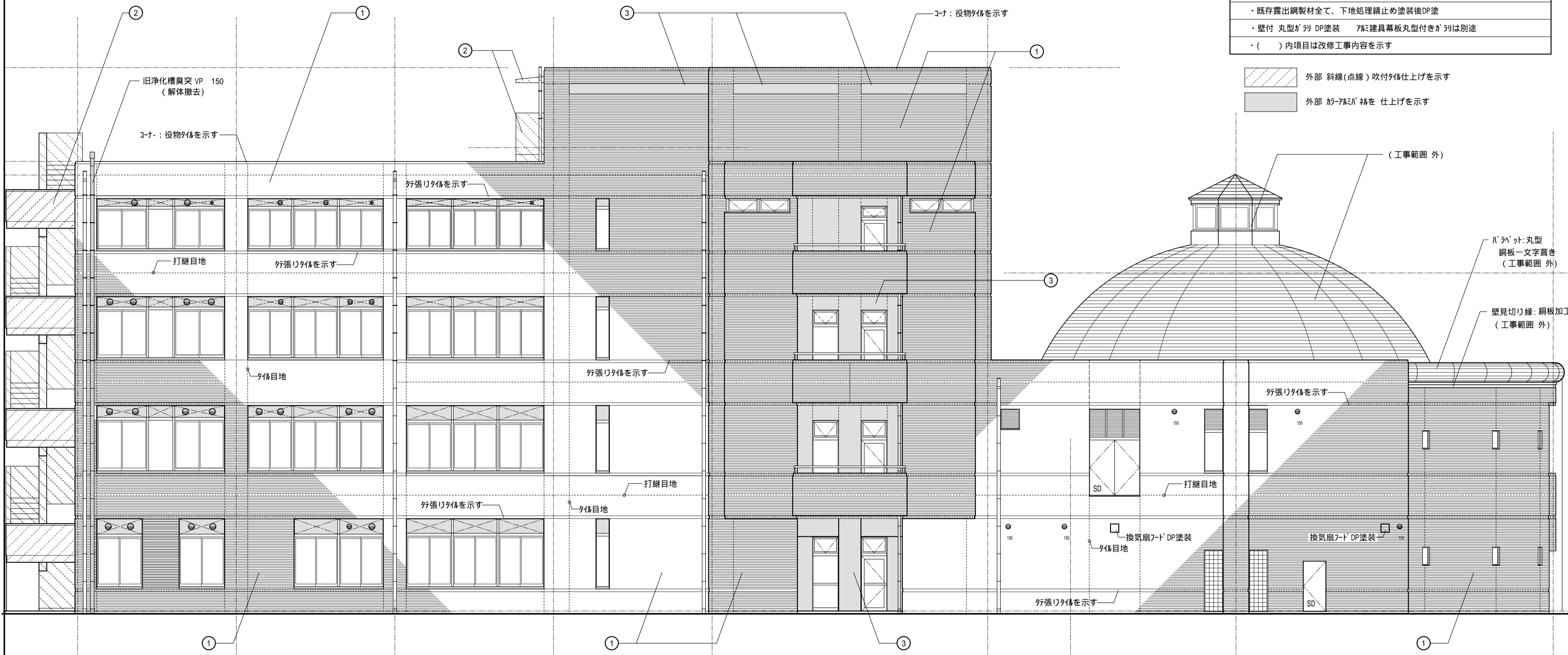
外部仕上 凡例		
①	現況	磁器質タイル張45X95角
	改修	樹脂被膜剥落防止工法
②	現況	吹付タイル(斜線部分7ス/ス含有)下地コンクリート打放し
	改修	複層塗材 可とう形RE(亀裂部分7ス/ス除去、他下地調整後塗替え)
③	現況	珪藻土電解発色仕上
	改修	既存珪藻土目荒し フッ樹脂塗装
④	現況	塗膜防水 下地防水EIL外
	改修	塗膜防水
⑤	現況	保護コンクリート 玄関底シート防水
	改修	シート防水
その他		
・工事際し、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。		
・タイル浮き面積 別紙数量表による 下地EIL外 8mmシート前面補修、タイル張替は同類色とする。		
・目地: 打 W=20 3コ W=25(変性シリコンシーリング) 全て打ち替え、建具等及び異種材回りシーリング 打ち替え10X10		
・建具: 鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、珪藻土建具 洗浄清掃		
・電気配管: 下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装		
・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗		
・壁付 丸型ガリ DP塗装 珪藻土建具幕板丸型付きガリは別途		
・鉄部 DP塗装		
・() 内項目は改修工事内容を示す		



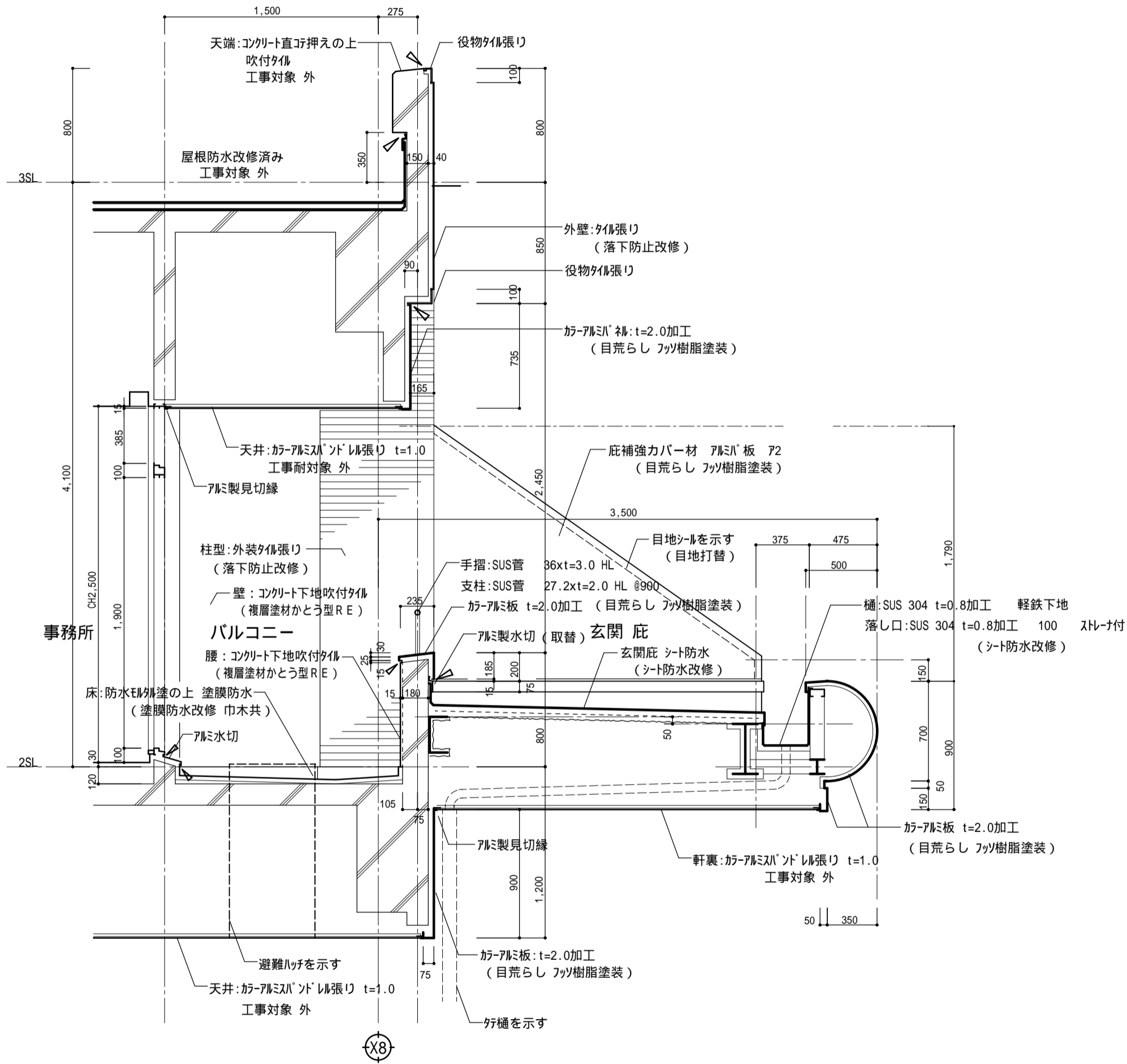
- 外部 斜線(点線) 吹付タイル仕上げを示す
- 外部 カ-珪藻土 補を 仕上げを示す



外部仕上 凡例		
①	現況	磁器質タイル張45X95角
	改修	樹脂被膜剥落防止工法
②	現況	吹付タイル(斜線部分 アスベスト含有) 下地コンクリート打放し
	改修	複層塗材 可とう形 RE (亀裂部分アスベスト除去、他 下地調整後塗替え)
③	現況	アルミ 補電解発色仕上
	改修	既存アルミ 補 目荒し フッ樹脂塗装
④	現況	塗膜防水 下地防水EMF
	改修	塗膜防水
⑤	現況	保護コンクリート 玄関底シート防水
	改修	シート防水
その他		
・工事際し、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。		
・タイル浮き面積 別紙数量表による 下地EMF 補修メント前面補修、タイル張替は同類色とする。		
・目地：タ W=20 コ W=25(変性シリコーン系シーリング) 全て打ち変え、建具等及び異種材回りシーリング 打ち替え10X10		
・建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、アルミ建具 洗浄清掃		
・電気配管及び堅樋：下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装		
・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗		
・壁付 丸型ガラ DP塗装 アルミ建具幕板丸型付きガラは別途		
・() 内項目は改修工事内容を示す		

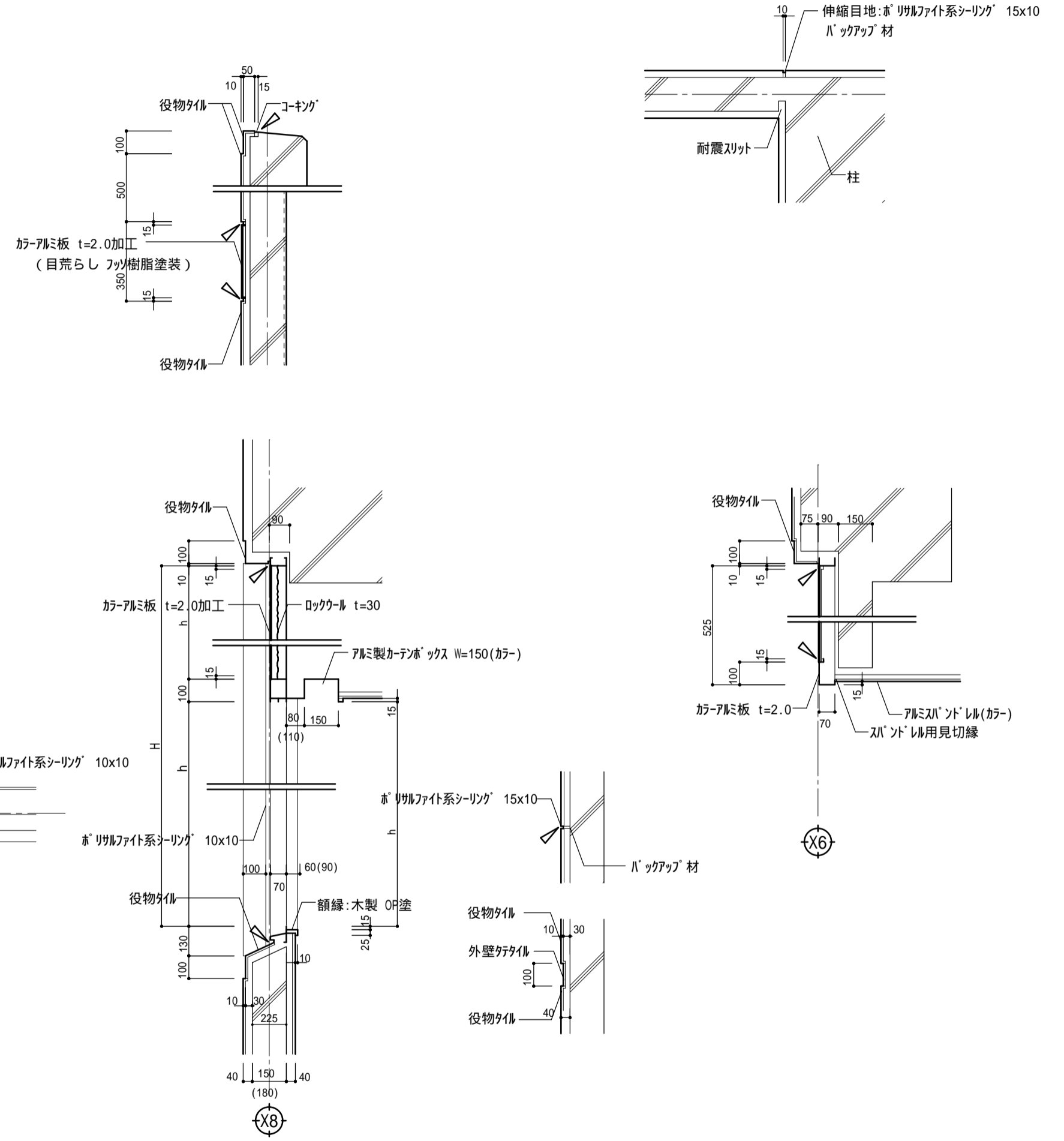


外部 斜線(点線) 吹付タイル仕上げを示す
 外部 補-アルミ 補を 仕上げを示す



玄関庇廻り詳細図 S=1/30

- 外壁改修項目
- タイル張り (落下防止改修)
- 吹付タイル (複層塗材かとう形 R E)
- カ-アルミ板 (目荒らし フッ樹脂塗装)



部分開口部廻り詳細図 S=1/20

- 外壁改修項目
- タイル張り (落下防止改修)
- 吹付タイル (複層塗材かとう形 R E)
- カ-アルミ板 (目荒らし フッ樹脂塗装)

備考	
----	--



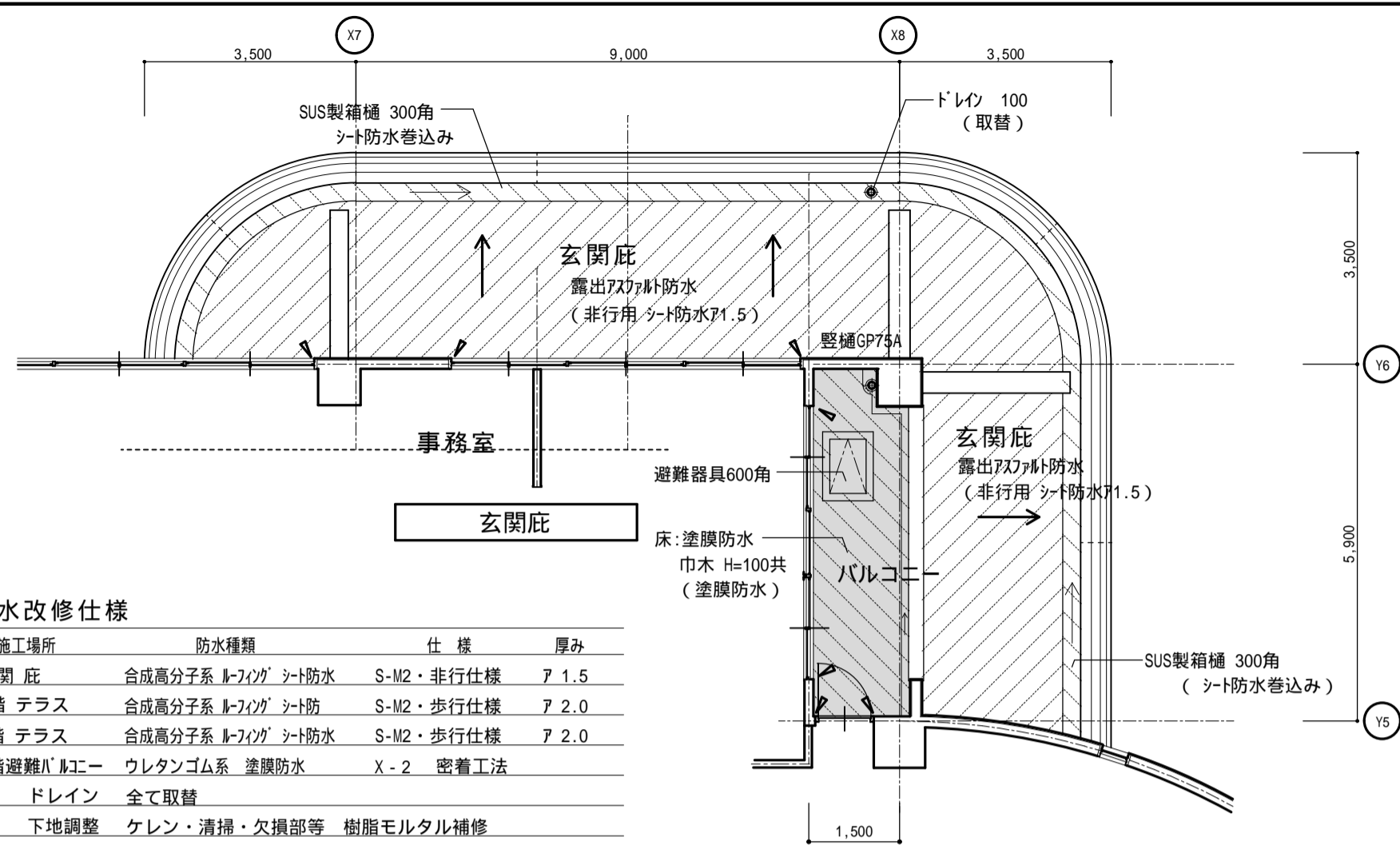
一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称	宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事
------	--------------------------

図面名称	現況図 部分詳細図 - 1
------	------------------

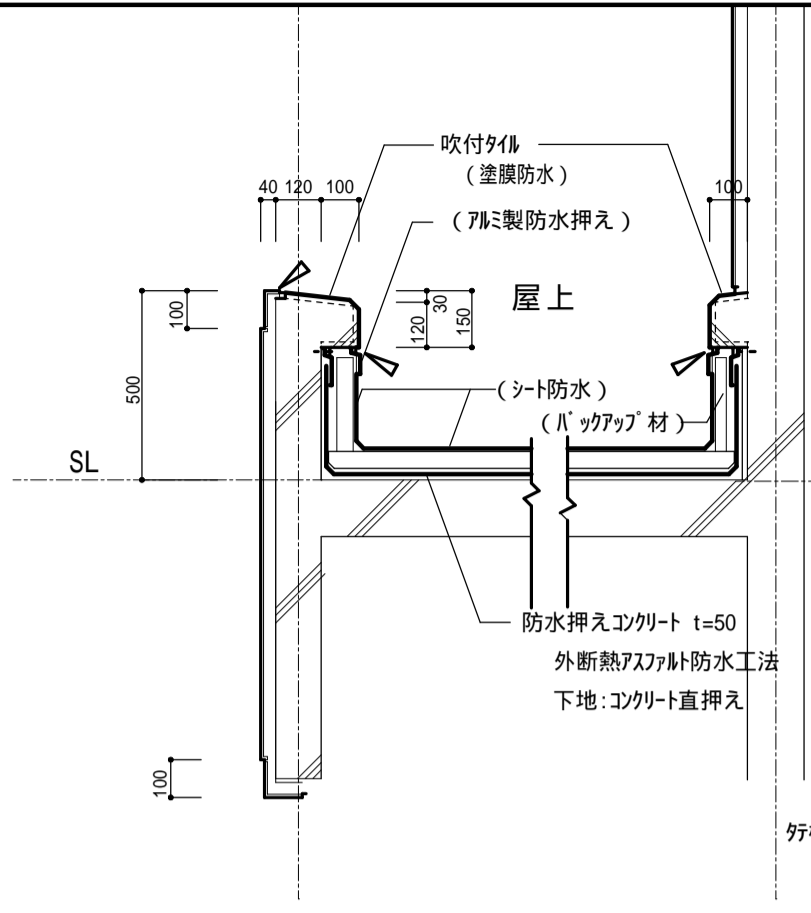
縮尺	1/20・50 年月日 2025.03
----	------------------------

図面 No	A - 38
-------	--------

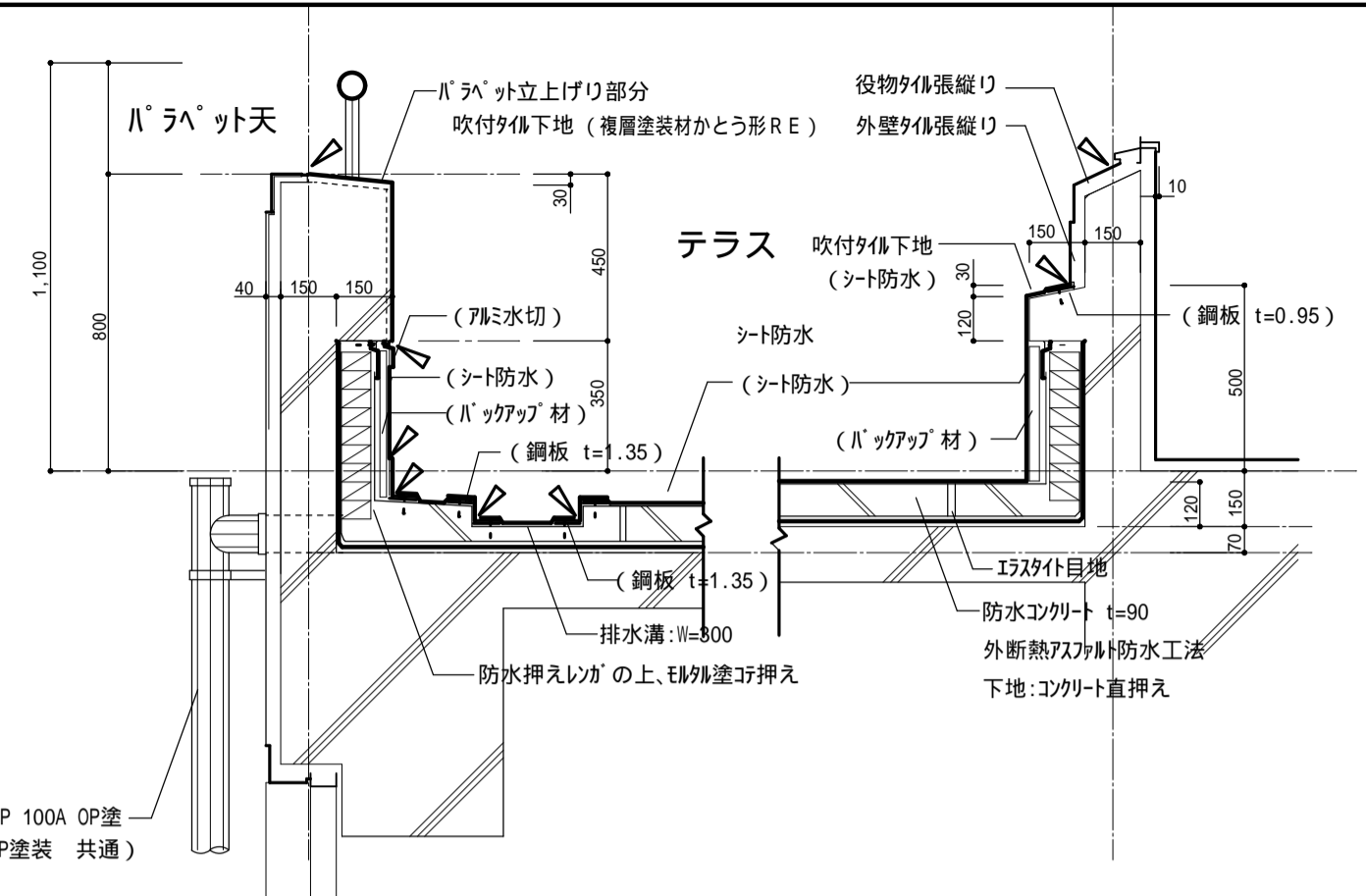


防水改修仕様

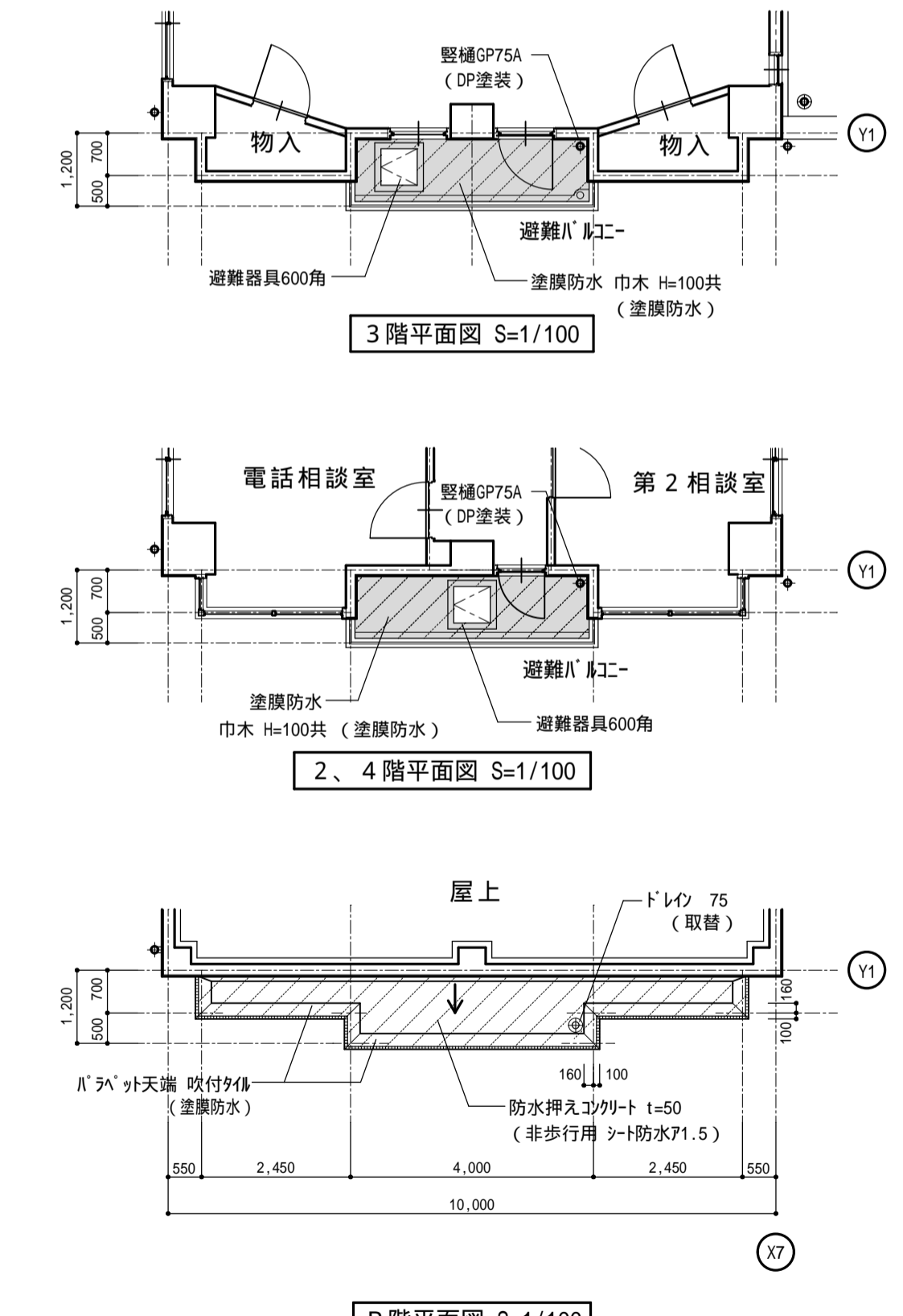
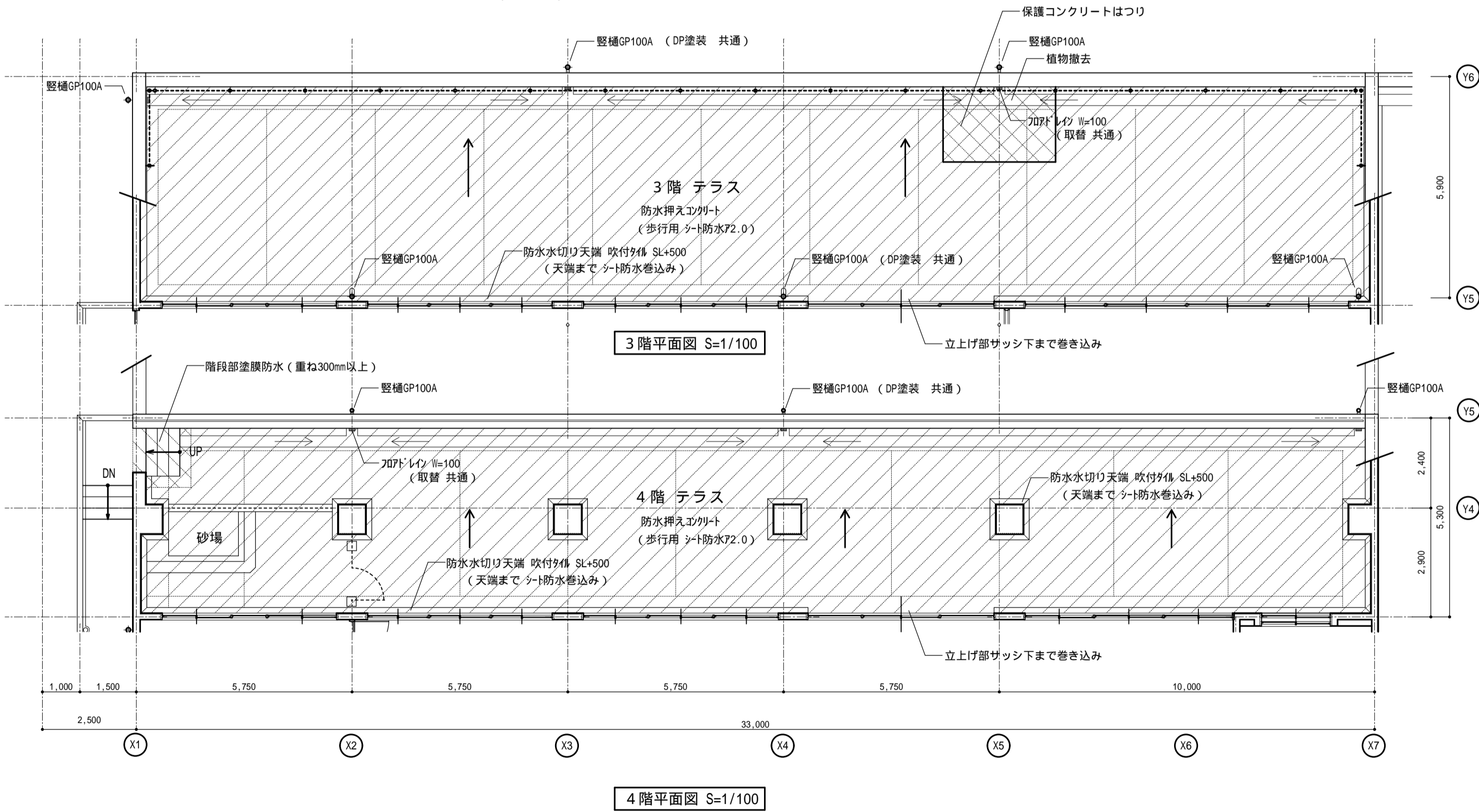
施工場所	防水種類	仕様	厚み
玄関庇	合成高分子系 M-Fliq シート防水	S-M2・非行仕様	7 1.5
3階 テラス	合成高分子系 M-Fliq シート防	S-M2・歩行仕様	7 2.0
4階 テラス	合成高分子系 M-Fliq シート防水	S-M2・歩行仕様	7 2.0
各階避難ハルニー	ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 密着工法	
ドレイン	全て取替		
下地調整	ケレン・清掃・欠損部等	樹脂モルタル補修	



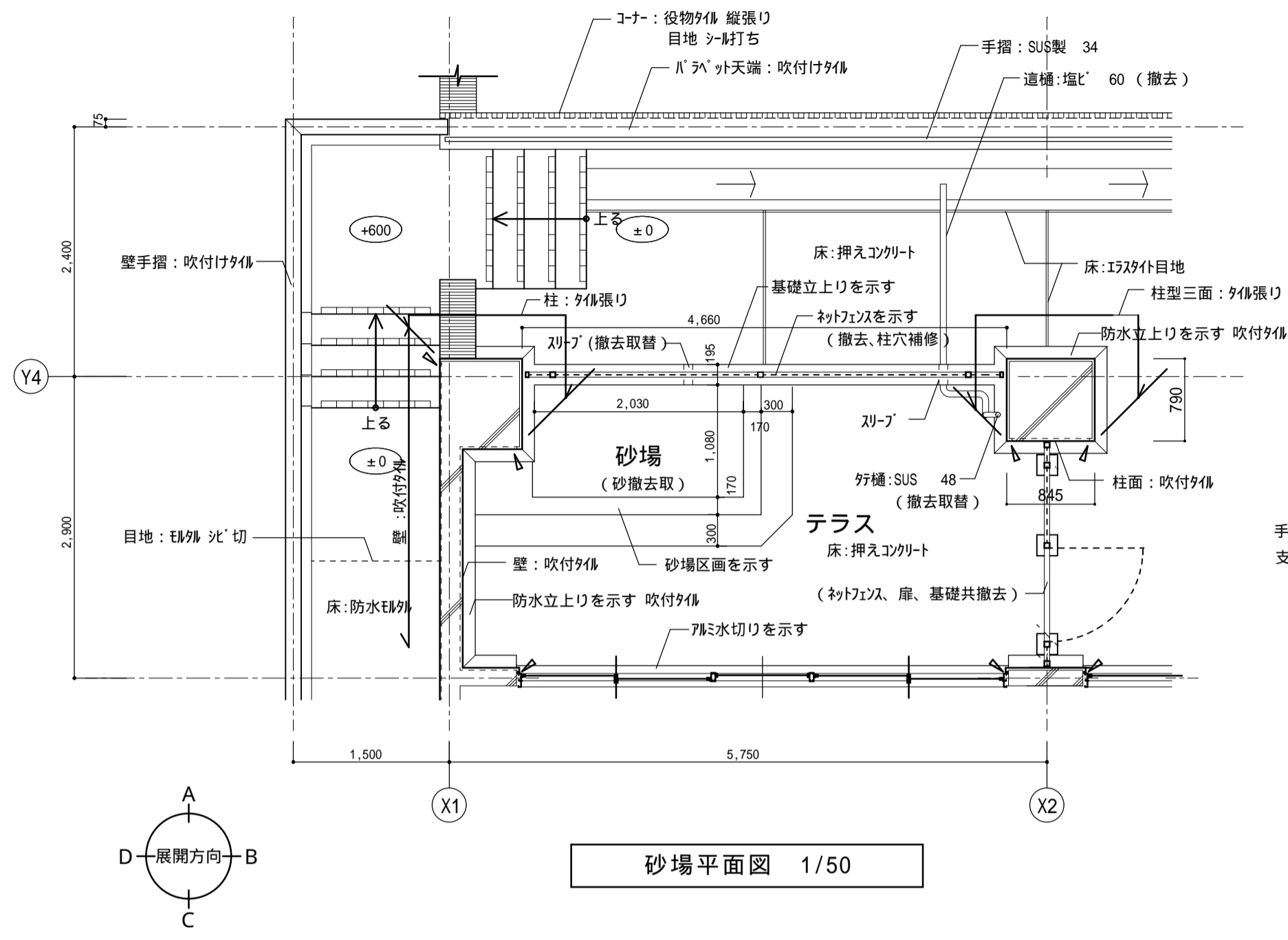
R階屋根ハッパッパ廻り詳細図 S=1/20



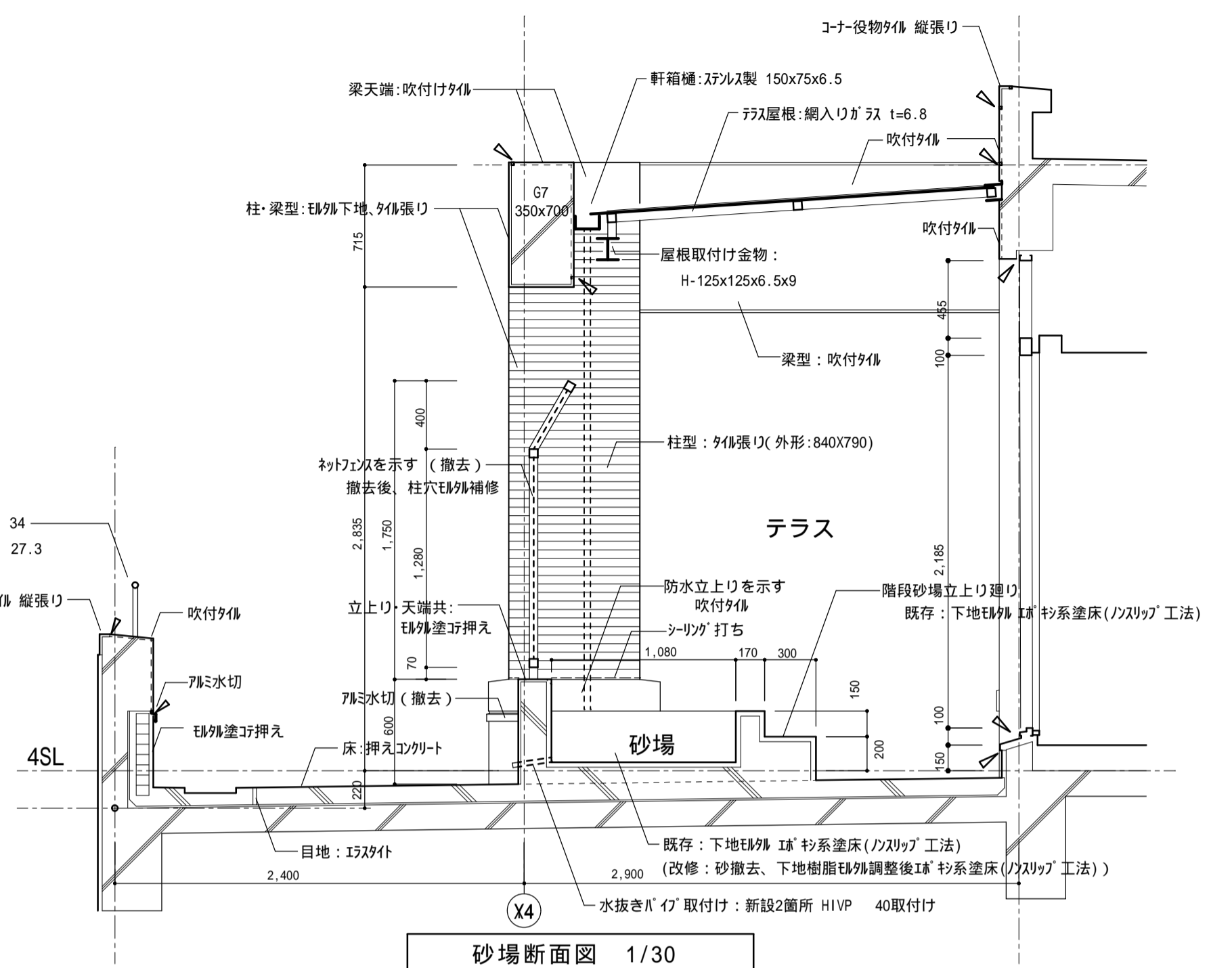
2・3・4階屋上ハッパッパ廻り詳細図 S=1/20



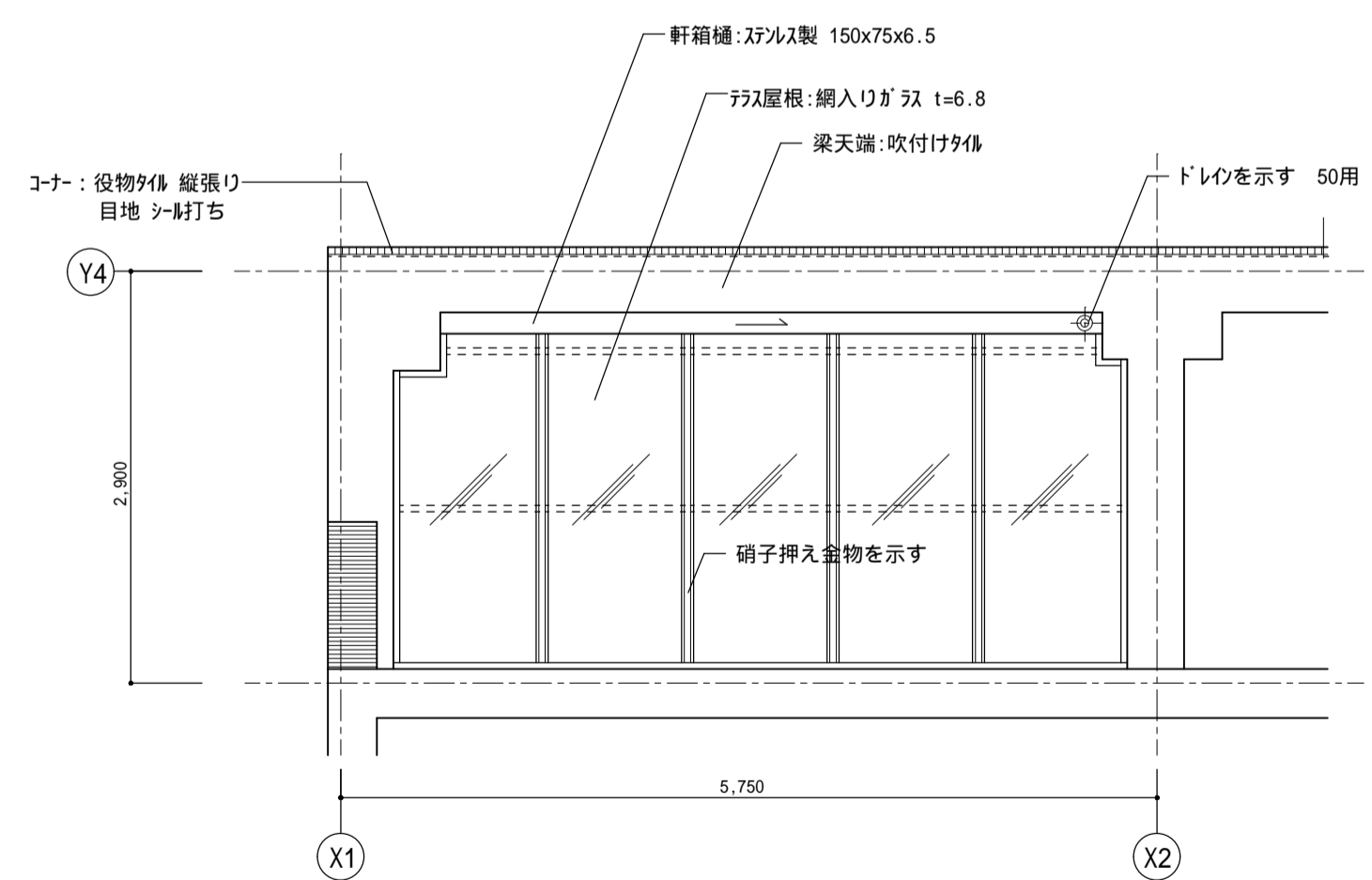
斜線は改修部分を示す



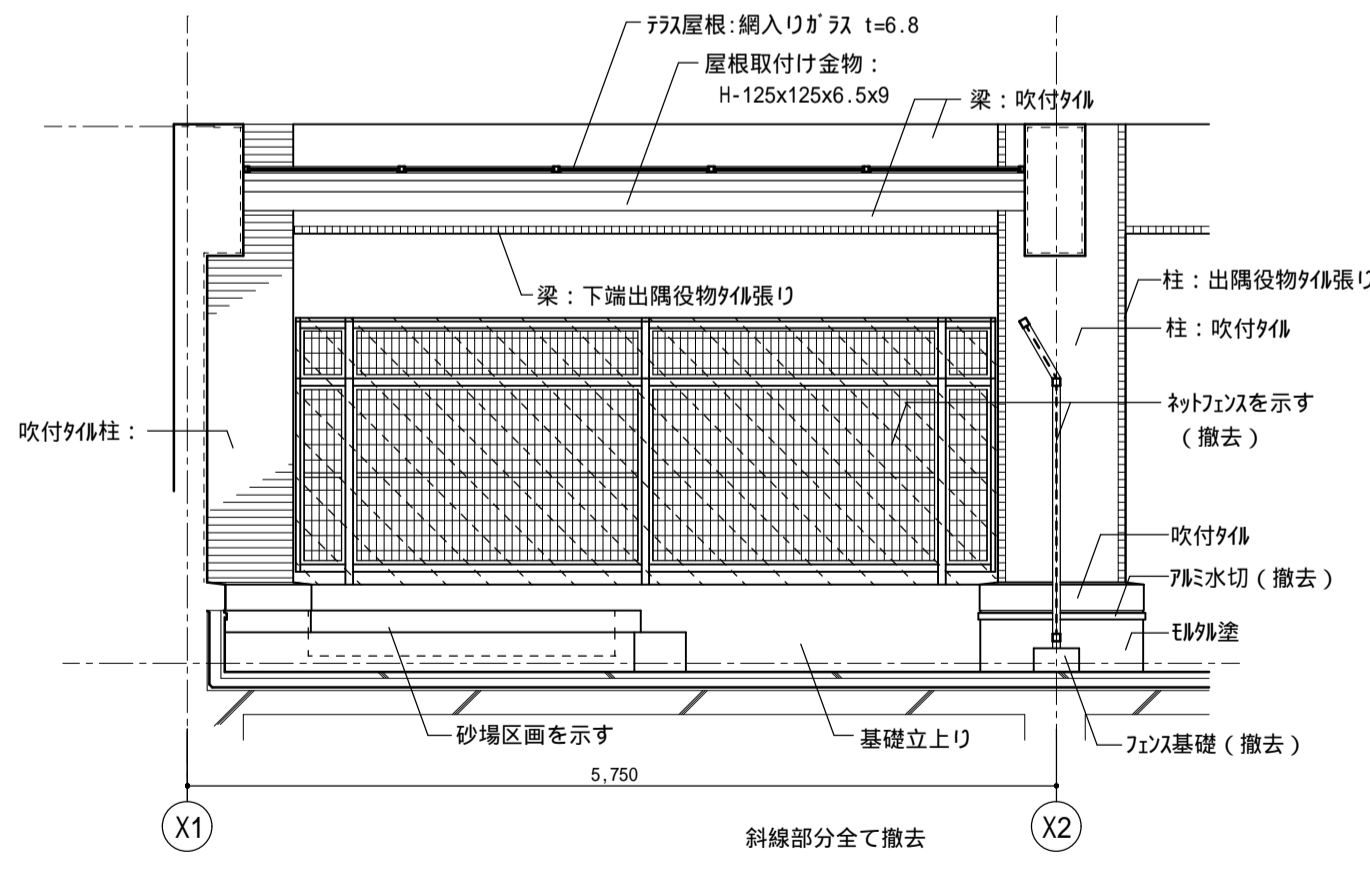
砂場平面図 1/50



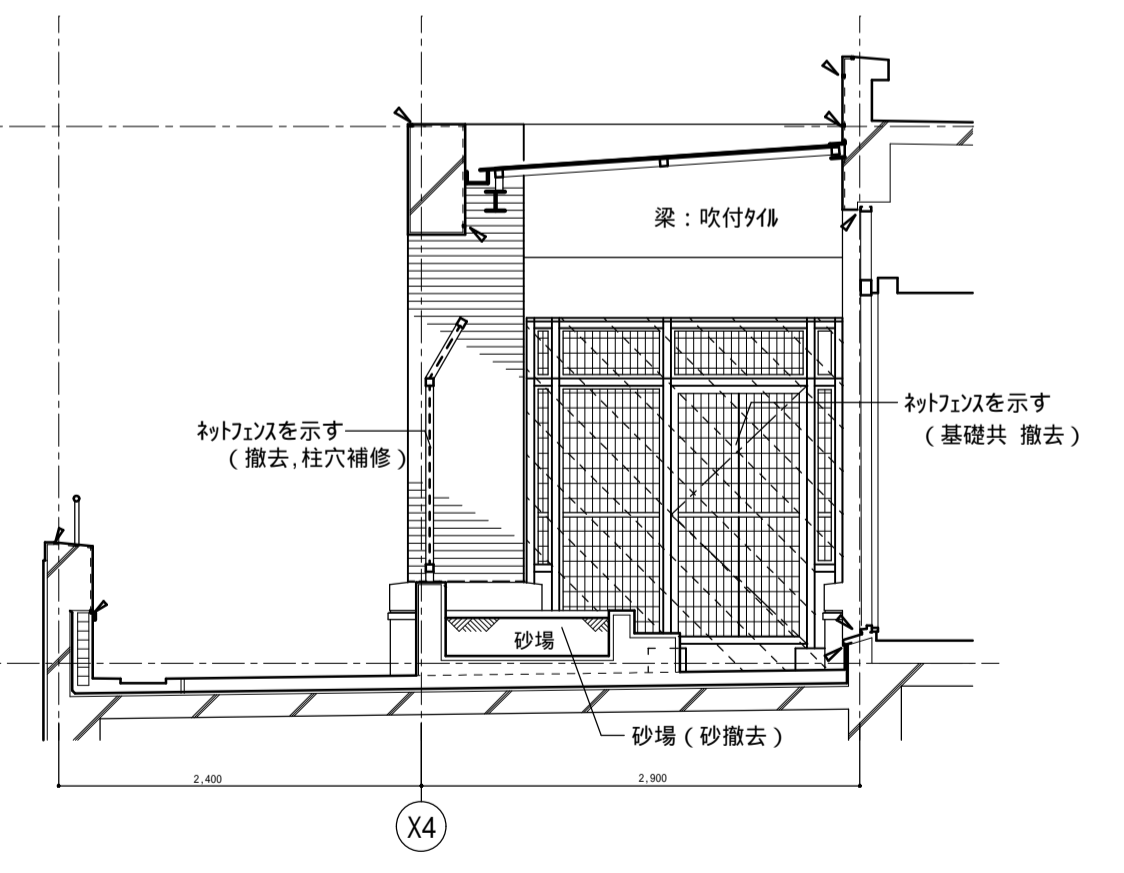
砂場断面図 1/30



砂場屋根伏図 1/50



砂場展開図 - A面 1/50

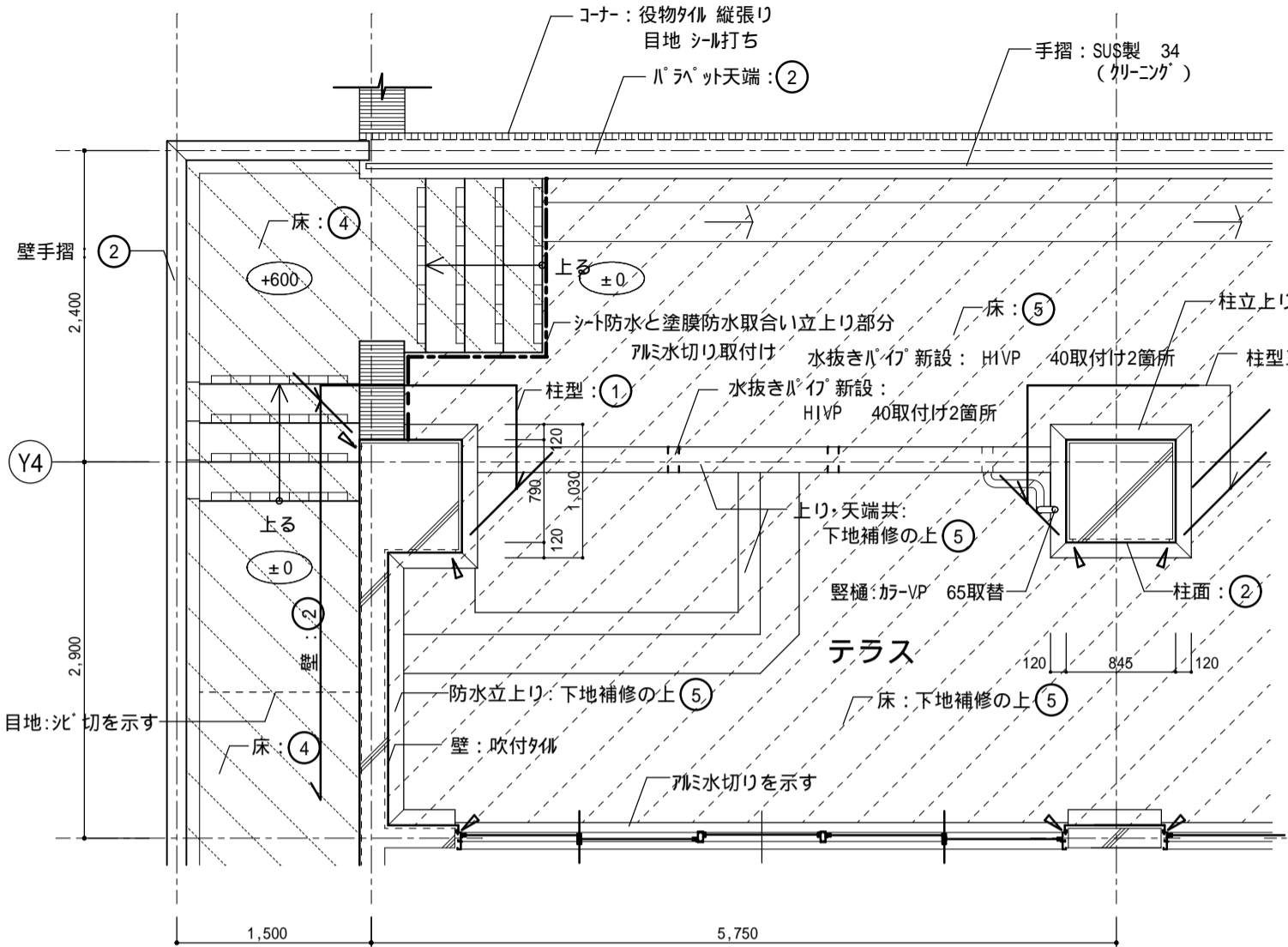


砂場展開図 - B面 1/50

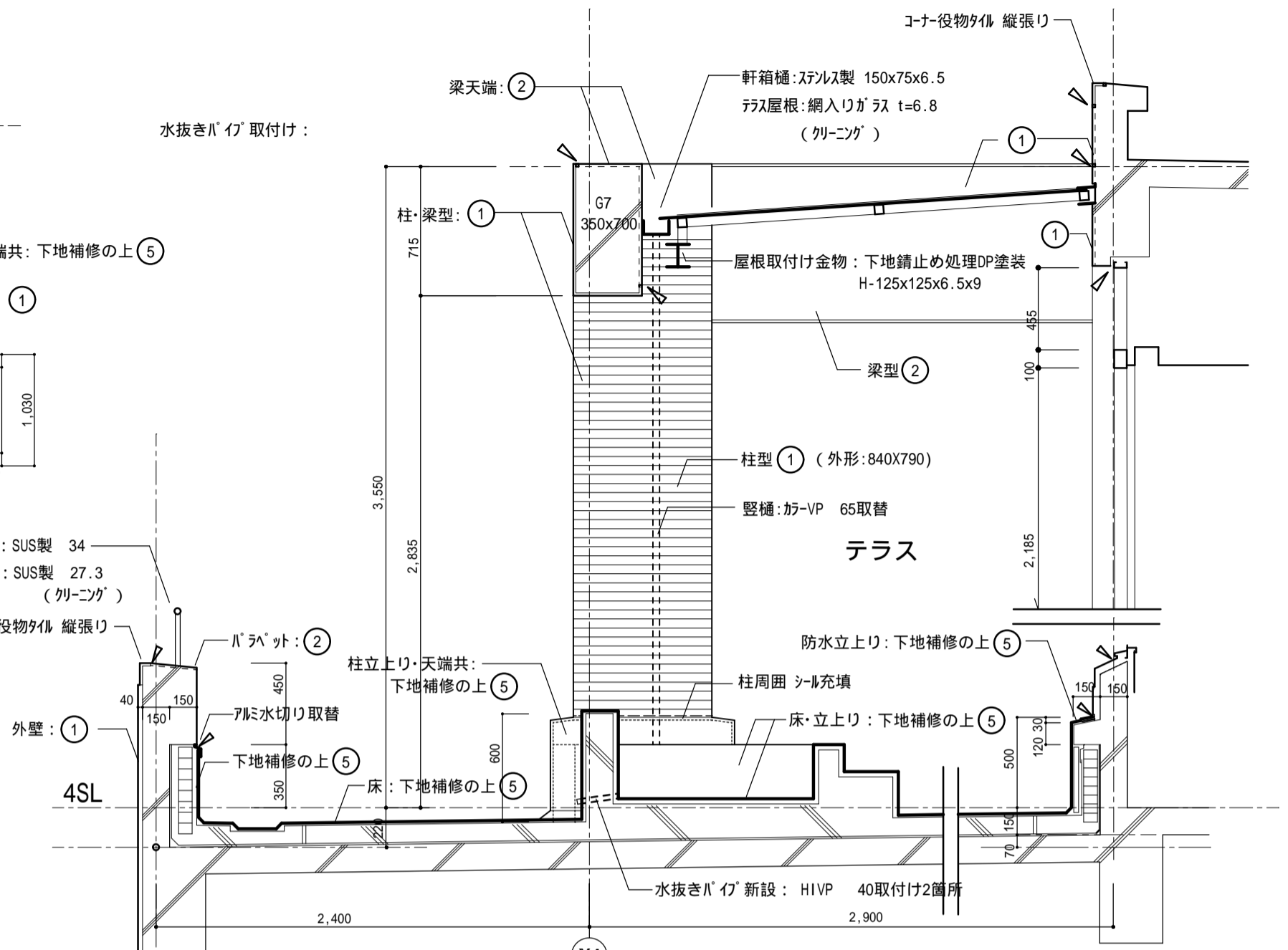
外部仕上 凡例		
①	現況	磁器質タイル張45X95角
②	改修	樹脂被膜剥落防止工法
③	現況	吹付タイル(斜線部分7スレ込含有)下地コンクリト打込
④	改修	複層塗材 可とう形RE(亀裂部分7スレ除去、他下地調整後塗替え)
⑤	現況	7スレ電解発色仕上
⑥	改修	既存7スレ目荒し フッ樹脂塗装
⑦	現況	塗膜防水 下地防水EILタイル
⑧	改修	塗膜防水
⑨	現況	保護コンクリト 玄関底シート防水
⑩	改修	シート防水

その他

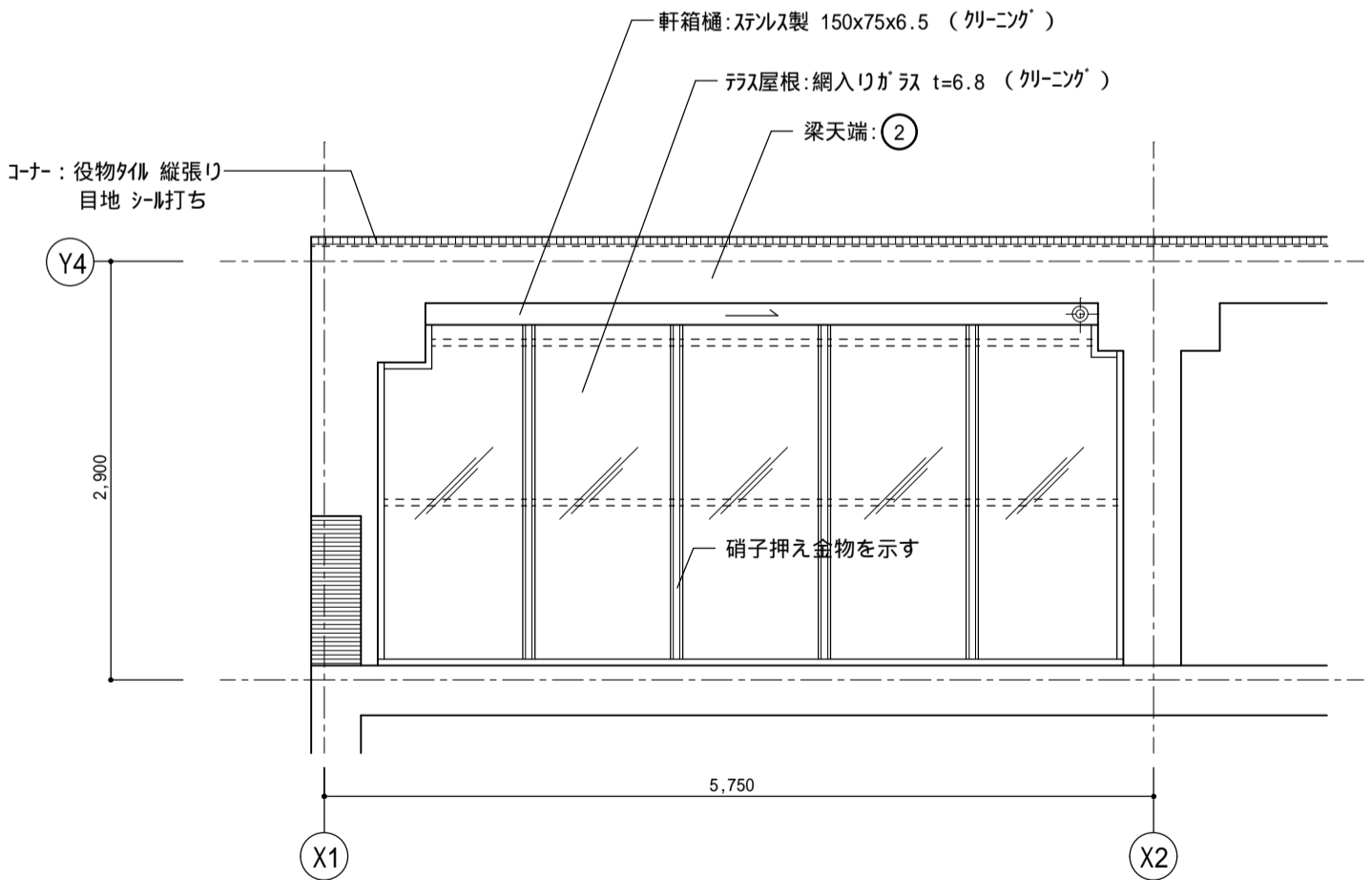
- ・工事際し、外壁打診調査を行い結果を書類にまとめ監督職員に提出する、また工事前に外壁全面高圧洗浄をする事。
- ・タイル浮き面積 別紙数量表による 下地EILタイル・シート前全面補修、タイル張替は同類色とする。
- ・目地：タ W=20 コ W=25(変性シリコン系シーリング)全て打ち替え、建具等及び異種材回りシーリング 打ち替え10X10
- ・建具：鋼製建具 下地処理錆止塗装後DP塗、7スレ建具 洗浄清掃
- ・電気配管：下地錆止め処理後 フッ樹脂塗装
- ・既存露出鋼製材全て、下地処理錆止め塗装後DP塗
- ・壁付 丸型ガリ DP塗装 7スレ建具幕板丸型付きガリは別途
- ・()内項目は改修工事内容を示す



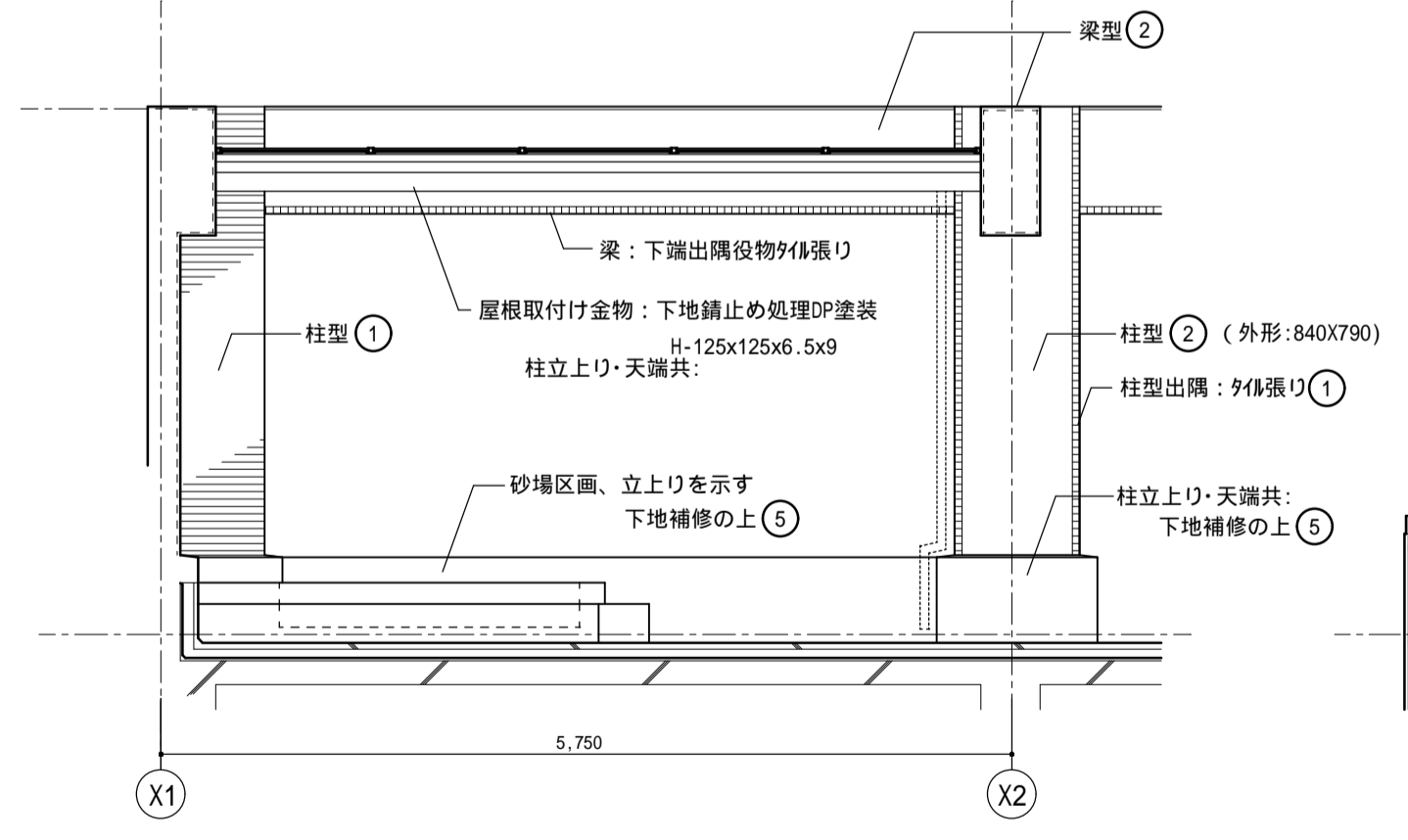
砂場平面図 1/50



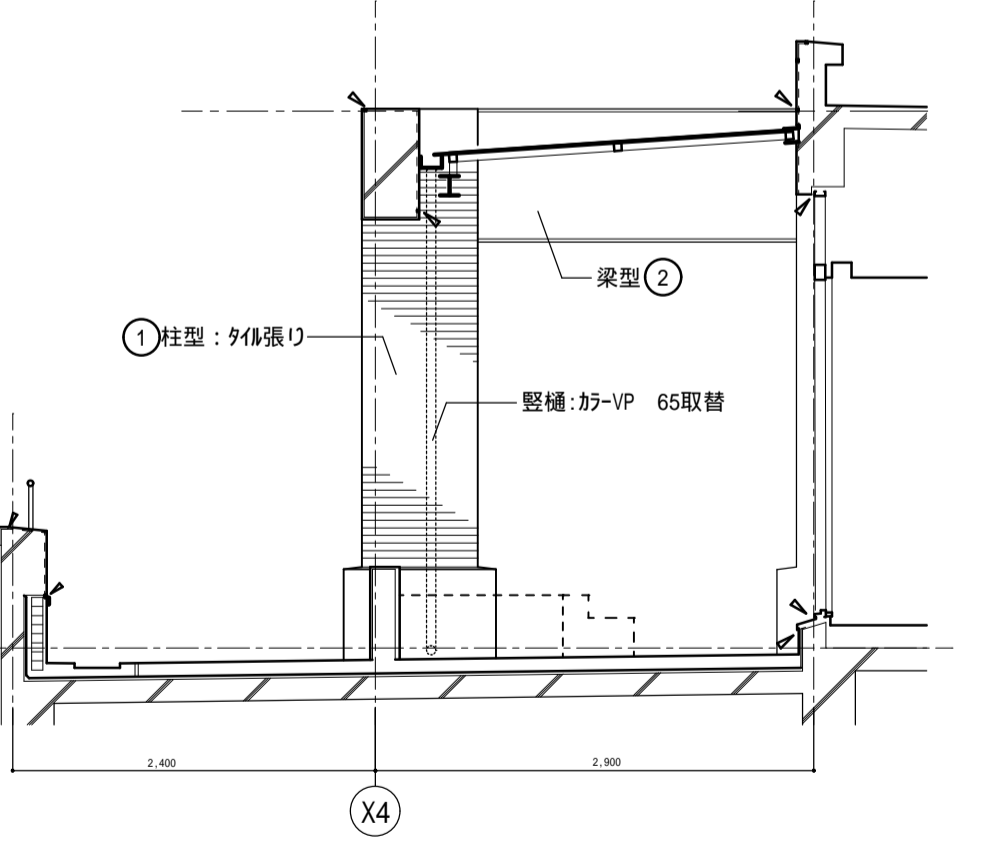
砂場断面図 1/30



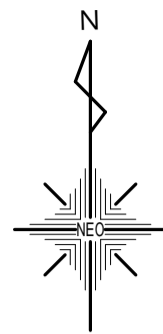
砂場屋根伏図 1/50



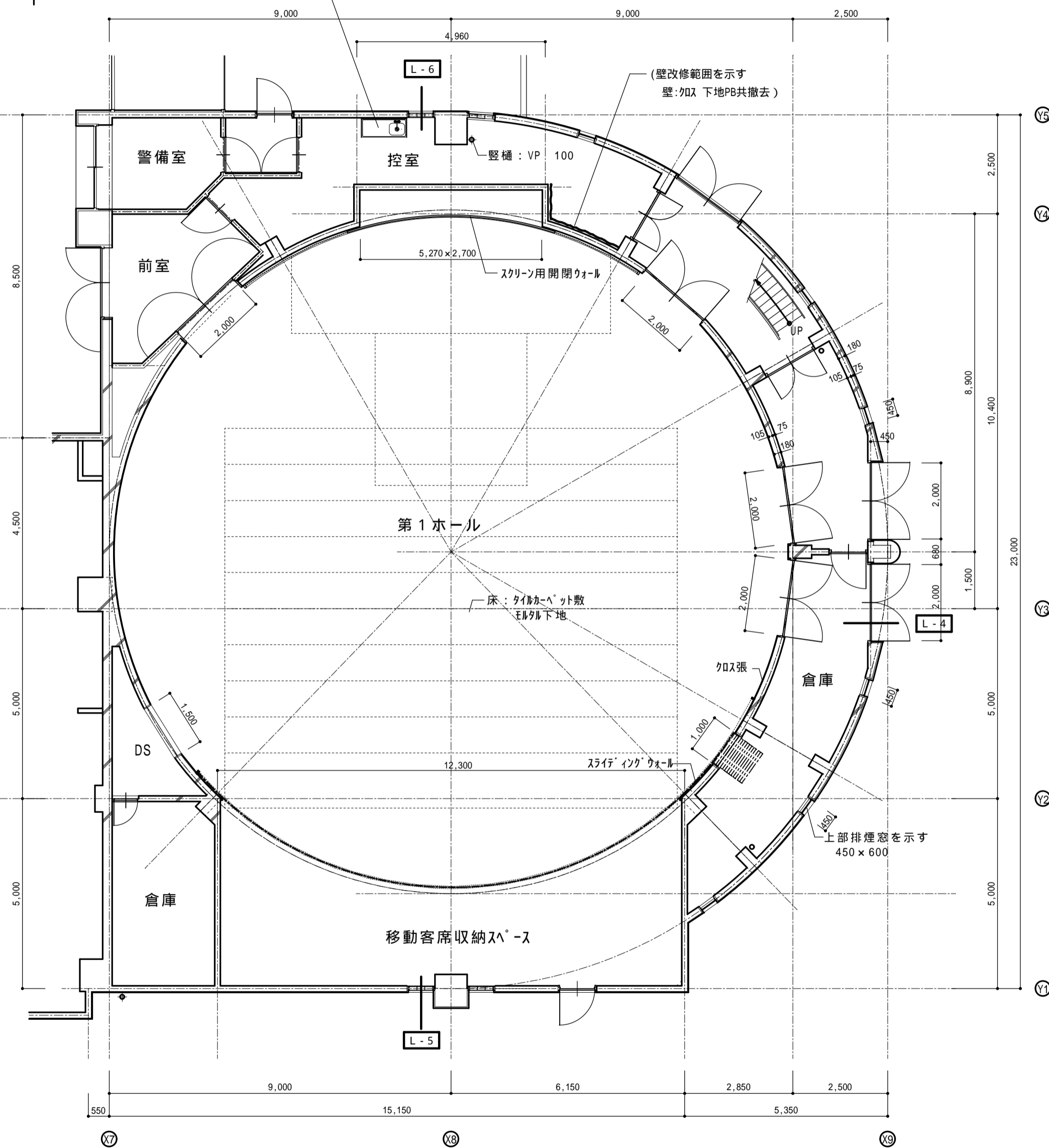
砂場展開図 - A面 1/50



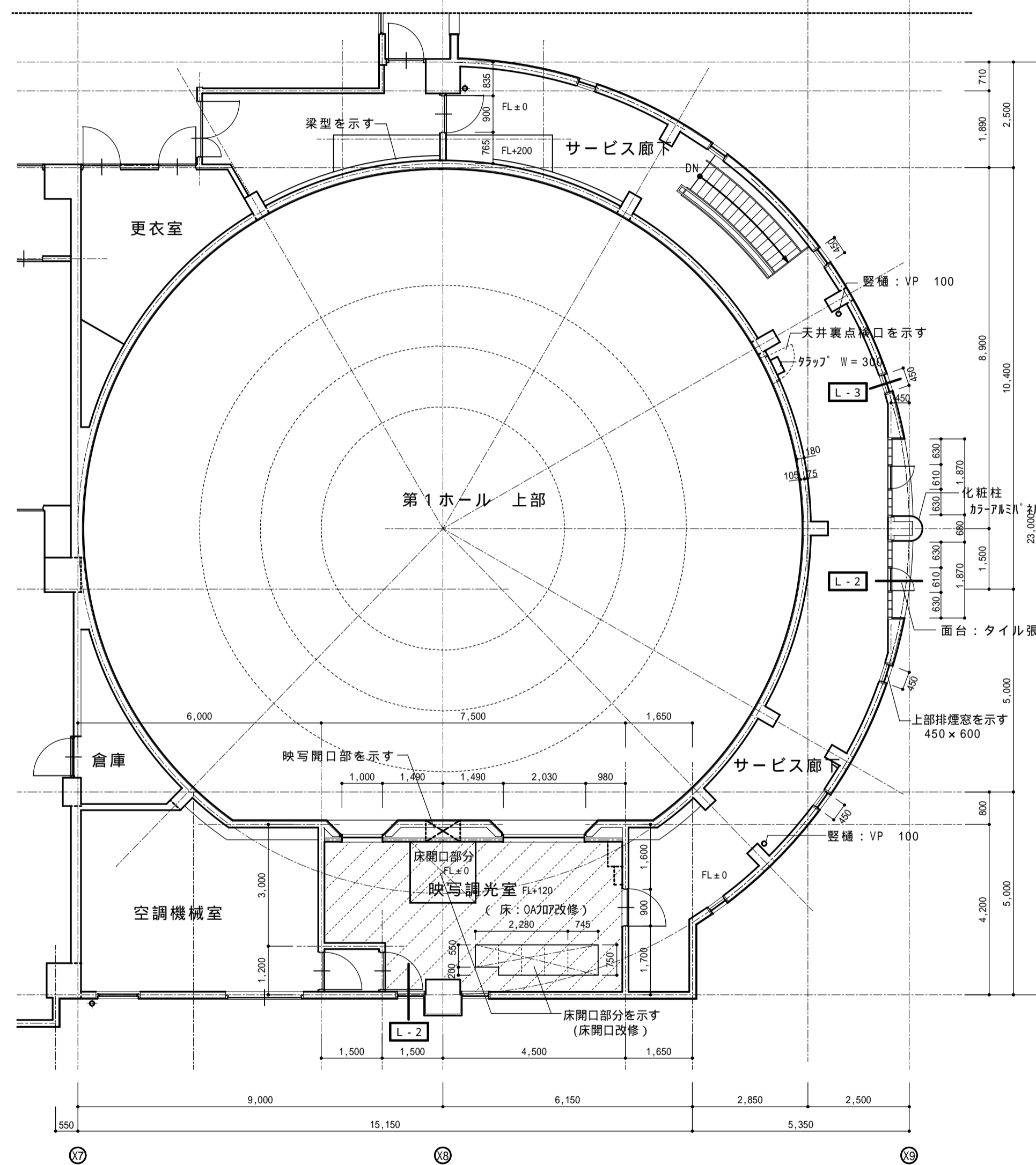
砂場展開図 - B面 1/50



ミツサ L=1200 (撤去)
1250X600X190
コバ及び水洗 無し



1階 平面図



2階 平面図

斜線は改修部分を示す

備考



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

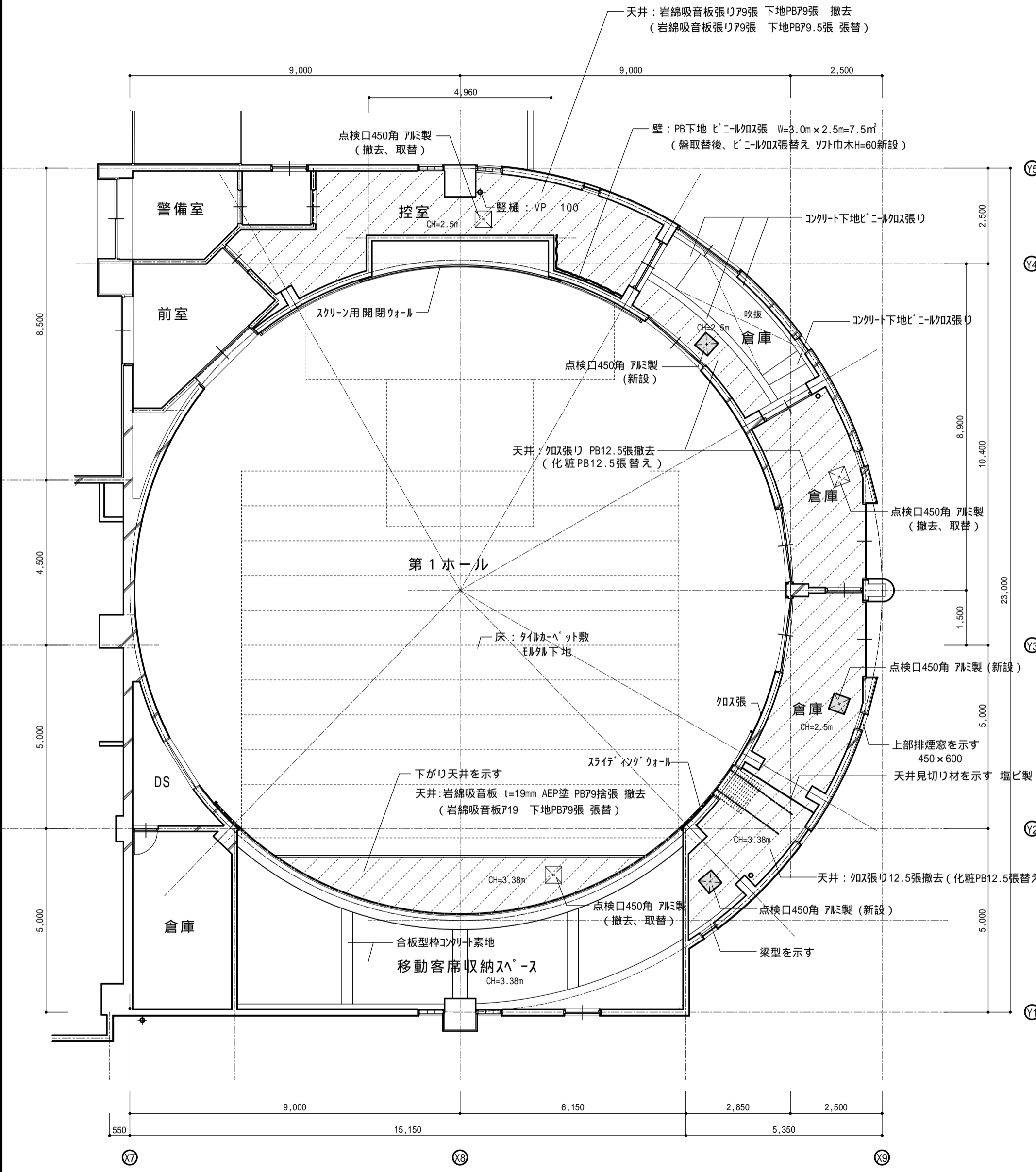
図面名称

現況図 第1ホール
1, 2階 平面図

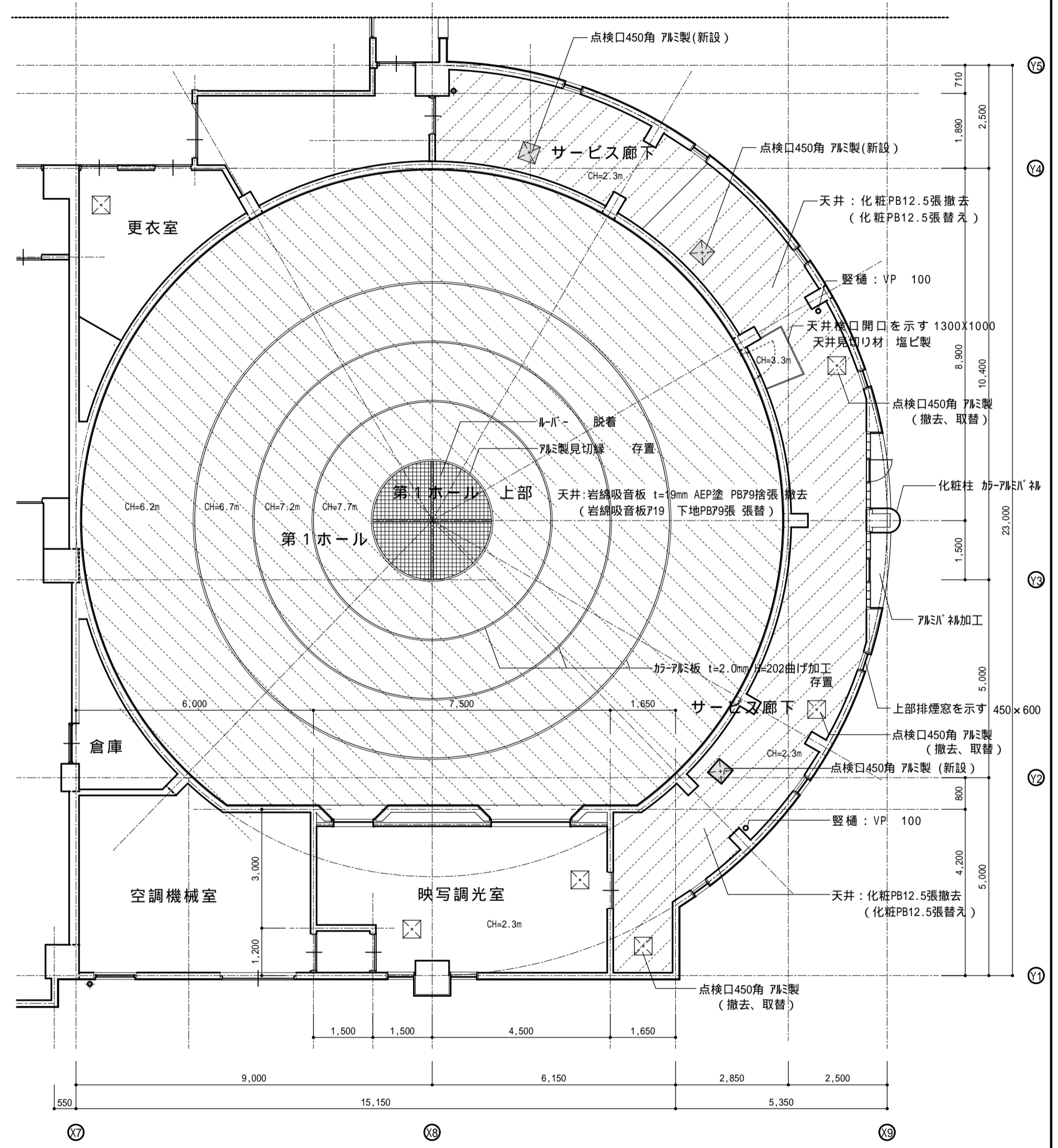
縮尺 1/100
年月日 2025.03

図面 No
A-42

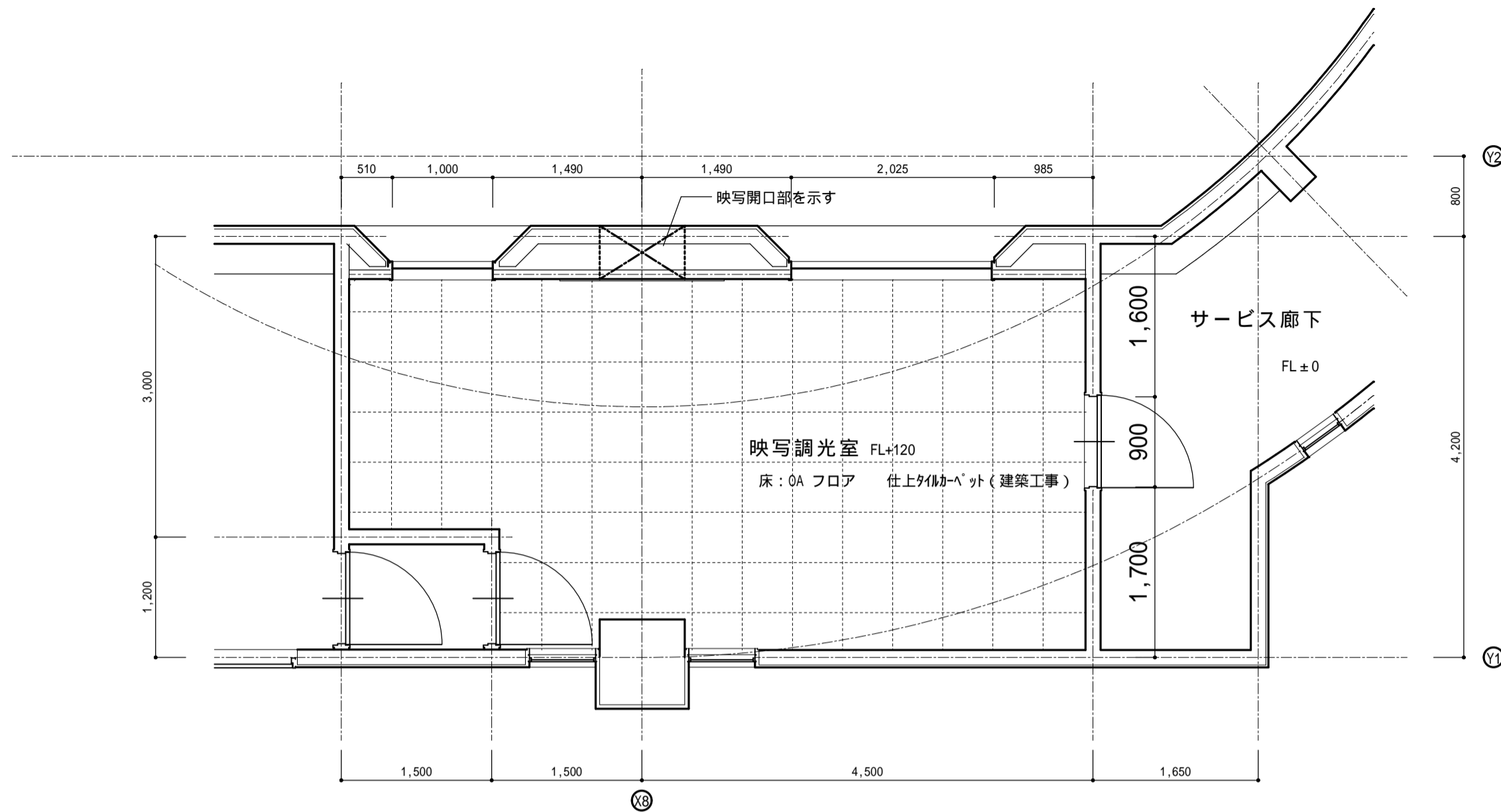
- 改修工事内容**
1. 天井仕上材張替 (下地ボード共)
 2. 天井下地取付金物再利用
 3. 天井 加-7L製見切 存置 (曲げ製品共)
 4. 天井 加-7L 及び見切受け材等 存置 全てクリーニング



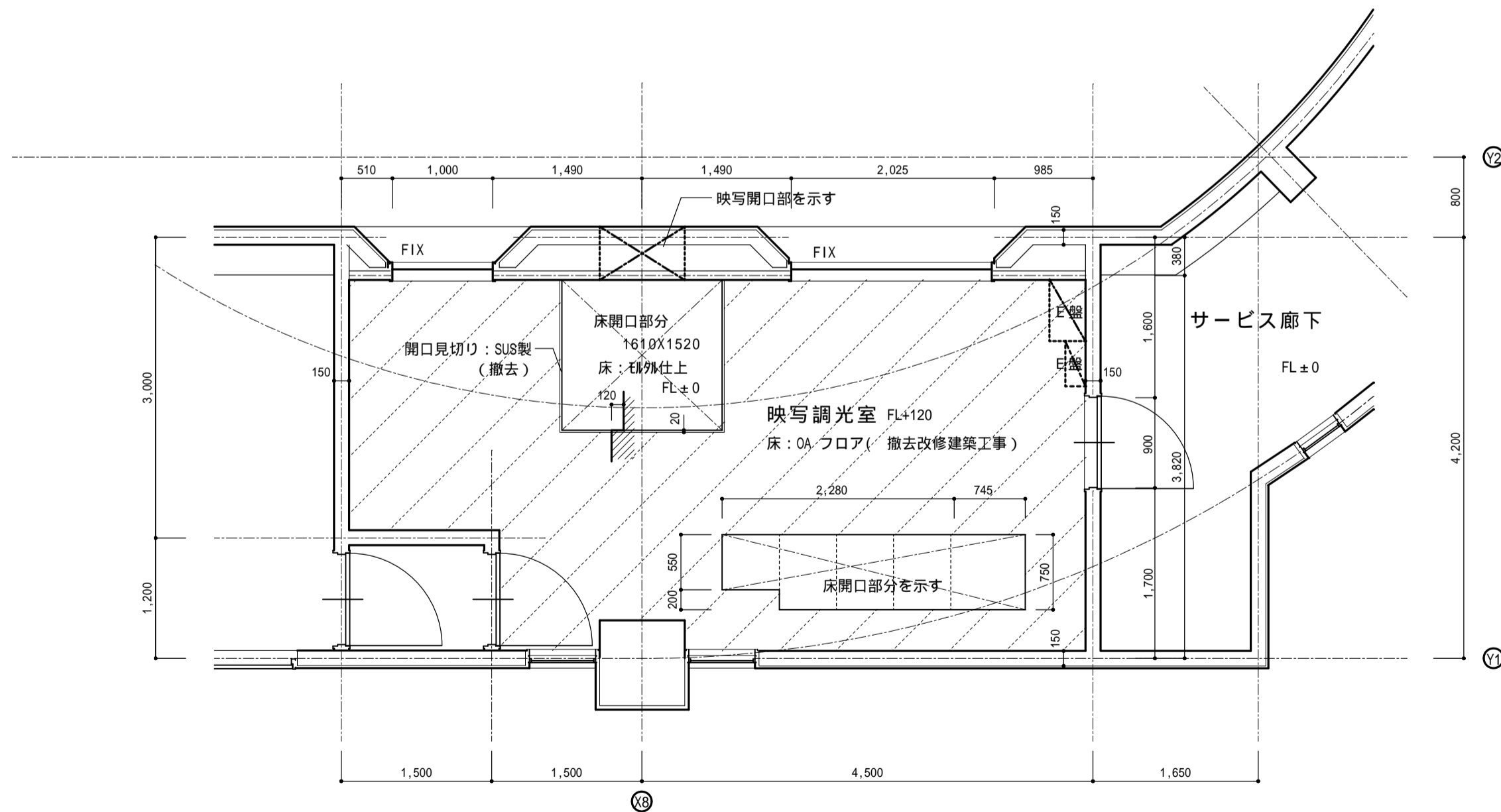
第1ホール 1階天井伏図(現状図) S=1/100
斜線天井改修部分を示す



第1ホール 2階天井伏図(現状図) S=1/100
斜線天井改修部分を示す

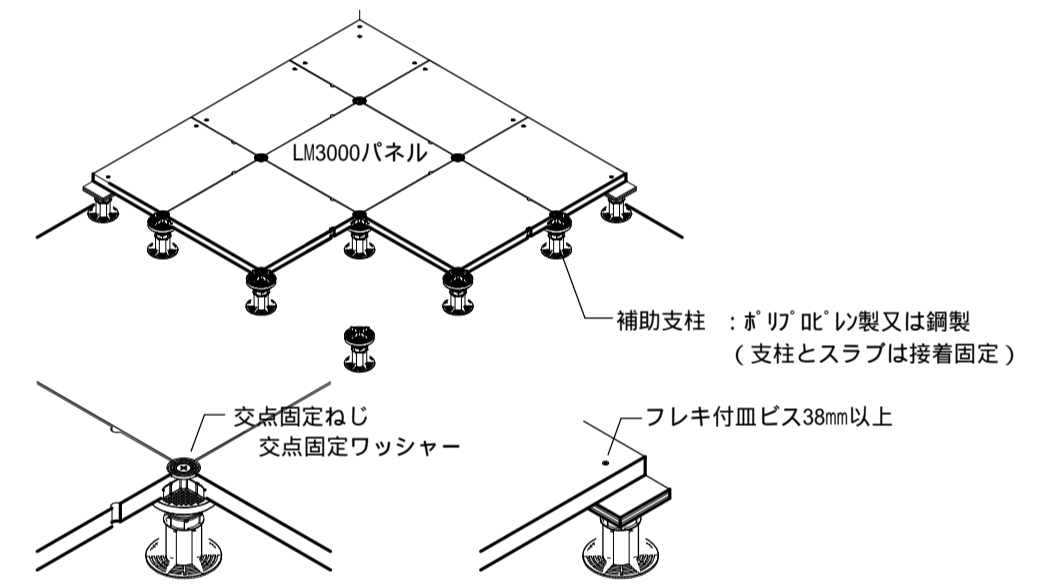


第1ホール 映写調光室平面図 (改修図) S=1/50

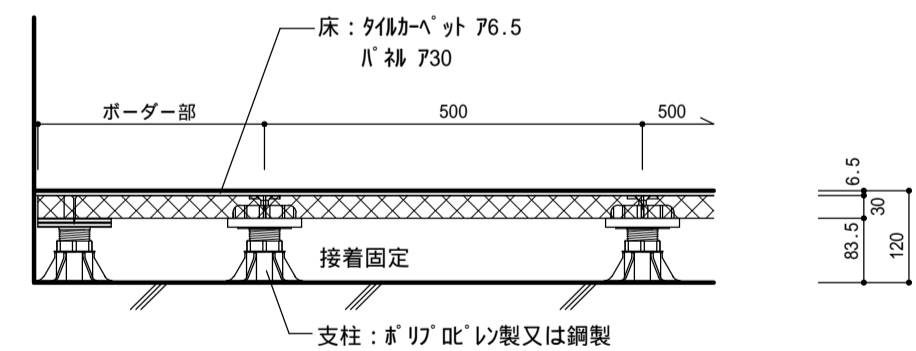


第1ホール 映写調光室平面図 (現状図) S=1/50

斜線は天井改修部分を示す



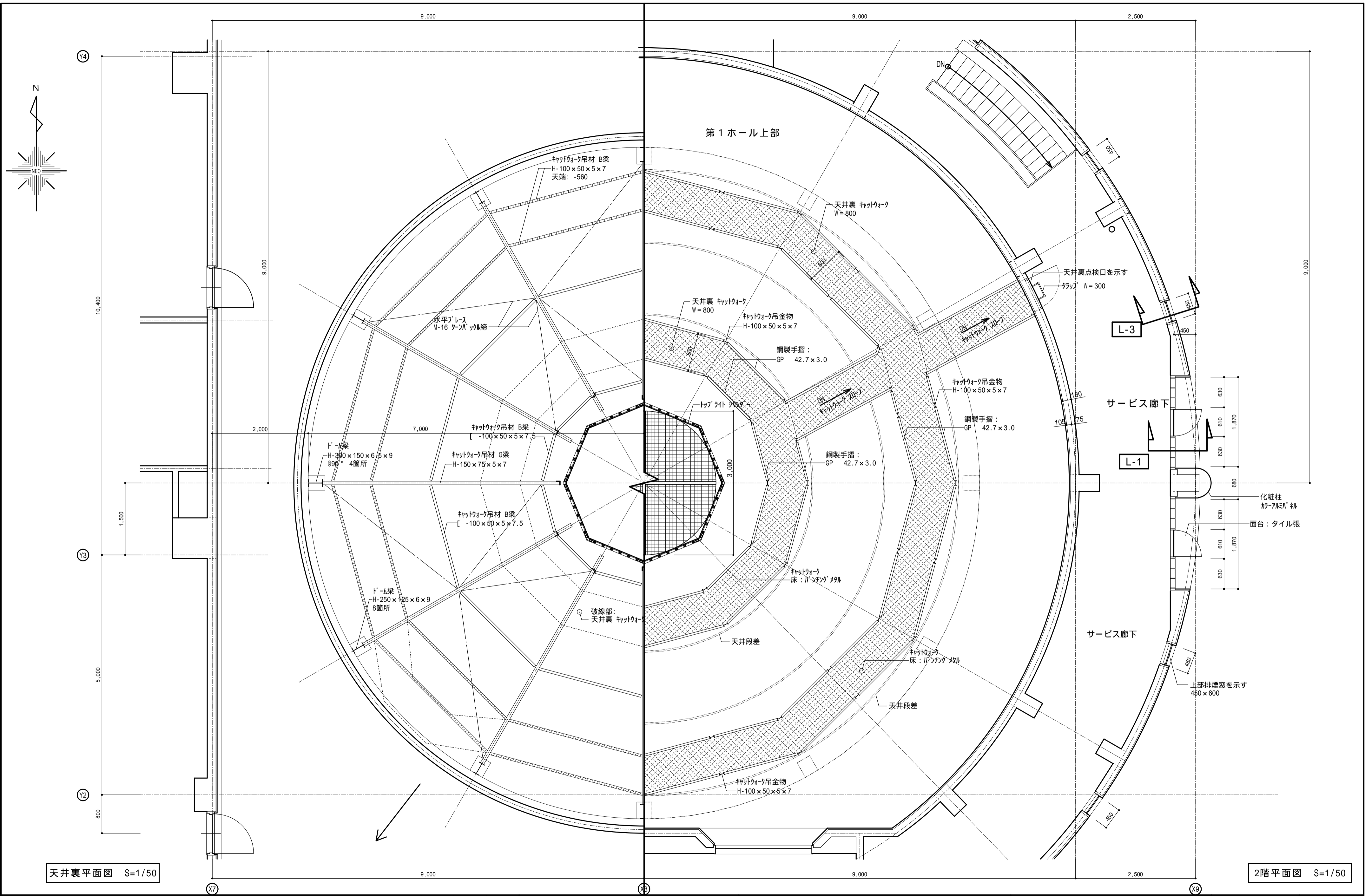
斜視図



OA床 標準納まり図 1/10

参考: OA707 耐荷重 3000N/m²

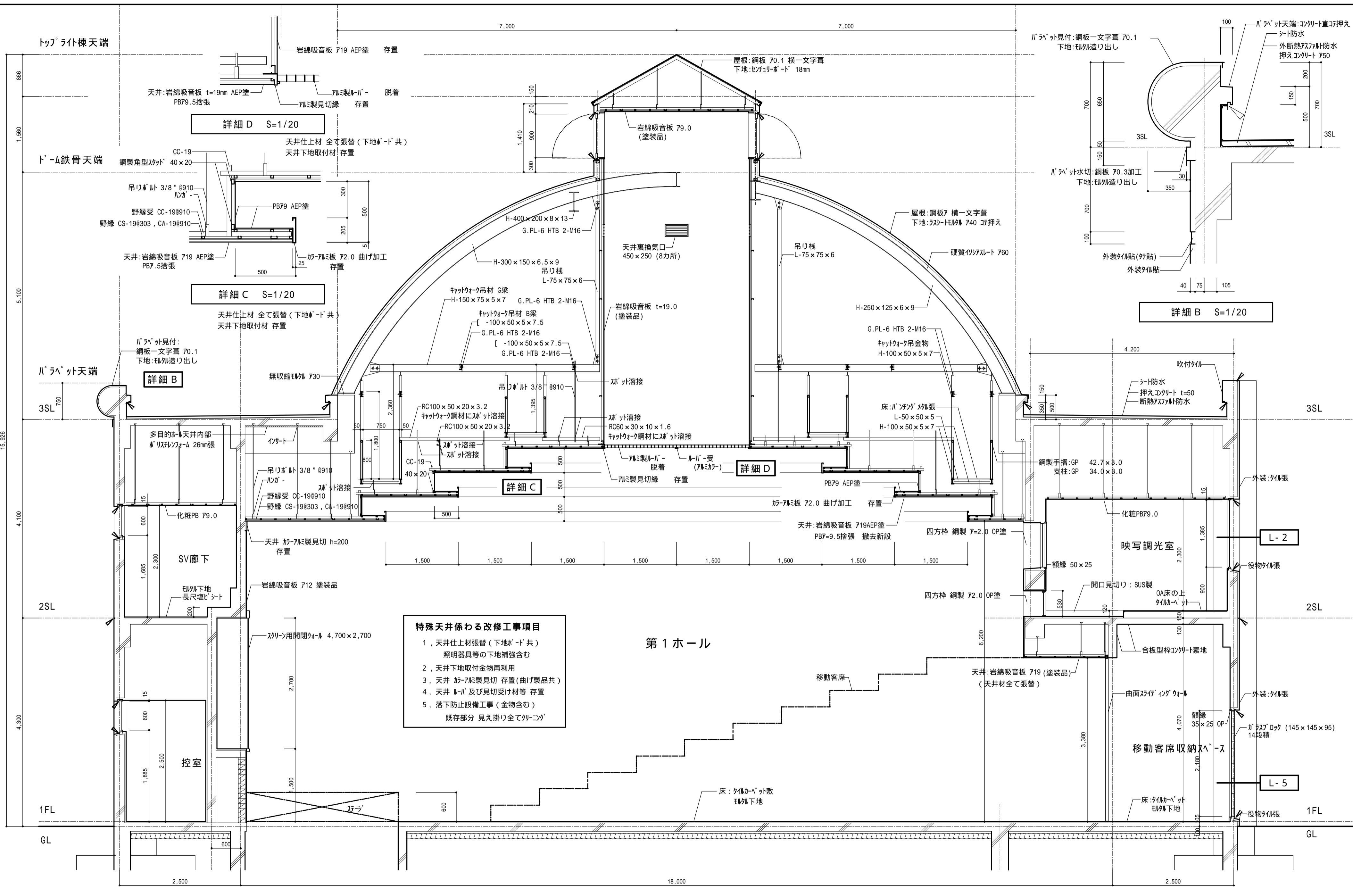
備考						工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事	図面名称 現況図 第1ホール 映写調光室	縮尺 1/50 年月日 2025.03	図面 No A-44
----	--	--	--	--	--	----------------------------------	----------------------------	------------------------------	---------------



天井裏平面図 S=1/50

2階平面図 S=1/50

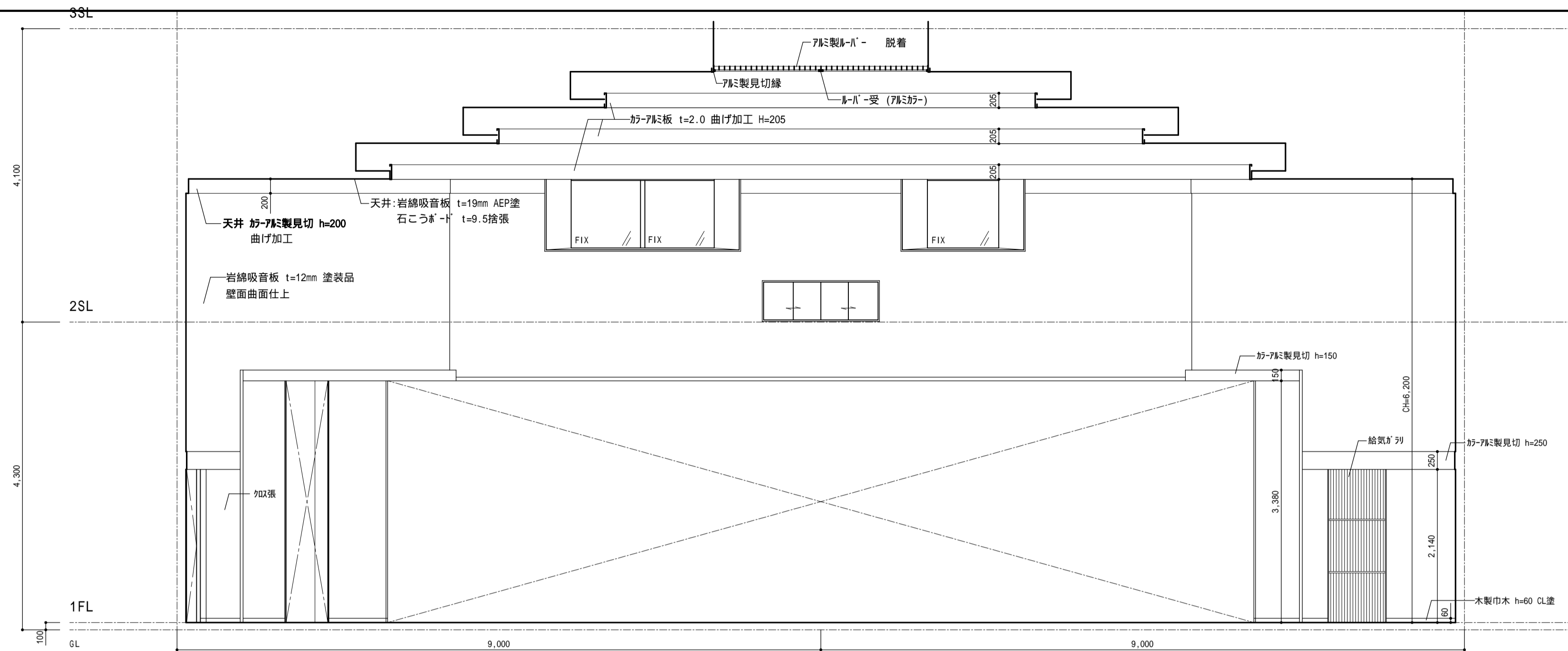
備考			一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村剛正	工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事	図面名称	縮尺	図面 No
					第1ホール 現況図 天井裏平面図	1/50 年月日 2025.02.20	A-45



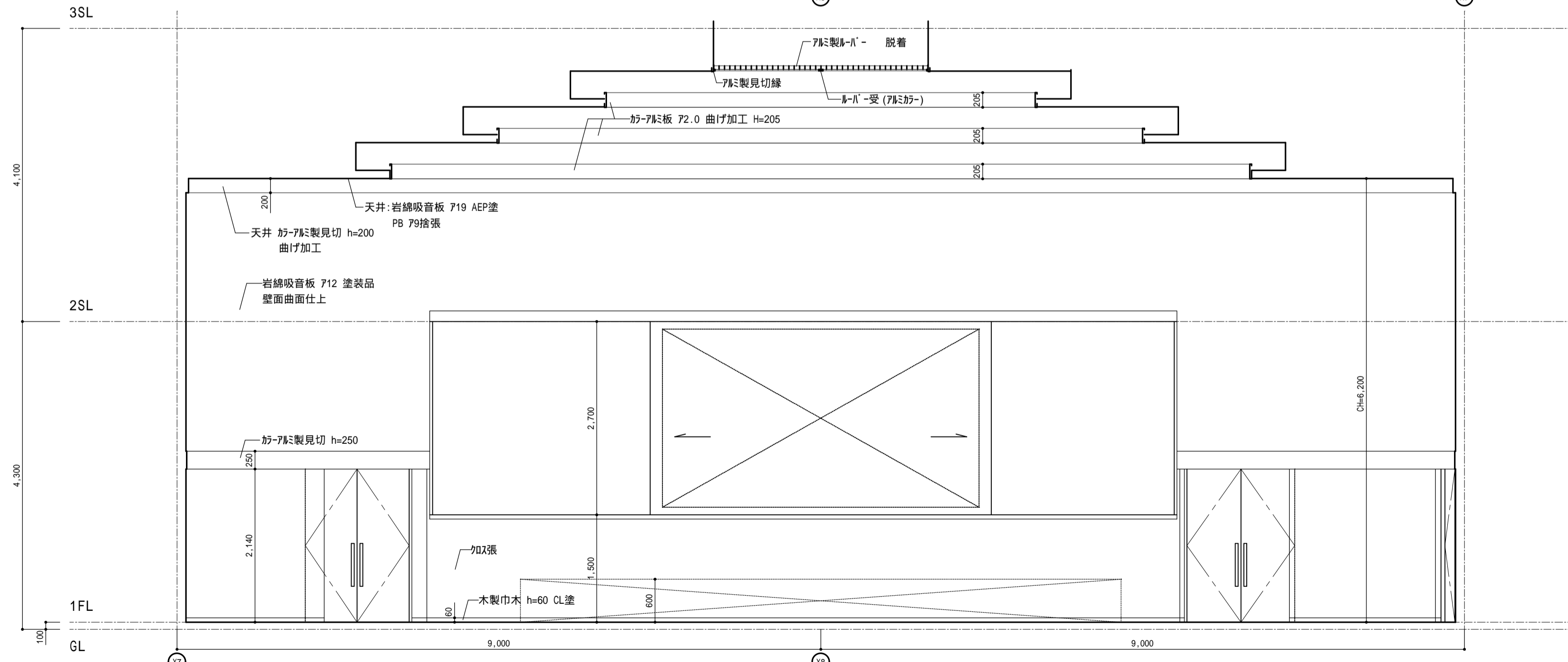
特殊天井係わる改修工事項目

1. 天井仕上材張替 (下地ボード共) 照明器具等の下地補強含む
2. 天井下地取付金物再利用
3. 天井 加-アルミ製見切 存置 (曲げ製品共)
4. 天井 ル-ハ- 及び見切受け材等 存置
5. 落下防止設備工事 (金物含む) 既存部分 見え掛り全てリ-コング

第1ホール



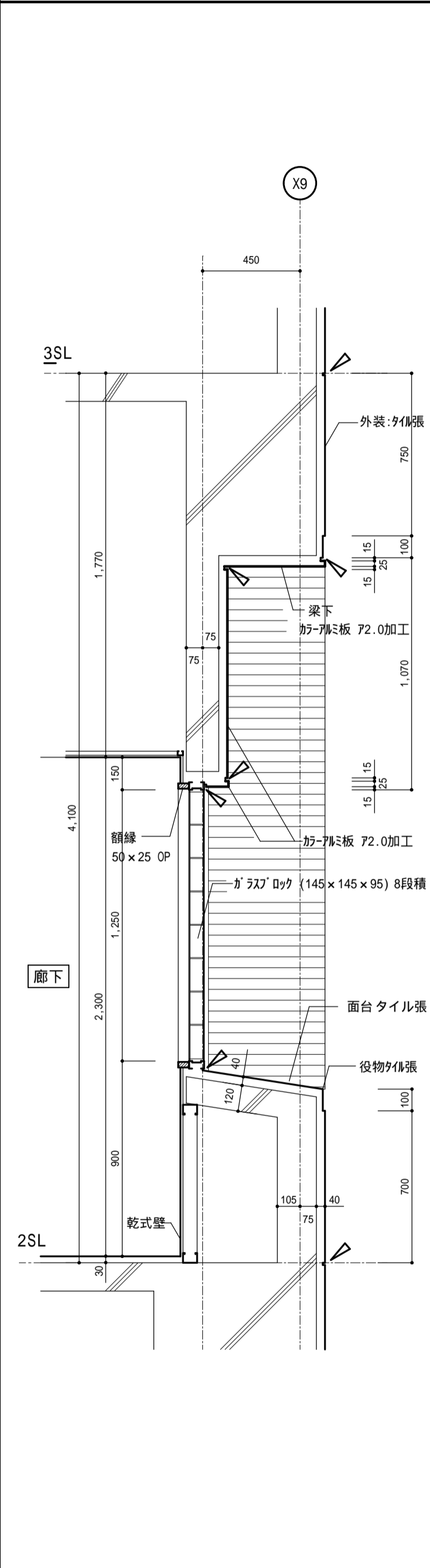
南展開図 S=1/50



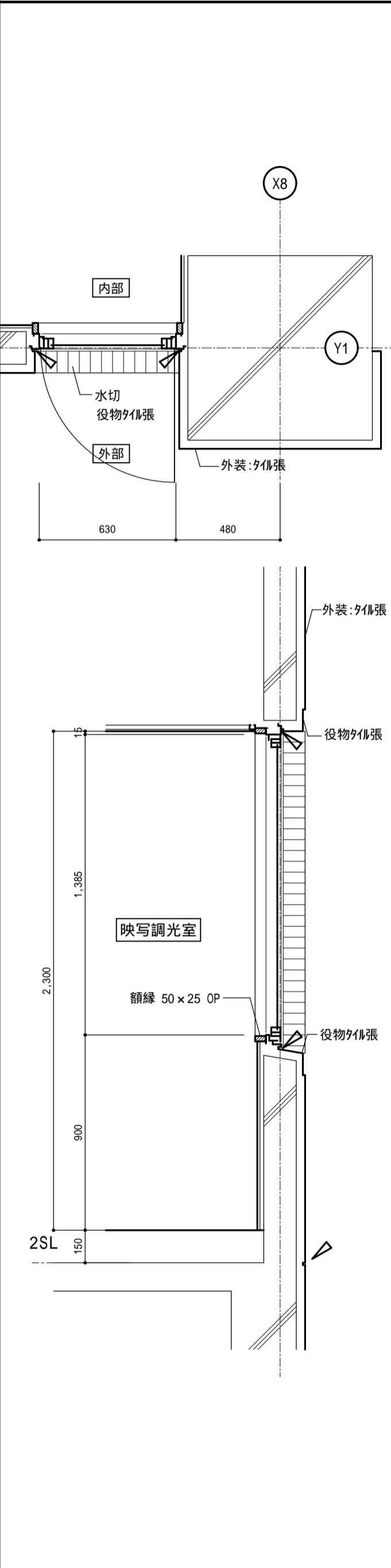
北展開図 S=1/50

- 改修工事内容
- 1, 天井仕上材張替 (下地ボード共)
 - 2, 天井下地取付金物再利用
 - 3, 天井 加-アルミ製見切 存置(曲げ製品共)
 - 4, 天井 アルミ製見切及び見切受け材等 存置
全てクリーニング

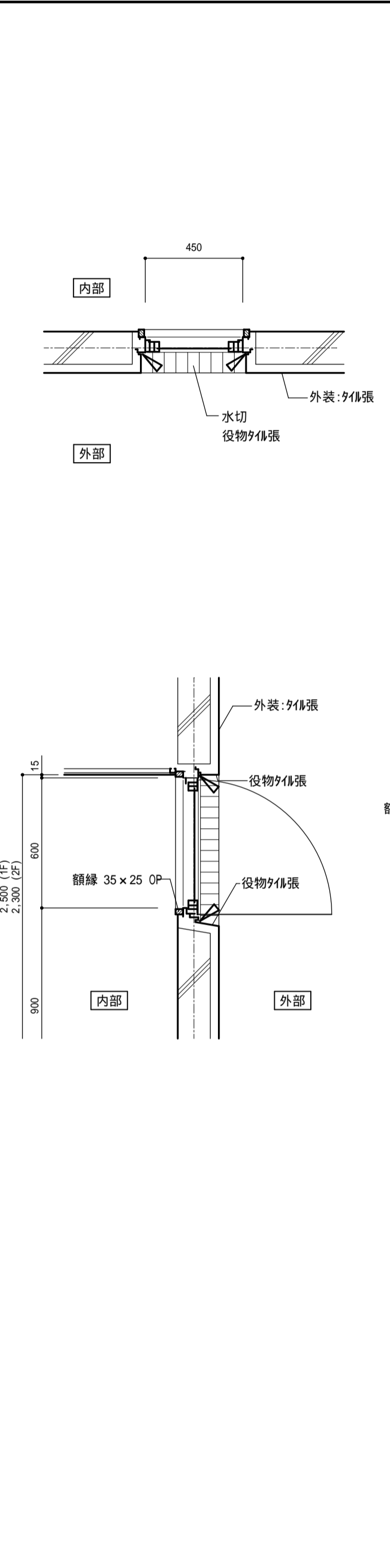
L-1 2階サビス廊下窓廻り



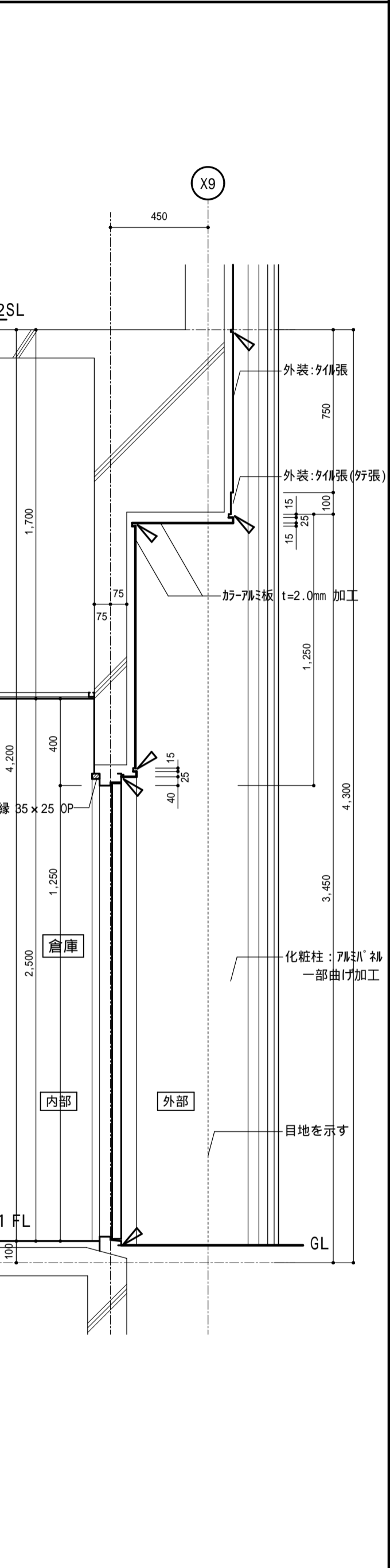
L-2 2階映写調光室窓廻り



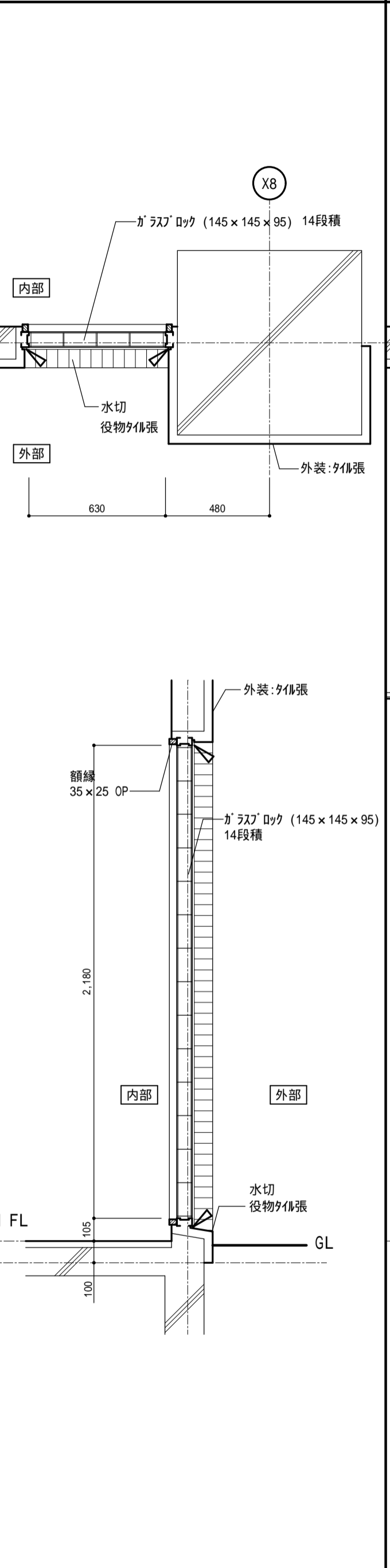
L-3 2階サビス廊下高窓廻り



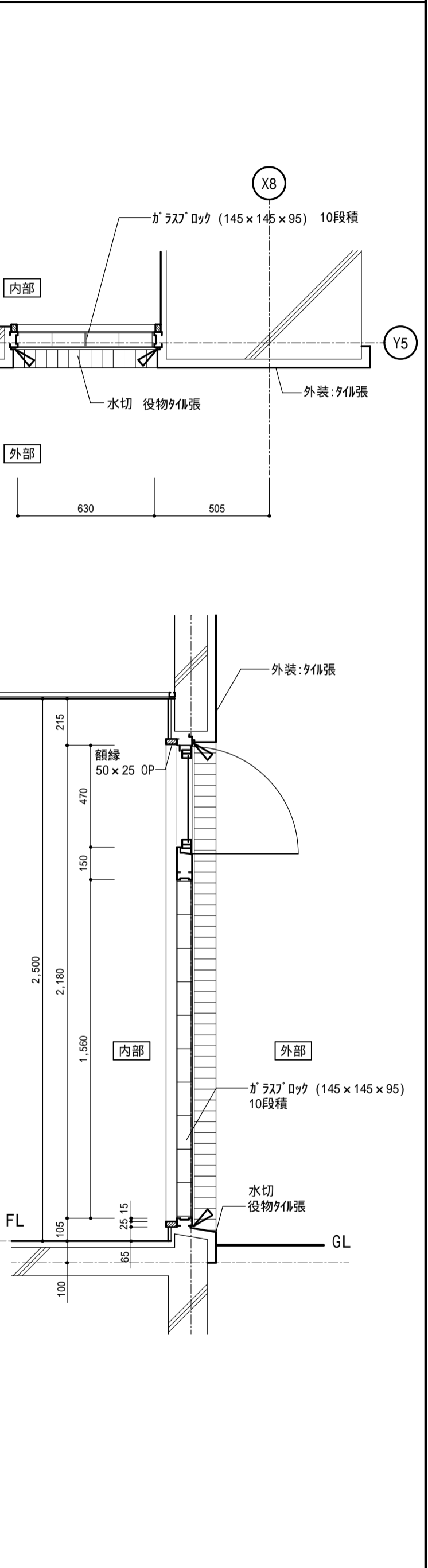
L-4 1階倉庫外部扉廻り



L-5 1階ガラスロック窓廻り



L-6 1階排煙窓廻り



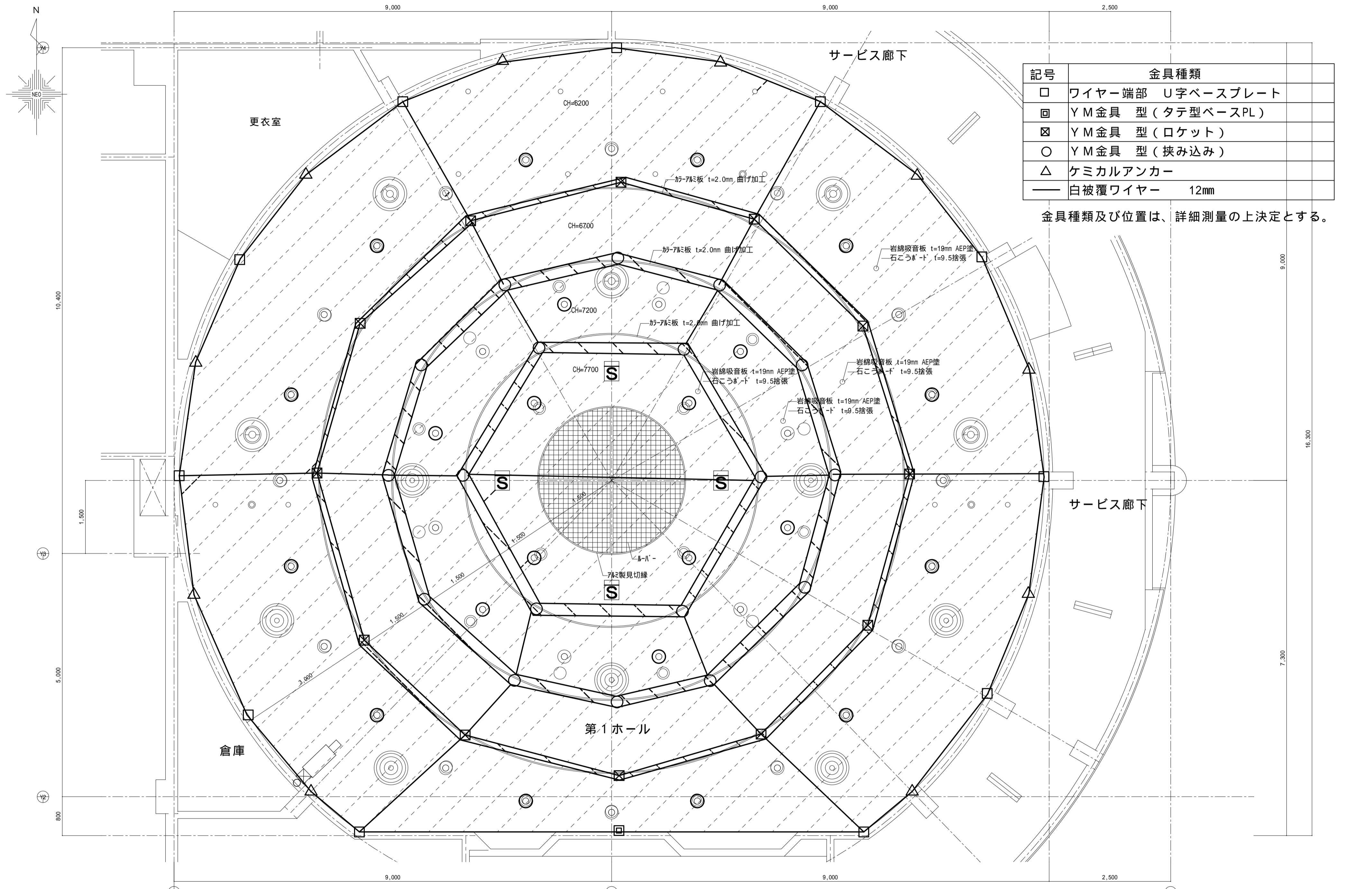
備考 ◁ : シーリング充填
 特記なき限り 建具廻り, 異種材取合い部, 打継ぎ及び伸縮目地等はシーリング充填

NEO 株式会社 NEO設計
 一級建築士事務所
 一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称 宇治市生涯学習センター
 中規模改修建築工事

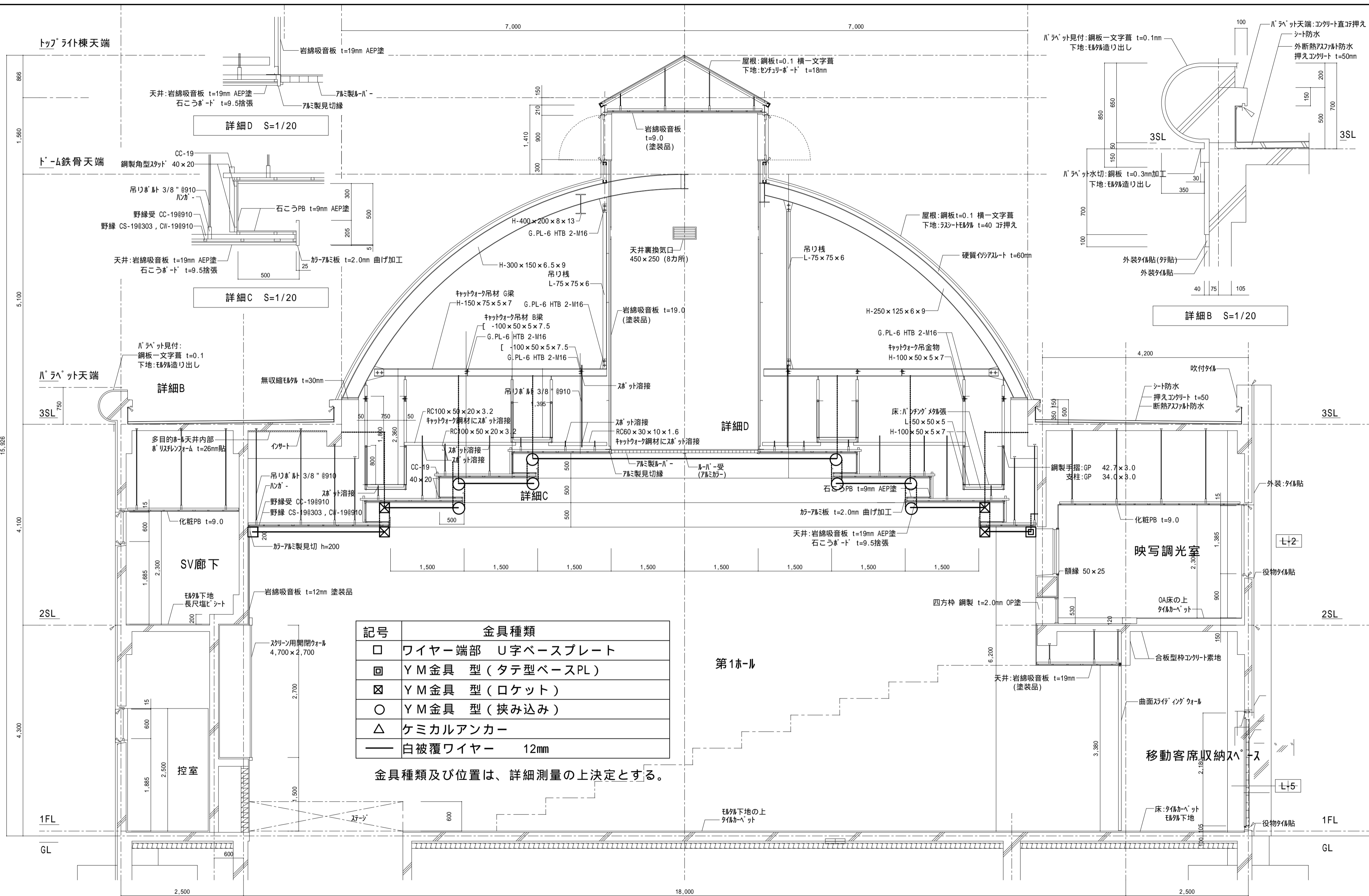
図面名称 現況図 第1ホール
 詳細図

縮尺 1/20
 年月日 2025.03
 図面 No A-48



記号	金具種類
□	ワイヤー端部 U字ベースプレート
⊠	YM金具 型 (タテ型ベースPL)
⊞	YM金具 型 (ロケット)
○	YM金具 型 (挟み込み)
△	ケミカルアンカー
—	白被覆ワイヤー 12mm

金具種類及び位置は、詳細測量の上決定とする。



詳細D S=1/20

詳細C S=1/20

詳細B

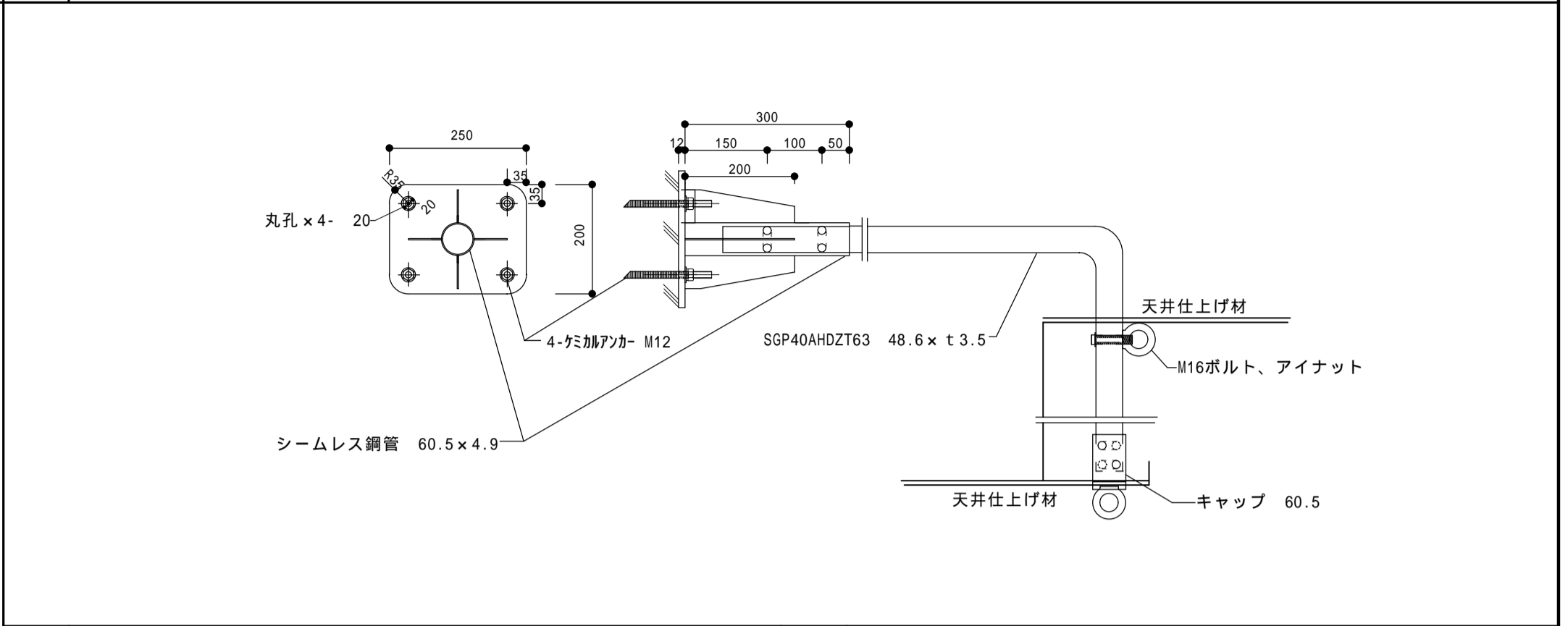
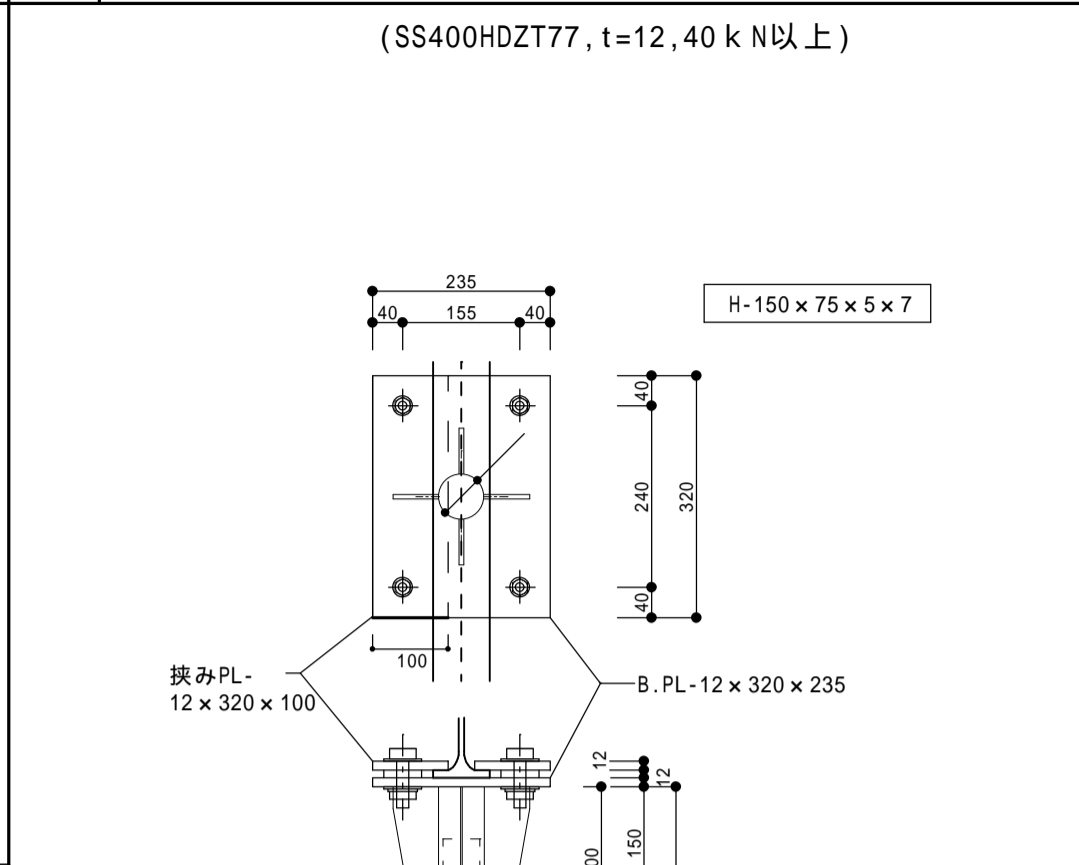
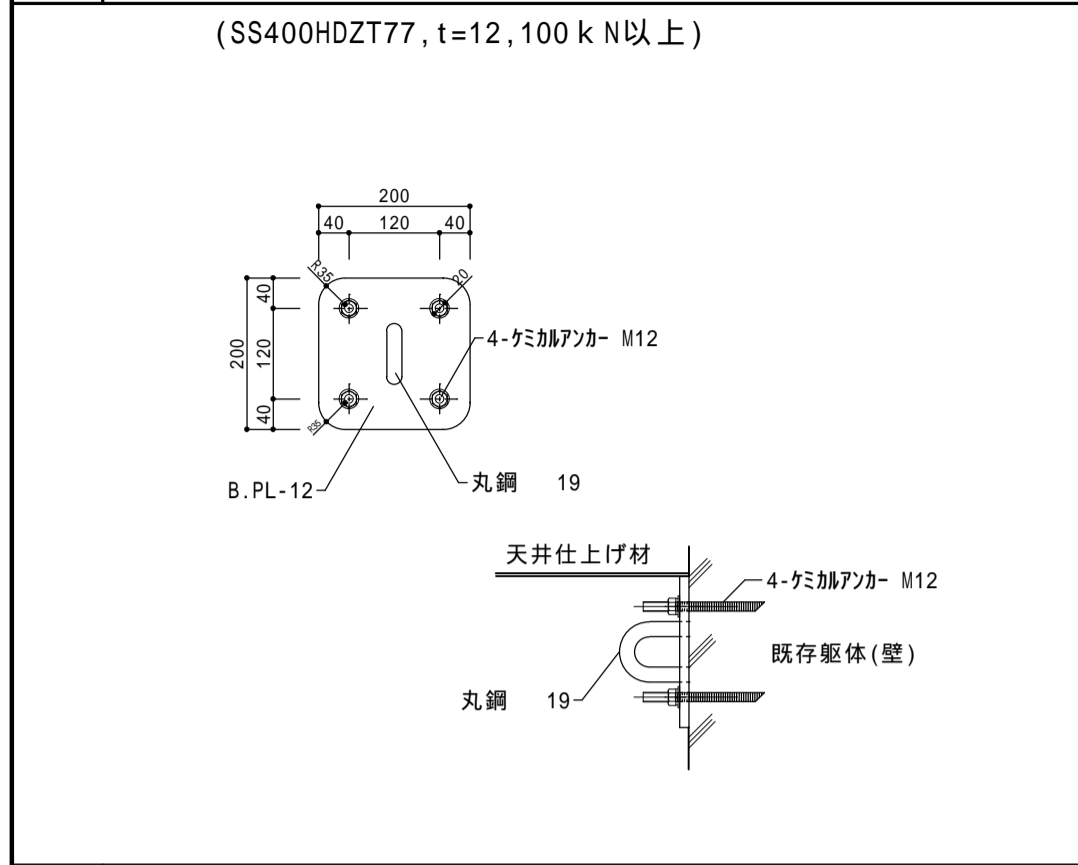
詳細D

詳細B S=1/20

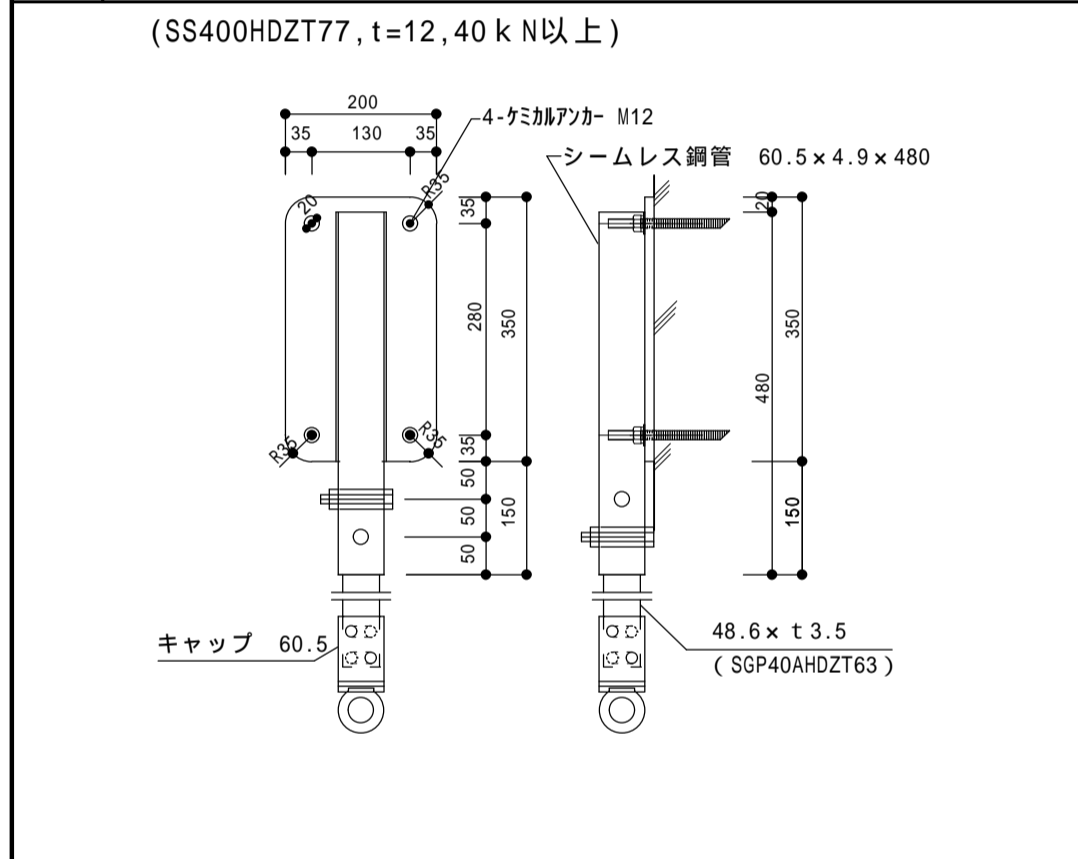
記号	金具種類
□	ワイヤー端部 U字ベースプレート
回	YM金具 型 (タテ型ベースPL)
☒	YM金具 型 (ロケット)
○	YM金具 型 (挟み込み)
△	ケミカルアンカー
—	白被覆ワイヤー 12mm

金具種類及び位置は、詳細測量の上決定とする。

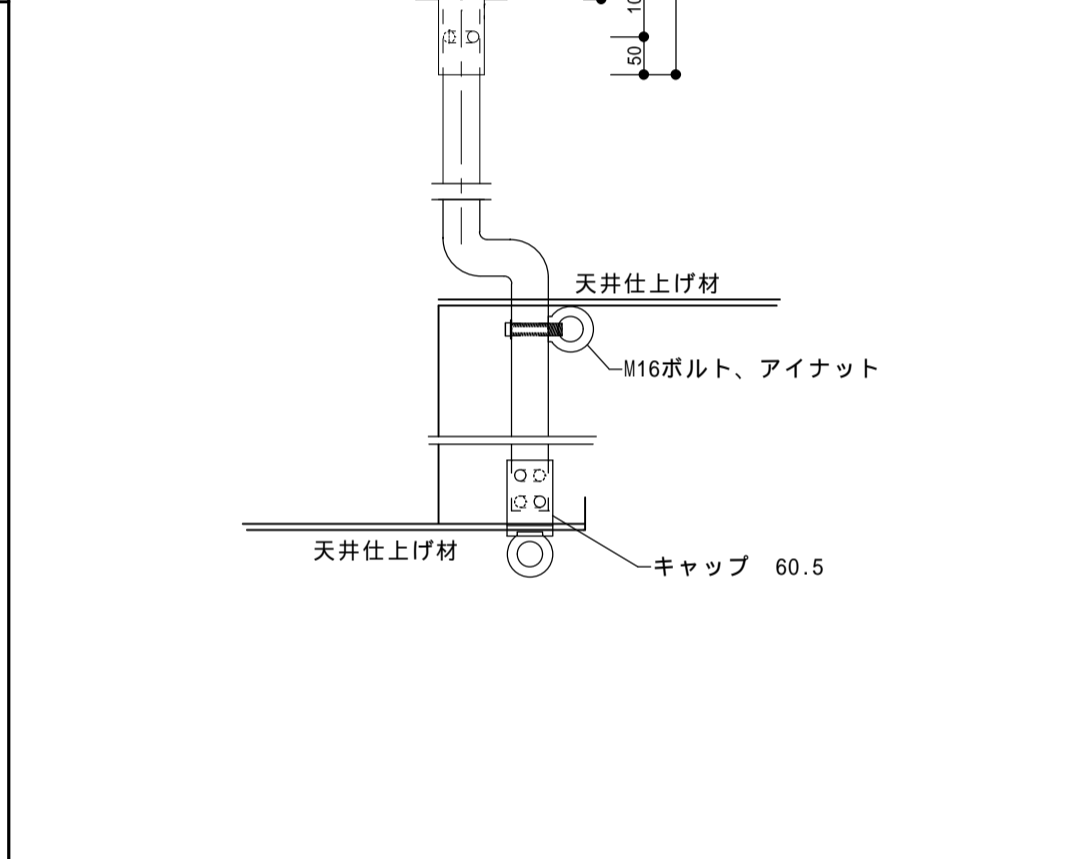
□ ワイヤー端部 U字ベースプレート 詳細図 S=1/5	○ Y M金具 型 (挟み込みタイプ) 詳細図 S=1/5	☒ Y M金具 型 (ロケットタイプ) (SS400HDZT77, t=12, 40 k N以上) 詳細図 S=1/5
------------------------------	-------------------------------	---



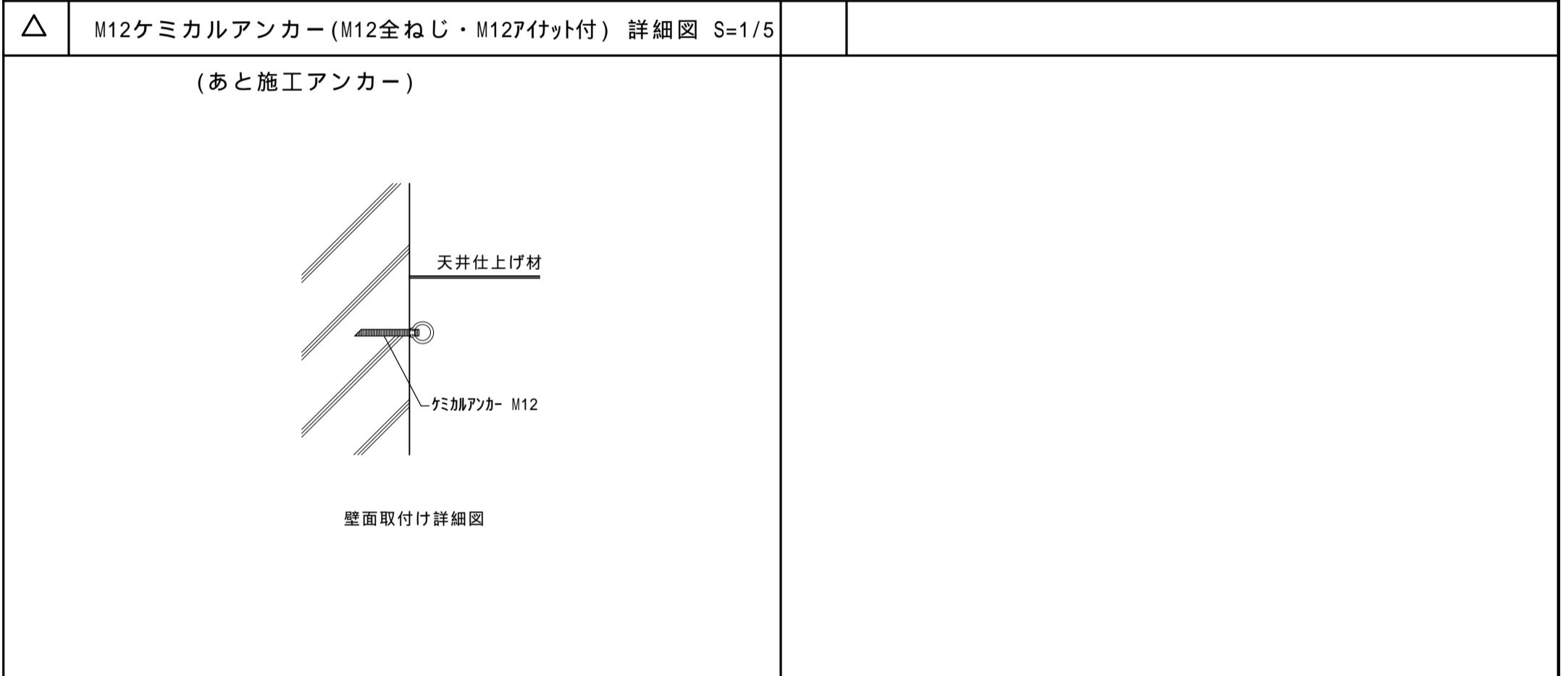
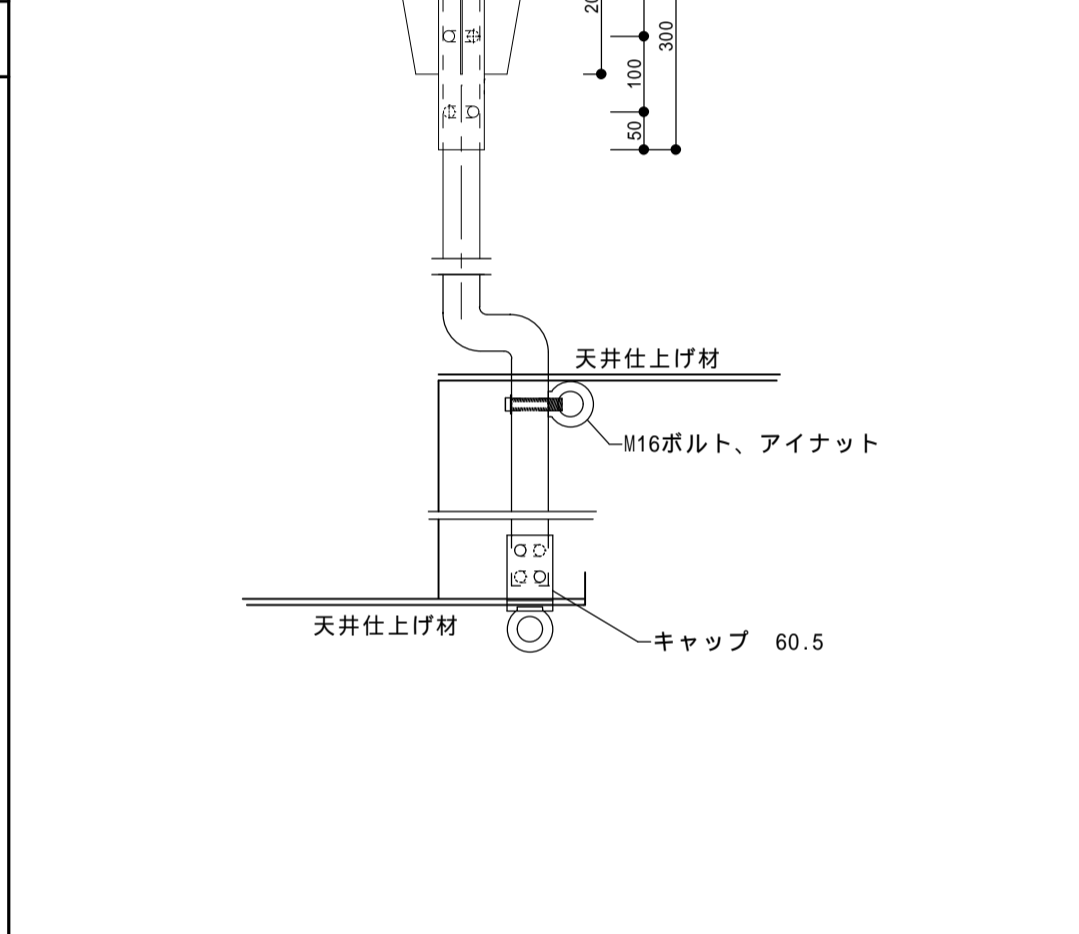
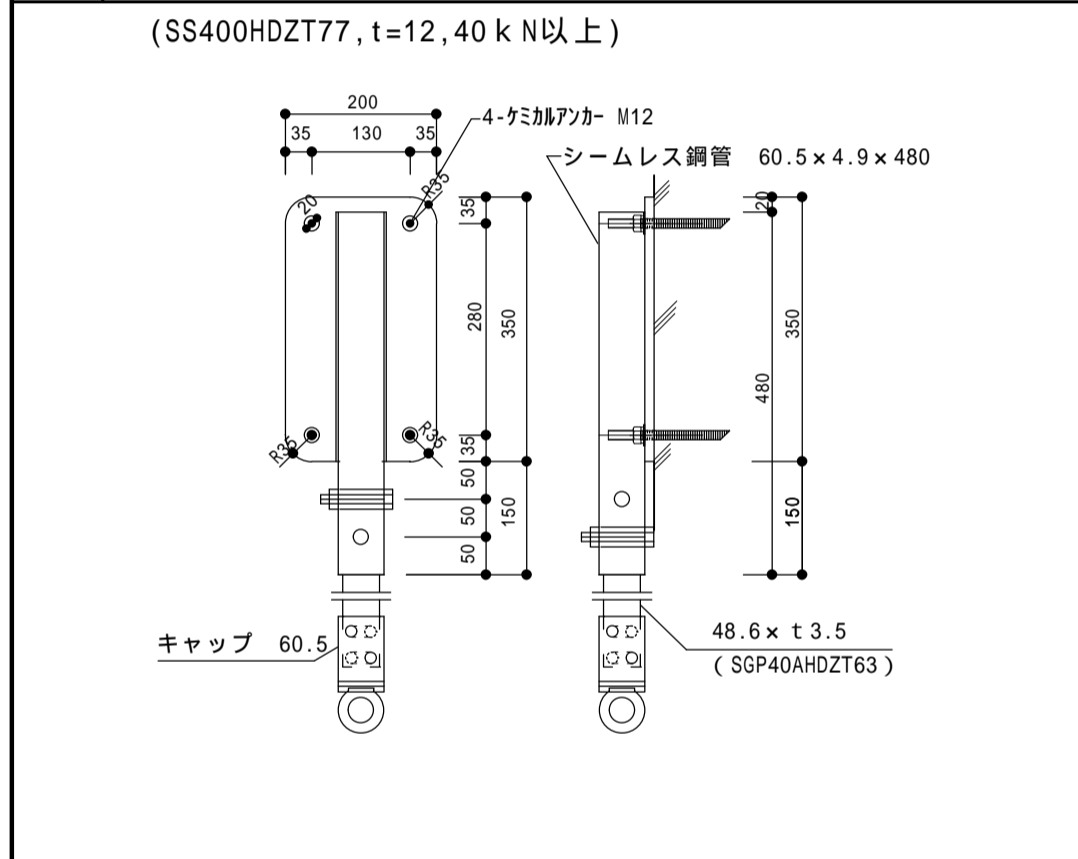
回 Y M金具 型 (縦型ベース) 詳細図 S=1/5



△ M12ケミカルアンカー (M12全ねじ・M12アイット付) 詳細図 S=1/5



一 メッキワイヤー端末詳細図 詳細図 S=1/5



備考

NEO 設計

NEO 設計

NEO 設計

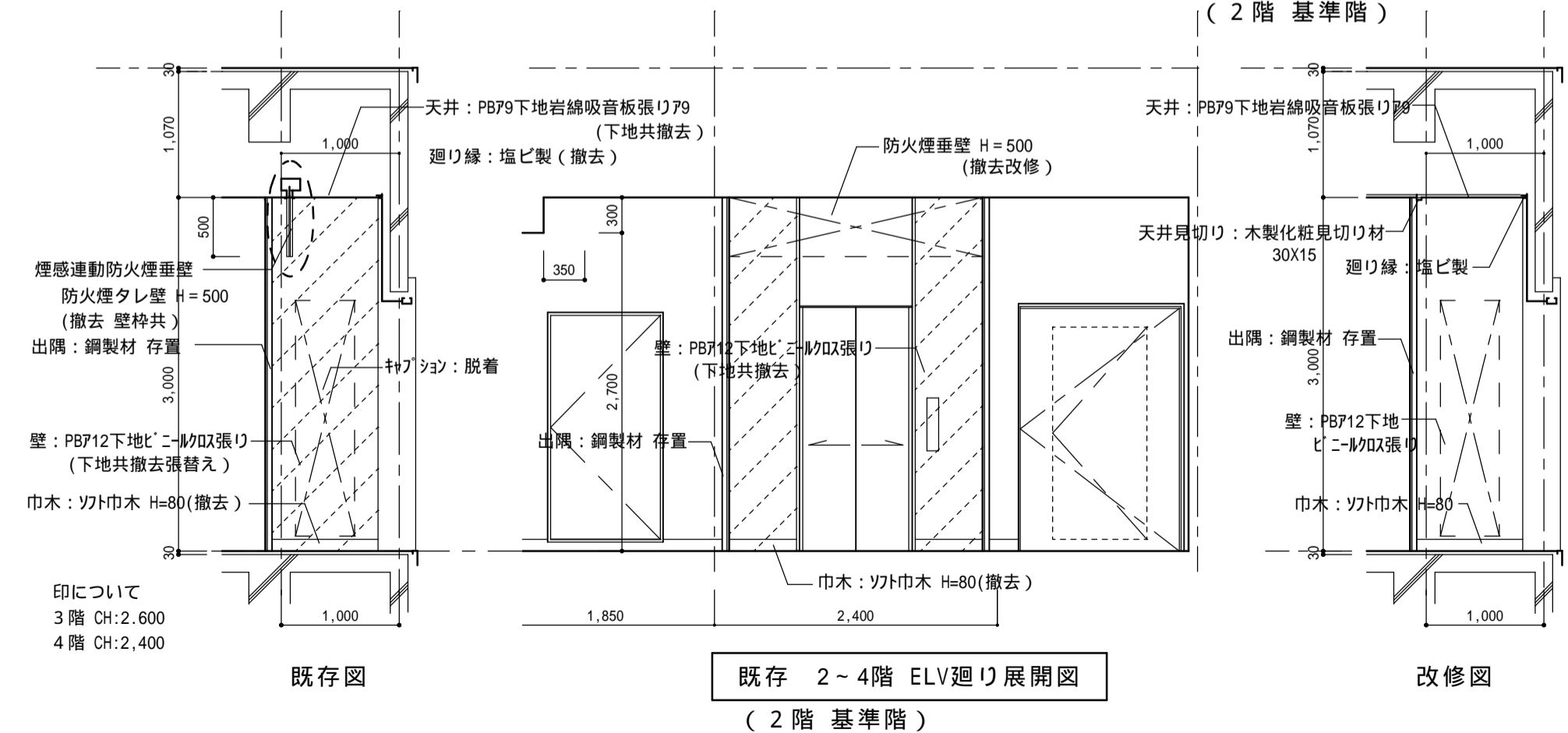
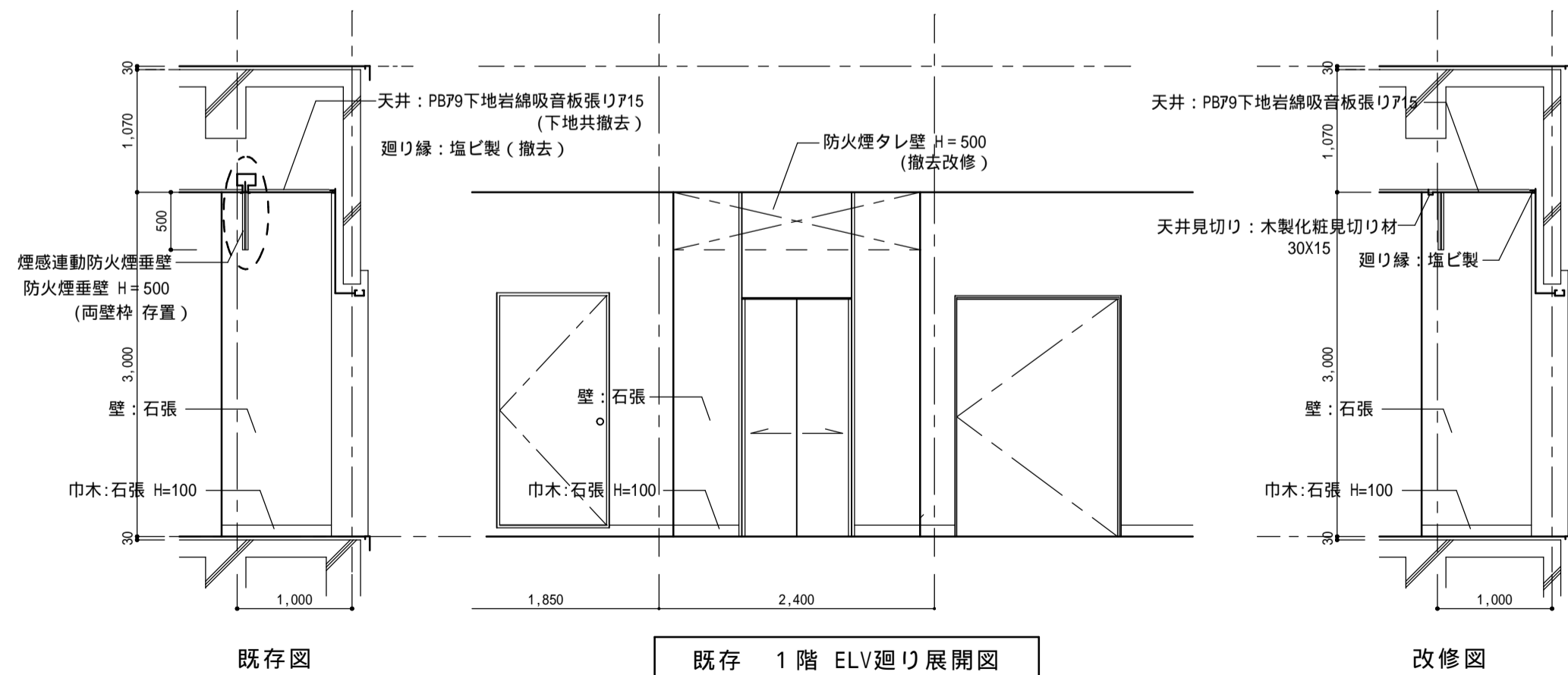
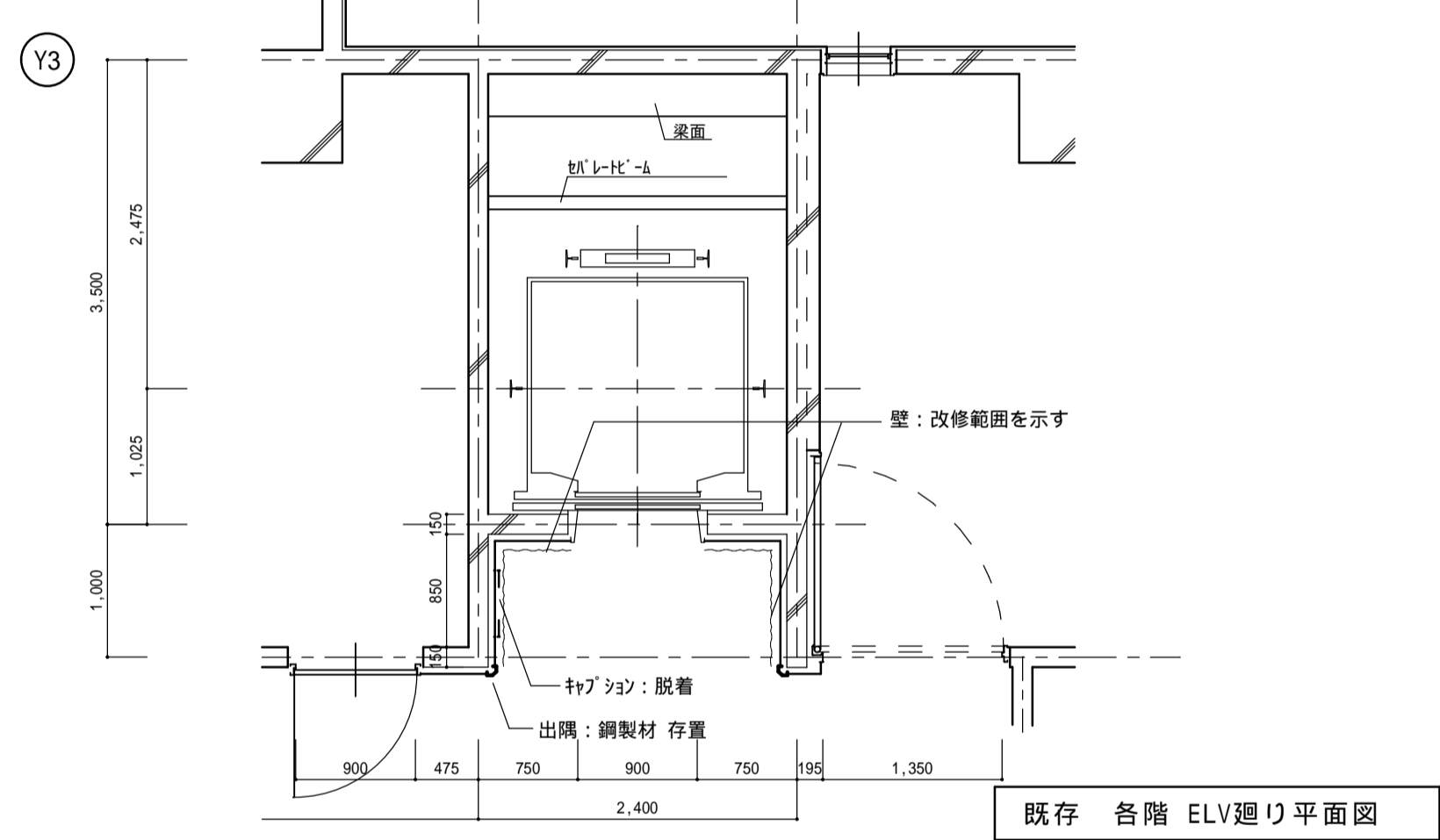
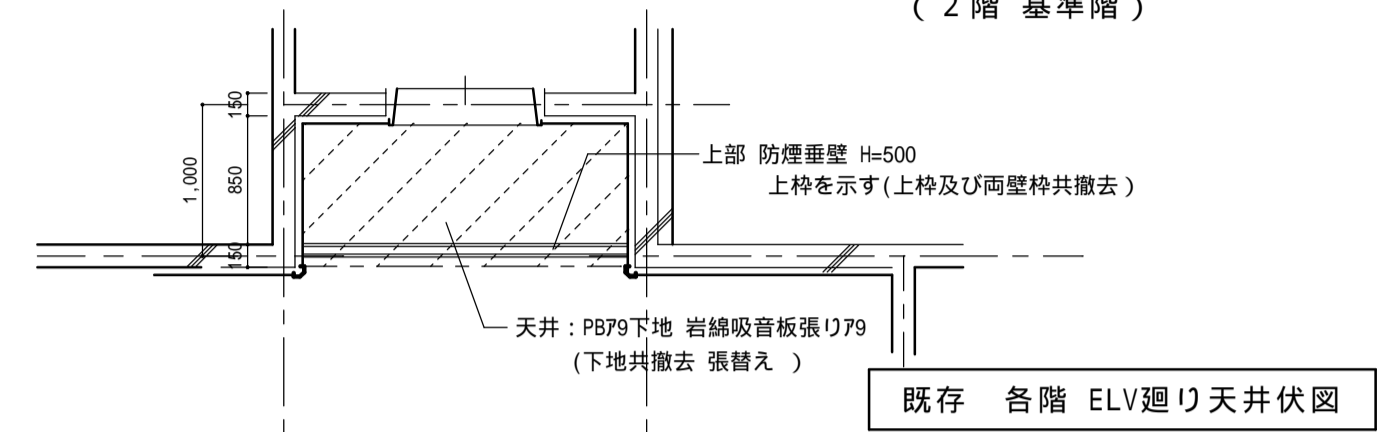
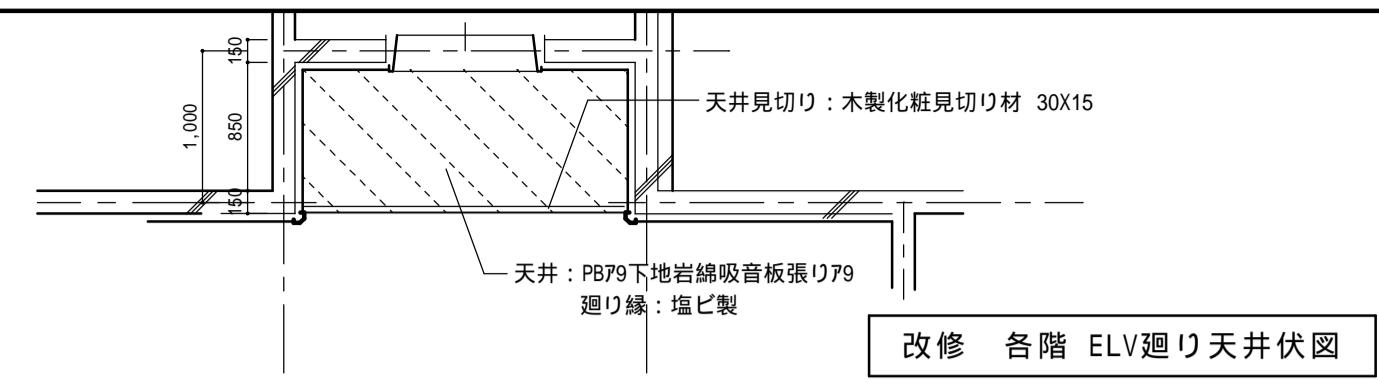
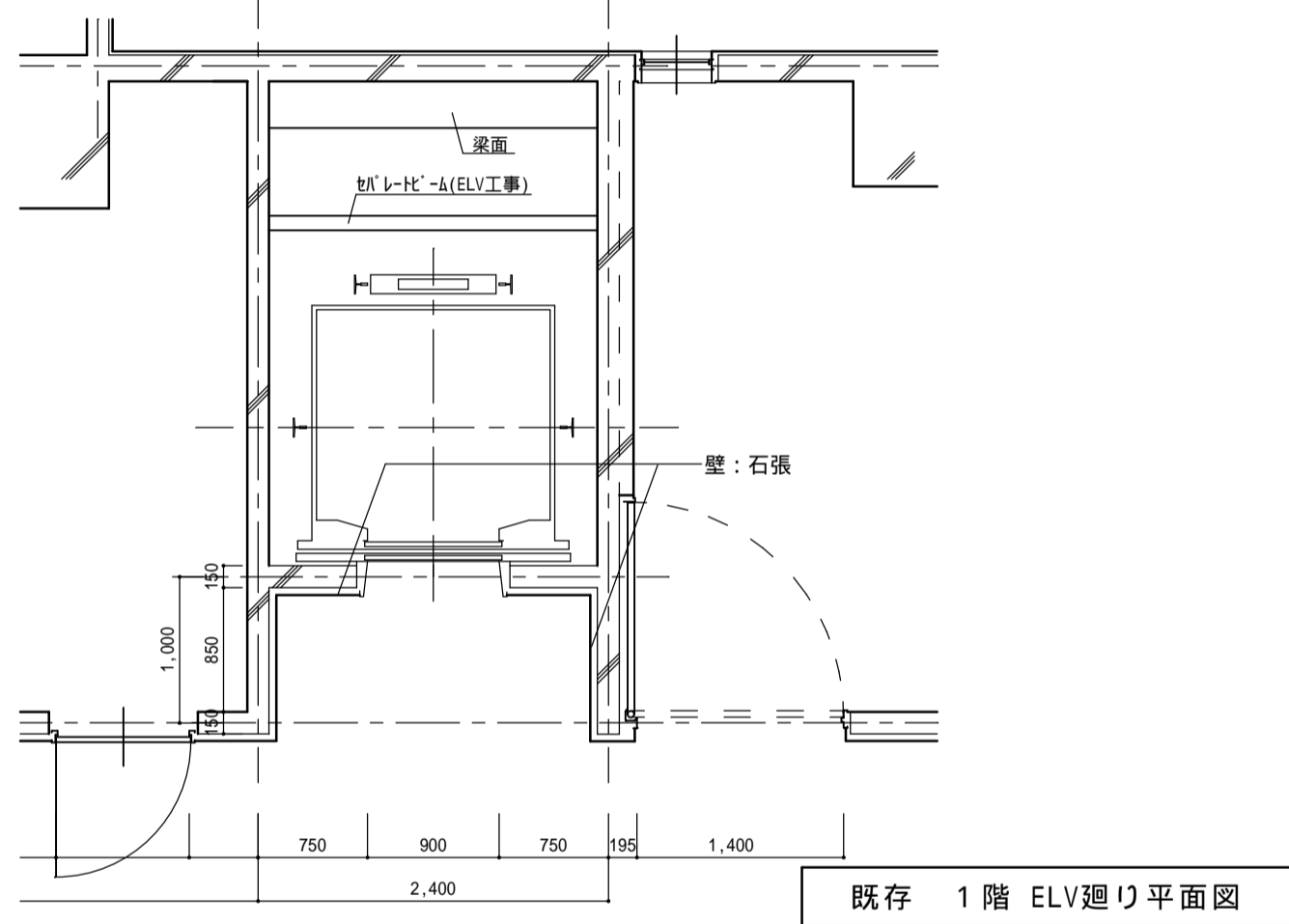
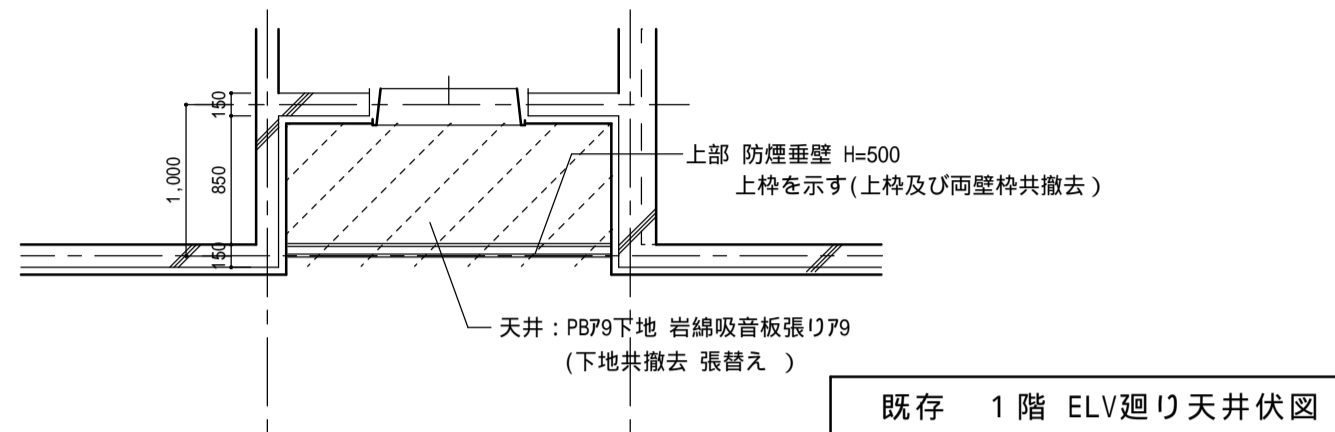
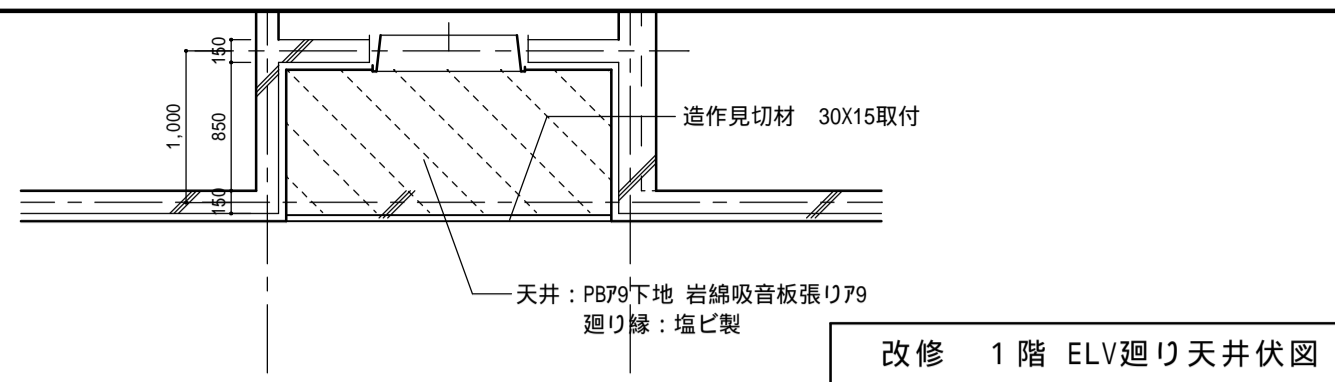
工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事

図面名称 改修図 第1ホール 特定天井 詳細図

縮尺 1/10

年月日 2025.03

図面 No A-51



備考				NEO	一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村剛正	工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事	図面名称 ELV前 改修図 各階 ELV廻り改修図	縮尺 1/50 年月日 2025.03	図面 No A-52
----	--	--	--	-----	---	----------------------------------	---------------------------------	------------------------------	---------------

符号 (数量)	SUSD-1 (1)		SUSD-2 (1)		SUSW-1 (1)	
形式	ランマ-煙窓付両袖はめ殺し引き込み自動ドア		ランマ-煙窓付両袖はめ殺し引き込み両開き戸		ランマ-煙窓付両袖はめ殺し窓	
形式						
材料	仕上	枠 ステンレス	枠 ステンレス	枠 ステンレス	枠 ステンレス	枠 ステンレス
見込	ガラス	100	100	100	100	100
備考						
符号 (数量)	AW-1(1)、AW-2(2)、AW-3(1)	AW-4 (1)	AW-5(1)、AW-6(1)、AW-7(1)、AW-8(1)、AW-9(1)	AW-10 (1)、AW-11 (1)	AW-12 (1)、AW-13 (1)	AW-14 (1)、AW-15 (1)、AW-16 (1)、AW-17 (1)、AW-18 (1) AW-19 (1)、AW-20 (1)、AW-21 (1)、AW-22 (1)
形式	ランマ付引違い窓	ランマ付引違い窓	2連ランマ付引違い窓	2連ランマ付引違い窓	2連ランマ付引違い窓	3連ランマ付引違い窓
形式						
材料	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
見込	ガラス	70	70	70	70	70
備考	ランマ: アルミ幕板		ランマ: アルミ幕板		ランマ: アルミ幕板	
符号 (数量)	AW-23 (1)、AW-24 (1)		AW-25 (1)	AW-26 (1)、AW-27 (1)、AW-28 (1)、AW-29 (1)、AW-30 (1)	AW-31 (1)	
形式	3連ランマ付引違い窓		3連ランマ付引違い窓	3連ランマ付引違い窓	3連ランマ付引違い窓	
形式						
材料	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	
見込	ガラス	70	70	70	70	
備考	ランマ: アルミ幕板		ランマ: アルミ幕板		ランマ: アルミ幕板	

備考
改修工事 (アルミ建具: クリーニング、SD建具: 錆止め処理後 枠共DP塗装、周囲シーリング 充填)



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

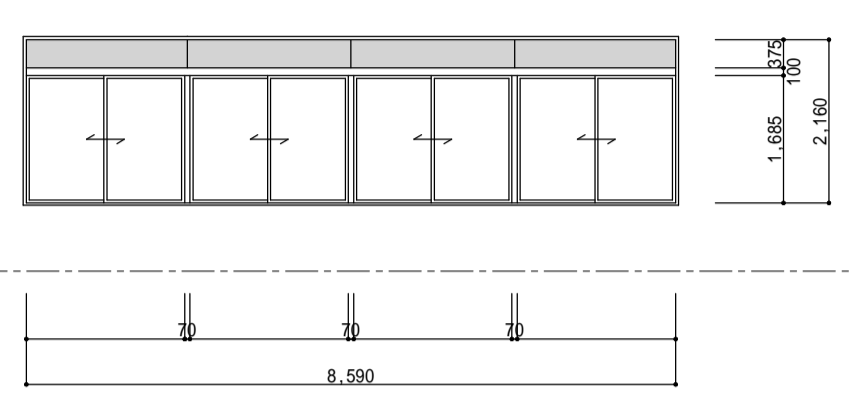
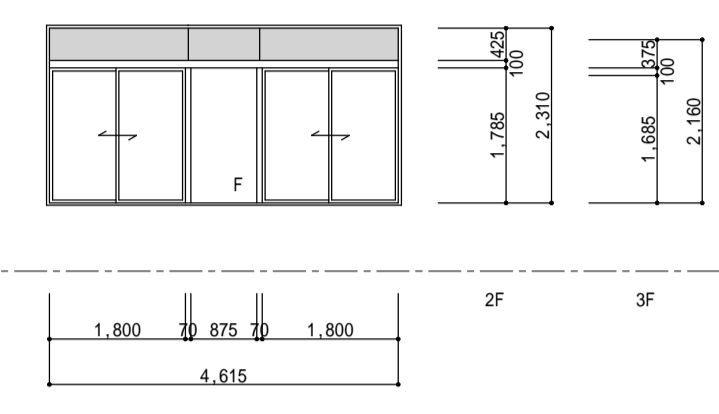
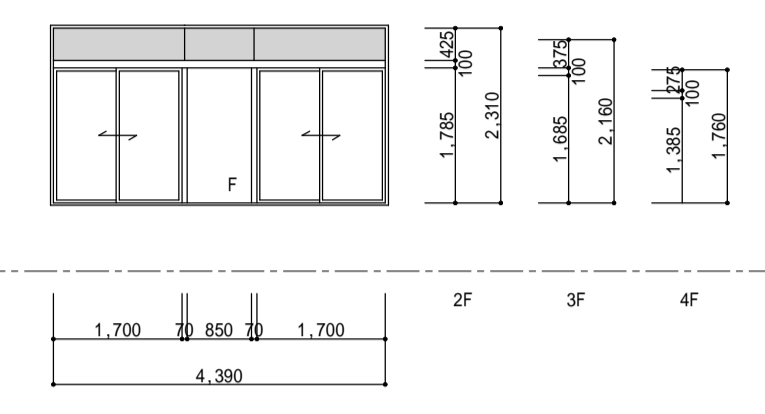
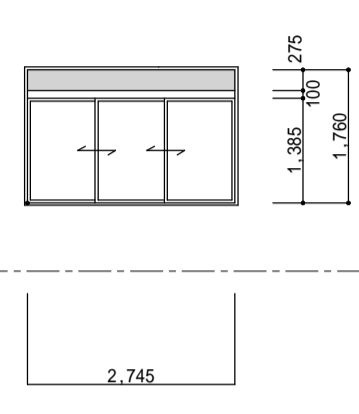
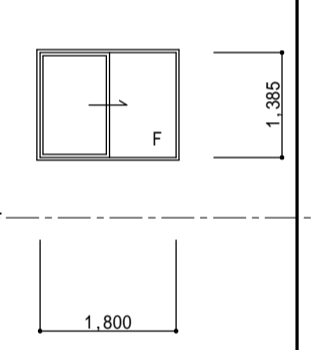
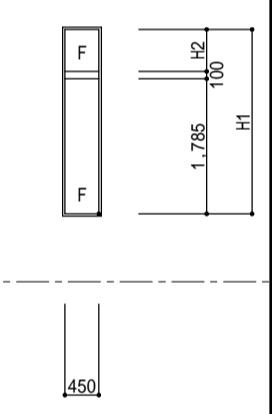
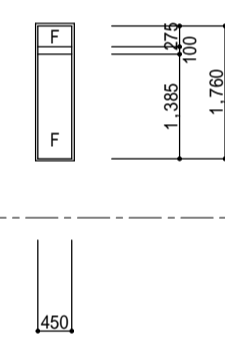
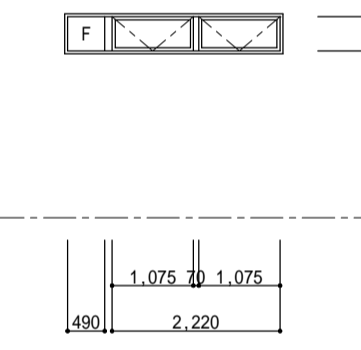
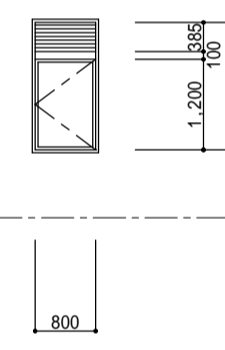
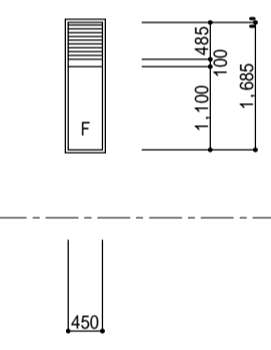
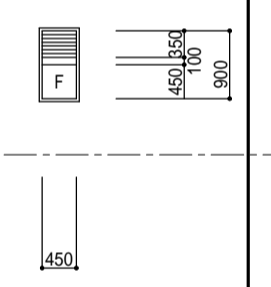
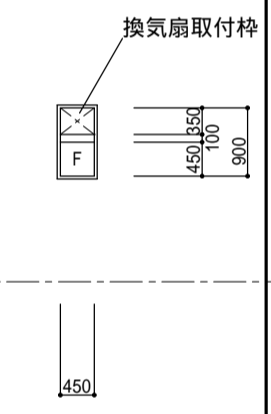
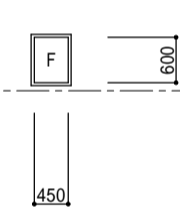
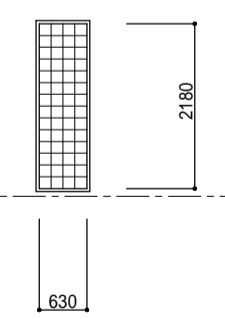
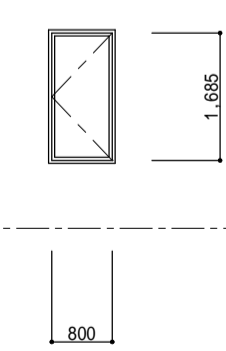
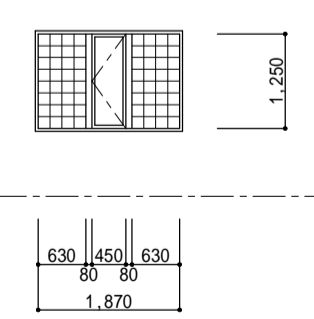
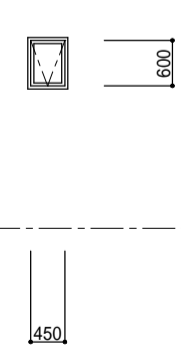
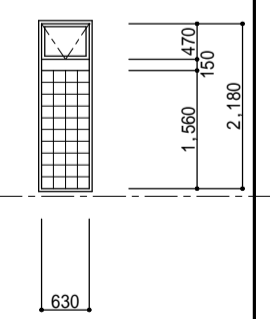
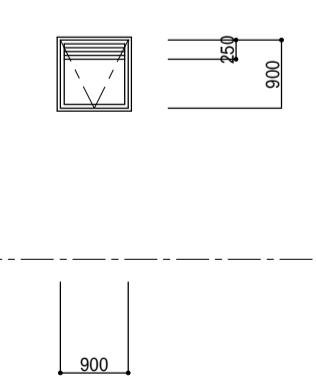
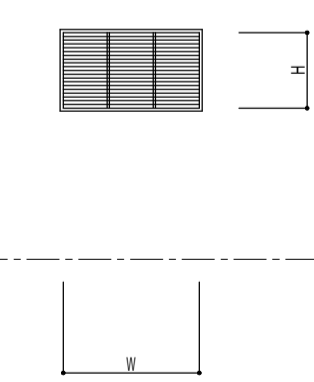
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

現況図
建具表 - 1

縮尺 1/100
年月日 2025.03

図面 No
A - 53

符号 (数量)	AW-32 (1)		AW-33 (1)、AW-34 (1)		AW-35 (1)、AW-36 (1)、AW-37 (1)		AW-38 (2)		
形式	3連ランマ付引違い窓		2連ランマ付中はめ殺し引違い窓		2連ランマ付中はめ殺し引違い窓		ランマ付引違い窓 (3枚)		
形式									
材料	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	
見込	ガラス	70	70	70	70	70	100	100	
備考	ランマ: アルミ幕板		ランマ: アルミ幕板		ランマ: アルミ幕板		ランマ: アルミ幕板		
符号 (数量)	AW-39 (1)	AW-41 (1)、AW-42 (1)	AW-44 (1)	AW-45 (2)	AW-46 (1)	AW-46' (1)	AW-47 (2)	AW-48 (1)	AW-49 (1)
形式	片引き窓	AW-43(1) ランマ付はめ殺し窓	ランマ付はめ殺し窓	はめ殺し付排煙窓	可動ガラリ付片開き戸	可動ガラリ付はめ殺し窓	ガラリ付はめ殺し窓	換気扇取付枠付はめ殺し窓	はめ殺し窓
形式									
材料	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
見込	ガラス	70	70	70	70	70	70	70	70
備考									
符号 (数量)	AW-101 (2)	AW-102 (2)、AW-102' (1)	AW-103 (2)	AW-104 (13)	AW-105 (2)	AW-106 (8)	AG-101A (2)、AG101B (1)、AG-102 (1)		
形式	ガラスブロック窓	片開き排煙窓	両袖ガラスブロック窓付片開き窓	排煙窓	下部ガラスブロック窓付排煙窓	排煙窓	ガラリ窓		
形式									
材料	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
見込	ガラス	100	80	100	80	100	80	100	100
備考									

備考
改修工事 (7A3建具: カーニング、SD建具: 錆止め処理後 枠共DP塗装、周囲シーリング 充填)



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称
現況図
建具表 - 2

縮尺 1/100
年月日 2025.03

図面 No
A-54

符号 (数量)	ADW-1 (1)、ADW-2 (1)、ADW-3 (1)		ADW-4A (2)、ADW-5A (1)		ADW-4B (2)、ADW-5B (1)		ADW-6 (1)		ADW-7 (1)			
形式	排煙窓付両袖はめ殺し片開き戸		排煙窓付両袖はめ殺し片開き戸		排煙窓付はめ殺し窓		排煙窓付片開き戸		排煙窓付中はめ殺し2連引違い戸			
形式												
材料	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ		
見込	ガラス	70	70	70	70	70	70	70	70	70		
備考												
符号 (数量)	ADW-8 (1)、ADW-9 (1)		ADW-10 (1)		ADW-11 (1)		/		/			
形式	ランマ付両袖はめ殺し両引分け戸		ランマ付片袖はめ殺し2連引違い戸		片開き戸							
形式												
材料	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	/		/			
見込	ガラス	70	70	70	70							
備考	ランマ: アルミ幕板		ランマ: アルミ幕板				/		/			
符号 (数量)	SD-5 (2)	SD-10 (1)	SD-11 (1)	SD-101 (1)	SD-107 (1)、SD-110 (1)	SD-108 (2)					/	
形式	片開き戸	ランマ部ガラリ付親子開き戸	ランマ部ガラリ付両開き戸	片開き戸	片開き戸	片開き戸						
形式												
材料	仕上	スチール	OP塗	スチール	OP塗	スチール	OP塗	スチール	メラミン焼付塗装	スチール	メラミン焼付塗装	
見込	ガラス	80 扉40	70	70	80 扉40	80 扉40	80 扉40	80 扉40	80 扉40	80 扉40	80 扉40	
備考	改修: DP塗装 (両面)		改修: DP塗装 (両面)		改修: DP塗装 (両面)		改修: DP塗装 (両面)		改修: DP塗装 (両面)		改修: DP塗装 (両面)	

備考
改修工事 (アルミ建具: カリーニング、SD建具: 錆止め処理後 枠共DP塗装、周囲シリコン充填)



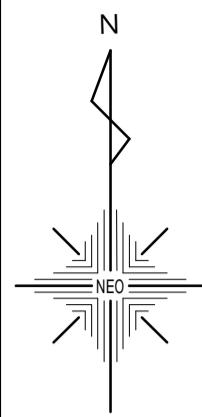
一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

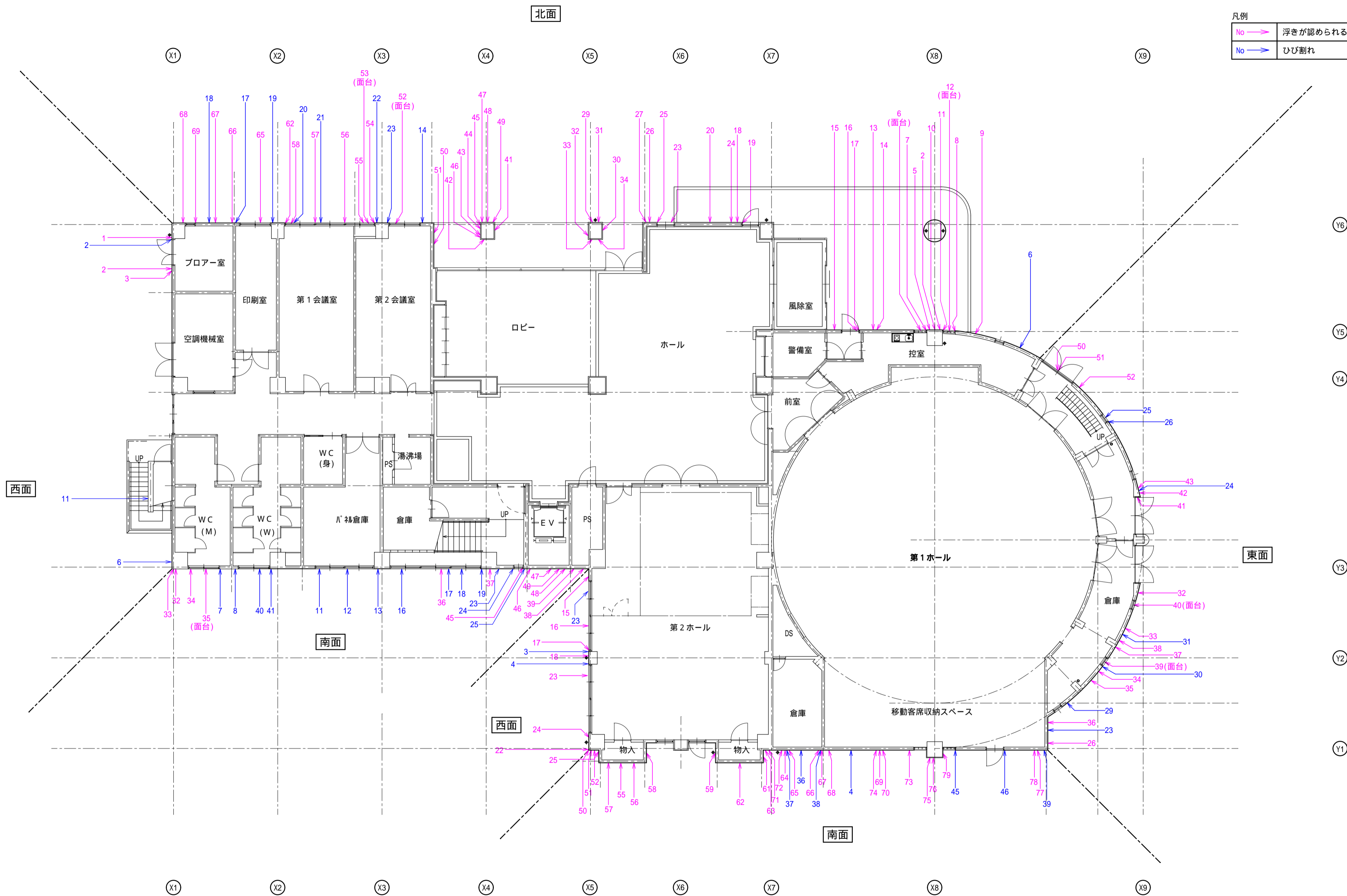
図面名称
現況図
建具表 - 3

縮尺 1/100
年月日 2025.02.03

図面 No
A - 55



No	→	浮きが認められる箇所
No	→	ひび割れ



備考



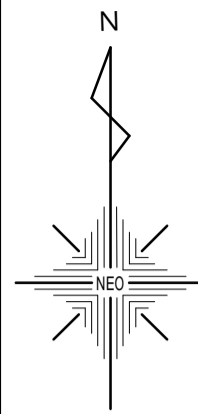
NEO 株式会社 NEO設計
 一級建築士事務所
 一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称 宇治市生涯学習センター
 中規模改修建築工事

図面名称 外壁劣化状況図 - 1
 1階 平面図

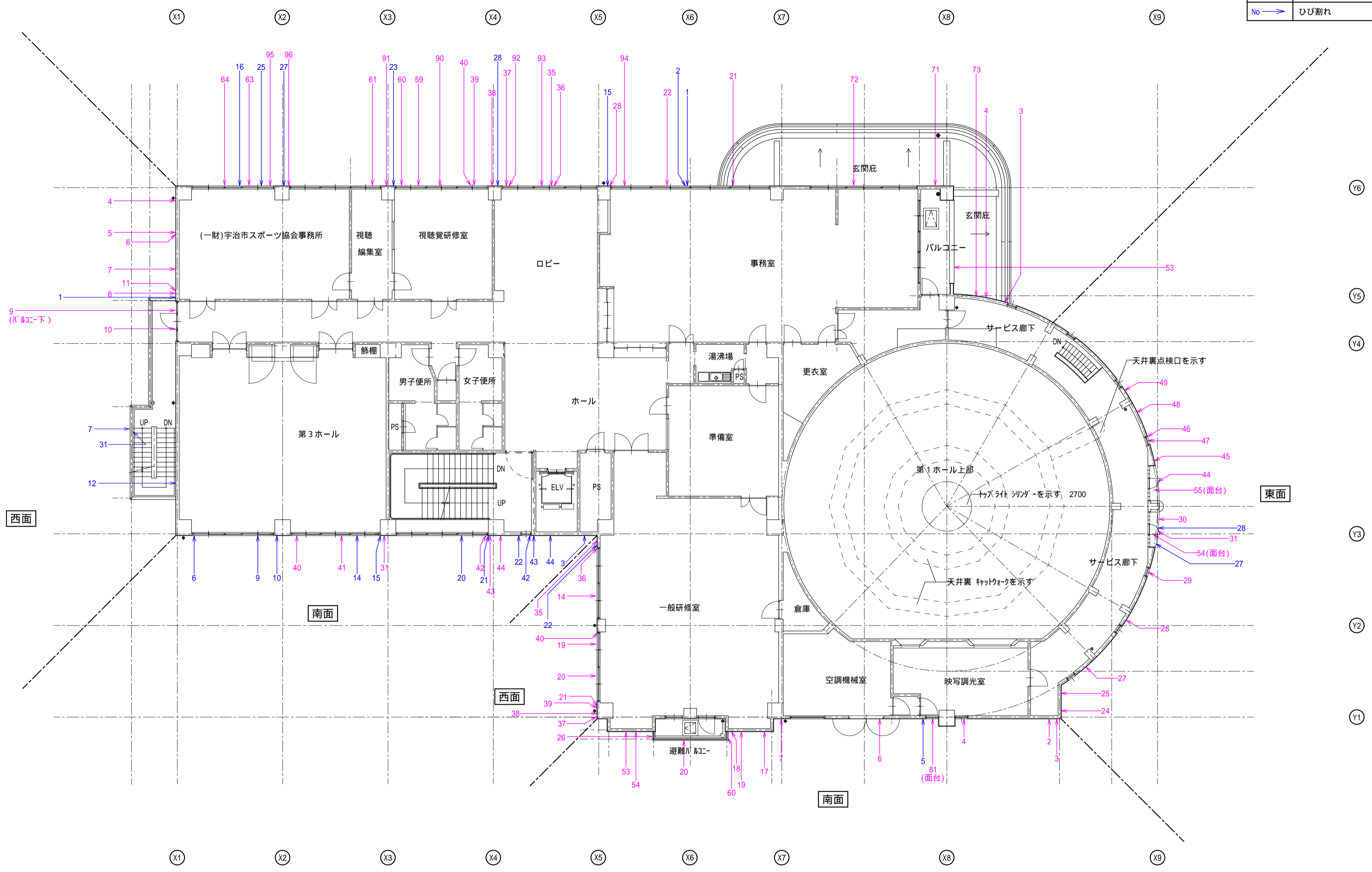
縮尺 1/150
 年月日 2025.03

図面 No A-56



北面

No	浮きが認められる箇所
No	ひび割れ



西面

南面

西面

南面

東面

備考	
----	--

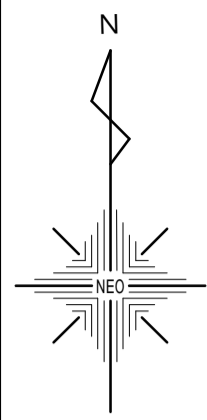
一般建築士事務所
 株式会社 NEO設計
 一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称	宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事
------	--------------------------

図面名称	外壁劣化状況図 - 2 2階 平面図
------	-----------------------

縮尺	1/150
年月日	2025.03

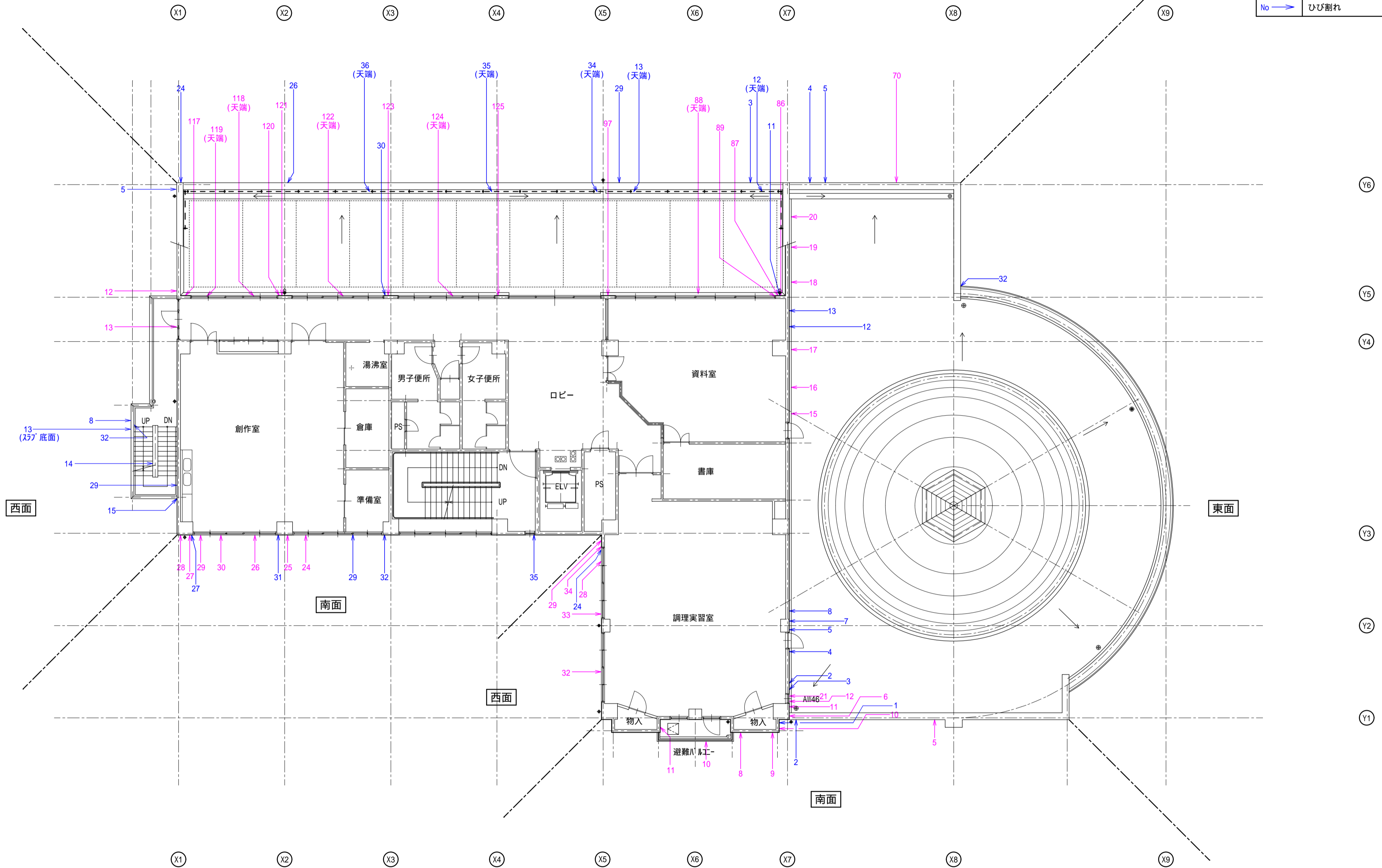
図面 No	A - 57
-------	--------



北面

凡例

No	↑	浮きが認められる箇所
No	→	ひび割れ



備考



一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

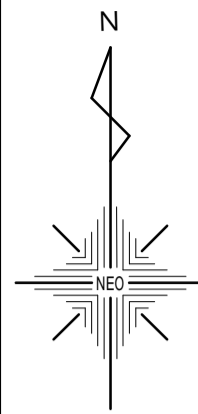
外壁劣化状況図 - 3
3階 平面図

縮尺

1/150
年月日 2025.03

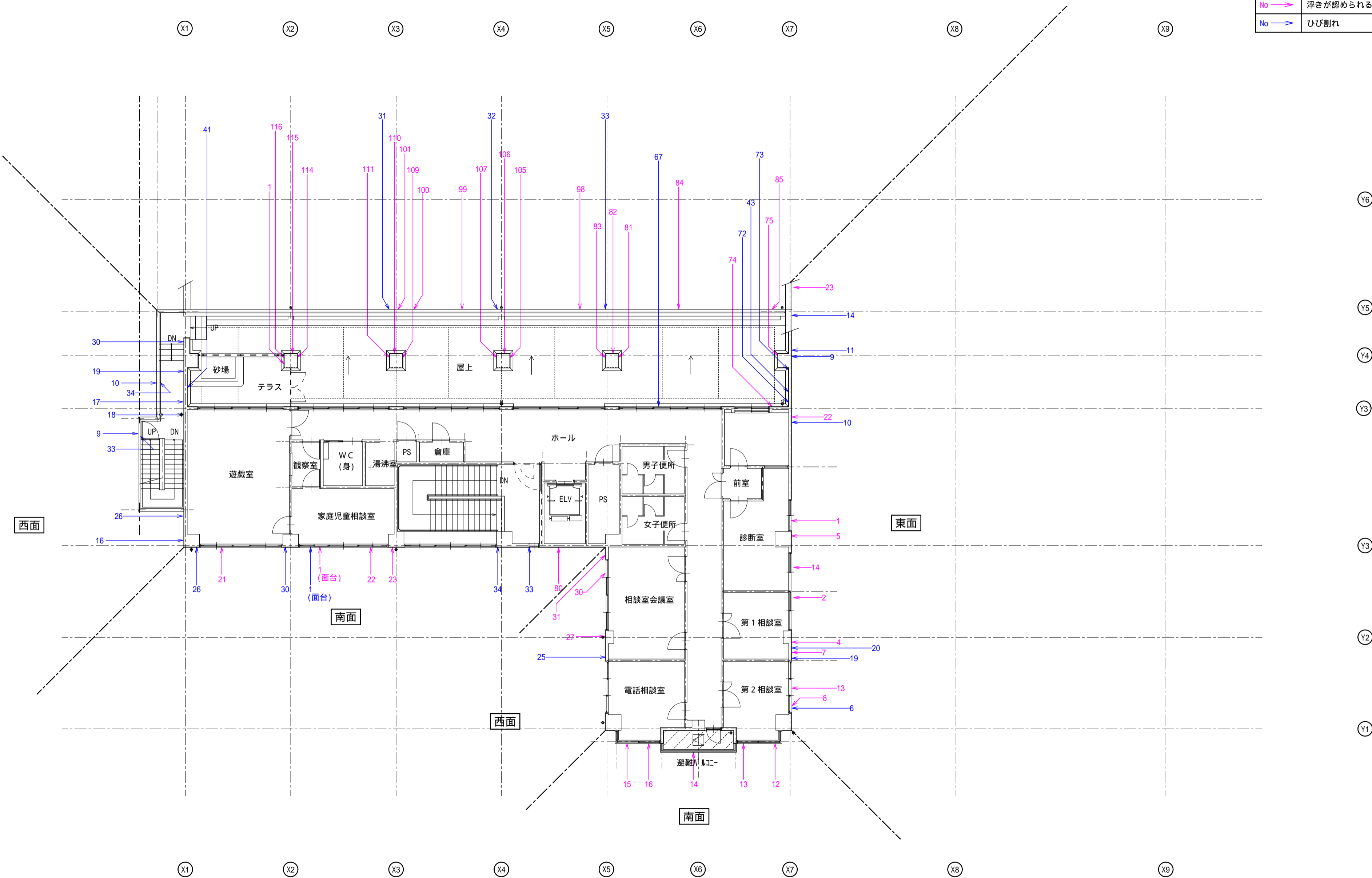
図面 No

A-58



北面

No	浮きが認められる箇所
No	ひび割れ



Y6
Y5
Y4
Y3
Y3
Y2
Y1

備考

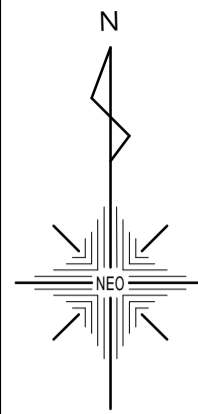
一級建築士事務所
 株式会社 NEO設計
 一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
 宇治市生涯学習センター
 中規模改修建築工事

図面名称
 外壁劣化状況図 - 4
 4階 平面図

縮尺 1/150
 年月日 2025.03

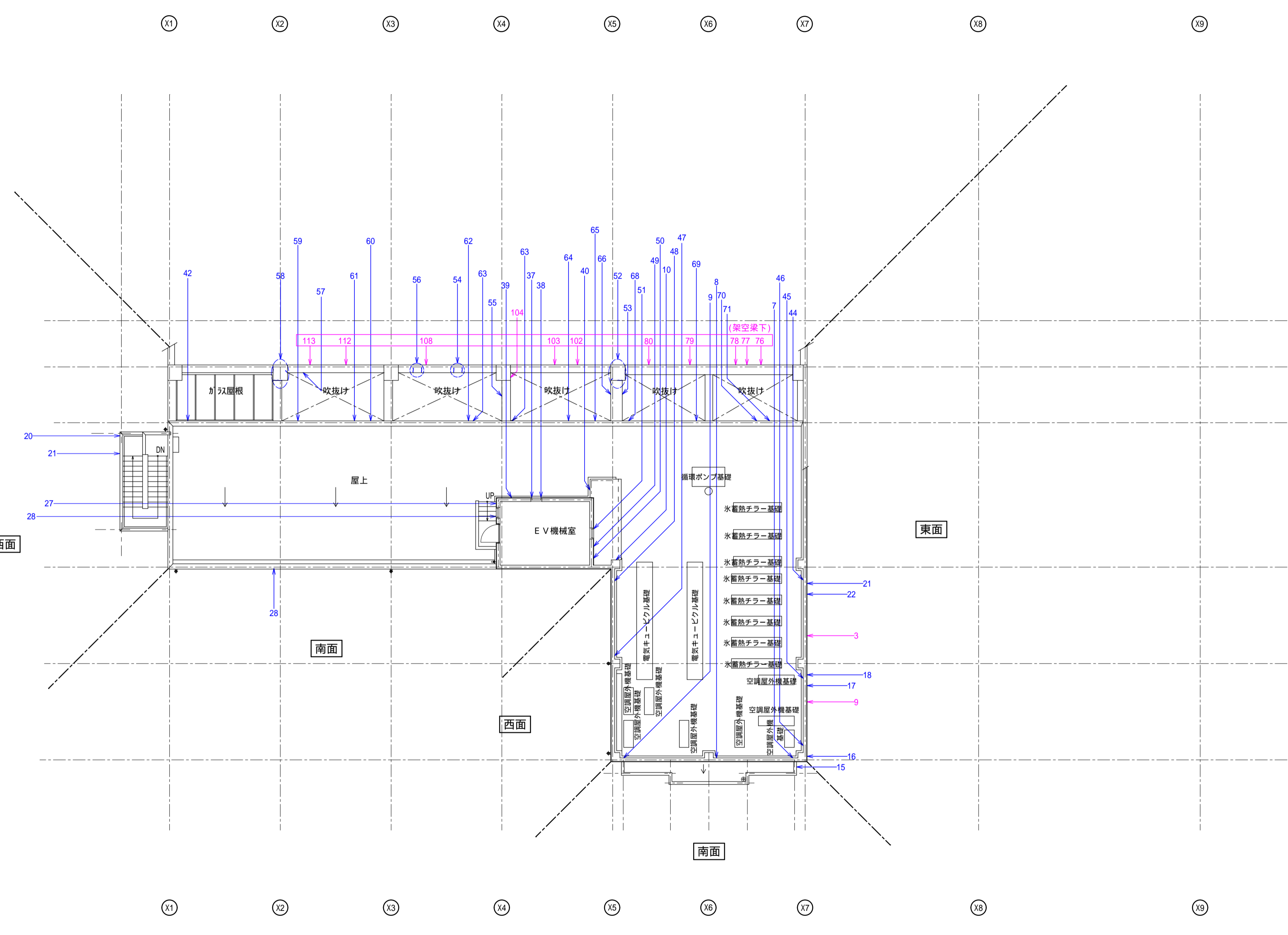
図面 No
 A - 59



北面

凡例

No	→	浮きが認められる箇所
No	→	ひび割れ



Y6
Y5
Y4
Y3
Y3
Y2
Y1

備考	
----	--

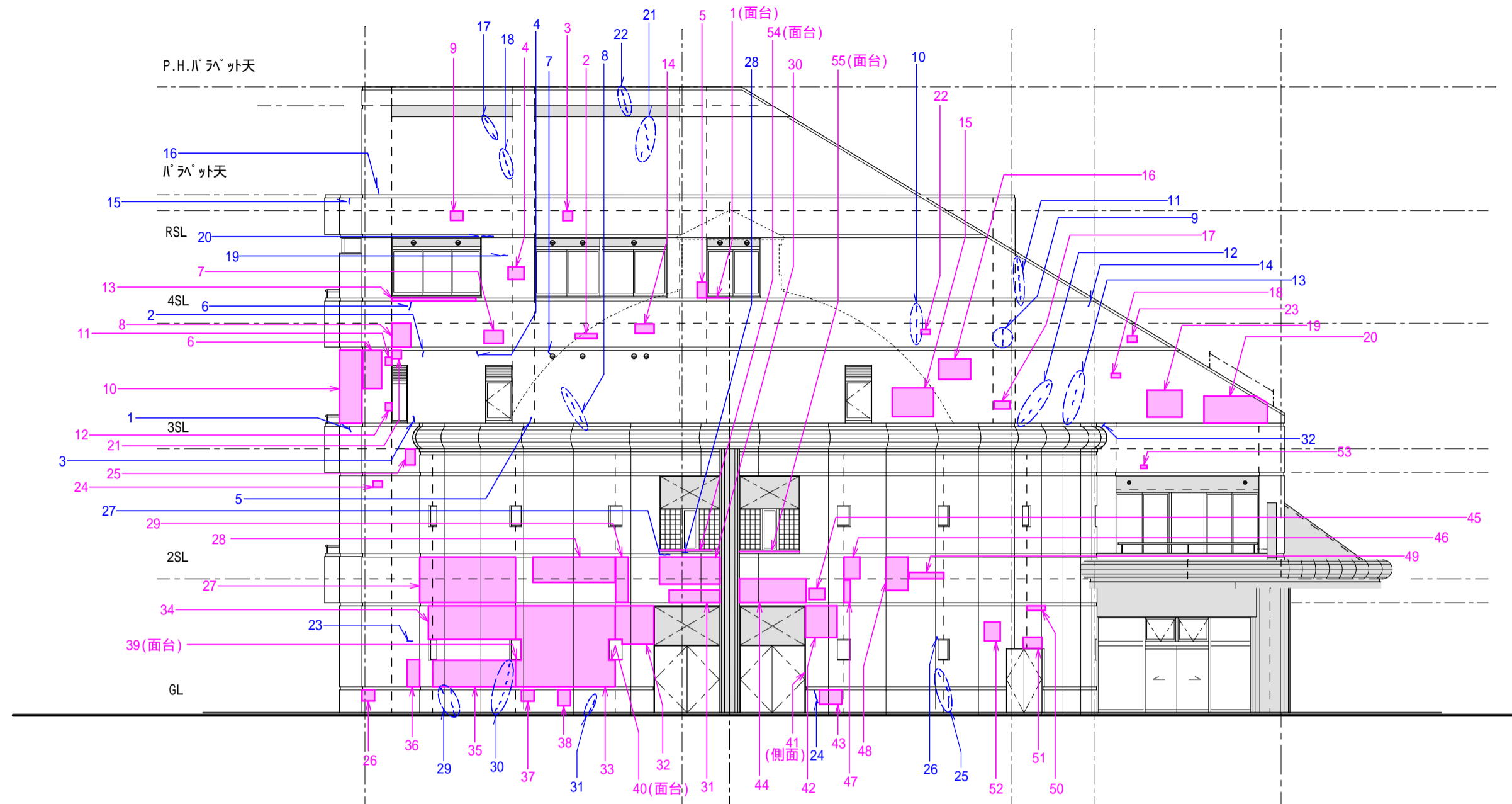
一級建築士事務所
 株式会社 NEO設計
 一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
 宇治市生涯学習センター
 中規模改修建築工事

図面名称
 外壁劣化状況図 - 5
 PH階 平面図

縮尺 1/150
 年月日 2025.03

図面 No
 A - 60



凡例

	浮きが認められる箇所	No
	ひび割れ	No
	欠損・割れ	No
	白華	No

タイルの浮き (東面)

損傷番号	横	縦	枚数 (枚)	面積 (m ²)	損傷番号	横	縦	枚数 (枚)	面積 (m ²)
1	17	1	17	0.09	41	3	27	81	0.41
2	7	3	21	0.11	42	10	20	200	1.00
3	3	6	18	0.09	43	7	9	63	0.32
4	5	8	40	0.20	44	21	15	315	1.58
5	3	10	30	0.15	45	5	7	35	0.18
6	6	32	192	0.96	46	5	14	70	0.35
7	6	8	48	0.24	47	2	14	28	0.14
8	6	15	90	0.45	48	7	21	147	0.74
9	4	6	24	0.12	49	15	4	60	0.30
10	7	46	322	1.61	50	6	3	18	0.09
11	2	5	10	0.05	51	6	7	42	0.21
12	2	5	10	0.05	52	5	12	60	0.30
13	53	1	53	0.27	53	2	2	4	0.02
14	6	6	36	0.18	54	42	4	168	0.84
15	13	18	234	1.17	55	42	4	168	0.84
16	10	13	130	0.65					
17	5	5	25	0.13					
18	3	3	9	0.05					
19	11	17	187	0.94					
20	20	17	340	1.70					
21	3	5	15	0.08					
22	3	3	9	0.05					
23	3	4	12	0.06					
24	3	4	12	0.06					
25	3	10	30	0.15					
26	4	7	28	0.14					
27	43	29	1247	6.24					
28	28	16	448	2.24					
29	4	29	116	0.58					
30	21	17	357	1.79					
31	17	8	136	0.68					
32	12 x 17 + (10 x 3)		231	1.16					
33	37 x 36 + (32 x 15)		1812	9.06					
34	39	17	663	3.32					
35	36	20	720	3.60					
36	4	17	68	0.34					
37	4	7	28	0.14					
38	4	10	40	0.20					
39	10	1	10	0.05					
40	10	1	10	0.05					
小計			7828	39.20	小計			1459	7.32
合計								9287	46.52

タイルのひび割れ (東面)

損傷番号	枚数 (枚)	長さ (m)		
1	1	0.05		
2	1	0.05		
3	2	0.10		
4	1	0.05		
5	2	0.10		
6	4	0.20		
7	1	0.05		
8	7	0.35		
9	4	0.20		
10	14	0.70		
11	17	0.85		
12	8	0.40		
13	7	0.35		
14	2	0.10		
15	1	0.05		
16	1	0.05		
17	2	0.10		
18	3	0.15		
19	1	0.05		
20	6	0.30		
21	10	0.50		
22	3	0.15		
23	1	0.05		
24	6	0.30		
25	16	0.80		
26	1	0.05		
27	5	0.25		
28	2	0.10		
29	5	0.25		
30	9	0.45		
31	4	0.20		
32	1	0.05		
小計	148	7.40		
合計	148	7.40		

備考



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

外壁劣化状況図 - 6
東立面図

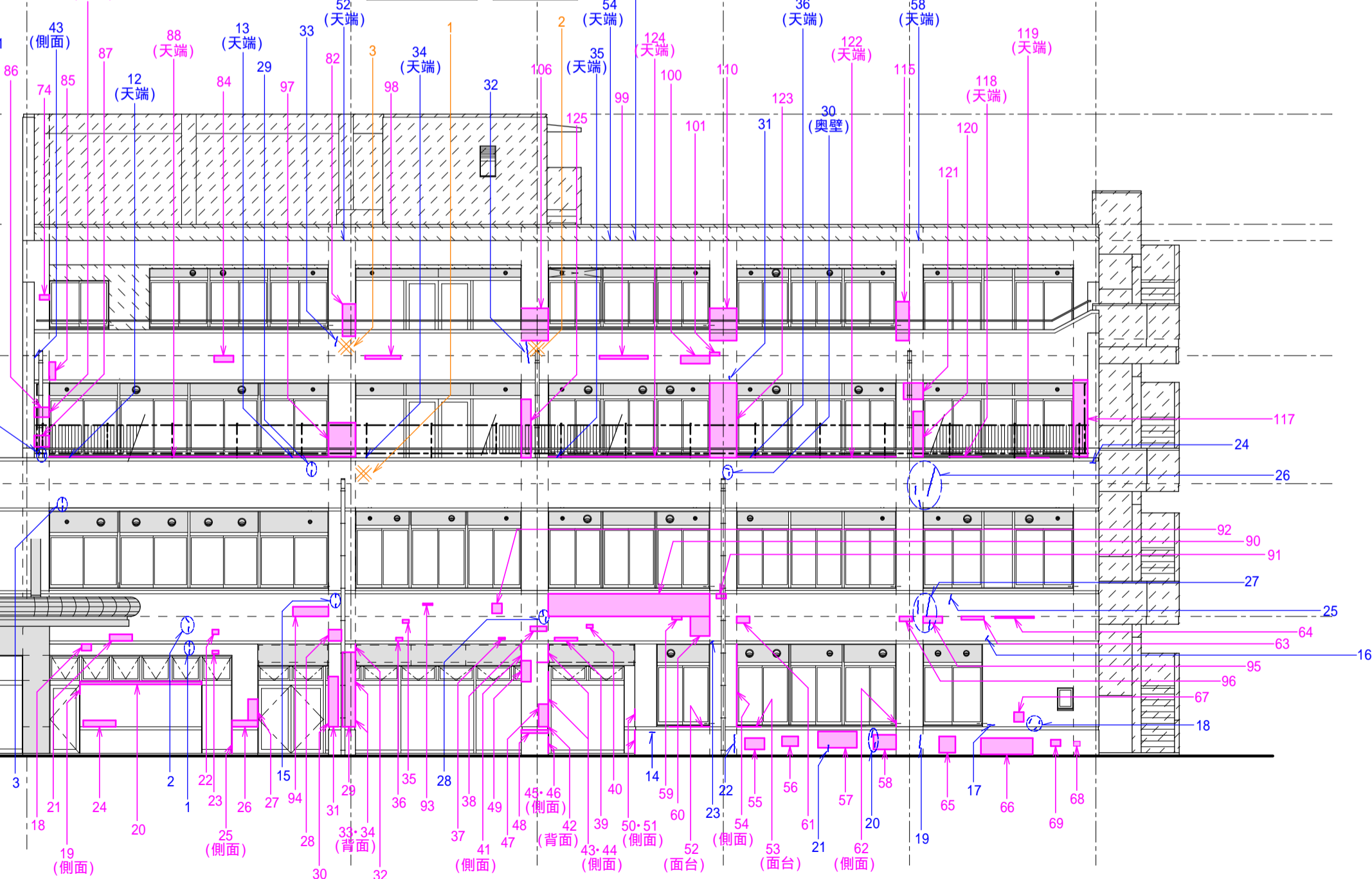
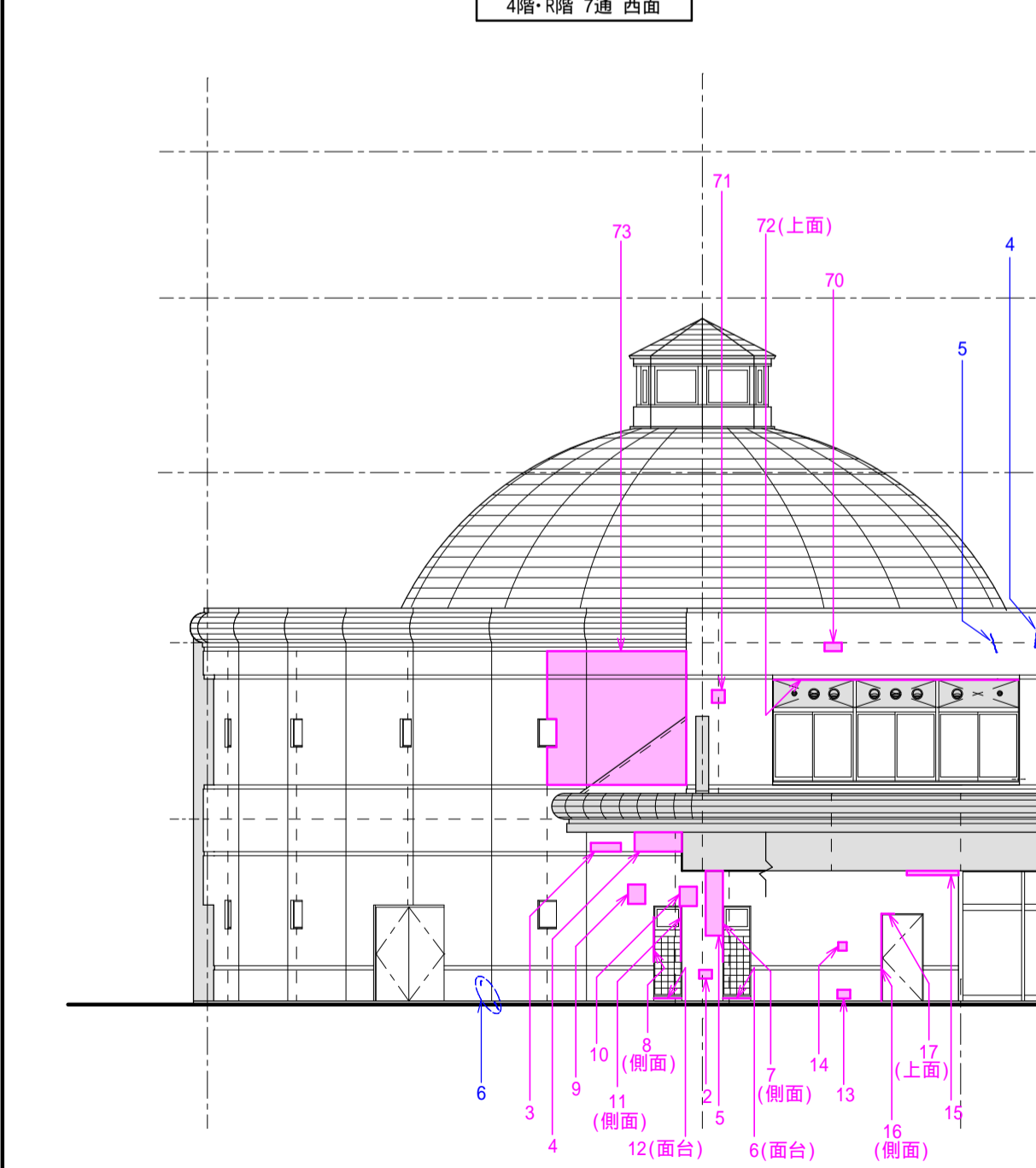
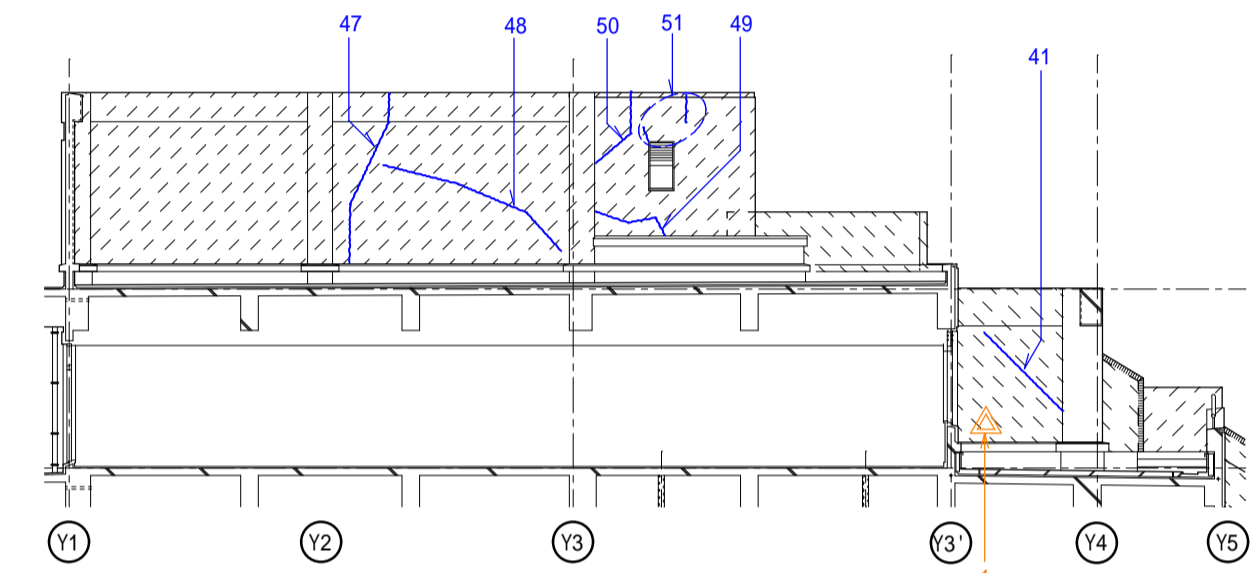
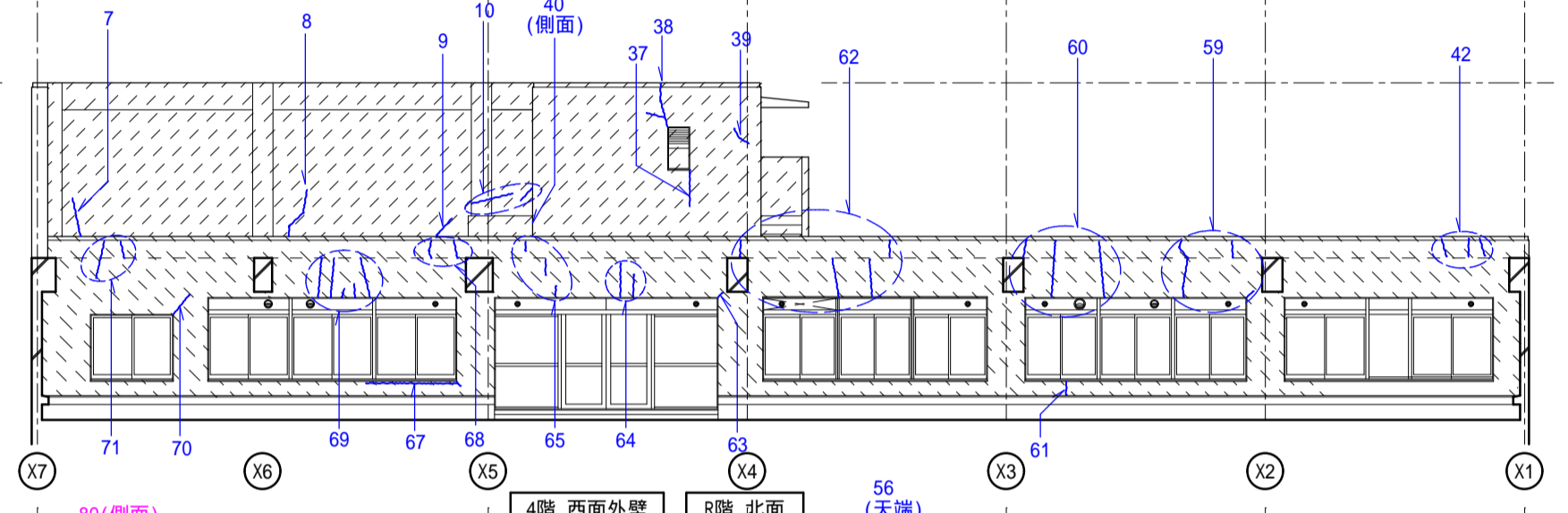
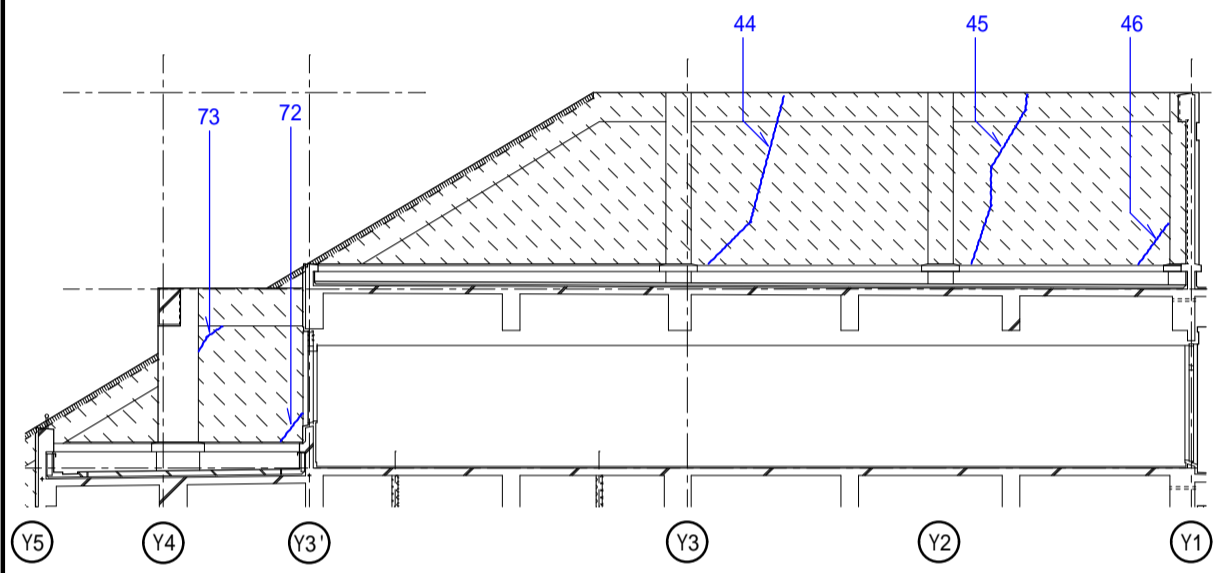
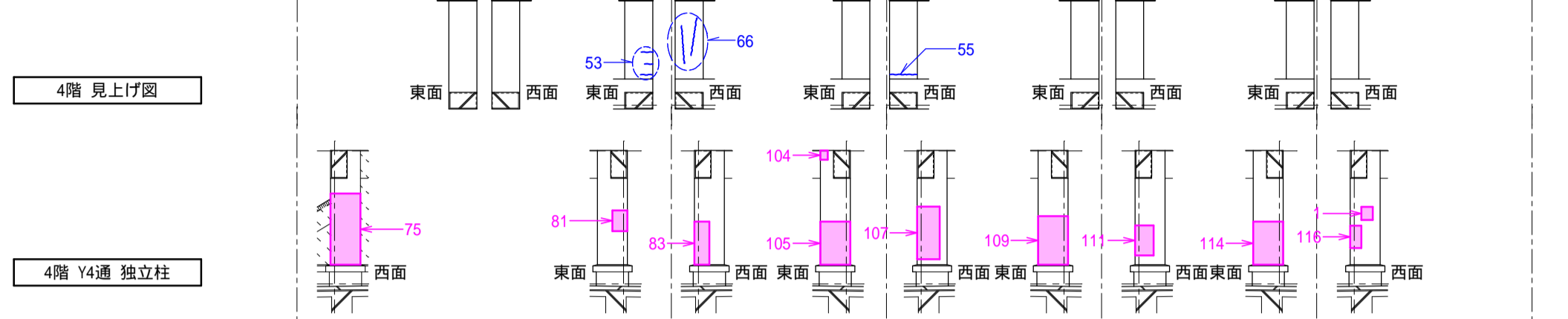
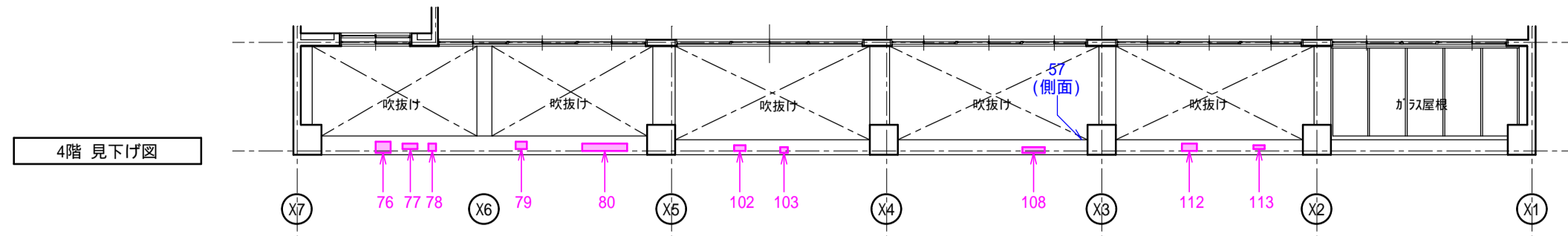
縮尺 1/150

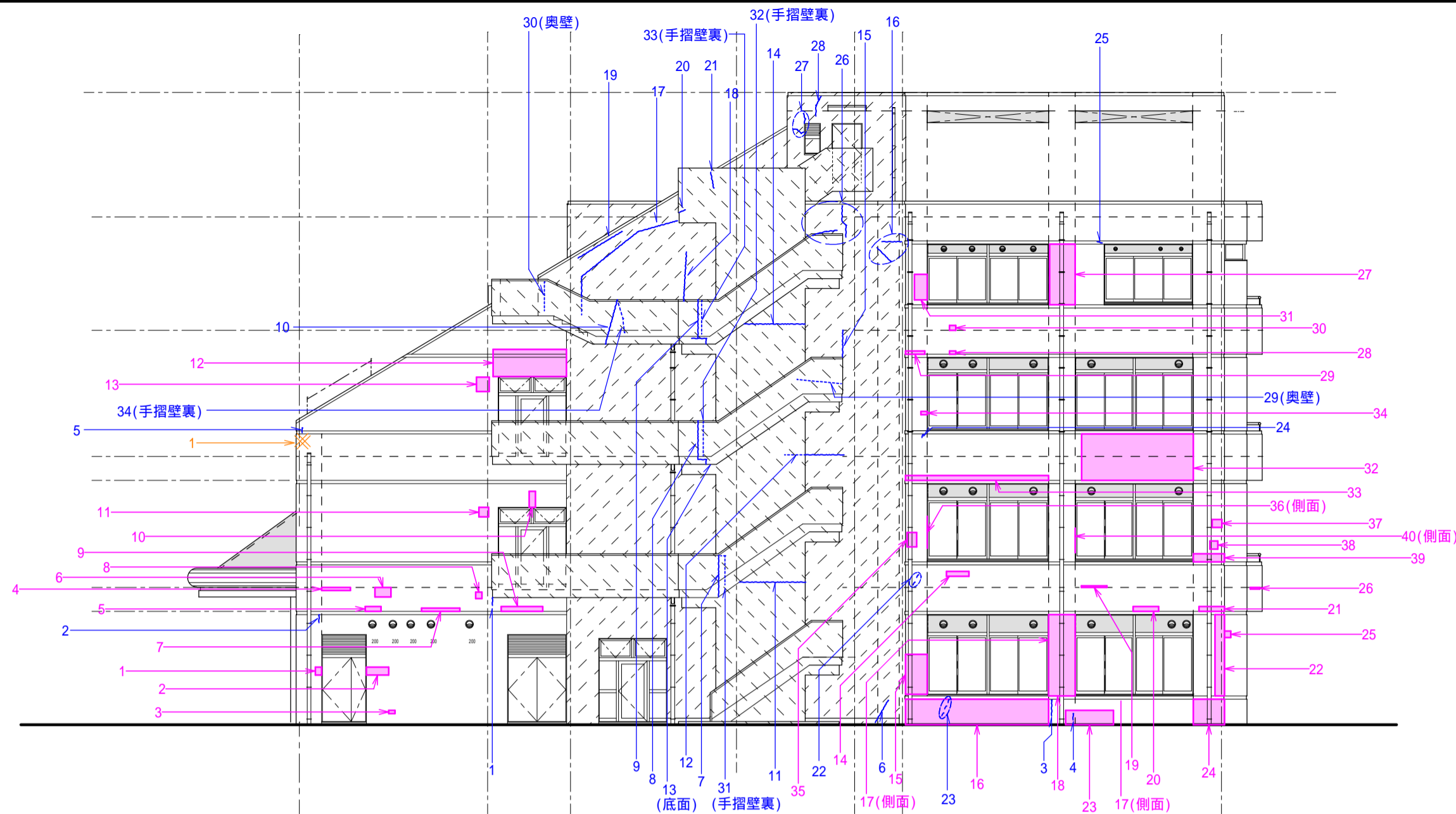
年月日 2025.03

図面 No

A - 61

凡例		
	浮きが認められる箇所	No →
	ひび割れ	No →
	欠損・割れ	No →
	白華	No →
	露筋・爆裂	No →





凡例

	浮きが認められる箇所	No
	ひび割れ	No
	欠損・割れ	No
	白華	No

タイルの浮き (西面)

損傷番号	横	縦	枚数 (枚)	面積 (㎡)
1	2	5	10	0.05
2	7	5	35	0.18
3	2	2	4	0.02
4	9	1	9	0.05
5	5	3	15	0.08
6	5	6	30	0.15
7	12	1	12	0.06
8	2	4	8	0.04
9	13	3	39	0.20
10	2	10	20	0.10
11	3	6	18	0.09
12	23	14	322	1.61
13	4	9	36	0.18
14	7	3	21	0.11
15	7	25	175	0.88
16	45	14	630	3.15
17	1	51	51	0.26
18	9	51	459	2.30
19	8	1	8	0.04
20	8	3	24	0.12
21	5	3	15	0.08
22	3	51	153	0.77
23	15	9	135	0.68
24	10	14	140	0.70
25	2	4	8	0.04
26	3	1	3	0.02
27	8	37	296	1.48
28	2	2	4	0.02
29	6	2	12	0.06
30	2	3	6	0.03
31	4	16	64	0.32
32	35	29	1015	5.08
33	45	3	135	0.68
34	2	2	4	0.02
35	3	9	27	0.14
36	1	21	21	0.11
37	3	5	15	0.08
38	2	5	10	0.05
39	10	5	50	0.25
40	1	14	14	0.07
小計			4053	20.35
合計			4053	20.35

タイルのひび割れ (西面)

損傷番号	枚数 (枚)	長さ (m)
1	5	0.25
2	5	0.25
3	10	0.50
4	2	0.10
5	3	0.15
22	3	0.15
23	4	0.20
24	1	0.05
25	2	0.10
小計	35	1.75
合計	35	1.75

コンクリートのひび割れ (西面)

損傷番号	長さ (m)
6	0.80
7	1.30
8	1.70
9	2.20
10	1.40
11	2.40
12	2.50
13	1.30
14	2.40
15	0.80
16	1.25
17	5.00
18	3.00
19	1.60
20	0.20
21	0.50
26	2.50
27	0.70
28	0.70
29	1.80
30	1.10
小計	35.15
合計	35.15

白華 (西面)

損傷番号	箇所数	横	縦	面積 (㎡)
1	1	0.30	0.30	0.09
小計	1			0.09
合計	1			0.09

備考



一般建築士事務所
株式会社 NEO設計
一般建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称

外壁劣化状況図 - 9
西立面図

縮尺

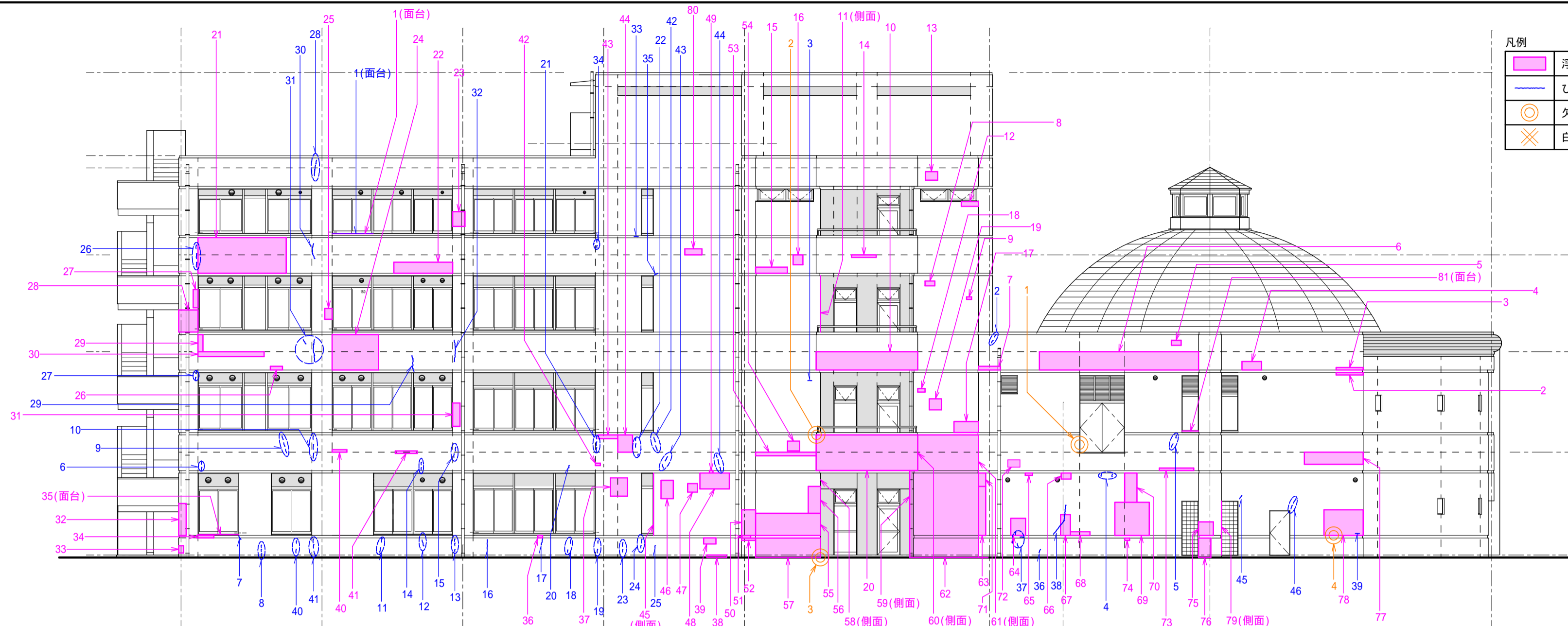
1/150

年月日

2025.03

図面 No

A - 64



凡例

	浮きが認められる箇所	No →
	ひび割れ	No →
	欠損・割れ	No →
	白華	No →

タイルの浮き (南面)

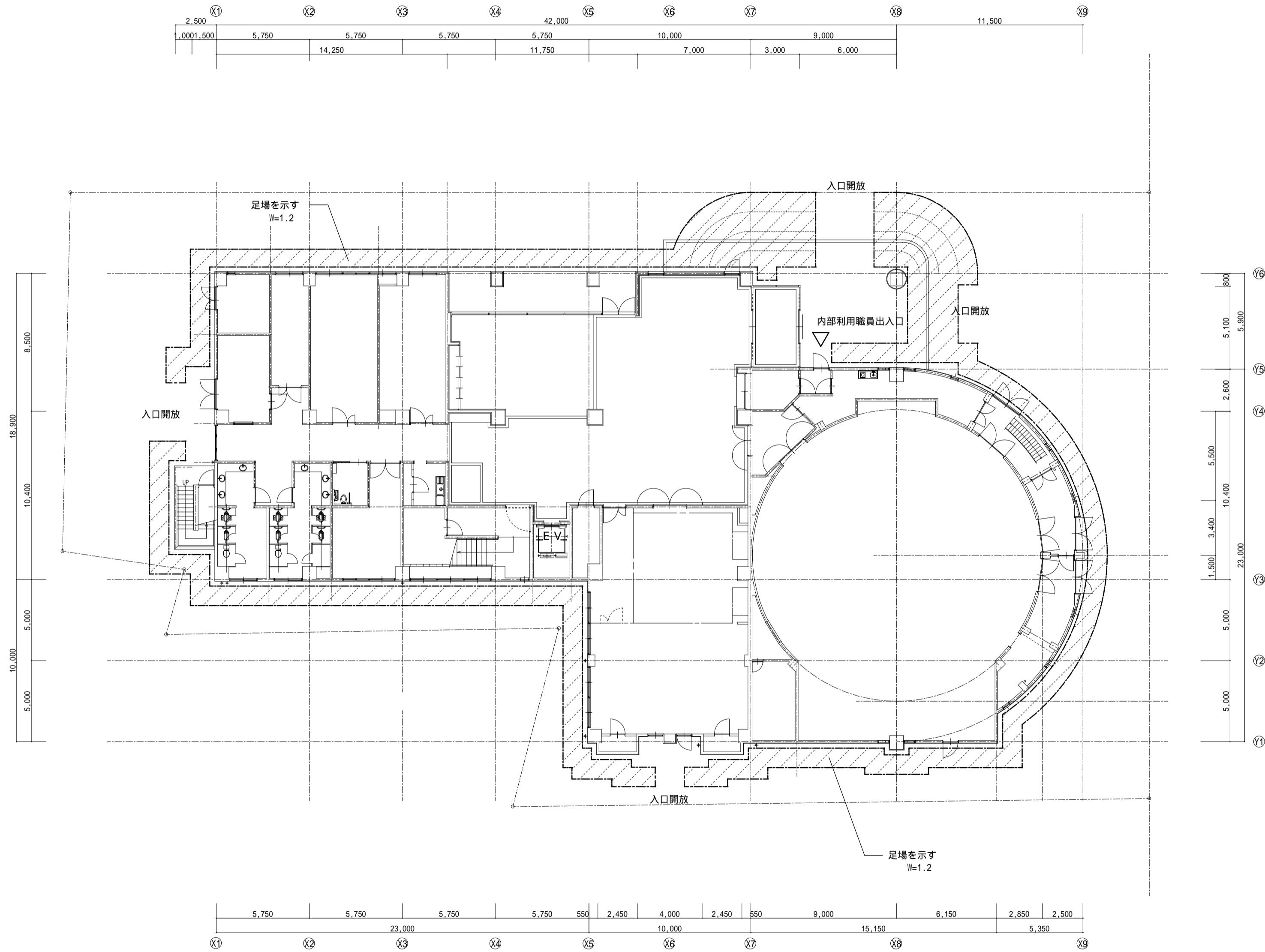
損傷番号	横	縦	枚数 (枚)	面積 (㎡)	損傷番号	横	縦	枚数 (枚)	面積 (㎡)
1	31	1	31	0.16	41	9	2	18	0.09
2	11	2	22	0.11	42	2	2	4	0.02
3	11	2	22	0.11	43	8	3	24	0.12
4	8	7	56	0.28	44	6	14	84	0.42
5	4	4	16	0.08	45	1	5	5	0.03
6	65	15	975	4.88	46	5	15	75	0.38
7	9	3	27	0.14	47	4	7	28	0.14
8	4	4	16	0.08	48	12	13	156	0.78
9	2	2	4	0.02	49	3	1	3	0.02
10	43	15	645	3.23	50	6	21	126	0.63
11	5	22	110	0.55	51	7	1	7	0.04
12	7	4	28	0.14	52	6	2	12	0.06
13	5	7	35	0.18	53	25	3	75	0.38
14	10	1	10	0.05	54	5	8	40	0.20
15	13	5	65	0.33	55	27	18	486	2.43
16	4	8	32	0.16	56	5	22	110	0.55
17	10	9	90	0.45	57	27	14	378	1.89
18	3	3	9	0.05	58	12 x 67 - (4 x 13)		752	3.76
19	5	9	45	0.23	59	12 x 67 - (4 x 13)		752	3.76
20	43	29	1247	6.24	60	5	29	145	0.73
21	36	17	612	3.06	61	7	96	672	3.36
22	24	9	216	1.08	62	27	96	2592	12.96
23	5	12	60	0.30	63	3	41	123	0.62
24	19	29	551	2.76	64	6	14	84	0.42
25	3	9	27	0.14	65	3	2	6	0.03
26	5	3	15	0.08	66	4	5	20	0.10
27	2	15	30	0.15	67	4	17	68	0.34
28	10	20	200	1.00	68	8	3	24	0.12
29	2	14	28	0.14	69	14	27	378	1.89
30	27	4	108	0.54	70	5	24	120	0.60
31	3	19	57	0.29	71	2	8	16	0.08
32	3	26	78	0.39	72	5	6	30	0.15
33	2	6	12	0.06	73	14	1	14	0.07
34	14	1	14	0.07	74	2	2	4	0.02
35	26	1	26	0.13	75	6	11	66	0.33
36	4	1	4	0.02	76	5	14	70	0.35
37	7	15	105	0.53	77	24	10	240	1.20
38	8	1	8	0.04	78	16	21	336	1.68
39	5	5	25	0.13	79	4	18	72	0.36
40	6	1	6	0.03	80	7	5	35	0.18
					81	13	1	13	0.07
小計			5667	28.41	小計			8263	41.36
合計								13930	69.77

タイルのひび割れ (南面)

損傷番号	枚数 (枚)	長さ (m)	損傷番号	枚数 (枚)	長さ (m)
1	7	0.35	41	11	0.55
2	4	0.20	42	8	0.40
3	1	0.05	43	7	0.35
4	2	0.10	44	10	0.50
5	4	0.20	45	2	0.10
6	4	0.20	46	5	0.25
7	2	0.10			
8	3	0.15			
9	9	0.45			
10	11	0.55			
11	3	0.15			
12	6	0.30			
13	6	0.30			
14	5	0.25			
15	4	0.20			
16	8	0.40			
17	5	0.25			
18	4	0.20			
19	4	0.20			
20	1	0.05			
21	8	0.40			
22	7	0.35			
23	3	0.15			
24	3	0.15			
25	1	0.05			
26	11	0.55			
27	3	0.15			
28	10	0.50			
29	8	0.40			
30	12	0.60			
31	19	0.95			
32	17	0.85			
33	2	0.10			
34	5	0.25			
35	1	0.05			
36	2	0.10			
37	5	0.25			
38	31	1.55			
39	1	0.05			
40	5	0.25			
小計	247	12.35	43		2.15
合計			290		14.5

タイルの欠損・割れ (南面)

損傷番号	箇所数	横	縦	面積 (㎡)
1	1	0.1	0.48	0.048
2	1	0.1	0.05	0.005
3	1	0.1	0.05	0.005
4	1	0.1	0.05	0.005
小計	4			0.06
合計	4			0.06



備考
仮設足場周囲は、防災又は防音ネット張とする。



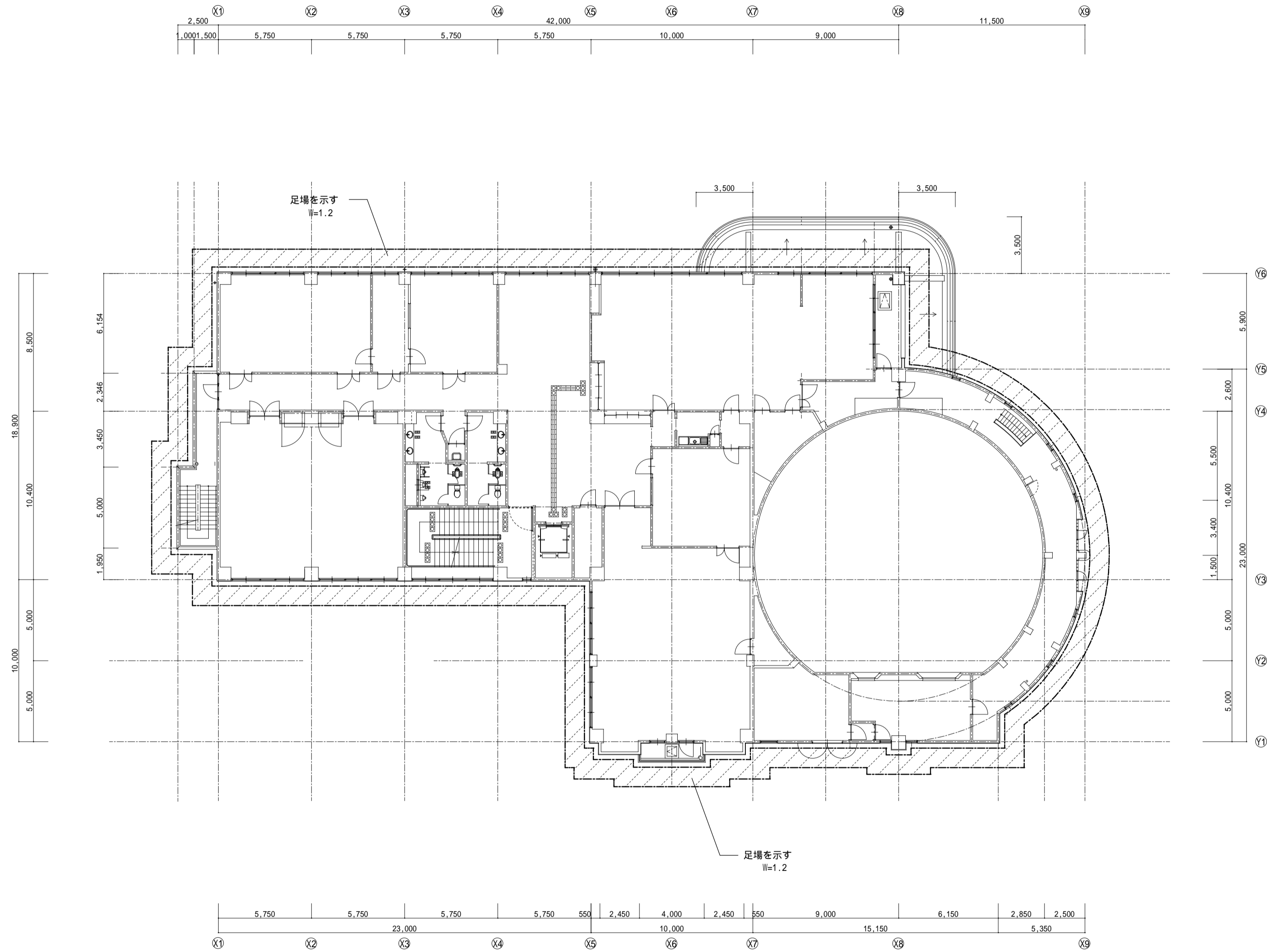
一級建築士事務所
株式会社 **NEO設計**
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称
仮設図 - 1
1階 平面図

縮尺
1/150
年月日
2025, 03

図面No
K - 1



備考
仮設足場周囲は、防災又は防音ネット張とする。



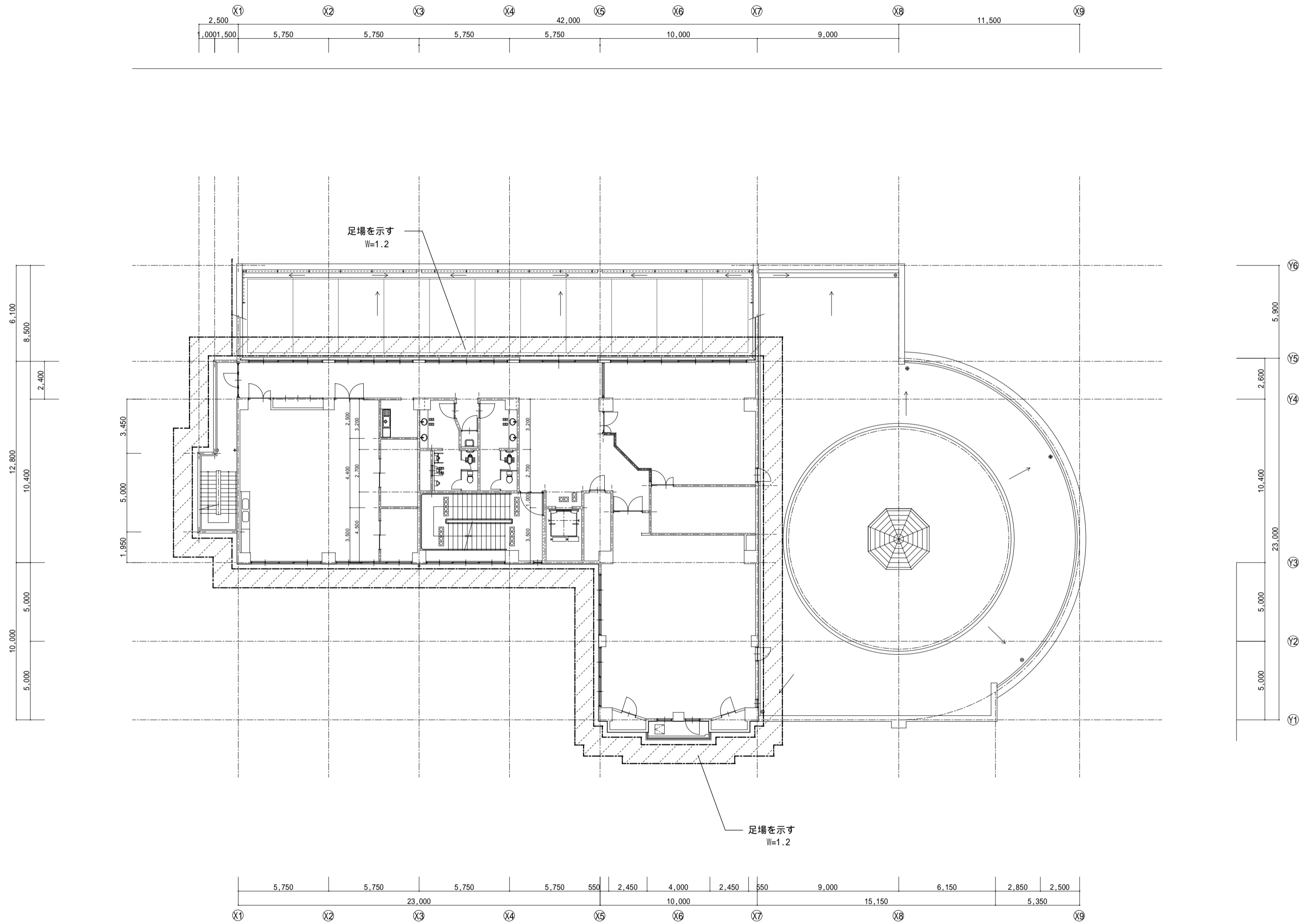
一級建築士事務所
株式会社 **NEO設計**
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称
仮設図 - 2
2階 平面図

縮尺
1/150
年月日
2025, 03

図面No
K - 2



備考
仮設足場周囲は、防災又は防音ネット張とする。



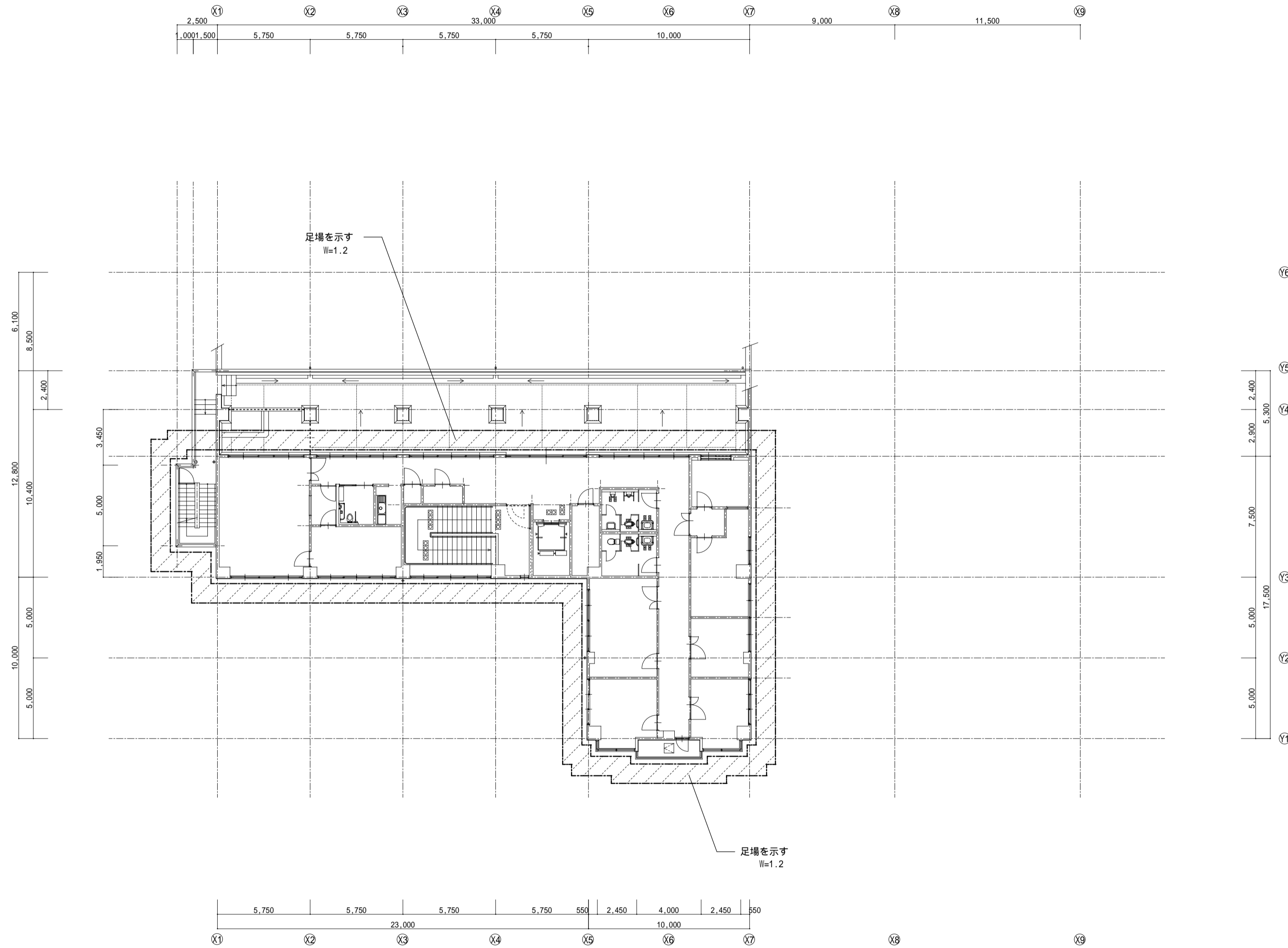
一級建築士事務所
株式会社 **NEO設計**
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

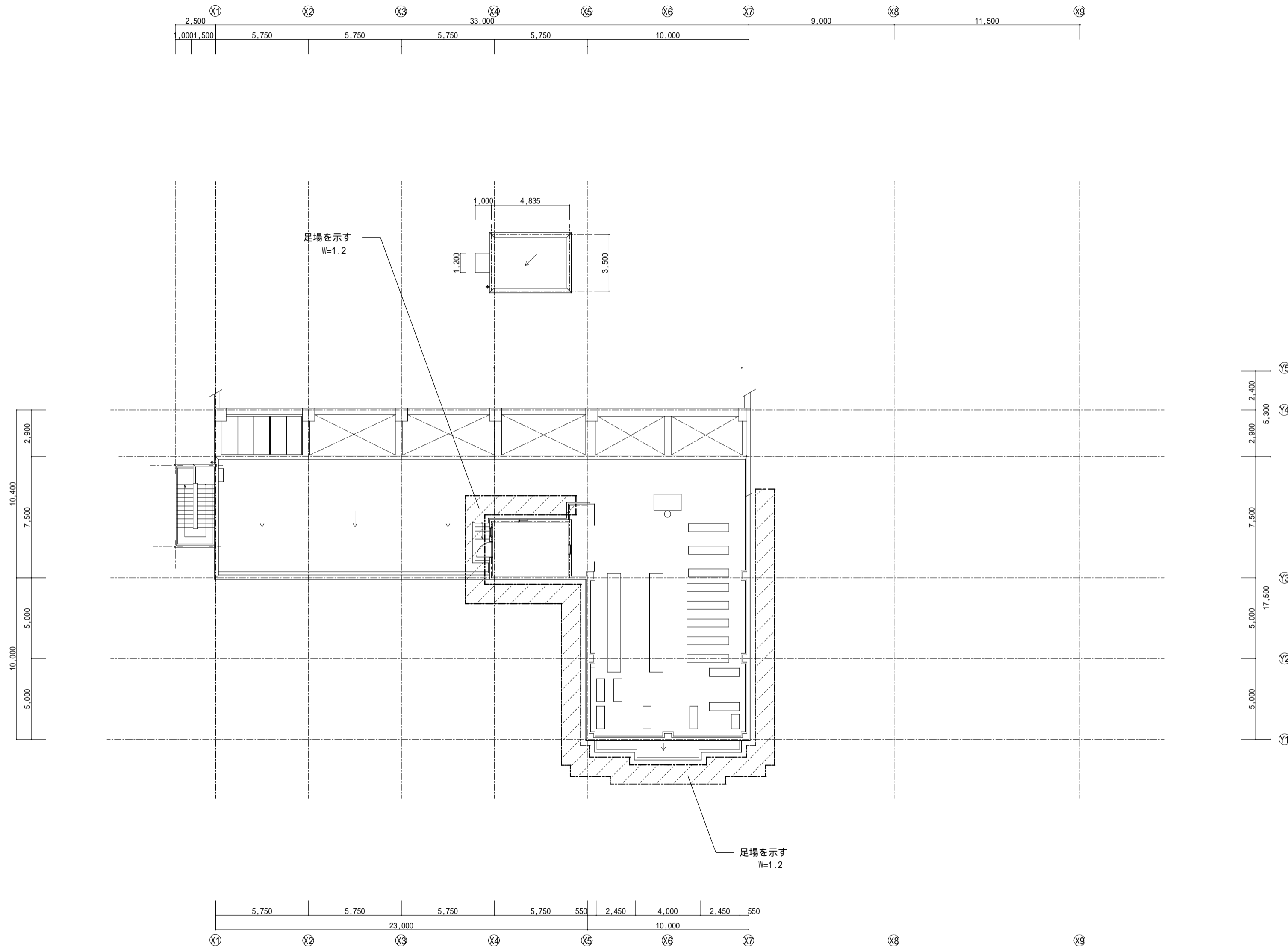
図面名称
仮設図 - 3
3階 平面図

縮尺
1/150
年月日
2025.03

図面No
K - 3



備考 仮設足場周囲は、防災又は防音ネット張とする。			一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事	図面名称 仮設図 - 4	縮尺 1/150	図面No K - 4
					4階 平面図	年月日 2025.03	



備考
仮設足場周囲は、防災又は防音ネット張とする。



一級建築士事務所
株式会社 **NEO設計**
一級建築士登録 第187781号 中村則正

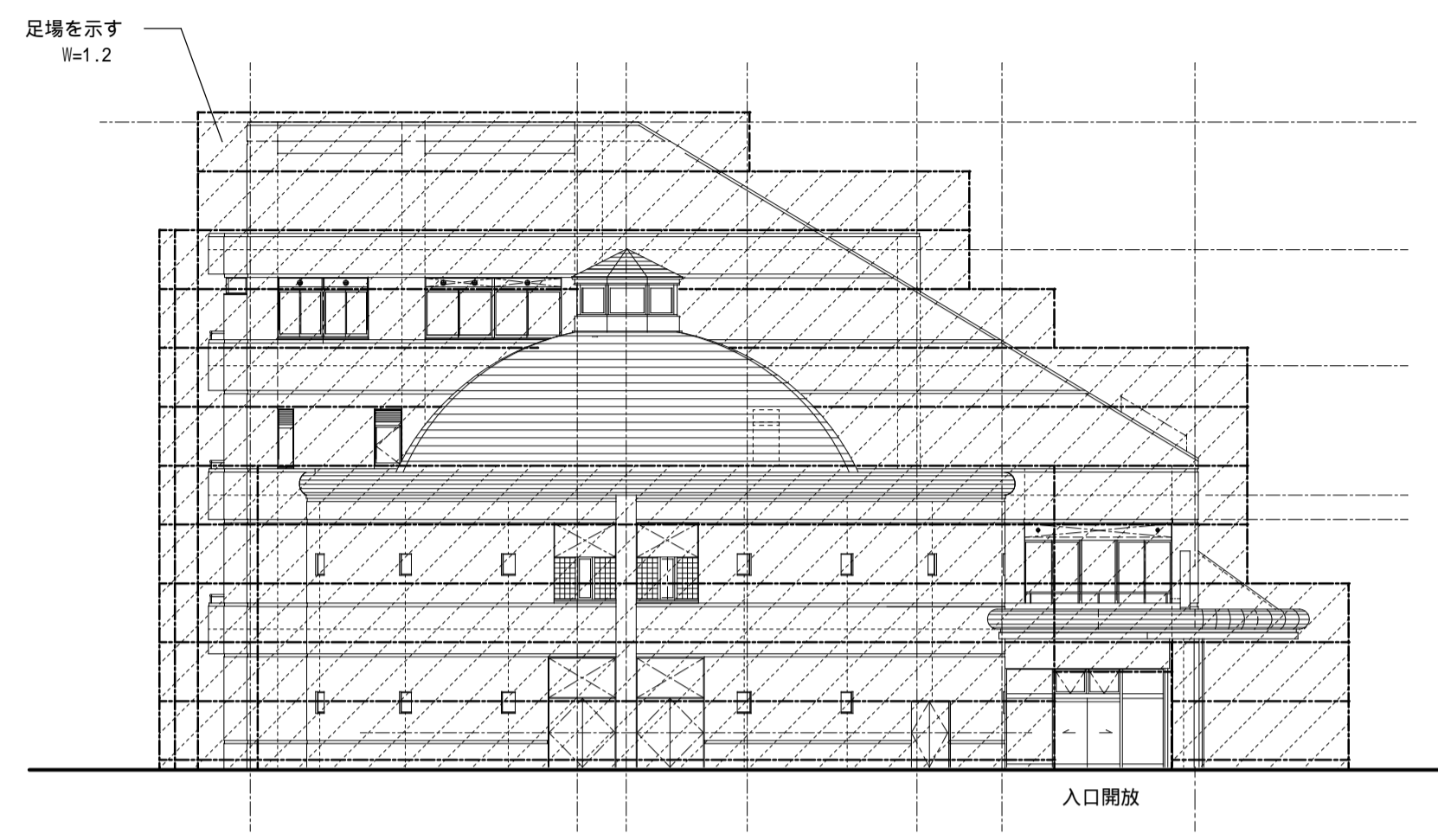
工事名称
宇治市生涯学習センター
中規模改修建築工事

図面名称
仮設図 - 5
屋上 平面図

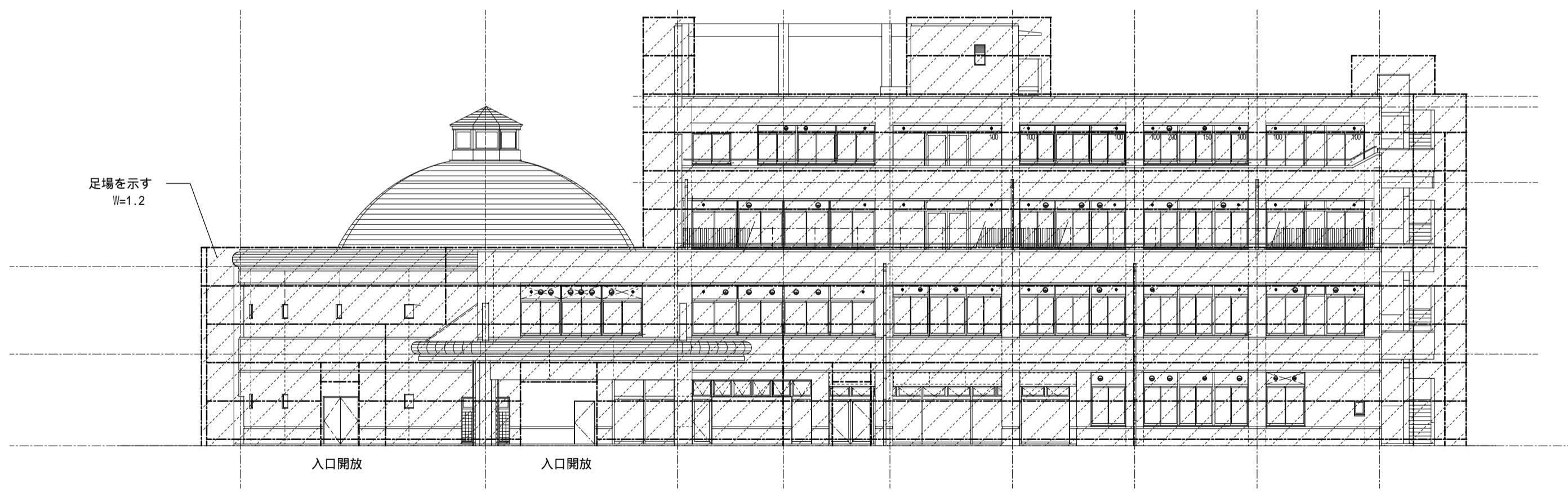
縮尺
1/150
年月日
2025.03

図面No
K - 5

P.H.ハット天
 500
 3,400
 ハット天
 RSL
 3,550
 4SL
 3,950
 3SL
 4,100
 2SL
 4,300
 GL

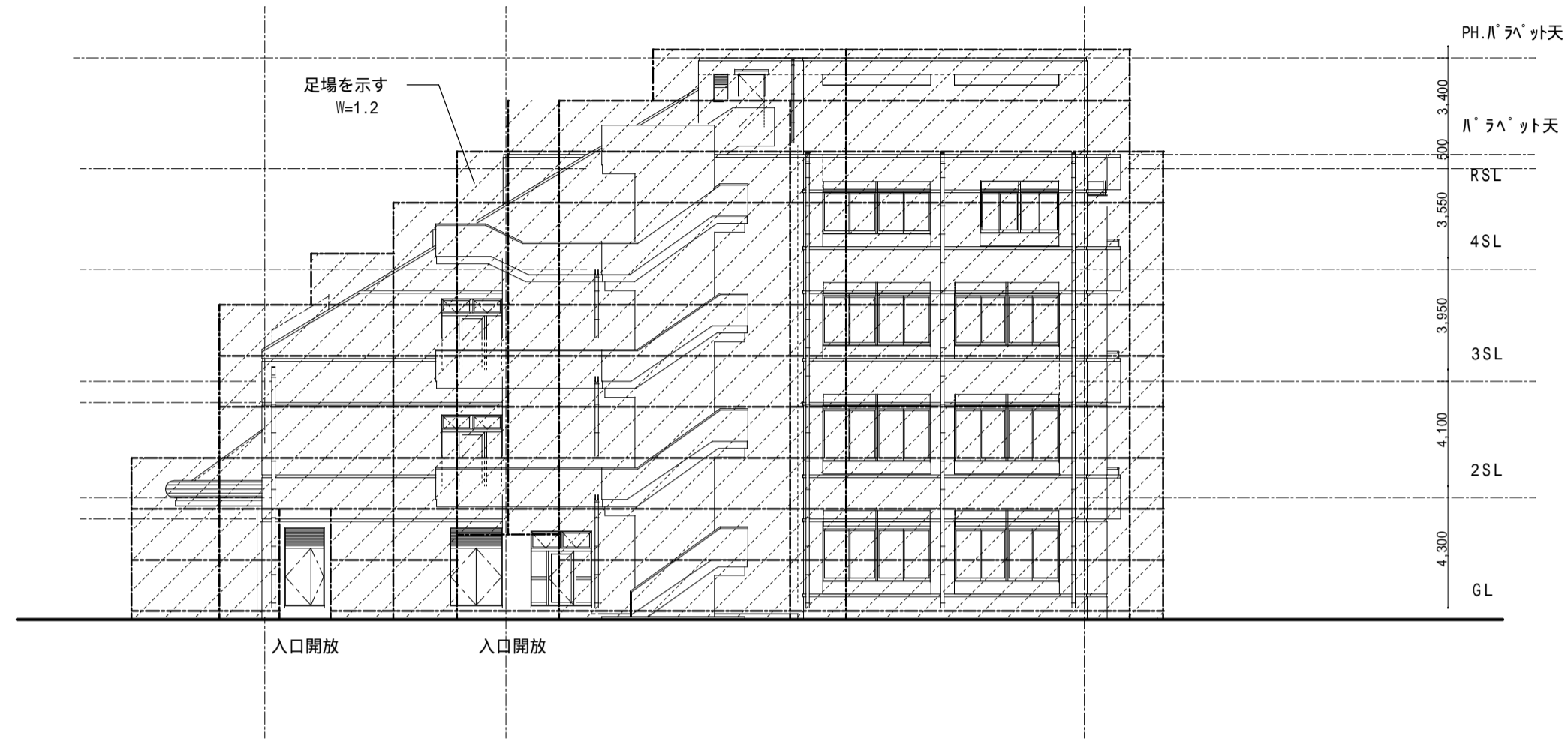


東立面図

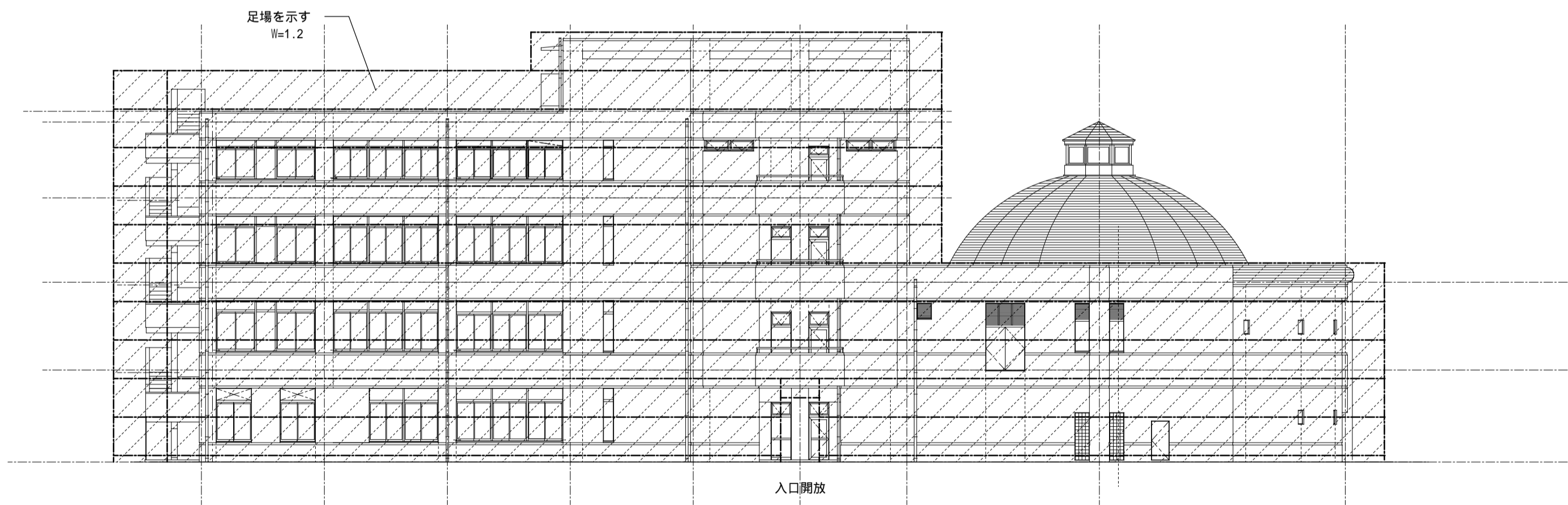


北立面図

備考 仮設足場周囲は、防災又は防音ネット張とする。			一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事	図面名称 仮設図 - 6	縮尺 1/150	図面No K - 6
					立面図 - 1	年月日 2025, 03	



西立面图



南立面图

備考 仮設足場周囲は、防災又は防音ネット張とする。			一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 宇治市生涯学習センター 中規模改修建築工事	図面名称 仮設図 - 7	縮尺 1/150	図面No K - 7
					立面図 - 2	年月日 2025.03	